平成31年度(2019)

履修の手引

奈良学園大学 NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部

平成31年度(2019)

履修の手引

奈良学園大学 NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部



はじめに

この「履修の手引」は、学生諸君が4年間にわたって本学で学修していくうえで必要な事項をまとめた手引きです。

奈良学園大学では、学修に必要な数多くの教育科目を開設しています。学生諸君は、自分の目標や興味・ 関心に基づき、本学の定める履修規程に従って、履修する授業科目を選択し、主体的に履修を完遂してくだ さい。自ら責任をもって計画を立て学修することは、大学教育の大きな柱の一つです。

学修においては一定の成果を修め、卒業に必要な単位を修得していかなければなりません。この「履修の 手引」を熟読し、効果的な履修計画を立て、有意義な学習ができるよう期待しています。

目 次

建学の精神	6
教育理念 ······	6
保健医療学部の教育目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
奈良学園大学 教育のポリシー 1) アドミッションポリシー	
2019 年度 学年暦及び行事予定表 1) 看護学科	
I 履修要項(2学科共通)	
1. 教育課程 1) 教育課程 (カリキュラム) 1 2) 単位制 1 3) 単位の計算方法 1	15
2. 履修登録 1) 履修登録 1 2) 履修制限 1 3) 履修登録の変更・取消 1	17
3. 授業 1) 授業時間 1 2) 休講 1 3) 臨時休講 1 4) 補講 1 5) 公欠・長期欠席等 1 6) 学校で予防すべき感染症 1	18 18 18
4. 試験 1)定期試験 2 2)論文(レポート)試験・提出 2 3)追試験 2 4)再試験 2 5)試験受験の心得 2 6)不正行為(カンニング) 2	20 20 21 21

		· 模· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	1)	成績評価	22
		成績発表	
		成績通知書と修得単位	
	ر د	以順起以首と修行主は	22
_		**************************************	
		業の要件	
		卒業の要件	
	2)	卒業に必要な単位数	23
7	G	PA制度	
		GPA制度導入の趣旨 ····································	22
		G P A の算出方法 ····································	
		G P A の算定基準 ······	
		G P Aの算出例 ······	
	5)	G P A値の確認方法 ····································	24
_			
8.	才	フィス・アワー	24
_			
I	看	護学科(2018 年度以降入学生)	
1.	履	修規程(2018 年度以降入学生)	27
_	履	修に関する留意点	
		授業の形態 ····································	29
	1)		
	1)	授業の形態 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	1) 2) 3)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制	29 29
	1) 2) 3) 4)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目	29 29 29
	1) 2) 3) 4) 5)	授業の形態	29 29 29 29
	1) 2) 3) 4) 5)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 電護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点	29 29 29 29 30
	1) 2) 3) 4) 5)	授業の形態	29 29 29 29 30
	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定	29 29 29 29 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 教)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 再受験科目 若護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方 教育目的	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 教)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 7) 教 1)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方 教育目的 教育課程編成の考え方	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 4) 5) 7) 教 1) デ	授業の形態	29 29 29 30 30 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7 教 1) デ 1)	授業の形態	29 29 29 30 30 30 31
3.	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7 教 1) デ 1)	授業の形態	29 29 29 30 30 30 31
3.	1)234567 12 デ1)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目	29 29 29 30 30 30 31
3.	 1) (1) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	授業への出席 履修指導の体制 再受験科目	29 29 29 30 30 30 31 31
3.	 1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方 教育目的 教育課程編成の考え方 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	29 29 29 30 30 30 31 31 31
3.	1)2)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)3)	授業への出席	29 29 29 30 30 30 31 31 39 39
3. 4.	1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1	授業の形態 授業への出席 優修指導の体制 一	29 29 29 30 30 30 31 31 31 39 40
3. 4.	1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	授業への出席	29 29 29 30 30 30 31 31 31 39 40 40

6. 看護師・保健師課程選択者選考要領	41
7. 看護師・助産師課程選択者選考要領	43
授業科目表	45
課程選択別履修モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
Ⅲ 看護学科(2017年度以前入学生)	
1. 履修規程	51
2. 履修に関する留意点	
1) 授業の形態	53
2) 授業への出席	53
3) 履修指導の体制	53
4) 看護学実習科目の履修に関する留意点	
5) 再受験科目	
6) 課程選択に伴う履修上の留意点	53
7)課程選択の決定	
3. 教育目標と教育課程編成の考え方	
1) 教育目標	54
2) 教育課程編成の考え方	54
3) 教育課程全体の特色	55
4) 教育課程の概要	56
4. 看護学実習の概要	
1) 看護学実習の概要と開講時期	60
2) 看護学実習要綱	
3) 看護学実習の評価	61
4) 実習中の事故防止と対処	
5) 感染防止	
5. 看護師・保健師課程選択履修要領	62
6. 看護師·助産師課程選択履修要領······	64
授業科目表	66
課程選択別履修モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	69

Ⅳ リハビリテーション学科

1. 履修規程	75
2. 履修に関する留意点	
1)授業の形態 ····································	77
2) 授業への出席	
3) 履修指導の体制	
4) 再受験科目	
5) 臨床実習科目の履修に関する留意点	77
3. 教育目標と教育課程編成の考え方 1)教育目標 2)教育課程編成の考え方	
4. ディプロマポリシーと科目の関連性	
理学療法学専攻	80
作業療法学専攻	84
授業科目表	87
選択科日履修モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91

建学の精神

高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する。

教 育 理 念

現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をつちかい、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成する。

保健医療学部の教育目的

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力をそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者を育成することを目的とする。

奈良学園大学 教育のポリシー

1. アドミッションポリシー(admission policy 入学者受入方針)

- ①大学教育を受けるに相応しい基礎能力や体験を備え、本学での教育を通じて社会人としての一層の成長が 期待できる学生を受け入れる。
- ②実践を重視した演習課題に、積極的にとりくむ意欲のある学生を受け入れる。
- ③地域社会との交流に関心を持ち、将来、社会全体の発達・発展に貢献する事に使命感を持つ学生を受け入れる。

2. ディプロマポリシー (diploma policy 卒業認定・学位授与に関する方針)

本学は、所定の単位を修得し、以下のような「実践力」を身につけた学生に対して、その卒業を認定する。

- ①高度な学識と実務能力に基く実践力
- ②時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をもつ実践力
- ③社会に貢献することのできる実践力

平成 31 年度(2019) 学年暦及び行事予定表 【看護学科】

1		月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1 年 次 生
		1	2	3	4	5	6	3日(水)入学式	3日 (水) 入学式
	7	8	9	10	11	12	13	4日(木) ガイダンス・健康診断	4日(木) ガイダンス・健康診断
,	14	15	16	17	18	19	20	4日(木)~7日(日)履修登録 5日(金)~6日(土)新入生学外 安泊研修(1泊2日)	4日 (木) ~7日 (日) 履修登録 5日 (金) ~6日 (土) 新入生学外
4 月	21	22	23	24	25	26	27	宿泊研修(1泊2日) 5日(金)·8日(月)教科書販売	宿泊研修 (1泊2日) 5日 (金) ·8日 (月) 教科書販売
	28	29	30					8日(月)~14日(日)履修登録確認期間8日(月)前期授業開始	8日(月)~14日(日)履修登録確認期間 8日(月)前期授業開始
				\vdash				20日 (土) 保護者懇談会 (3,4年次生) 20日 (土) 4月29日の授業日	00 (7) 削粉技未用炉
				1	2	3	4		20(*) 20(*) 40(+) 60(0)
	5	6	7	8	9	10	11	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 全年次生授業実施日	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日
_	12	13	14	15	16	17	18	11日(土) 4月30日の授業日	
5 月	12	20	21	22	23	24	25	25日(土) 5月1日の授業日	
	26	27	28	29	30	31		と9日(エ/ 9月1日77汉未日	
	-20	۷/	۷٥	29	٥٥	۱۱			
							1		
	2	3	4	5	6	7			
	2 9	_	11	12	6 13		8 15		
6月		10				14		22日 (十) /	22日 (十) /2洪芝和志/
'	16	17	18	19	20	21	22	22日(土) 保護者懇談会 (1,2年次生)	22日(土) 保護者懇談会
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	-1	_			_			
		1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13	15日 (目) 塔娄宇栋口	15日 (日) 塔娄宇紘口
7 月	14	15	16	17	18	19	20	15日(月) 授業実施日20日(土) 前期授業終了	15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了
	21	22	23	24	25	26	27	25日(木) ~31日(水) 前期定期試験	25日(木)~31日(水) 前期定期試験
	28	29	30	31					
					1	2	3	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業
	4	5	6	7	8	9	10	6日(火) 成績開示	6日(火) 成績開示
8	11	12	13	14	15	16	17	7日(水)~8日(木) 前期追・再試験手続き	7日(水)~8日(木)前期追・再試験手続き
月月		19	20					9日(金),12日(月),13日(火) 前期追再試験	9日(金),12日(月),13日(火) 前期追再試験
	25	26	27	28	29	30	31	23日(金) 成績開示	23日(金) 成績開示
	1	2	3	4	5	6	7	9日 (月) ~15日 (日) 履修登録	2日 (月) ~13日 (金) 其磁差誰学宝羽 [
	8	9	10	11	12	13	14	履修登録 16日(月)~22日(日)	基礎看護学実習 [9日(月)~15日(日)
9	15	16	17	18	19	20	21	履修登録確認期間 16日(月) 授業実施日	履修登録 16日(月)~22日(日)
月月	22	23	24	25	26	27	28	後期授業開始	履修登録確認期間
	29	30						(1,2,4年次生) 23日(月) 授業実施日	16日(月) 授業実施日 後期授業開始
									23日(月) 授業実施日

看護学科

2 年 次 生	3 年次生	4年次生
4日(木) ガイダンス・健康診断 4日(木)~7日(日)履修登録 5日(金)・8日(月)教科書販売 8日(月)~14日(日)履修登録確認期間 8日(月)前期授業開始	4日(木) ガイダンス・健康診断 4日(木)~7日(日)履修登録 5日(金)・8日(月)教科書販売 8日(月)~14日(日)履修登録確認期間 8日(月)前期授業開始 20日(土)保護者懇談会	4日(木) ガイダンス・健康診断 4日(木) ~7日(日)履修登録 5日(金)・8日(月)教科書販売 8日(月)~14日(日)履修登録確認期間 8日(月)前期授業開始 20日(土)保護者懇談会
2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日	2日 (木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日 6日(月)~6月7日(金) 統合看護学実習
22日(土) 保護者懇談会		
15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了 25日(木)~31日(水) 前期定期試験	15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了 25日(木)~31日(水) 前期定期試験	15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了 25日(木)~31日(水) 前期定期試験
1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業 6日 (火) 成績開示 7日 (水) ~8日 (木) 前期追・再試験手続き 9日 (金) ,12日 (月) ,13日 (火) 前期追再試験 23日 (金) 成績開示	1日 (木) ~6日 (火) 実習オリエンテーション 7日 (水) ~9月15日 (日) 夏期休業 6日 (火) 成績開示 7日 (水) ~8日 (木) 前期追・再試験手続き 9日 (金),12日 (月),13日 (火) 前期追再試験 23日 (金) 追再試験成績開示 26日 (月) ~3月6日 (金) 各領域実習	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業 6日 (火) 成績開示 7日 (水) ~8日 (木) 前期追・再試験手続き 9日 (金) ,12日 (月) ,13日 (火) 前期追再試験 23日 (金) 成績開示
9日(月)~15日(日)履修登録 16日(月)~22日(日) 履修登録確認期間 16日(月)授業実施日 後期授業開始 23日(月)授業実施日	9日(月)~15日(日) 履修登録 16日(月)~22日(日) 履修登録確認期間	9日(月)~15日(日) 履修登録 16日(月)~22日(日) 履修登録確認期間 16日(月) 授業実施日 後期授業開始 23日(月) 授業実施日

【看護学科】

		月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1 年次生
			1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12	· 」13日 (日) 学園祭 (三室祭)	13日(日) 学園祭(三室祭)
10	13	14	15	16	17	18	19	14日(月) 授業実施日	14日(月) 授業実施日
10 月	20	21	22	23	24	25	26	22日 (火) 授業実施日 27日 (日) 学園祭(登美ヶ丘祭)	22日 (火) 授業実施日 27日 (日) 学園祭(登美ヶ丘祭)
	27	28	29	30	31				
				30					
						1	2	 	
	3	4	5	6	7	8	9	4日(月)授業実施日	4日(月)授業実施日
	10	11	12	13	14	15	16		
11	17		19		21		23		
/-		18		20		22			
	24	25	26	27	28	29	30		
	4								
	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14	 21日(土) 年内授業最終日	21日(土) 年内授業最終日
12	15	16	17	18	19	20	21	22日(日)~1月9日(木)	21日(工) 平內技未取於日
"	22	23	24	25	26	27	28	冬期休業	
	29	30	31						
				1	2	3	4	 10日(金) 年明け授業開始	 10日(金) 年明け授業開始
	5	6	7	8	9	10	11		
1月	12	13	14	15	16	17	18	17日 (金) 後期授業終了 21日 (火) ~27日 (月)	17日(金)後期授業終了 21日(火)~27日(月)
月	19	20	21	22	23	24	25	後期定期試験 (1,2年次生)	後期定期試験
	26	27	28	29	30	31			
							1	7日(金) 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火)	 7日(金) 成績開示
	2	3	4	5	6	7	8	後期追再試験手続き	13日(木),14日(金),17日(月),18日(火)
2	9	10	11	12	13	14	15	(1,2年次生)	後期追再試験手続き
月	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	1	2	3	4	5	6	7	2日 (月),3日 (火)	2日(月),3日(火)
	8	9	10	11	12	13	14	後期追再試験 10日(火) 成績開示	後期追再試験 10日(火)成績開示
2	15	16	17	18	19	20	21	15日(日) 卒業式·学位記授与式	
3 月	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						

看護学科

2年次生	3年次生	4年次生
2 + 从 生	3 + 从 生	4 + 从 生
13日(日) 学園祭(三室祭) 14日(月) 授業実施日 22日(火) 授業実施日 27日(日) 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日 (日) 学園祭 (三室祭) 27日 (日) 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日(日) 学園祭 (三室祭) 14日(月) 授業実施日 22日(火) 授業実施日 27日(日) 学園祭(登美ヶ丘祭)
1日(金) 創立記念日 授業実施日 4日(月) 授業実施日	1日(金) 創立記念日 授業実施日	1日(金) 創立記念日 授業実施日 4日(月) 授業実施日
21日(土) 年內授業最終日	21日(土) 年内授業最終日	7日(土) 年内授業最終日 9日(月)~14日(土) 後期試験 19日(木) 成績開示 19日(木),20日(金) 後期追再試験手続き日
10日(金) 年明け授業開始 17日(金) 後期授業終了 21日(火)~27日(月) 後期定期試験 31日(金) 基礎看護学実習II オリエンテーション	6日(月) 年明け各領域実習開始	10日(金)~11日(土) 後期追再試験
3日(月)~28日(金) 基礎看護学実習II 7日(金)成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き		7日(金) 成績開示
2日(月),3日(火) 後期追再試験 10日(火)成績開示	10日(火)成績開示	15日(日) 卒業式・学位記授与式

【リハビリテーション学科】

17/1						_						
		月	火		木	金	土	全年次生行事予定				
		1	2	3	4	5	6	3日 (水) 入学式 4日 (木) ガイダンス・健康診断				
	7	8	9	10	11	12	13	4日 (木) ~7日 (日) 履修登録				
4	14	15	16	17	18	19	20	5日 (金) 〜6日 (土) 新入生学外宿泊研修 (1泊2日) 5日 (金) ・8日 (月) 教科書販売				
月	21	22	23	24	25	26	27	8日(月)~14日(日)履修登録確認期間				
	28	29	30					8日 (月) 前期授業開始 20日 (土) 4月29日の授業日				
								20日 (工) 4月27日10120天日				
				1	2	3	4	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 全年次生授業実施日				
	5	6	7	8	9	10	11	11日(土) 4月30日の授業日				
5	12	13	14	15	16	17	18					
月	19	20	21	22	23	24	25	25日(土) 5月1日の授業日				
	26	27	28	29	30	31						
							1					
	2	3	4	5	6	7	8					
6	9	10	11	12	13	14	15					
月月	16	17	18	19	20	21	22	22日(土) 保護者懇談会				
	23	24	25	26	27	28	29					
	30											
		1	2	3	4	5	6					
	7	8	9	10	11	12	13					
7	14	15	16	17	18	19	20	15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了				
7 月	21	22	23	24	25	26	27	20日(土) 前期授業終了 25日(木)~31日(水)前期定期試験				
	28	29	30	31								
								※7月中 早期体験実習オリエンテーション、事前学習セミナー				
					1	2	3	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業				
	4	5	6	7	8	9	10	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏朔休耒 1日 (木) ~8日 (木) 早期体験実習 (うち3日間)				
	11	12	13	14	15	16	17	6日(火) 成績開示				
8 月					22			7日(水)〜8日(木) 前期追再試験手続き 9日(金),12日(月),13日(火) 前期追再試験				
	25	26	27	28	29	30	31	10日(土) 早期体験実習終了後セミナー				
	-23	20	27	20	29	20	JI	23日(金) 成績開示				
	1_	2	2	1	_	6	7	00 (0) 450 (0) 84570				
	1	2	3	4	5	6	7	9日(月)~15日(日) 履修登録 16日(月) 授業実施日 後期授業開始				
	8	9	10	11	12	13	14	16日(月)~22日(日) 履修登録確認期間				
9 月	15	16	17	18	19	20	21	23日(月) 授業実施日				
	22	23	24	25	26	27	28					
	29	30										

リハビリテーション学科

			\L	フレ	+	金	土	全年次生行事予定
		月	<u>火</u> 1	2	3	4	<u> </u>	
	6	7	8	9	10	11	12	13日 (日) 学園祭 (三室祭) 14日 (月) 授業実施日
1.0	13	14	15	16	17	18	19	22日(火) 授業実施日
10 月	20	21	22	23	24	25	26	27日(日) 学園祭(登美ヶ丘祭)
	27	28	29	30	31			
				30	31			
						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	4日(月)授業実施日
11	10	11	12	13	14	15	16	
月月	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
12 月	15	16	17	18	19	20	21	21日(土) 年内授業最終日
月	22	23	24	25	26	27	28	22日 (日) ~1月9日 (木) 冬期休業
	29	30	31					◇州外未
				1	2	3	4	400 (A) (CODULTO WEBS)
	5	6	7	8	9	10	11	10日(金) 年明け授業開始 17日(金) 後期授業終了
1 月	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	21日 (火) ~27日 (月)
	26	27	28	29	30	31		
	2			_			1	 7日(金) 成績開示
	2	3	4	5	6	7	8	
2 月	9	10	11	12	13 20	21	15 22	13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き
	23	24	25	26	27	28	22	
	23	24	25	20	27	20	29	
	1	2	3	4	5	6	7	2日 (月) ,3日 (火)
	8	9	10	11	12	13	14	2日(月),3日(火) 後期追再試験
	15	16	17	18	19	20	21	10日(火)成績開示
3 月	22	23	24	25	26	27	28	15日(日) 卒業式·学位記授与式
	29	30	31					



Ⅰ 履修要項(2学科共通)

1. 教育課程

 1)教育課程 (カリキュラム) 大学において開設される授業科目は、学部・学科の専門に関する科目と、幅広く深い教養を培う科目に分類されます。これらの授業科目を必修科目・選択科目に分けたり、各年次に配当したり、一週間あたりの時間数を決めるなどして編成したものを教育課程(カリキュラム)といいます。

2)単位制

大学では、高等学校と違い「単位制」が大きな役割を持っています。

本学で開講している各授業科目には、それぞれに「単位数」が定められています。学生諸君は、単位数の定められた授業科目を履修し、その成績が合格点(60点以上)であれば、その所定単位は認定され、単位を修得したことになります。修得した単位数の履修区分ごとの合計が卒業に必要な単位数を満たし、かつ、在学期間が4年以上となった時点で卒業することができます。

3)単位の計算 方法 単位数については、文部科学省の定める大学設置基準によって、45時間の学修を必要とする内容を1単位とするとされています。ただし、ここで言う学修とは、授業時間に加えて、予習・復習及び研究等のための自学自習の時間を含みます。自学自習の時間を保証するために、大学では高等学校までと違って授業の入っていない時間帯があるのです。

以下、学修の典型的なパターンのいくつかを示します。なお、1回分の授業を1コマと数え、1コマ90分を2時間として計算します。

<1単位30時間の科目の場合>

●学修時間:45時間×1単位=45時間

授業時間: (前期15週×2時間)または(後期15週×2時間) = 半年間30時間

自学自習の時間: 半年間15時間

授業 30 時間

自学自習 15 時間

計 45 時間

- 1週間に1コマ2時間 (90分) を15週

<1単位15時間の科目の場合>

●学修時間:45時間×1単位=45時間

授業時間: (半期前半7.5週×2時間)または(半期後半7.5週×2時間) = 半年間15時間

自学自習の時間:半年間30時間

授業 15 時間

自学自習 30 時間

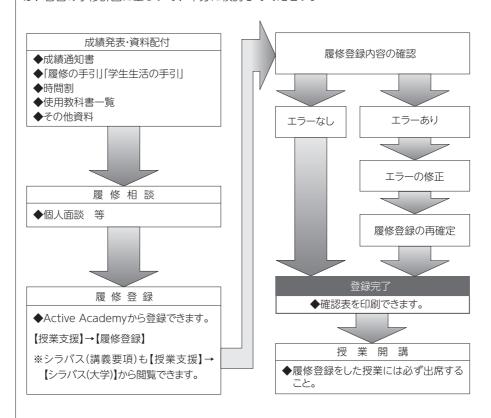
計 45 時間

1週間に1コマ2時間(90分)を7.5週

2. 履修登録

1)履修登録

大学では、授業を受講するにあたって、まず履修登録をしなければなりません。 履修登録をしていない科目を受講しても単位は認定されません。 履修登録にあたって は、各自の学修計画に基づいて、十分に検討してください。



履修計画の注意点

- 1. 「履修の手引」をよく読み、履修のルール(履修方法や履修規程)をよく知ること。
- 2. 「シラバス (講義概要)」をよく読み、授業の内容や概要をつかむこと。
- 3. 将来の目標に合わせて、必要とする授業科目を選択すること。
- 4. 担任との面談には必ず出席すること。
- 5. 各自の成績通知書を確認し、結果をふまえて履修計画を立てること。
- 6. 必修科目は必ず登録すること。 前年度の必修科目が修得できなかった場合は再履修すること。
- 7. 選択科目についてもそれぞれの履修区分や単位修得条件について注意してください。 必修科目ではないからといって履修放棄したり、単位を落としたりしてはいけません。
- 8. 卒業必要単位をギリギリ履修するのではなく余裕ある単位修得計画が必要です。

2)履修制限

履修できる授業科目数は、その授業科目の合計単位数で制限されており、学年ごとに履修登録可能な授業単位数の上限が決められています。この履修制限は、予習・復習等の自習時間を十分にとれるようにし、自ら学修を深めてもらうためのものです。

履修制限の単位数は次表のように定められており、この単位数を超えて履修することはできません。

履修登録の際には、卒業までの履修計画と合わせて履修制限内で登録の科目を考えてください。

■保健医療学部 看護学科 履修制限単位(2018年度以降入学生)

学 年	1年次	2年次	3年次	4年次		
学 期	前期後期	前期後期	前期後期	前期後期		
単位数	48	48	48	48		

■保健医療学部 看護学科 履修制限単位(2017年度以前入学生)

学 年	1年	次	2년	F次	3年	次	4年次		
学 期	前期	前期 後期 前期 後期				後期	前期後期		
単位数	45			5	4	5	4	5	

■保健医療学部 リハビリテーション学科 履修制限単位

	学 年	1年	F次	2 5	F次	3年	次	4 ź	F次
	学 期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
ĺ	単位数	4	8	4	8	4	8	4	8

3)履修登録の 変更・取消

履修登録確定後に変更する場合は、「学年暦及び行事予定表」(pp8 ~ 13) に示された 「<u>履修登録確認期間</u>」内に大学事務室(教務課)に申し出てください。

ただし、次の科目は変更できません。

- ア. 必修科目
- イ. 履修制限科目(定員があり、それを充足した科目)

①変更したい場合

「履修登録確認期間」内に、各自で Active Academy にアクセスし、変更してください。期間を過ぎての変更はできません。

②取消したい場合

前期・後期とも、第6週目の授業終了までに、所定の用紙に理由等を記入し、大学事務室(教務課)で申請してください。ただし、理由によっては認められない場合もあります。

3. 授 業

1)授業時間

1回の授業時間は90分です。通常、月曜日 \sim 金曜日は1 \sim 5時限で、土曜日は1 \sim 2時限で行います。

ただし、集中講義や補講などでこれ以外の時間帯に授業を行う場合があります。掲示板や学年暦及び行事予定表(pp8~13)で確認してください。

校時表

時 限	時間		
1	9:00~10:30		
2	10:40~12:10		
昼休み			
3	13:00~14:30		
4	14:40~16:10		
5	16:20~17:50		
6	18:00~19:30		

2)休講

大学の事情(入学試験等)や担当教員のやむを得ない理由(病気、出張等)により、休講になることがあります。

休講通知は、原則として1週間前に掲示します。ただし、急な事情のときは、やむを得ず当日に掲示されることもありますので、登校時には必ず掲示板を確認するようにしてください。

また、休講の掲示もなく、授業開始時刻から30分過ぎても担当教員が来室しない場合は、大学事務室に連絡して指示を受けてください。

3) 臨時休講

下記のア及びイの場合は、臨時休講となります。学生は各自で情報を的確に収集し、それぞれの判断で以下の定めに従って行動してください。その際、大学への問い合わせはしないでください。

ア. 交通機関ストライキの場合

以下に示すいずれかの交通機関がストライキを行った場合、次の時限が休講となります。

- ①午前7時の時点で実施されている場合:午前の授業(1・2時限)を休講とする。
- ②午前10時の時点で実施されている場合:午後の授業(3・4・5・6時限)も休講とする。

鉄道会社	対象になる路線
近 鉄	全線

イ. 気象警報が発表された場合

対象となる地域	対象となる気象警報の種類	
奈良県北西部又は大阪府	特別警報・暴風警報	

上記警報が発令された場合、次の時限が休講となります。ただし<u>大雨洪水警報は対象</u>外です。

- ① 午前7時の時点で警報が発表されている場合:午前の授業(1・2時限)を休講とする。
- ② 午前10時の時点で警報が発表されている場合:午後の授業(3・4・5・6時限)も休講とする。

交通機関のストライキ及び特別警報・暴風警報発表に伴う授業の休講措置について

スト実施及び特別警報・暴風警報発表時刻	授業の措置
午前7時以前に解除	休講しない
午前 10 時までに解除	午後 (3・4・5・6 時限) から授業
午前 10 時を過ぎても解除されない	全日休講

※通学途中、通学が危険かつ困難となった場合は、各自の判断で危険等を回避したのち、大学事務室に届け出てください。

4)補講

休講等によって授業時間数が規定時間数に満たない場合は、補講を行います。補講の日程・教室・時間等は、掲示板で指示します。

5)公欠·長期 欠席等 授業は勿論のこと、大学行事への参加は学生の本分です。そのため、次のようなやむを 得ない理由で授業を欠席する場合は、大学事務室へ申し出て「公欠届」、「公欠願」及び 「欠席届」の手続きを行ってください。ただし、公欠願が認められるのは、1つの授業科 目につき、原則3回までです。

なお、公欠を許可された学生は、公欠届または公欠願を、登学次第、速やかに提出し、 許可を得、当該授業科目担当教員に提出してください。

欠席理由	届の種類	必要書類等	手続先
忌引 〔父母(養父母を含む)・祖父母・ 実兄弟または実姉妹〕	公欠届 (忌引)	公的証明書 (写し可) と印鑑 〔父母 (養父母を含む) 3 日以内・ 祖父母 1 日以内・実兄弟または実 姉妹 2 日以内〕	教務課
感染症 (学校保健安全法施行規則第 18 条に規定)	公欠届 (感染症)	学校感染症治癒証明書 [書式は本学ホームページからダウンロード]	学生支援センター
交通機関の事故・ストライキ等	公欠届 (交通)	遅延証明書等と印鑑	教務課
災害等	公欠届 (災害等)	官公庁による被災証明書と印鑑	教務課
実習・実習に係る事前訪問	公欠届 (実習関係)	印鑑	教務課
単位互換協定大学等の試験	公欠届 (単位互換)	印鑑	教務課
国または都道府県を代表して、諸 行事に参加	公欠届 (特別)	印鑑	教務課
警報発表に基づく欠席	公欠届	通学証明書・遅延証明書等と印鑑	教務課
本学課外活動において学長が認めた 公式試合及び行事等に参加(注 1)	公欠願	事前に学生支援センターに届け出 ておくこと(同好会は対象外)	学生支援 センター
本学が認めるボランティア活動 に参加 (注 1)	公欠願	印鑑	学生支援 センター
就職試験等を受験	公欠願	企業が発行した就職試験の受験を 証明するもの	キャリア センター
病気・怪我等による1週間以上 の長期欠席	欠席届	医師の診断書と印鑑	教務課

(注1) 実習期間中の公欠願は認めません。

6)学校で予防 すべき感染症 学校において予防すべき感染症(第2種)の種類と出席停止期間の基準が決まっています。(学校保健安全法施行規則第18条・第19条)

これらの感染症にかかった場合は、以下の手続をしてください。

感染症名	出席停止期間の基準
インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適切な抗菌療法が終了するまで
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、 かつ、全身状態が良好になるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがないと認められるまで
	◎学校において予防すべき感染症第一種:治癒するまで
その他	◎学校において予防すべき感染症第三種:医師において感染の おそれがないと認められるまで

※出席停止の期間は、学校医、その他の医師において、感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

4. 試 験 1)定期試験

定期試験、論文(レポート)試験、実技試験、追試験及び再試験があります。なお、この他に担当者の判断で小テスト等の臨時試験を実施する場合もあります。

定期試験とは期間を定めて行う試験のことであり、試験期間は原則として以下の通りです。

- ア. 前期試験 7月下旬
- イ. 後期試験 1月下旬から(1・2年次)、12月中旬(4年次)

試験期間は毎年度、学年暦によって決定されます。

定期試験の時間割表は、試験の1週間前までに2号館1階、1号館1階掲示板に掲示します。

試験教室は通常授業の教室とは異なる場合があります。試験教室についても、試験の1週間前までに掲示板に掲示します。

2)論文(レポート) 試験・提出

授業科目によっては、論文 (レポート) 試験や実技試験等によって成績評価を行う場合があります。これらは定期試験の代わりとなるものですから、提出期限や条件等は厳格に守ってください。なお、論文 (レポート) 試験や実技試験は、担当教員が直接授業中に指示する場合と、掲示板を通して指示する場合があります。

また、試験とは別に、担当教員からレポート課題が課せられることがあります。この場合、担当教員が授業中に直接指示します。

18.1.4000						
提出期限	指定された提出期日・時刻は厳守することが必要です。					
	締切後の提出は一切、受理できません。					
提出先	指定された所へ提出してください。					
	(指定された提出先以外では受理できません)					
	①担当教員					
	②授業時間中もしくは授業担当者の研究室					
	③大学事務室窓口(レポート提出 BOX)					
受付時間	◎平日 8:30~16:30					
	◎土曜 8:30~13:00					
	- この時間内でも特に担当教員の締切時刻がある場合は、その締切時刻以降					
	は一切、受理できません。					

3)追試験

追試験とは、<u>やむを得ない正当な理由によって定期試験当日に受験できなかった学生又は論文(レポート)試験でレポートを提出することができなかった学生に対して</u>定期試験期間後に実施する試験のことをいいます。

追試験を希望する場合は、理由を証明する書類を添えて期間内に大学事務室教務課に申 し込んでください。

追試験の日程・試験教室については、2号館1階、1号館1階掲示板に掲示します。

欠席理由	証 明 書	備考
疾病等 (病気・怪我等)	医師の診断書	家族の病気の付き添い等は認めません。
忌引	公的証明書 (写し可) と 印鑑	父母(養父母を含む) 3 日以内・祖父母 1日以内・実兄弟姉妹2日以内。 法事による欠席は認めません。
就職試験等を受験	企業等が発行した就職試験 受験を証明するもの	会社訪問、セミナー、研修等は認めません。

交通障害	遅延証明書・事故証明書	20 分以内の遅延は認めません。 バイク、マイカー使用に起因する交通事故 及び交通渋滞による遅刻は認めません。	
災害(地震·台風·火 災·水害等)	官公庁による被災証明書	本人又は家族の居住地が被災した場合に 限ります。	
その他(本人の不注 意によらない理由で あること)	公的な証明書	事前に判明している場合は、大学事務室 に問い合わせてください。 資格試験等は認められません。	

追試験を受験するためには、上表のように、<u>当該試験を受験できなかったことが公的な</u> 証明書により明確に証明されなければなりません。例えば、診断書に証明されている日時 が試験日時と一致しない場合は、受付できませんので注意してください。

公的な証明書が添付されていなければ、理由の如何を問わず、追試験を受験することはできません。例えば、風邪などにより、自宅で療養していた場合は、医師の診断書がないため受付できません。必ず医師の診断を受けておくことが必要です。

忌引、就職試験、災害などによる欠席において遠隔地にいた場合は、往復のための所要 日数も考慮しますので大学事務室に申し出てください。

4)再試験

再試験とは、試験等で不可となった学生に対して、次の実施要領に従って実施する試験 のことをいいます。

(1) 目的

再試験とは、履修登録を行った科目の単位を修得することができなかった学生を 対象とする試験である。

(2) 受験範囲

試験等の結果、前期・後期で「不可」となった科目について、各学期末に受験することができる。

- (3) 再試験を許可される科目 担当教員が受験を認めた科目。
- (4) 受験手続き
 - ① 受験希望者は期日内に「再試験願」を大学事務室に提出しなければならない。
 - ② 再試験料は1科目1,000円とする。
 - ③ 再試験時間割は掲示により発表される。

5)試験受験の 心得

受験に際しては、次の注意事項を厳守してください。

- (1) 学生証を机上に置き、公正な態度で受験する。
- (2) 学生証・筆記用具・時計等の許可された物品以外は、すべてかばんの中に入れる。
- (3) 携帯電話は電源を切り、かばんの中にいれる。
- (4) 試験開始後20分が経過した場合には入室することはできない。また、試験開始後、30分が経過するまでは退室することはできない。
- (5) 出席不良等で受験停止を命じられている者は、受験することができない。
- (6) 履修登録をしていない科目は、受験することができない。
- (7) 質問がある時は、手を挙げて試験監督者に知らせる。
- (8) 許可された物以外のものが机上または机の中にある時は、不正行為とみなす場合がある。また、物品の貸借は認めない。
- (9) 解答用紙を試験場外に持ち出した場合は、当該試験を無効とする。
- (10) 試験中に不正行為を行った者は、厳しい処分を科す。

試験当日、学生証を忘れた場合

大学事務室内の自動証明書発行機で『仮学生証』(100円)を購入し、試験科目名、 試験教室を記入して、机上に置くこと。

- ※『仮学生証』は発行当日のみ有効
- ※ 年間 10 枚のみ発行

6)不正行為

(カンニング)

試験中の次の行為は、不正行為とみなします。

- (1) カンニングペーパーまたはこれに類似するものを試験中に所持または使用すること。
- (2) 他人に受験させ、または他人の代わりに受験すること。
- (3) 他人の答案をのぞき見することまたは故意に見せること。
- (4) 答案用紙を交換すること。
- (5) 持込みを許可されていない物品を参照すること。
- (6) 他の受験者と私語をすること。
- (7) 物品の貸借をすること。
- (8) 試験監督者の指示に従わないこと。
- (9) その他不正行為を疑われるような行為をすること。

試験中に不正行為をした者については、当該学期に履修登録した**全授業科目の単位を無効**とします。ただし、演習科目・実技科目の単位についてはこの限りではありません。

5.成績 1)成績評価

成績は100点を満点とし、60点以上を合格とします。履修した科目の成績評価は筆記試験・論文・レポート・実技テストその他、授業担当者の定める評価基準により行われます。 成績通知は科目ごとに、次の評価によって発表します。

	点 数	評価	成績通知書	成績証明書	単 位
_	90点~100点	秀	秀	秀	
5	80点~ 89点	優	優	優	単位認定(修得)
段階	70点~ 79点	良	良	良	半世迹化 (1914)
評	60点~ 69点	可	可	可	
価	0点~ 59点	不可	不可	表示しない	出位不到中(土板组)
100	評価不能	不可	不可	表示しない	単位不認定(未修得)

2)成績発表

成績発表は、原則として、学期末(前期末又は後期末)に成績通知書を学生個人に配付することによって行います。成績発表の日程については、学年暦で確認してください。

また、**成績に関する問い合わせは、**<u>成績発表後2週間以内</u>に大学事務室に申し出て、「成績評価問い合わせ票」に必要事項を記入・捺印のうえ提出してください。電話での問い合わせは受け付けません。

3)成績通知書と 修得単位

学期末の成績通知書には、その学期に受講した科目の成績評価(秀・優・良・可・不可) と、入学年度からの単位修得(合格)した科目の成績評価を示しています。

また、成績通知書には、履修区分別の単位修得表も掲載されています。指定された科目群の中から一定の単位を修得する必要がありますので、各自の成績表と比較して、卒業に必要な科目が何かを知るうえでの参考にしてください。

5

※注 意

①前期の成績通知書

- ○前期開講科目…確定した成績評価
- ○集中開講科目…確定した成績評価(8月中に授業が終了した科目のみ)
- ②後期の成績通知書
 - ○前期開講科目…前期に確定した成績評価
 - ○通年科目……前期と後期の成績をもとに最終的に確定した成績評価
 - ○後期開講科目…確定した成績評価
 - ○集中開講科目…確定した成績評価
- ※ 成績評価は、秀・優・良・可・不可で示す。

6. 卒業の要件

1)卒業の要件

本学保健医療学部では、卒業するために次の条件を満たす必要があります。

ア. 4年間以上の在学(休学期間を除く)

修ができるよう制度を設けています。

イ. 本学保健医療学部が定める卒業に必要な科目、並びに卒業に必要な単位数以上の修得

2)卒業に必要な 単位数 看護学科 2018 年度以降入学生は 27 ページ、2017 年度以前入学生は 51 ページ、リハビリテーション学科学生は 75 ページの履修規程第 4 条を参照してください。

7. GPA制度

方法

1)GPA制度導入 の趣旨 本学では成績評価に加えて、GPA(Grade Point Average)を導入しています。 GPAとは成績評価方法の1つで、履修科目の成績の平均を数値化したものです。また、 ただ単位を修得すればいいということではなく、その質(成績の評価)も重要となるため、 学生の皆さんが自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履

2)GPAの算出

履修登録科目のうち GPA 対象科目について、各科目の成績評価(秀・優・良・可・不可)に応じて5段階(4、3、2、1、0)に分けて数値化した評価点(Grade Point)に単位数を掛けたものを総合計し、履修登録科目の総単位数で割ることにより算出します。

 GPA =
 [(対象科目の単位数) × (その科目の評価点)] の合計

 履修登録科目の単位数の合計

※ 小数第3位を四捨五入

3)GPAの算定 基準

		評価	得点	評価点 (Grade Point)
	合格	秀	100~90点	4
		優	89~80点	3
判定		良	79~70点	2
		可	69~60点	1
	不合格	不可	0~59点	0
無判定	その他	認定	他大学又は短期大学等で 修得し、本学部で認定さ れた単位	-

4)GPAの 算出例

授業科目名	単位数	成績	評価点 (GP)	単位数 × 評価点 (GP)		
日本国憲法	2	秀	4	8		
看護学概論	2	優	3	6		
保健医療学概論	1	良	2	2		
奈良学	2	不可	0	0		
看護理論	1	優	3	3		
免疫学	1	良	2	2		
	9			2 1		
計	[単位数×	評価点 (GP	") の合計] ÷ [単位	立数の合計] = GPA		
ōΙ		2 1	÷	9 = 2.33		
			*	※ 小数第3位を四捨五入		

5)GPA値の 確認方法

GPA 値は成績・履修状況一覧表で確認できます。GPA 値には、学期 GPA と累積 GPA があり、学期 GPA は当該学期の GPA 値を、累積 GPA は通算した GPA 値を示します。

8.オフィス・ アワー

オフィス・アワーとは、教員が指定した曜日・時間帯に学生が自由に研究室を訪れ、授業内容・学修上の問題等について質問や相談ができる制度です。

各教員が指定した曜日・時間帯は、新学期当初に掲示します。授業担当の教員を始め、 多くの教員に、授業や学生生活に関することなどを相談してください。

なお、相談に際してはマナーを心がけ、有効に活用してください。

看 護 学 科



Ⅲ 看護学科(2018年度以降入学生)

1. 履修規程

(総 則)

第1条 本学学則第13条第3項の規定に基づき、保健医療学部看護学科(以下「本学科」) の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

(卒業資格

- 第2条 本学科を卒業するためには、4年以上在学し、132単位以上を修得しなければならない。
 - 2 看護師・保健師課程選択を選択した場合は、143単位以上を修得しなければならない。
 - 3 看護師・助産師課程選択を選択した場合は、155単位以上を修得しなければならない。

(授業科目の区分)

- 第3条 授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。
 - 2 共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養 科目、キャリア形成科目、及び導入基礎科目に区分する。
 - 3 専門基礎科目は、これを人間の理解、環境の理解、健康の理解に区分する。
 - 4 専門教育科目は、これを看護の考え方と方法、看護学の総合と発展、公衆衛生看護学、及び助産学に区分する。

(授業科目の履修)

第4条 本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(1)共通教育科目	25単位以上
(2)専門基礎科目	30単位以上
(3)専門科目	73単位以上
(4)専門基礎科目および専門科目の選択科目	4単位以上

(単 位)

第5条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とする。

(配当年次)

第6条 各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

(授業科目の履修制限)

第7条 授業科目については、原則として、年間48単位を超えて履修することができない。

(履修登録)

第8条 履修登録は、各学期初めに年2回行わなければならない。

(履修登録の制限)

- 第9条 授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限 を設けることがある。
 - 2 同時限に開講される授業科目は、1科目しか登録することができない。

(再登録)

第10条 単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。

2 単位を修得することができなかった授業科目は、第7条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

(履修登録の変更)

- 第 11 条 履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
 - 2 学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

(授業科目の開講)

第12条 授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

(授業の組分け)

第13条 履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

(単位の認定)

- 第 14 条 担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等(以下「試験等」という)、または平素の履修状況(学習態度等)により学修の成果を評価して単位を与える。
 - 2 各授業への出席が授業時間の3分の2 (実習においては5分の4) に満たない場合は再履修とする。

(単位認定を受ける資格)

- 第 15 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
 - (1) 授業料その他諸納入金が未納であるとき
 - (2) 履修登録をしていないとき

(試験等の成績評価)

- 第16条 試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
 - (1) 100 点から 90 点まで 🦸
 - (2) 89点から80点まで 優
 - (3) 79点から70点まで 良
 - (4) 69点から60点まで 可
 - (5) 59点以下 不可(不合格)

(受験上の注意)

第 17 条 学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

(再試験等)

- 第18条 試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
 - 2 再試験等の実施については、別に定める。
 - 3 再試験等で合格した者の成績評価は、60点(可)とする。

(追試験等)

- 第 19 条 病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
 - 2 追試験等の実施については、別に定める。
 - 3 追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附 則

この規定は、平成31年4月1日から施行する。

2. 履修に関する 留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の3分の2(実習科目においては5分の4)に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30分未満の場合は3分の1回の欠席扱いとし、30分以上の場合は1回の欠席扱いとします。

3)履修指導の 体制 各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、 課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共 有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学 生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、再履修しなければなりません。ただし、授業科目(原則的に選択科目は除く)によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります(ただし、成績の評価は60点を上限とし、受験回数は1回のみとします。)この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の 3分の2以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)看護学実習 科目の履修に 関する留意点 看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

- ①基礎看護学実習Ⅱを履修するためには、次の科目の単位を修得していること。「看護学概論」「看護コミュニケーション論」「看護倫理学」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅰ」
- ②3年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、3年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- ③統合看護学実習を履修するためには、<u>3年次後期までのすべての領域別実習の単位を</u>修得していること。

6)課程選択に 伴う履修上の 留意点

| (1) 看護師・保健師課程選択

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、「保健統計(2) 単位)」と公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目(7科目、13単位)を修得す ることにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

「公衆衛生看護学実習 I (地域活動)」「公衆衛生看護学実習 II (学校保健)」「公衆衛生看 護学実習Ⅲ(産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、3年次後 期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得していること。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通 教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話 I (1単位)」「英会話 Ⅱ (1単位)」「健康スポーツ(理論)(1単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作(2 単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「健康スポーツ(実技)(1単位)」「日本国憲 法(2単位)」の合計8単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師·助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する 科目群の全ての選択科目 14 科目 27 単位を修得することにより、看護師及び助産師国家 試験受験資格が得られます。

「助産学実習 I ~ IV」を履修するためには、3年次後期までのすべての助産師課程の科 目とすべての領域実習の単位を修得していること。

7)課程選択の 決定

3年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程(20 名以内)」、「看護師・助産師課程(女子のみ 10 名以内)」のいずれかを選択します。「看護 師・保健師課程」選択者は保健師国家試験受験資格を、「看護師・助産師課程」選択者は 助産師国家試験受験資格を看護師国家試験受験資格と同時に取得することが可能です。

「看護師・保健師課程」ならびに「看護師・助産師課程」の選択は、2年次の終わりに 希望調査を行い、3年次の始業までに希望者に対して筆記試験と面接を行い、それらの結 果と2年次までの成績を考慮して決定します。

3. 教育目的と 教育課程編成 の考え方

1)教育目的

2)教育課程編 成の考え方

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」 を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につ けた質の高い保健医療職者の育成を目的としています。

上記の教育目的とディプロマポリシーを実現するため、以下のようなカリキュラムポリ シーに基づき、看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格(保健師、助産師は選択制) を取得できるよう保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を満たした教育課 程を編成しています。

カリキュラムポリシー

- 1. 豊かな人間性や国際的感覚、汎用的能力を育むための科目を、1年次から4 年次までを通して配する。
- 2. 看護専門職者として、対象となる個や集団を理解し、倫理的態度を基本に全 人的看護ケアを実践する力を育むための科目を段階的に配する。
- 3. 専門性を発揮しながら、多職種と協働できる力を育むための科目を配する。
- 4. 看護専門職者として自己研鑽できる力を育むための科目を配する。

4. ディプロマ ポリシーと カリキュラム マップ

1)カリキュラム マップ

2)ディプロマポリシーを構成する要素

ディプロマポリシーと授業科目がどのように関係しているかを示したものをカリキュラムマップと言います。看護学科のカリキュラムマップを 37 ページから 38 ページに示します。カリキュラムマップでは、ディプロマポリシーを構成しているいくつかの要素に分けて示しています。それぞれの授業科目がどの要素を育成するかを◎または○で示しています。◎は特に重点的に育成することを、○は重点的に育成することを表しています。

看護学科ディプロマポリシー (DP)	構成要素
1. 国際的な視点をもち、幅広い教養と	1) 国際的な視点
豊かな人間性、変化に対応できる	2)幅広い教養
汎用的能力など確かな学士力を有	3)豊かな人間性
することができる。	4)変化に対応できる汎用的能力
2. 看護職として個別的で多様な保健医	1) 看護者としての倫理的態度
療ニーズに倫理的配慮をもって応	2)保健医療ニーズを捉える力
えることができる。	
3. 人間愛に基づき「人」を中心に据え	1)個に対する看護を実践するための専
た専門的知識と高度な技術、創造	門的知識
力、実践力、協調性などを備え、	2) 個に対する看護を実践するための技
主体的に全人的ケアができる。	術
	3)創造性と協調性をもって主体的に看
	護を実践する力
4. 学際性を培い、専門性を発揮しなが	1)他職種と協働するための調整力
ら他職種と連携・協働し、チーム	2)他職種連携やチーム医療を推進する
医療を推進することにより社会に	基礎力
貢献できる。	

看護学科 カリキュラムマップ

		 		単	位数		DF	⊇1		DI	2		DP3		DF	94
菜区	分分	授業科目の名称	部当年次	悠悠	選択	1)国際的 な視点	2)幅広い 教養	3)豊かな 人間性	4)汎用的 能力	1)倫理的 態度	2)保健医療ニーズ	1)専門的 知識	2)技術	3) 創造性 ·協調性 · 主体的実践力	1)調整力	2)他職種 連携も推 進力
		英語 I 英語 II	1前	1		0			00							
		英会話Ⅰ	1前	1		0			000							
		英会話 I 中国語基礎 I	1後	1	1	0			00							
		中国語基礎Ⅱ	1:2:3:4機		1	<u></u>			ŏ							
		中国語会話	1:2:3:4節		1	0			00							
		スペイン語基礎 I スペイン語基礎 II	1-2-3-4前		1	0			0							
		スペイン語会話	1.2.3.400		1	ŏ			ŏ							
		文学 哲学	1.2.3.4版		2		0									
	益	倫理学	1-2-3-4前		2			0	0	0						
	碰	心理学	1-2-3-4前		2		0	0								
	教養	行動の科学 文化人類学	1-2-3-4後		2	0	8	0								
		音楽の世界	1:2:3:4微		2	Ŭ	0									
		社会学日本国憲法	1-2-3-4後		2		0									
		歴史学	1.2.3.48		2	0	0									
		地理学	1-2-3-4後		2	0	0									
共通		数学の世界 自然科学の基礎	1:2:3:4節	-	2		0		00							
教育		環境化学の基礎	1.2.3.4後		2		0									
料		健康スポーツ(理論)	1前	1	-		0									
Ħ		健康スポーツ(実技) スポーツ実技 I	1-2-3-4後	\vdash	1		0	0								
		スポーツ実技Ⅱ	1:2:3:4微		1		O_	0								
	共生	共生と社会 人権論	1-2-3-4億	\vdash	2		8	0						1		
	教	ポランティア活動	1-2-3-4前		2			ő	0							
	養	生活と環境	1.2.3.40		2		0									
	8	奈良学 異文化コミュニケーション	1:2:3:4前	 	2	0	0									
	(B) (B)	国際事情	1.2.3.4後		2	0	0									
	情	情報機器の操作 情報倫理とセギュリティ	1前 1・2・3・4前	2	2		0	0	0	0						
	報教	データの世界	1.2.3.40		2		0		<u> </u>							
	難	CGの基礎と演習	1-2-3-4後		2		0									
ŀ	‡ *	情報と分析 キャリアデザイン I	1:2:3:4隆		1		0	0	0							
	Ý U	キャリアデザインⅡ	1後		1			Ŏ	0							
	リ ア 形 成	キャリアディベロップメント I キャリアディベロプメント II	2前 2後		1			$\stackrel{\circ}{\sim}$	0							
l	等人 基礎	基礎演習 I (ラーニングスキルズ)	1前	1	_				0							
	報	基礎演習Ⅱ(文章表現)	1後	1					0							
		小計(46科目) 人体構造機能学 I	1前	9	63							0				
	人	人体構造機能学Ⅱ	1前	2								0				
	間の	発達心理学	180	2								0				
	理	生化学 栄養学	1 mi	1								0				
	解	微生物学	1前	1								0				
		免疫学 疫学	1前 2後	1								0				
	理	公衆衛生学	1後	1								0				
_	境の	社会福祉学	180	1								0				
専門基	理解	医療福祉関係法規 保健医療福祉行政論	1前 2後	1								0				
基礎		保健統計	2後		2						0	0				
科目		保健医療学概論 病理学	1前	1								0				
_		疾病治療論 [1後	1								0				
	健	疾病治療論Ⅱ	1後	1								0				
	康	疾病治療論Ⅲ 疾病治療論Ⅳ	1後	1								00				
	の 理	疾病治療論V	2前	1								0				
	辉	疾病治療論VI 小児疾病治療論	2前	1								00				
		栄養治療論	2後	1								0				
		薬理学 リハビリテーション論	1後	2								0	0			
		小計 (25科目)	- 2仮	30								0				
		看護学概論	1前	2						0	0	0				
		看護倫理学 看護コミュニケーション論	1前	1	-					0		0	0			
		基礎看護技術演習Ⅰ	1前	2								Ō	0	0		
		基礎看護技術演習 I 看護理論	2前	2								0	0	0		
		看護理論 看護過程演習	1後 2前	1							0	00		<u> </u>		
		ヘルスアセスメント	2前	1								000	0	0		
		保健医療倫理学 基礎看護学実習 I	1後	1	F					00		Ō	0	0		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2							0		8	0		
		成人看護学概論	1後	2						0	0	0				
専		成人看護学援助論 成人看護援助論演習	2通	2							$\stackrel{\circ}{\sim}$	0	0	0		
P9 科	~	老年看護学概論	2前	1							Ō	0				0
科目	看護の考え方	老年看護援助論 老年看護援助論演習	2後 3前	1							0	0	0	0		
		小児看護学概論	2前	2						0		00		\vdash		
		小児看護援助論	2後	1							0	0				
	Ł	小児看護援助論演習 母性看護学概論	3前 2前	1						0	0	0	0	0		-
	方法	母性看護援助論	2後	1						Ŭ	ŏ	0	0			
		母性看護援助論演習 精神看護学概論	3前 2前	1						0	0	0	0	0		
		精神看護援助論	2後	1							8	0	0			
		精神看護援助論演習	3前	1								ŏ	0	0		
		成人看護学実習 I (急性期·周手術期) 成人看護学実習 II (慢性期·回復期·終末期)	3後	3							00		0	0		
		老年看護学実習Ⅰ	3後	2							0			0		0
		THE PERSON OF TH	3後	2							Ŏ		0	0		
		老年看護学実習 II 小児看護学実習	3後	2							0		ŏ	0		

看護学科(2018年度以降入学生)

				単位	単位数 DP1					DF	2	DP3			DP4	
料目区分		授業科目の名称	当年次	必修	選択	1)国際的 な視点	2)幅広い 教養	3)豊かな 人間性	4)汎用的能力	1)倫理的態度	2)保健医療ニーズ	1)専門的 知識	2)技術	3)創造 性・協調 性・主体 的実践力	1)調整力	2)他職種 連携も推 進力
		母性看護学実習	3後	2	П						0			0		0
		精神看護学実習	3後	2							Ō			0		Ō
		ターミナルケア論	4前		1					0		0				Ō
		感染看護	4前		1							0	0			
		家族看護学	4前		1						0	0				
		ベインコントロール論	4前		1						0	0	0			
19		在宅看護学棋論	2前	1	\vdash							0			0	0
P9		在宅看護援助論	2後	2							0	0	0			
料		在宅看護援助論演習	3前	1								Ō	0	0		
Ħ		在宅看護学実習	3後	2	\Box								0	0	0	
		看護管理学	4前	2	П							0			0	0
	-6	チーム医療論	4前	1		i				i		0			Ō	Ō
	额	チーム医療論演習	4後		1	i e				i e		Ō			0	Ō
1 1	の	統合看護論	4後	2	П						0	0				Ŏ
	統合	統合看護学実習	4前	2										0	0	0
	2	国際看護論	4前	1	П	0					0	0				
	実	国際看護論演習	4後		1	0						0			0	
	践	地域包括ケア論	4後		1						0	0				0
		災害看護学	4後		1							0	0		0	
		看護教育学	4後		1							0				
		カウンセリング論	4後		1					0		0	0			
		卒業研究Ⅰ	4前	1	П							0				
		卒業研究Ⅱ	4前後	1					0	0						
1 [公衆衛生看護学概論	2前	2	П						0					0
		公衆衛生看護学方法論 I	3前		2						0	0				
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	3ñi		2						0	0				
	衆	公衆衛生看護学] (地域活動)	2後	2							0	0			0	
	衛生	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	3前		2						0	0			0	
	~	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	3前	2							0	0			0	
	额	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)	4通		ε									0	0	0
	学	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4通		1								0	0	0	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4通		1							0	0	0	0	
1 [公衆衛生看護学診断演習	4前		2						0	0	0			
I [助産学概論	3前		2					0		0				0
		ウィメンズヘルス学	3前		2						0	0	0			
1 1		周産期医学	3áú		1							0				
1 1		助産診断・技術学Ⅰ	3èú		2						0	0	0			
1 1		助産診断・技術学Ⅱ	3後		2						0	0	0			
1 1	n.	助産診断・技術学Ⅲ	3後		2						0	0	0			
	助産	助産診断・技術学演習Ⅰ	3後		1							0	0	0		
	産学	助産診断・技術学演習Ⅱ	4前		1							0	0	0		
1 1		助産学実習Ⅰ	4通		2								0	0	0	
1 1		助産学実習Ⅱ	4通		4								0	0	0	
1 1		助産学実習Ⅲ	4通		4								0	0	0	
1 1		助産学実習IV	4通		1								0	0	0	
1 1		地域母子保健	4前		1						0	0				0
\Box		助産管理論	4前		2							0			0	0
I = I		小計 (78科目)	-	73	50											
		습計		112	_											

(注) DP1 ~ DP4 は P31 を参照



保健医療学部看護学科カリキュラム

公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)* 公衆衛生看護学川(学校保健)* 公衆衛生看護学実習!!(学校保健)* 保健師課程 公衆衛生看護学方法論!!* 公衆衛生看護学実習 | (地域活動) * 公衆衛生看護学方法論 | * 公衆衛生看護学診断演習 * 助産診断・技術学 | * 周産期医学* 助産診断・技術学演習 | * 助産学実習!!* 地域母子保健* 助産師課程 助産診断・技術学!!!* ウィメンズヘルス学* 助産管理論* 助産学実習!!!* 助産学概論* 助産診断・技術学演習||* 助産学実習|V* 助産診断・技術学川* 卒業研究 | 看護の統合と実践 統合看護実習 統合看護論 国際看護論演習* 国際看護論 チーム医療論 チーム医療論演習* 看護管理学 災害看護学* カウンセリング論* 看護教育学* 在宅看護学概論 在宅看護援助論 在宅看護援助論瀋習 在宅看護学実習 地域包括ケア論* 看護学の 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学 | (地域活動) 公衆衛生看護学 || (産業保健) 看護の考え方と方法 _{家族看護学*} 拡がりと深まり 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護援助論演習 精神看護学実習 (発達段階・健康状態に 母性看護学概論 母性看護援助論演習 母性看護学実習 母性看護援助論 応じた看護) 小児看護学概論 小児看護援助論演習 感染看護* 老年看護学実習!! 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護援助論演習 老年看護学実習। 成人看護学実習 | (急性期·周手術期: 成人看護援助論। 成人看護援助論口 成人看護援助論演習 (急性期・周手術期) (慢性期・回復期・終末期) 成人看護学概論 成人看護学実習!! 基礎看護学実習 | 基礎看護技術演習! 看護の考え方と方法(看護の基礎) 基礎看護技術演習! 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 保健医療倫理学 基礎看護学実習II 看護倫理学 看護過程演習 看護学概論 健康の理解 疾病治療論IV (感覚器•運動器系) 疾病治療論!!! (免疫•神経系) 小児疾病治療論 リハビリテーション論 疾病治療論 II (消化器·内分泌·腎尿路系) 栄養治療論 疾病治療論 | (循環器・血液造血器・呼吸器系) 保健医療学概論 保健統計* 医療福祉関係法規 保健医療福祉行政論 環境の理解 公衆衛生学 社会福祉学 免疫学 微生物学 人間の理解 栄養学 生化学 発達心理学 人体構造機能学!! 人体構造機能学! * は選択科目

共通教育科目

1年次 2年次 3年次 4年次

5. 看護学実習の 概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の 概要と開講時 期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり1年次から4年次まで段階的に実習を開講します。

1年次:基礎看護学実習 I を履修し、臨床現場を経験することで、将来の自分の姿を想像し、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

2年次:基礎看護学実習Ⅱを履修し、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

3年次: 各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等、対象の特性に 応じた適切な看護を行う能力を養います。

4年次:統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。 保健師または助産師課程選択の学生(2年次終了後に選抜)は公衆衛生看護学実習または助産学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時間

必修/選択	実習科目	開講時期	単位
	基礎看護学実習I	1年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	2年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ		6
~! \rac{1}{2}	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
必修	小児看護学実習	2 左次然期	2
	母性看護学実習	3年次後期	2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	4年次前期	2
\22 +O	公衆衛生看護学実習Ⅰ~Ⅲ	4/5/5	5
選択	助産学実習Ⅰ~Ⅳ	4年次	11

2)看護学実習 要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、1年次から継続して実習教育を行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オリエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習 | の評価

看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の 担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに 関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、<u>秀、優、良</u>、 可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

※ 出席が 4/5 に満たない場合は再履修となります。

4)実習中の事 故防止と対 処

- ①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。
- ②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。
 - ※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険(総合補償保険 will 保険) に加入します。

5)感染防止

- ①自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。
- ②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。
- ③定期健康診断時(4月)に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。3年生は麻疹・風疹の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。
- i 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の 学生は母子健康手帳などの予防接種歴(ワクチン接種歴)を確認し、下記の対応をし てください。
- ・ワクチンを2回接種している→2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを1回接種している→ワクチン接種を1回受けて、2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→1ヵ月以上の間隔をあけて、2回予防接種を受ける。接種後、2回分の接種証明書を提出。

提出先:学生支援センター

提出書類:接種証明書(医療明細書または母子健康手帳の写し)

提出期限:基礎看護実習 I が始まる1ヵ月前

なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センター に申し出てください。

ii 結核感染の有無について (T-スポット)

検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。

iii HBs 抗体(B型肝炎)について

HBs 抗体陰性(-)の学生はワクチン接種を受けてください。

- ※HBs 抗体のワクチンは、3回の接種が必要で、終了までに約7か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。
- iv インフルエンザについて

感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

6. 看護師・保健 師課程選択者 選考要領

(趣旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部看護学科 履修規定第2条第2項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目(以 下「保健師課程選択科目」という)を選択できる学生の選考方法について、必要な 事項を定めるものとする。

(保健師課程選択科目の定義)

第2条 保健師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(履修定員)

第3条 保健師課程の履修定員は、原則20名までとする。

(履修者の決定及び選考)

- 第4条 前条の保健師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会(以下、「学部企画委員会」という)において行う。
 - 2 履修者の選択は、3年次前期開講までに行う。
 - 3 別表2に定める科目の筆記試験、面接、及び2年次までの成績によって選考する。
 - 4 選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会(以下、「選考委員会」という)が行う。志願者が第3条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

(履修志願手続き)

- 第5条 保健師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で、2年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。
 - 3 申請に必要な書類は、所定の志願書及び「保健師課程選択志願理由書」とする。

(選考結果の通知)

第6条 保健医療学部長は、第4条による結果を、志願者に対して通知する。

(雑 則)

第7条 この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

(改 廃)

第8条 この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

- この要領は、平成27年9月2日から施行する。
- この要領は、平成30年7月4日から施行する。

別表 1 保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
	公衆衛生看護学方法論I	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	2	30
専門科目	公衆衛生看護学実習 [(地域活動)	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合 計		15	405

別表2 筆記試験科目

「保健医療学概論」、「公衆衛生学」、「公衆衛生看護学概論」、「社会福祉学」上記科 目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識

7. 看護師·助産 師課程選択者 選考要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部看護学科 履修規定第2条第3項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目(以 下「助産師課程選択科目」という。)を選択できる学生の選考方法について、必要 な事項を定めるものとする。

(助産師課程選択科目の定義)

第2条 助産師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(助産師課程選択科目の授業時間)

第3条 助産師課程選択科目の授業は、履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

(履修定員)

第4条 助産師課程選択の履修定員は、女子に限り、原則10名までとする。

(履修者の決定及び選考)

- 第5条 前条の助産師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会(以下、「学 部企画委員会」という)において行う。
 - 2 履修者の選考は、3年次前期開講までに行う。
 - 3 別表2に定める科目の筆記試験、面接、及び2年次までの成績によって選考する。
 - 4 選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会(以下、「選考委員会」という)が、学部企画委員会で決定された選考要領に基づいて行う。志願者が第4条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

(履修志願手続き)

- 第6条 助産師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で、2年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。
 - 3 申請に必要な書類は、所定の志願書及び「助産師課程選択志願理由書」とする。

(選考結果の通知)

第7条 保健医療学部長は、第5条による結果を、志願者に対して通知する。

(雑 則)

第8条 この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

(改 廃)

第9条 この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

- この要領は平成27年9月2日から施行する。
- この要領は平成30年7月4日から施行する。

別表 1 助産師課程選択科目

科目名	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウィメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学 I	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習 I	1	30
助産診断・技術学演習Ⅱ	1	30
助産学実習 I	2	90
助産学実習Ⅱ	4	180
助産学実習Ⅲ	4	180
助産学実習Ⅳ	1	45
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
<u></u> 습 計	27	765

別表2 筆記試験科目

1. 専門基礎科目試験

人体構造機能学Ⅰ、人体構造機能学Ⅱ、疾病治療論Ⅰ(循環器・血液造血器・呼吸器系)、疾病治療論Ⅱ(消化器・内分泌・腎尿路系)、疾病治療論Ⅲ(免疫・神経系)、疾病治療論Ⅳ(感覚器・運動器系)、小児疾病治療論、の範囲から出題する。

2. 専門科目試験

母性看護学概論、母性看護援助論、の範囲から出題する。

授業科目表

_		T													●…必修 ○…選択
			単化	立数					配当	年次					
科	科					1	年	2	年	3:	年	4	年	時	
目区分	目	授業科目の名称	ūλ	選	配当年次		_	_		_			_	間	卒業に必要な 単位数
分	群		修	択		前	後	前	後	前	後	前	後	数	1 11200
						期	期	期	期	期	期	期	期		
		英語 I	1		1前	•								30	
		英語 II	1		1後		•							30	
		英会話 [1		1前	•								30	
		英会話 🛚	1		1後		•							30	
		中国語基礎 [1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		中国語会話		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎I		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎 Ⅱ		1	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		スペイン語会話		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		文学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		哲学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	基	倫理学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	礎	心理学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0	Ш	30	
	教養	行動の科学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		文化人類学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		音楽の世界		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		社会学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		日本国憲法		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		歴史学	-	2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		地理学		2	1.2.3.4後		0		0	_	0		0	30	
共		数学の世界		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
通教		自然科学の基礎		2	1 · 2 · 3 · 4後		0		0		0		0	30	25単位以上 (必修9単位を含む)
育		環境化学の基礎 健康スポーツ(理論)	1	2	1·2·3·4後 1前	•	0		0		0		0	30 15	
科目		健康スポーツ (実技)		1	1.2.3.4後	_	0		0		0		0	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1.2.3.4版	0		0		0	0	0		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		共生と社会		2	1.2.3.4後		0	-	0		0	-	0	30	
	共生	人権論		2	1.2.3.4前	0		0		0	Ŭ	0		30	
	教	ボランティア活動		2	1.2.3.4前	0		0		0		0	Н	30	
	養	生活と環境		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	奈	奈良学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	良・	異文化コミュニケーション		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
	国際	国際事情		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		情報機器の操作	2		1前	•								30	
	情	情報倫理とセキュリティ		2	1.2.3.4前	0		0		0		0	П	30	
	報教	データの世界		2	1.2.3.4前	0		0		0		0	П	30	
	養	CGの基礎と演習		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
	L	情報と分析		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
	+	キャリアデザインI		1	1前	0								30	
1	Ú	キャリアデザインⅡ		1	1後		0							30	
	ア形	キャリアディベロップメント I		1	2前			0						30	
	成	キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				0					30	
	導入基礎	基礎演習 I (ラーニングスキルズ)	1		1前	•								30	
	礎	基礎演習Ⅱ (文章表現)	1		1後		•						Ш	30	
		小計 (46科目)	9	63	=:										

^{※「}中国語基礎Ⅱ」を履修するためには「中国語基礎Ⅰ」を修得していることが、「スペイン語基礎Ⅱ」を履修するためには「スペイン語基礎Ⅰ」を修得していることが必要です。

		<u> </u>	205.4			1			포그게	年次					
			単1	立数					BC=	干火					
科日	科					1	年	2	年	3	年	4	年	時	卒業に必要な
目区分	目群	授業科目の名称	必	選	配当年次									間数	単位数
77			修	択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						297	240	240	247	207	247	247	240		
		人体構造機能学 I	2		1前	•								30	
	人	人体構造機能学Ⅱ	2		1前	•								30	
	間の	発達心理学 生化学	1		1前 1前	•								30 15	
	理	栄養学	1		1前	•								15	
	解	微生物学	1		1前	•								15	
		免疫学	1		1前	•								15	
		疫学	2		2後				•					30	
	環	公衆衞生学	1		1後		•							15	
	境の	社会福祉学	1		1前	•								15	
	理解	医療福祉関係法規	1		1前	•			_					15	107単位以上
専門	731	保健医療福祉行政論	2	_	2後				•			-		30	専門基礎科目必修30単位
基礎	-	保健統計 保健医療学概論	1	2	2後 1前	•			0			-		30 15	+ 専門科目必修73単位
科		病理学	1		1前	•								15	+ 選択科目4単位以上
B		疾病治療論 I (呼吸器・循環器・血液造血器系)	1		1後	Ť	•							30	
		疾病治療論 Ⅱ (消化器・内分泌・腎尿路系)	1		1後		•							30	
	健	疾病治療論Ⅲ (免疫・神経系)	1		1後		•							30	
	康の	疾病治療論Ⅳ (感覚器·運動器系)	1		1後		•							30	
	理	疾病治療論 V (生殖器系・精神疾患)	1		2前			•						30	
	解	疾病治療論VI(老年医学)	1		2前			•						30	
		小児疾病治療論	1		2前			•						30	
		栄養治療論	1	-	2後	_	_		•					15	
		薬理学 リハビリテーション論	2		1後		•		•					30	
			1		2後				•					30	
		小計 (25科目)	30	2	-										
		看護学概論	2		1前	•								30	
		看護倫理学	1		1前	•								15	
		看護コミュニケーション論 基礎看護技術演習 I	1 2	-	1前 1前	•								30 60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		1後	-	•							60	
		看護理論	1		1後		•							15	
		 看護過程演習	1		2前			•						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			•						30	
		保健医療倫理学	1		1後		•							15	
		基礎看護学実習 I	1		1前	•								45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後		_		•					90	
		成人看護学概論	2	-	1後		•							30	
		成人看護援助論 I (急性期·周手術期) 成人看護援助論 II (慢性期·回復期·終末期)	1	-	2前 2後			•	•					30	
		成人看護援助論演習	2		3前					•				30 60	
専		老年看護学概論	1		2前			•		Ť				15	
P9	看	老年看護援助論	1		2後				•					30	
科	護の	老年看護援助論演習	1		3前					•				30	107単位以上
Ħ	考え	小児看護学概論	2		2前			•						30	専門基礎科目必修30単位
	方	小児看護援助論	1		2後				•					30	専門科目必修73単位
	と方	小児看護援助論演習	1		3前					•				30	選択科目4単位以上
	法	母性看護学概論	2	-	2前			•						30	
		母性看護援助論	1		2後 3前				•	•				30	
		母性看護援助論演習 精神看護学概論	1		2前			•						30 15	
		精神看護援助論	1		2後			-	•					30	
		精神看護援助論演習	1		3前				-	•				30	
		成人看護学実習 I (急性期·周手術期)	3		3後						•			135	
		成人看護学実習 I (慢性期·回復期·終末期)	3		3後						•			135	
		老年看護学実習 [1		3後						•			45	
1		老年看護学実習Ⅱ	3		3後						•			135	
													1	90	i
		小児看護学実習	2		3後	_				-	•				
		小児看護学実習 母性看護学実習	2		3後						•			90	
		小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	_	1	3後 3後						_	_		90 90	
		小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 ターミナルケア論	2	1 1	3後 3後 4前						•	0		90 90 15	
		小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	2	1 1 1	3後 3後						•	0 0		90 90	

看護学科(2018年度以降入学生)

			単位	立数					配当	年次					
科日	科	m#tv= a at			Talle	1	年	2	年	3:	年	4	年	時間	卒業に必要な
科目区分	科目群	授業科目の名称	必修	選択	配当年次	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	数	単位数
		在宅看護学概論	1		2前			•						15	
専門		在宅看護援助論	2		2後				•					60	
門科		在宅看護援助論演習	1		3前					•				30	
B		在宅看護学実習	2		3後						•			90	
		看護管理学	2		4前							•		30	
	看	チーム医療論	1		4前							•		15	
	護	チーム医療論演習		1	4後								0	30	
	学の	統合看護論	2		4後								•	30	
	統	統合看護実習	2		4前							•		90	
	統合と発	国際看護論	1		4前							•		15	
	発展	国際看護論演習		1	4後								0	30	
	茂	地域包括ケア論		1	4後								0	15	
		災害看護学		1	4後								0	15	
		看護教育学		1	4後								0	15	
		カウンセリング論		1	4後								0	15	
		卒業研究 I	1		4前							•		30	
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							•	•	30	
		公衆衛生看護学概論	2		2前			•						30	
		公衆衛生看護学方法論 I		2	3前					0				30	107単位以上
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					0				30	
	公衆	公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後				•					30	専門基礎科目必修30単位 +
	衛	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					0				30	専門科目必修73単位 +
	生看護	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					•				30	選択科目4単位以上
	護学	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)		3	4前後							0	0	135	
	7	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)		1	4前後							0	0	45	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前後							0	0	45	
		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							0		60	
		助産学概論		2	3前					0				30	
		ウィメンズヘルス学		2	3前					0				30	
		周産期医学		1	3前					0				15	
		助産診断·技術学 I		2	3前					0				30	
		助産診断·技術学Ⅱ		2	3後						0			30	
		助産診断·技術学Ⅲ		2	3後						0			30	
	助	助産診断·技術学演習 I		1	3後						0			30	
	産学	助産診断·技術学演習Ⅱ		1	4前							0		30	
		助産学実習Ⅰ		2	4前後							0	0	90	
		助産学実習Ⅱ		4	4前後							0	0	180	
		助産学実習Ⅲ		4	4前後							0	0	180	
		助産学実習Ⅳ		1	4前後							0	0	45	
		地域母子保健		1	4前							0		15	
1	l	助産管理論	l	2	4前							0		30	
		小計 (79科目)	73	50	_										
\vdash		合計 (150科目) 132単位以上	112	115	-			<u> </u>		·必修 ·選択		<u> </u>			

■看護師課程 履修モデル

松 縣 羊		25 25単位3と 25単位以上		毎門基礎利目 多の 必修の単位 事門教目の修了3 専門新報 利日 等門新報 利日 第77 大び専門教育 77 発行教目 4年位以上								
中	12	0 0 4	٥ و	r £		1						
<後期> 国 ^{単位} 区分					01 7 7	※						
4年生 8分 科						供送機 (公司) (公司						
(開期)					ターミナルケア議 等級信職学 等級信職学 存業研究 1	● C. 参 C. 参 C. 参						
46/ 本位 区分					夕	※ 2 を ・						
∓生 <後期					の 内 人	0 SH27						
3年 (前期) (以) (以) (以)						が 会議会 できた できた かんしゅう できた かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう						
<後期> 科目 単位 区分		2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		及学 保護医療協能行政論 2 必 保護医療協能行政論 1 必 リハビリテーション論 1 砂	(中央機関短距離 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	股際 4 4 4 4 4 4 4 6 6 6 6 6 6 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
期> 2年生期	2 選 側面法	7 7 7	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 	의 공 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의	公子(4) 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7						
	超 空 題	生活と環境情報をセキュリ	が キャリファ ペ ロタノ X 必	応 (本) (**)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	δ Γ Θ 60						
(後期)	鍛	l l l l l l l l	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##		の経過機及が減減11 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	議会議会議会議会議会 (基本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本)						
(前期) (本四区分) (本四区分) (本四区分)	1 必 1 必	京本 2 0 0 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	(5-2)ガ) 1 数 (5-2)ガ) 1 数 (8世) 1 2 数 (8学) 1 2 数 (8学) 1 2 数 (8学) 1 2 数	() () () () () () () () () ()	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1						
以 本 本 四 数 の 数 の 数 数 数 の 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	基 英語 1 英会話 1 教 健康	共生 奈良・情報 エ	ア形成 人間の理解キャリ 美徳(鬼)人(人)生意	職職の登録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	雪箋のきえつどった 看護学の 公衆衛	基份 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中						

看護学科2018以降	
P4	看護学科2018以降

	脚					25 必修9単位急む	T X 31 + C 7								事ご御稿な団 必参30単位	32 「保護部門」	1韓国2単位									專門科目必修73	中位	専門基礎科目およりを	器供料目4単位以 86	4	公衆衛生製却改革	7科目13単位						25	版表 O M 10 30 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32	1 9	00	143
进	1	57		c	N		٧	4	t	ıc			0	2		Г	ຫ		5										90									0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	松 222	(13	成 112 第 31
IT	単位 区分			I			I									H					l	H			I		H				Λ · Ø Ø		I		00	照 朔	翔 -	0	0	0 0	7 0	2 2
年	· · · · · ·																													のは、	林口自護部卒業研究工				* 000-4-1 PER 199 - 100-4-1	公深闻生看護字美宮 I 公衆衛生看護学実習 I	公衆衛生看護学実習皿	を修	過行			
4年	単位 区分	Ħ			ŀ	H		Ħ						Ħ		H			+	H	▐	Ħ						ŀ	H		 3 3	Σ,	Λ - δ \$	- ≥	6	要要	関盟	0	0	0 00	2 分譲	8 15
((M)																													1 10000	华栗町光 I 卒業研究 II	統合看護実習	国際同様子子一人医療語	国際看護論	* 100 cm 945 945 350 TF 100 500	X來闻生看護字美名 1 X衆衛生看護学実習 I	2.衆衛生看護学実習皿 3.衆衛生看護学診影響型		京斯 	選択	選択	の後
	単位 区分	Ħ						Ħ		Ħ			1			H			ŀ		F	Ħ			2		- c	20 CZ 20 ZZ 20 ZZ	2 83	\$20 5	N SS	366 1	80 H	1		8 84	24.50	0	容飾り	9 9	0	18 18
年年 <総 題>	\ E 																								一段世を無事でも	成人看護学実習工	老年看護学実習』	お牛有護子実営 小児看護学実習	母性看護学実習	精神香護学実習	日七旬後十米郎								選択 ○ 図像 ○ の 図像			
3	単位 区分				ł																l	2 18	~ ₹3		~ 4 ₹9 ₹	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		ł		70	- 20		ł		2 0	2 2 第	2 選	0	0	00	9	9 15
会報	() ()																					1	老年書護援助精演習	ш	小児看護援助論演習						日七 旬 碳子拔型溶液型				公衆衛生看護学皿(産業)		公衆衛生看護学方法論Ⅱ					
	単位 区分	照 7				2										2 8	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	∠ Ø	<i>−</i> Ø		1	1		Ω 20	~ 4 ₹9 ₹	- - 5 5				ç	Ŋ				2 3			0,	4 (0)	瀬世 2 0	0	17 23
班	(行動の科学				異文化コミュニケーション										疫学	保健医療福祉行政議 保健統計	栄養治療論	リハアリテーション鑑		老年看護援助論	成人看護援助論工		基礎看護学実習Ⅱ	小児看護援助論 母性養護期除	精神看護援助論				25日本報用をよ	日七台談核助照				公衆衛生看護学1(地域)			10/60 10/10			選択[0] 12	
25	単位 区分	-		2 選	+			2 選		開								ے چ	~ ~ 첫 첫		23	1 18	 Ø 2	-	Ω 0 නි ≅	-	H	+		70	ğ			+	2 3			2 -	- თ	12 7	0 12	15 22
Ш	(M)			ボラケイ 活動				OGの基礎と演習		**リア′ イイ、 Dップ メント I								疾病治療論V	小児疾病治療論 疾病治療論 VI		老年看護学概論	成人看護援助論」	春護過程策器 AG2Pb2X2A	-	小児看護学概論	精神香護学概論				Arrely and aggressive earrange	日七旬級小紋第				公衆衛生看護学瓶論			必修				
	-	 3 3	- 開											Ш		_ Ø		∠ \$3	~ ~ 평 평		ハロ	_	- v 対対									Ш						33		0 9	0	16 18
(金 題)	(M)	英語』 英会話』	健康スポーツ(実技)							キャリアデザインI 基礎構製T(や着)						公衆衛生学		疾病治療論 [疾病治療論工疾病治療論団	疾病治療誦IV 非理治	果埕子 基礎看護技術演習II	细	保健医療倫理学成人看護学概論															必像		選択	選択	
44		 3 3 3	2 図	H	f	igg	F	2 8	H	 顯 云	\mathbb{H}	Ω - 정 정	- v 対対		~ ~ 항 항	78		∠ Ø	ر چ	H	2 18	- ₹3	- v 対対	_	Ŧ	F	H	f	H	$oldsymbol{f}$	F	H	f	H		F	H	6 9	υ <u>†</u>	7 7	,	27 30
一	П	英語] 英言話] (2000年)	健康// -7(建海) 日本国際法					情報機器の操作		†*リア・ザ イン I 無磁滞翌 T (5・)が)		発達心理学 微生物学	免疫学人体植活棉铅学工	人体構造機能学工	任		医多种性医多种性	保健医療学概論	病理学		看護学概翰	福等	看護コミュニケーション語 基礎看護技術選別 1	基礎看護学実習 [集中)														必	出状の影響	謝択の必要		90
英皿	二苯	基礎部	談談	数井	製	## E	顧	教情	養報	144	成し	~	題 6	即盟	į	豐	瞬の	趣	康の	財産			##	≅ €	事って	石	UÆ	担			版	合と言葉	発展	ă	ব	觀象	针腳	照社	專PI 集礎	88		180
	紀				#	(関章	š šine								柳	門城	部	l			╁								# 8	E								┨ ^{#ᠺ}	市	;	P.	qi

専門基礎科目お よび専門科目の 選択科目4単位以 茶件 25 30 8 φ N ß _ | Date 2 各 在宅署獲援的崩溃四 20 数学 保護医療福祉行政論 2 必 2 必 公東衛生電腦学 1 (地域) 応報 (1994年 | 1995年 | マ 年の**の機能**類の意 履修モデル • 助産師課程 |看護師 华 生糧 公衆衛 黎馥 国際 奈良· 数額能数 統合と発展香護学の 專門基礎 健康の理解 岳崖拳 人間の理解 基礎教養 看護の考え方と方法 并通 中日 智 共通教育 専門基礎 中日日

Ⅲ 看護学科(2017年度以前入学生)

1. 履修規程

(総 則)

第1条 本学学則第13条第3項の規定に基づき、保健医療学部看護学科(以下「本学科」) の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

(卒業資格)

- 第2条 本学科を卒業するためには、4年以上在学し、125単位以上を修得しなければならない。
 - 2 看護師・保健師課程選択を選択した場合は、135単位以上を修得しなければならない。
 - 3 看護師・助産師課程選択を選択した場合は、148単位以上を修得しなければならない。

(授業科目の区分)

- 第3条 授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。
 - 2 共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養 科目及び、キャリア形成科目に区分する。
 - 3 専門基礎科目は、これを健康の理解と区分する。
 - 4 専門教育科目は、これを看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆 衛生看護学及び助産学に区分する。

(授業科目の履修)

第4条 本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(1)共通教育科目	25単位以上
(2) 専門基礎科目	2 4 単位以上
(3) 専門科目	76単位以上

単 位)

第5条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とする。

(配当年次)

第6条 各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

(授業科目の履修制限)

第7条 授業科目については、原則として、年間45単位を超えて履修することができない。

(履修登録)

第8条 履修登録は、各学期初めに年2回行わなければならない。

(履修登録の制限)

- 第9条 授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限 を設けることがある。
 - 2 同時限に開講される授業科目は、1科目しか登録することができない。

(再登録)

- 第10条 単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。
 - 2 単位を修得することができなかった授業科目は、第7条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

(履修登録の変更)

- 第 11 条 履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
 - 2 学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

(授業科目の開講)

第12条 授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

(授業の組分け)

第13条 履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

(単位の認定)

- 第 14 条 担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等(以下「試験等」という)、または平素の履修状況(学習態度等)により学修の成果を評価して単位を与える。
 - 2 各授業への出席が授業時間の3分の2 (実習においては5分の4) に満たない場合は再履修とする。

(単位認定を受ける資格)

- 第 15 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
 - (1) 授業料その他諸納入金が未納であるとき
 - (2) 履修登録をしていないとき

(試験等の成績評価)

- 第16条 試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
 - (1) 100 点から 90 点まで 秀
 - (2) 89 点から 80 点まで 優
 - (3) 79点から70点まで 良
 - (4) 69点から60点まで 可
 - (5) 59点以下 不可 (不合格)

(受験上の注意)

第 17 条 学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

(再試験等)

- 第18条 試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
 - 2 再試験等の実施については、別に定める。
 - 3 再試験等で合格した者の成績評価は、60点(可)とする。

(追試験等)

- 第19条 病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試 験等を受けることができる。
 - 2 追試験等の実施については、別に定める。
 - 3 追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2.履修に関する 留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の3分の2(実習科目においては5分の4)に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30分未満の場合は3分の1回の欠席扱いとし、30分以上の場合は1回の欠席扱いとします。

3)履修指導の 体制 各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、 課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共 有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学 生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)看護学実習 科目の履修に 関する留意点 看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

- ①基礎看護学実習 II を履修するためには、次の科目の単位を修得していること。 「看護学概論」「基礎看護技術演習 II」「看護理論」「早期体験演習」「基礎看護学実習 I」「看 護過程演習」「基礎看護技術演習 II」「基礎看護技術演習 III」「へルスアセスメント」
- ②3年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、3年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- ③統合看護学実習を履修するためには、<u>3年次後期までのすべての領域別実習の単位を修得していること。</u>

5)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目(原則的に選択科目は除く)によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります(ただし、成績の評価は60点を上限とし、受験回数は1回のみとします。)この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の 3分の2以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

6)課程選択に 伴う履修上の 留意点

(1) 看護師・保健師課程

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の選択科目のうち<u>「保健統計(2単位)」及び「保健医療福祉行政論(2単位)」を修得し</u>、公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目 7科目 13単位を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

ただし、「公衆衛生看護学実習 I (地域活動)」「公衆衛生看護学実習 II (学校保健)」「公 衆衛生看護学実習 II (産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、 3年次後期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得して いることが必要です。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話 I (1単位)」「英会話 I (1単位)」「健康スポーツ (実技) (1単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作 (2単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「日

本国憲法(2単位)」の合計8単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師·助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目 13 科目 27 単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

「助産診断・技行学実習 $I \sim \mathbb{N}$ 」を履修するためには、3年次後期までのすべての助産師課程の科目とすべての領域実習の単位を修得しておく必要があります。

7)課程選択の 決定

看護学科の学生は、入学者全員が看護学を学び、看護師国家試験受験資格を取得することができます。また、3年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程(20名以内)」、「看護師・助産師課程(女子のみ10名以内)」のいずれかを選択します。「看護師・保健師課程」は保健師国家試験受験資格を、「看護師・助産師課程」は助産師国家試験受験資格を同時に取得することが可能です。

課程選択の決定は、2年次の終わりに希望調査を行い、3年次の始業までに希望者に対して試験、面接を行い、それらの結果と2年次までの成績を考慮して判定します。

3.教育目標と 教育課程編成 の考え方

以下の内容をよく読んで、明確な目標をもって履修する授業科目を考え、履修登録を行い授業に臨んでください。

1)教育目標

保健医療学部看護学科では、知識や技術の修得のみならず、看護のフィロソフィーの獲得を目指し、看護の役割の拡大や質の変化に対応でき、チーム医療の一員として他職種と協働して全人的ケアの提供ができる質の高い看護職者(看護師、保健師、助産師)を育成することを目標としています。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、看護師、及び希望者には保健師または助産師の国家試験受験資格が取得できるように保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

<カリキュラムポリシーとそれに相応する教育課程>

①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養科目群の語学、人文科学、社会科学、自然科学、 健康スポーツに関連する豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講 することにより身につける。

②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養、共生教養及び奈良・国際の各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。特に、国際的な視点や国際感覚を身につけた人材を養成するために、共通教育科目の必修科目として「英語 I 」「英会話 I 」「英会話 I 」「英会話 I 」を通して国際的なコミュニケーション能力を身につけ、「奈良学」を通して自国の文化を理解するとともに奈良の国際色豊かな文化・芸術、仏教文化などを学ぶ。さらに専門基礎科目の必修科目として「保健医療学概論」を通して全人的ケアに主眼をおいた保健医療学について諸外国の現状と実践例を学び、専門科目の必修科目として「国際保健医療看護論」を通して保健・医療・看護について国際社会の動向を知り、看護職者としてグローバルな視点で保健医療活動ができる基礎的能力を身につける。また、学生が自らの興味・関心によって主体的に国際

的な視点や国際感覚を身につけるための選択科目も豊富に配置している。共通教育科目では、奈良・国際科目群の「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」をはじめ、基礎教養科目群の「文化人類学」「外国史」、共生教養科目群の「生活と環境」、専門科目では「国際保健医療看護演習」をはじめ「保健医療英語 I」「保健医療英語 II(文献購読)」を配置している。

③主体的な体験や討論を通して<u>自己の考えを確立</u>し、それを<u>豊かに表現する能力</u>を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養及びキャリアの各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

また、専門科目のグループワーク、臨地実習、卒業研究などを通して培う。

④看護職に必要な<u>高度な知識・技術</u>、<u>情報活用能力</u>、<u>コミュニケーション能力</u>を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群、専門科目の看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に関する各科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。特に情報活用能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目の情報教養科目群の科目を主体的に受講することにより培い、応用的能力は専門科目の演習科目などにおいて必要に応じて多様なメディアを高度に利用することにより培う。また、コミュニケーション能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目のコミュニケーション関連科目を主体的に受講することにより身につけ、実践的応用的能力は専門基礎科目の「早期体験演習」及び専門科目の臨地実習などを通して身につける。

⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠(エビデンス)と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、探求心と想像力をもって、<u>創造的な全人</u>的ケアの実践ができる能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群及び専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。

特に、本学部が目指す全人的ケアの実践ができる能力について、まず、1年次必修科目の「保健医療学概論(専門基礎科目)」及び「チーム医療論」において、看護学、医学、健康諸科学の専任教員及び当該分野の専門家がオムニバス形式で担当することにより、その基本的な考え方と枠組について学ぶ。その後、全人的ケアを実践するための応用的能力について、主として、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の「ヘルスプロモーション論」「心身医療論」、「カウンセリング論」、専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の「行動変容アプローチ」「チーム医療演習」「ターミナルケア論」「統合看護学実習」「卒業研究 II」「卒業研究 II」などを主体的に受講することにより培う。

⑥看護職として<u>学際性</u>を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、<u>他職種と連携してチームで活動</u>できる<u>汎用的能力</u>を身につける教育

主として、学際性は共通教育科目の基礎教養科目群及び専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の科目、社会のニーズや多様な変化に対応する能力は共通教育科目の共生教養、国際教養、情報教養、キャリア形成の各科目群の科目を主体的に受講することにより身につける。他職種と連携してチームで活動できる基礎的な能力や資質は、専門科目の看護学の基本に関する科目群の1年次後期必修科目の「チーム医療論」で学ぶ。また、チームで活動するための実践力や汎用的能力は、看護学の統合と発展に関する科目群の4年次後期必修科目の「チーム医療演習」で身につける。

3)教育課程全体 の特色 教育課程編成の考え方をふまえ、全学(すべての学部)に共通する「共通教育科目」と、 看護学科独自の「専門基礎科目」及び「専門科目」を設け、上述の教育目標が達成できる ようなカリキュラムを構築し、学生一人ひとりの自主性と自立を支援するための充実した 教育プログラムを展開しています。

「共通教育科目」は、語学、人文科学、社会科学、自然科学、スポーツに関連する科目を幅広く配置した基礎教養科目群、本学の教育・研究の特色(キーワード)である「共生」「国際」「情報」「奈良文化」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群、さらに社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むためのキャリア形成科目群の5つの科目群で構成し、専門性にとらわれない幅広い教養と豊かな人間性、社会のニーズや多様な変化に対応するための汎用的能力を培います。

「専門基礎科目」は保健医療専門職として必要な健康の理解に関する科目群、専門科目は、看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展に関する3つの科目群で構成し、人間を全人的に理解し高い専門性と創造力、倫理的配慮を備え、他職種と連携して全人的ケアができる看護職者の育成をめざしています。また、専門科目には、保健師養成のための公衆衛生看護学、助産師養成のための助産学に関する各科目群を配置しています。

4)教育課程 の概要

- (1) 共通教育科目 (52 科目 82 単位、うち必修は 8 科目 10 単位、選択は 44 科目 72 単位)
- ○共通教育科目の履修要件(卒業要件): 25 単位以上(必修 10 単位、選択 15 単位以上)
- ①基礎教養科目群(32科目49単位、うち必修は6科目6単位、選択は26科目43単位) 語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する32科目(49単位) を配置しています。これらの幅広い科目の中から選択受講することにより、論理的・科学的な思考力、的確な判断能力、倫理性、社会性、豊かな表現力、コミュニケーション能力、自然や文化を大切にする心など、幅広い教養と豊かな人間性を主体的な学びにより培います。なお、国際的な視点で学び、世界各地の人々とコミュニケーションをとり活動する上で不可欠な「英語IJ「英語II」「英会話IJ」及び保健医療職者として自らが健康的で活動的なライフスタイルを形成するための基礎となる「健康スポーツ(理論)」「健康スポーツ(実技)」の6科目6単位は必修科目としています。

<基礎教養科目群>

【必修科目】

「英語 I 」「英語 II 」「英会話 I 」「英会話 II 」「健康スポーツ(理論)」 「健康スポーツ(実技)」

【選択科目】

「中国語基礎 I 」「中国語基礎 II 」「中国語会話」「文学」「哲学」「倫理学」「心理学」「行動科学の基礎」「文化人類学」「感性・イメージ表現」「音楽の世界」「社会学」「社会科学の基礎」「日本国憲法」「外国史」「地理学」「数学の世界」「物理と地学の基礎」「環境化学の基礎」「実験と科学」「スポーツ実技 I 」「スポーツ実技 I 」

- ※以下は留学生のための日本語科目(4科目4単位)を開講する。 「日本語 I 」「日本語 II 」「日本語表現 I 」「日本語表現 II 」
- ②「共生」「奈良・国際」「情報」に呼応する科目群

以下に示す本学の教育・研究の特色(キーワード)である「共生」「奈良・国際」「情報」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群から、主体的に選択受講することにより、社会のニーズや多様な変化に対応し、人類・社会に貢献するための汎用的能力を培います。

i) 共生教養科目群(4科目8単位、すべて選択)

様々な事象が絡み合った複雑な現代社会の現状を理解した上で、人や集団、自然との 共生を実現させる方法及びその問題点について学ぶ科目を配置しています。人と人との 共生を学ぶ科目「人権論」、共生を実現するための社会の仕組みについて学ぶ科目「共 生と日本社会」、人と自然との共生を学ぶ科目「生活と環境」があるほか、科目「ボランティア活動」を通して共生の実践を学び、他者を支援しながら、幸せを共有できる姿勢を養います。

<共生教養科目群>

【選択科目】

「共生と日本社会」「人権論」「ボランティア活動」「生活と環境」

ii)奈良・国際科目群(5科目9単位、うち必修は1科目2単位、選択は4科目7単位) 国際化した現代社会では、様々な社会生活の場面で異文化との交流が必然的に発生します。その交流を積極的に進めるためには、海外及び自国の諸事情を把握し、互いの差異を理解することが必要となります。国際交流を進めていくために必要な準備及び国際交流の実践方法について学びます。特に国際交流の前提として、自らを深く理解するために本学が所在する奈良を重視し、日本人の特質や日本文化の土台を形成した奈良文化について学ぶ「奈良学」は必要不可欠な教養と考え、必修科目として配置しています。その上で自国文化を海外の人々に伝える方法や国際交流を実践する能力を身につけます。また、教科外活動として短期研修プログラム、文化交流、短期留学など、海外に出かけ、国際社会及び異文化を実体験できる機会を設けます。これらの自主的活動についても、活動内容に対応する科目として単位認定を行う場合があります。

<奈良・国際科目群>

【必修科目】

「奈良学」

【選択科目】

「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」

iii) 情報教養科目群(5科目10単位、うち必修は1科目2単位、選択は4科目8単位) 高度情報化社会といわれる現代において、安全に、適切に、効率よく、倫理的に正し い方法で、あふれる情報の中から必要な情報を収集し、また自らも情報を処理し、発信 していくための基礎的・実践的な情報・コミュニケーション能力を培うための科目を配 置しています。特に情報機器の活用能力を身につける「情報機器の操作」を必修科目と して配置しています。

<情報教養科目群>

【必修科目】

「情報機器の操作」

【選択科目】

「情報倫理とセキュリティ」「シミュレーションの世界」「データの世界」 「CG の基礎と演習」

③キャリア形成科目群(6科目6単位、すべて選択)

社会的・職業的自立に必要な能力や態度である人間力、社会人基礎力を育み、学生が主体的に課題を発見し、これを解決する能力を培うための科目を配置しています。

特に、本学部が想定している進路の特徴を加味した独自の教育プログラムを提供するために、複数の専任教員が主として担当する「キャリアデザインII (1年次)」「キャリアディベロップメントII (2年次)」「キャリアスキルアップII (3年次)」「キャリアスキルアップII (4年次)」を順次履修することを強く奨励します。具体的には、自分の将来のキャリアプランに関連し、専門教育課程では直接学ぶことができない、実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを主体的に実行することにより、

汎用的能力を培うとともに、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力を段階的に確立できるようにしています。

<キャリア形成科目群>

【選択科目】

「キャリアデザイン I 」「キャリアデザイン II 」 「キャリアディベロップメント I 」「キャリアディベロップメント II 」 「キャリアスキルアップ I 」「キャリアスキルアップ II 」

- (2) 専門基礎科目 (24 科目 31 単位、うち必修は 17 科目 21 単位、選択は 7 科目 10 単位) ○専門基礎科目の履修要件 (卒業要件): 24 単位以上 (必修 21 単位、選択 3 単位以上)
- ①健康の理解に関する科目群

保健医療専門職として必要な健康、医療、福祉に関する理解を深めるための科目を主として1~2年次に配置しています。特に「保健医療学概論」は入学して間もない1年次前期に配置し、看護学、医学、健康科学の専任教員がオムニバス形式で担当することにより、本学部がめざす全人的ケアをふまえた保健医療学の概要について概説します。また、全人的ケアに関連する科目として「心身医療論」「カウンセリング論」「ヘルスプロモーション論」を配置し、主として専任教員が担当します。さらに、保健医療や看護への動機付け及び臨地での基礎看護学実習Iへの導入として、早期に臨床現場を体験する「早期体験演習」を1年前期に配置しています。

<健康の理解に関する科目群>

【必修科目】

「保健医療学概論」「早期体験演習」「人体構造学 I 」「人体構造学 I 」「人体機能学 I 」「人体機能学 I 」「人体機能学 I 」「生化学」「薬理学」「病理学」「微生物学」「栄養と食生活」「疾病治療論 I 」「疾病治療論 I 」「保健学 I (公衆衛生)」「保健学 I (疫学)」「社会福祉学」「医療福祉関係法規」 【選択科目】

「免疫学」「遺伝学」「保健統計」「心身医療論」「カウンセリング論」 「ヘルスプロモーション論」「保健医療福祉行政論」

- (3) 専門科目 (70 科目 121 単位、うち必修は 41 科目 72 単位、選択は 29 科目 49 単位)
- ○専門科目の履修要件(卒業要件):76 単位以上(必修 72 単位、選択 4 単位以上)
- ※選択科目について、基本的に、「看護師課程選択」では、看護学の統合と発展の選択科目9科目9単位のうちから4単位以上を履修します。
- ①看護学の基本に関する科目群(11科目15単位、すべて必修)

看護の実践能力、自己の啓発能力、人間を尊重し、人間関係を形成しながら健康問題を解決するための能力といった、看護職者として基盤となる能力を学ぶための科目を主として1~2年次に配置しています。また、特に本学部の特色として掲げている全人的ケアに関連する基礎的科目として「チーム医療論」を配置しています。

<看護学の基本に関する科目群>

【必修科目】

「看護学概論」「基礎看護技術演習 I 」「基礎看護技術演習 II 」「基礎看護技術演習 II 」「基礎看護技術演習 II 」「看護理論」「看護過程演習」「ヘルスアセスメント」「チーム医療論」「保健医療倫理学」「基礎看護学実習 I 」「基礎看護学実習 I 」

②看護学の展開に関する科目群(18科目38単位、すべて必修)

看護学の基本で学んだ内容をふまえ、科学的根拠に基づく高度な知識・技術を培い、状況に応じた高度な看護実践を展開することができるようになるための科目を、臨地実

習と連動し、主に2~3年次に配置しています。

<看護学の展開に関する科目群>

【必修科目】

「成人看護学概論」「成人看護学援助論 I (急性期·周手術期)」「成人看護学援助論 I (慢性期·回復期·終末期)」「老年看護学概論」「老年看護学援助論」「精神看護学概論」「特神看護学援助論」「小児看護学援助論」「母性看護学概論」「母性看護学援助論」「成人看護学実習 I (急性期·周手術期)」「成人看護学実習 I (慢性期·回復期·終末期)」「老年看護学実習 I 」「老年看護学実習」「母性看護学実習」「特有護学実習」

③看護学の統合と発展に関する科目群 (18 科目 22 単位、うち必修は9 科目 13 単位、選 択は9 科目9 単位)

看護学の基本及び看護学の展開に関する各科目群で学んだことを統合し、さらにそれらのことを発展させ、全人的な健康観に立ち、科学的・客観的な根拠と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、高い専門性と倫理的配慮、豊かな想像力と国際的な視点を備え、他職種と連携して創造的な全人的ケアの実践ができるようになるための科目を2~4年次に配置しています。特にその特徴的科目として「チーム医療演習」「行動変容アプローチ」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「国際保健医療看護論」「国際保健医療看護演習」などを設定しています。また、「統合看護学実習」では、これまでの学修及び看護学の実践の中で見出した自身の課題に基づき、主体的、自律的に実習計画を立て、それを実行する能力を培います。

<看護学の統合と発展に関する科目群>

【必修科目】

「在宅看護学概論」「在宅看護学援助論」「在宅看護学実習」「チーム医療演習」「医療安全管理学」「国際保健医療看護論」「統合看護学実習」「卒業研究 I 」「卒業研究 I 」

「家族援助論」「行動変容アプローチ」「感染症看護論」「災害看護論」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「保健医療英語 I 」「保健医療英語 I (文献講読)」「国際保健医療看護演習」

④公衆衛生看護学に関する科目群 (10 科目 19 単位、うち必修は3 科目6 単位、選択は7 科目 13 単位)

「看護師・保健師課程選択」(20名)では、保健師国家試験受験資格を取得するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、地域活動、学校保健、産業保健など、公衆衛生看護に関する講義、演習、実習などの科目を主に3~4年次に配置しています。

<公衆衛生看護学に関する科目群>

【必修科目】

「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護学 I (地域活動)」「公衆衛生看護学 II (産業保健)」 【選択科目】

「公衆衛生看護学方法論 I 」「公衆衛生看護学方法論 II 」「公衆衛生看護学 II (学校保健)」「公衆衛生看護学実習 II (地域活動)」「公衆衛生看護学実習 II (学校保健)」「公衆衛生看護学実習 II (産業保健)」「公衆衛生看護学診断演習」

⑤助産学に関する科目群(13科目27単位、すべて選択)

「看護師・助産師課程選択」(女性のみ 10 名) では、助産師国家試験受験資格を取得

するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、助産診断・技術に関する講義、演習、実習を中核とし、ウイメンズへルスや地域母子保健に関する科目を主に3~4年次に配置しています。

<助産学に関する科目群>

【選択科目】

「助産学概論」「ウイメンズへルス学」「周産期医学」「助産診断・技術学 I 」「助産診断・技術学 I 」「助産診断・技術学 I 」「助産診断・技術学演習」「助産診断・技術学実習 I 」「助産診断・技術学実習 I 」「助産診断・技術学実習 II」「助産診断・技術学実習 II」「助産診断・技術学実習 II」「助産診断・技術学実習 II」「助産管理論」

4.看護学実習の 概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の 概要と開講 時期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり1年次から4年次まで段階的に実習を開講します。

1年次:前期の早期体験演習と後期の基礎看護学実習 I をリンクさせて、早期に臨床現場を経験し、将来の自分の姿を想像することで、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

2年次:基礎看護学実習Ⅱとして、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

3年次: 各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等対象の特性に応じた適切な看護を行う能力を養います。

4年次:統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。 保健師または助産師課程選択の学生(3年次に選抜)は公衆衛生看護学実習また は助産診断・技術学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時期

必修/選択	実習科目	開講時期	単位
	早期体験演習	1年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅰ	1年次後期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	2年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ		6
) 必修	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
必 16 	小児看護学実習	3年次後期	2
	母性看護学実習	3 千人1を別	2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	4年次前期	2
選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ~Ⅲ	4年次	5
医 抓	助産診断・技術学実習Ⅰ~Ⅳ		11

2)看護学実習 要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、1年次から継続して実習教育を 行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オ リエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習 の評価

看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の 担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに 関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、<u>秀、優、良、</u> 可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

※ 出席が4/5に満たない場合は再履修となります。

4)実習中の事故 防止と対処

- ①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。
- ②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。
 - ※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険(総合補償制度 will 保険) に加入します。

5)感染防止

- (1)自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。
- ②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。
- ③定期健康診断時(4月)に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。3年生は麻疹・風疹の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。
- i 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の 学生は母子健康手帳などの予防接種歴(ワクチン接種歴)を確認し、下記の対応をし てください。
- ・ワクチンを2回接種している→2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを1回接種している→ワクチン接種を1回受けて、2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→1ヵ月以上の間隔をあけて、2回予防接種を受ける。接種後、2回分の接種証明書を提出。

提出先:学生支援センター

提出書類:接種証明書(医療明細書または母子健康手帳の写し)

提出期限:基礎看護実習 I が始まる1ヵ月前

なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センター に申し出てください。

ii 結核感染の有無について(T-スポット)

検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。

iii HBs 抗体 (B型肝炎) について

HBs 抗体陰性(-)の学生はワクチン接種を受けてください。

- ※HBs 抗体のワクチンは、3回の接種が必要で、終了までに約7か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。
- iv インフルエンザについて

感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

5.看護師·保健師 課程選択履修 要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部 看護学科 履修規定第2条第2項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち公衆衛生看護学に係る選択科目(以下「保健師課程選択科目」という)の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

(保健師課程選択科目の定義)

第2条 保健師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(履修許可人数)

第3条 保健師課程選択に伴う科目の履修定員は、20名とする。筆記試験、面接及び2 年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

(選考の時期等)

第4条 前条の保健師課程選択科目履修者の選択は、3年次始期から前期履修登録までに 行うものとする。

(履修志願手続き)

- 第5条 保健師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の 期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な 専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。
 - 3 申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に保健師として働く意欲を記した「保 健師課程選択志願理由書」とする。

(課程選択履修者の選考・決定)

- 第6条 保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員(以下「選考委員」という。)若干名を選考するものとする。
 - 2 選考委員は別表2の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修候補者の選考を行う。

ただし、志願者が第3条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課 程選択履修者の選考を行うこととする。

3 課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

(選考結果の通知)

第7条 保健医療学部長は、前条第3項による選考結果を、志願者に対して通知する。

(委 任)

第8条 この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、 保健医療学部企画委員会において別に定める。

附 則

この要領は、平成27年9月2日から施行する。

別表 1 保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
守门垒旋科日	保健医療福祉行政論	2	30
	公衆衛生看護学方法論I	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	2	30
専門科目	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ (学校保健)	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ (産業保健)	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合 計		17	435

別表 2 選考方法

- ① $1 \cdot 2$ 年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
- ②筆記試験

出題科目

「保健医療学概論」「保健学 I (公衆衛生)」

「公衆衛生看護学概論」「社会福祉学」

上記科目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識

③ [面接]

6.看護師·助産師 課程選択履修 要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部 看護学科 履修規定第2条第3項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち 助産学に係る選択科目(以下「助産師課程選択科目」という。)の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

(助産師課程選択科目の定義)

第2条 助産師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(助産師課程選択科目の授業時間)

第3条 助産師課程選択科目の授業時間(主として助産診断・技術学実習)については、 履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

(履修許可人数)

第4条 助産師課程選択の履修定員は、女子10名とする。筆記試験、面接及び2年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

(選考の時期等)

第5条 前条の助産師課程選択科目履修者の選考は、3年次前期履修登録までに行うものとする。

(履修志願手続き)

- 第6条 助産師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の 期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な 専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。
 - 3 申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に助産師として働く意欲を記した「助産師課程選択志願理由書」とする。

(課程選択履修者の選考・決定)

- 第7条 保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員(以下「選考委員」という。)若干名を選考するものとする。
 - 2 選考委員は別表2の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う。

ただし、志願者が第4条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課 程選択履修者の選考を行うこととする。

3 課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

(選考結果の通知)

第8条 保健医療学部長は、前条第3項による選考結果を、志願者に対して通知する。

(委 仟)

第9条 この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、 保健医療学部企画委員会において別に定める。

附則

この要領は平成27年9月2日から施行する。

別表 1 助産師課程選択科目

授業科目	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウイメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学 I	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習	2	60
助産診断・技術学実習I	3	135
助産診断・技術学実習Ⅱ	2	90
助産診断・技術学実習Ⅲ	3	135
助産診断・技術学実習Ⅳ	3	135
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
승 計	27	765

別表2 選考方法

- ①1・2年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
- ②筆記試験

出題科目

「人体構造学Ⅰ・Ⅱ」「人体機能学Ⅰ・Ⅱ」

「疾病治療論Ⅰ・Ⅱ」「母性看護学概論」

上記科目より、助産学を学ぶために必要な基礎知識。

③「面接」



授業科目表

			立数		配当年次 ●…必修 ○…選択								4	卒業
1目区分	授業科目の名称			配当年次	\vdash	年	2年		3		_	年	時間数	y 必 単
_		必修	選択	- 14	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	英語 I	1		1前	•	<u> </u>			-			-	30	┨
	英語Ⅱ	1		1後		•							30	1
	英会話 I	1		1前	•								30	
	英会話Ⅱ	1		1後		•					_		30	4
	中国語基礎 I		1	1・2・3・4前	0		0		0		0	_	30	1
	中国語基礎Ⅱ	_	1	1.2.3.4後		0		0	_	0		0	30	1
	中国語会話		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	┨
	日本語 I		1	1前	0								30	1
	日本語Ⅱ		1	1後		0							30	1
	日本語表現Ⅰ		1	2前			0						30	1
	日本語表現Ⅱ		1	2後	_			0				_	30	4
	文学		2	1.2.3.4後	_	0		0		0		0	30	4
	哲学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0	_	30	4
基	倫理学		2	1.2.3.4前	0		0	<u> </u>	0	<u> </u>	0	₩	30	
	心理学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0	_	30	1
礎	行動科学の基礎		2	1.2.3.4後	_	0		0		0		0	30	1
教	文化人類学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	ł
養	感性・イメージ表現		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	ł
	音楽の世界		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	ł
	社会学		2	1.2.3.4後		0		0		0	_	0	30	ł
	社会科学の基礎		2	1・2・3・4前	0		0		0		0		30	1
	日本国憲法		2	1・2・3・4前	0		0		0		0	_	30	1
	外国史		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	1
	地理学		2	1.2.3.4後		0		0		0	_	0	30	1
	数学の世界		2	1・2・3・4前	0		0		0		0	_	30	ł
	物理と地学の基礎		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	1
	環境化学の基礎		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	١,
	実験と科学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	┨
	健康スポーツ (理論)	1		1.2.3.4前	•		•		•		•		15	┨
	健康スポーツ(実技)	1		1.2.3.4後		•		•	_	•		•	30	┨
	スポーツ実技 [1	1.2.3.4前	0	_	0		0	_	0	_	30	ł
-	スポーツ実技Ⅱ		1	1.2.3.4後		0	_	0		0		0	30	ł
#			2	1.2.3.4後	_	0		0	_	0	_	0	30	ł
養生	人権論		2	1・2・3・4前	0		0		0		0		30	┨
耈	ボランティア活動		2	1・2・3・4前	0		0		0		0		30	ł
\vdash	生活と環境	2	2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30 30	-
	奈良学		2	1.2.3.4前	•	_	•	_	•	_	•	_	30	ł
<i>奈</i>		_	2	1・2・3・4後		0	_	0	0	0		0	30	┨
良	文化芸術交流論	_	1	1・2・3・4前	0	0	0	0		0	0	0	30	ł
際	文化芸術交流演習 国際経済事情	_	2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	┨
\vdash		2		1.2.3.4仮	•	- 0	•	0	•	0	•		30	┨
情	情報倫理とセキュリティ		2	1・2・3・4前	0		0		0		0	-	30	ł
報	シミュレーションの世界		2	1 · 2 · 3 · 4 後		0		0		0		0	30	ł
教	データの世界		2	1・2・3・4版	0		0		0		0	Ĕ	30	1
養			2	1.2.3.4削		0		0		0		0	30	ł
\vdash	キャリアデザイン I		1	112.3.4度	0		\vdash		—			J	30	ł
	キャリアデザインⅡ		1	1後	0	—	\vdash	\vdash	—	\vdash			30	ł
キャ	キャリアディイロップメント I		1			—	0	\vdash	_	\vdash			30	ł
リア		-	_	2前	 		_	\vdash		\vdash	-	\vdash	30	1
形成	キャリアディベロップメント II キャリアスキルアップ I	-	1	2前	 		0	\vdash	0	\vdash	-	\vdash	30	1
			_		-	\vdash	\vdash	\vdash		\vdash	_	-	30	ł
	キャリアスキルアップⅡ 小計 (52科目) 25単位以上	10	72	4前 —							0	—	30	L

[「]中国語基礎 II」は「中国語基礎 II」を修得した者のみが履修できる。
※「文化芸術交流演習」は「文化芸術交流論」を修得した者のみが履修できる。
※「キャリアディベロップメント II」は「キャリアデザイン II」を、「キャリアスキルアップ II」は「キャリアディベロップメント II」を、「キャリアスキルアップ II」は「キャリアスキルアップ II」は「キャリアスキルアップ II」は「キャリアスキルアップ II」を取得した者のみが履修できる。

看護学科(2017年度以前入学生)

			甾	立数		配当年次 ●…必修 ○…選択								卒業	
科目	区分	授業科目の名称			配当年次	1	年	2	年	3	年	4	年	時間数	必要
			必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		- 12.
		保健医療学概論	1		1前	•								15	
		早期体験演習	1		1前	•								30	
		人体構造学 I	1		1前	•								30	
		人体構造学Ⅱ	1		1後		•							30	
		人体機能学 [1		1前	•								30	-
		人体機能学Ⅱ	1		1後		•						-	30	ł
		生化学	1		1前	•	_							15	1
		薬理学	2	1	1後		•							30	ł
_		免疫学 病理学	1	1	2前	-	•	0	-	-	-	-		15 15	ł
専	健		+			-	•	-	-	-	-	-		30	243
P9	康	微生物学	1	1	1後	-	_	0	-	-	-	-		15	24单
基	の	遺伝学	1	1	2前 1前	•		0	-	-	-	-		30	(必 21算
礎	理	栄養と食生活	1		2前	•		•	-	-	-	-		30	を む)
科	解	疾病治療論 I	2					-							. ~
B		疾病治療論Ⅱ			2後				•					60	ł
		保健学 I (公衆衛生)	1 2		2前			•	•					15 30	ł
		保健学Ⅱ (疫学)	2	2	2後				•						ł
		保健統計	+		3前					0				30	ł
		心身医療論 カウンセリング論	+	1	2後				0					15 15	ł
				2	2後		_	_	0					30	ł
		ヘルスプロモーション論	1		2前		_	0						15	ł
		社会福祉学	2		2前		_	•						-	ł
		医療福祉関係法規	2	2	2前			•		_				30 30	ł
		保健医療福祉行政論	21	2	3前					0				30	┢
		小計(24科目) 24単位以上	21	10			_							20	⊢
		看護学概論	2		1前	•	_							30	1
		基礎看護技術演習 I	2		1後		•	_						60	ł
	看	基礎看護技術演習Ⅱ	2		2前		_	•						60	ł
	護	基礎看護技術演習Ⅲ	1		2前		•	•						30	ł
	学	看護理論 手禁(240)中38	1		1後		_							15	ł
	の	看護過程演習	_		2前			•						30	ł
	基	ヘルスアセスメント	1		2前			•						15	ł
	本	チーム医療論	1		1後		•							15	ł
	i i	保健医療倫理学			1後									15	ł
		基礎看護学実習 I	2		1後		•							45 90	ł
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後			•	•					30	ł
_		成人看護学概論	2		2前	-		•	•	-	-	-		30	ł
専		成人看護学援助論 I (急性期·周手術期) 成人看護学援助論 I (慢性期·回復期·終末期)	2		3前	-			•	•				30	ł
9		老年看護学概論	2		2後	-			•	•				30	ł
科		老年看護学援助論	2		3前				-	•				30	ł
▤			2						•	-				30	ł
	看	小児看護学概論 小児看護学援助論	2		2後				•	•				30	ł
	護	小児有護子援助論 	2		3前 2後	-			•	•				30	ł
	学	母性看護学援助論	2			-			•	•				30	ł
			2		3前					•				30	ł
	の _	精神看護学概論	2		2後				•					30	ł
	展	精神看護学援助論 武人系護学宝羽 1 (急性期, 用毛術期)	3	-	3前	1	-	\vdash	\vdash	•		\vdash	-		ł
	開	成人看護学実習 I (急性期・周手術期)	_		3後	1	<u> </u>	\vdash	\vdash	\vdash	•	_	\vdash	135	ł
		成人看護学実習 I (慢性期·回復期·終末期)	3		3後	1	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	•	-	_	135	ł
		老年看護学実習Ⅰ	2	-	3後	₩		 	 	 	•	\vdash		90	1
		老年看護学実習Ⅱ	2		3後	1		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	•	<u> </u>	_	90	ł
		小児看護学実習	2		3後	1					•			90	1
		母性看護学実習	2	1	3後	1		I	I	I	•	l		90	I

科目区分 授業科目の名称	科目 区分			出	位数		配当年次 ●…必修 ○…選択									卒業(3
本学校の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表			授業科目の名称		IT #X	配当年次	1	年	2年		3年		4年		時間数	
在宅高度学院的資 2 3級 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				必修	選択	1	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		甲亚安
在空色選字実習 2 3 3歳 9 90 90 15 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75			在宅看護学概論	2		2後				•					30	
### 1 1 2 回			在宅看護学援助論	2		3前					•				30	
## 1			在宅看護学実習	2		3後						•			90	
世			家族援助論		1	2前			0						15	
### デールの機能		看	行動変容アプローチ		1	3前					0				30	76単
中 日 日 日 日 日 日 日 日 日		護	チーム医療演習	1		4後								•	30	以上(必付
別書書議論		学	感染症看護論		1	4前							0		15	72単 を含
数		の	災害看護論		1	4後								0	15	む)
日本			ターミナルケア論		1	4後								0	15	
世界			医療安全管理学	1		4後								•	15	
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			看護キャリア開発論		1	4後								0	15	
展 国際保健医療者護治 1 4前		۲	保健医療英語 I		1	2後				0					30	
国際保健院務看護漢智		発	保健医療英語Ⅱ (文献講読)		1	4前							0		30	
		展	国際保健医療看護論	1		4前							•		15	
専			国際保健医療看護演習		1	4前							0		30	
子菜研究日 1 4前後 ● 30 30 公衆衛生看選字概論 2 2前 ● 30 30 30 公衆衛生看選字が議論日 2 3前 ● 30 30 30 公衆衛生看選字方法論日 2 3前 ● 30 30 公衆衛生看選字方法論日 2 3前 ● 30 30 公衆衛生看選字「(地域活動) 2 2後 ● 30 30 30 公衆衛生看選字目(学校保健) 2 3前 ● 30 30 公衆衛生看選字目(学校保健) 2 3前 ● 30 30 公衆衛生看選字里個(學校保健) 1 4前 ● 45 45 45 45 45 45 45			統合看護学実習	2		4前							•		90	
投票 公衆衛生看護学規論			卒業研究 I	1		4前							•		15	
□ 公 公衆衛生看護学方法論 I 2 3前 0 30 30 30 公衆衛生看護学方法論 I 2 3前 0 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 3			卒業研究Ⅱ	1		4前後							•	•	30	
2 3前			公衆衛生看護学概論	2		2前			•						30	
### 1	ij	公	公衆衛生看護学方法論 I		2	3前					0				30	1
金 1 1 1 1 1 1 1 1 1	9	衆	公衆衛生看護学方法論 Ⅱ		2	3前					0				30	1
生 生	串	街	公衆衛生看護学 I (地域活動)	2		2後				•					30	1
□ 公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健) 2 3前 4通 □ □ 135 □ 135 □ 2 3前 □ □ □ 135 □ 2 4前 □ □ 15 □ 15 □ 15 □ 15 □ 15 □ 15 □ 15 □	╕┃		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					0				30	1
公衆衛生看護字美智 I (世域活動)			公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					•				30	1
		看	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)		3	4通							0	0	135	1
		護	公衆衛生看護学実習 Ⅱ (学校保健)		1	4前							0		45	1
助産学概論 2 3前 ○ 30 ウイメンズへルス学 2 3前 ○ 15 助産診断・技術学 I 2 3前 ○ 30 助産診断・技術学 I 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学 I 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学 J 2 4前 ○ 60 ウ り施産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 90 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 助産管理論 2 4前 ○ 15 小計 (70科目) 76単位以上 72 49 -		学	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前							0		45	1
ウイメンズへルス学 2 3前 ○ 30 園産期医学 1 3前 ○ 15 助産診断・技術学 I 2 3前 ○ 30 助産診断・技術学 I 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学 D 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学 D 2 4前 ○ 60 財助産診断・技術学 D 3 4適 ○ 135 助産診断・技術学 D 3 4適 ○ 90 財助産診断・技術学 D 3 4適 ○ 135 財助産診断・技術学 D 3 4適 ○ 135 財助産診断・技術学 D 3 4適 ○ 135 財政保 D 1 4前 ○ 135 財産管理論 2 4前 ○ 15 小計 (70科目) 76単位以上 72 49 - ○ 130			公衆衛生看護学診断演習		2	4前							0		60	1
周雇期医学 1 3前 ○ 15 助産診断・技術学 I 2 3前 ○ 30 助産診断・技術学 I 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学 I 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学演習 I 2 4前 ○ 60 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 90 助産診断・技術学実習 I 2 4適 ○ 135 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 地域母子保健 1 4前 ○ 15 助産管理論 2 4前 ○ 30 小計 (70科目) 76单位以上 72 49 -			助産学概論	1	2	3前					0				30	1
助産診断・技術学 I 2 3前 ○ 30 助産診断・技術学 I 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学 I 2 3後 ○ 30 助産診断・技術学演習 2 4前 ○ 60 財産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 財産診断・技術学実習 I 2 4適 ○ 90 財産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 財産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 財産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 地域母子保健 1 4前 ○ 15 財産管理論 2 4前 ○ 30 小計(70科目)76単位以上 72 49 -			ウイメンズヘルス学	1	2	3前					0				30	1
助産診断・技術学 I 2 3後 30 助産診断・技術学 I 2 3後 30 助産診断・技術学演習 2 4前 60 助産診断・技術学実習 I 3 4適 0 135 助産診断・技術学実習 I 2 4適 0 90 助産診断・技術学実習 I 3 4適 0 135 助産診断・技術学実習 I 3 4適 0 135 助産診断・技術学実習 I 3 4適 0 135 地域母子保健 1 4前 0 15 助産管理論 2 4前 0 30 小計(70科目)76単位以上 72 49 - 0 30			周産期医学	1	1	3前					0				15	1
助 節産診断・技術学皿 2 3後 ○ 30 m			助産診断・技術学Ⅰ	T	2	3前					0				30	1
産 助産診断・技術学演習 2 4前 ○ 60 少 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 0 135 助産診断・技術学実習 I 2 4適 ○ 90 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 助産診断・技術学実習 I 3 4適 ○ 135 地域母子保健 1 4前 ○ 15 助産管理論 2 4前 ○ 30 小計(70科目)76単位以上 72 49 - 30			助産診断・技術学Ⅱ	1	2	3後						0			30	1
夢 助産診断・技術学実習 I 3 4通 ○ 135 助産診断・技術学実習 I 2 4通 ○ 90 助産診断・技術学実習 I 3 4通 ○ 135 助産診断・技術学実習 I 3 4通 ○ 135 地域母子保健 1 4前 ○ 15 財産管理論 2 4前 ○ 30 小計(70科目)76単位以上 72 49 - -		助	助産診断・技術学Ⅲ	T	2	3後						0			30	1
助産診断・技術学実習		産	助産診断・技術学演習	T	2	4前							0		60	1
助産診断・技術学実習Ⅱ 3 4通 ○ 135 助産診断・技術学実習Ⅳ 3 4通 ○ 135 地域母子保健 1 4前 ○ 15 助産管理論 2 4前 ○ 30 小計(70科目)76単位以上 72 49 -		学	助産診断・技術学実習Ⅰ	1	3	4通							0	0	135	1
助産診断・技術学実習Ⅳ 3 4通 ○ ○ 135 地域母子保健 1 4前 ○ 15 助産管理論 2 4前 ○ 30 小計(70科目)76単位以上 72 49 - □			助産診断・技術学実習Ⅱ	T	2	4通							0	0	90	1
地域母子保健 1 4前 ○ 15 助産管理論 2 4前 ○ 30 小計 (70科目) 76単位以上 72 49 - -			助産診断・技術学実習Ⅲ	1	3	4通							0	0	135	1
助産管理論 2 4前 ○ 30 小計 (70科目) 76単位以上 72 49 -			助産診断・技術学実習Ⅳ		3	4通							0	0	135	1
小計 (70科目) 76単位以上 72 49 -			地域母子保健		1	4前							0		15	1
			助産管理論	1	2	4前							0		30	1
A BL (4.45 MP) 405 MHHH			小計(70科目) 76単位以上	72	49	-										
				+												

課程選択別履修モデル

課程選択別の3つの履修モデルを別表に示しましたので参考にしてください。

履修モデル1は「看護師課程選択」のモデルで、国際理解に関する科目を多く履修し、 国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師をめざします。また、キャリア形成科目を多く履修し、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力をそなえた汎用 的能力の高い看護師をめざします。

履修モデル2は「看護師・保健師課程選択」のモデルで、看護師に加えて保健師をめざ します。さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっています。

履修モデル3は「看護師・助産師課程選択」のモデルで、看護師に加えて助産師をめざします。

履修モデル2及び履修モデル3では、3年次以降は履修すべき科目が多いですが、1~2年次は、「看護師課程選択」と同様に、多彩な共通教育科目の中から自らの志向により科目を選択履修でき、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を養うことが可能となっています。

■看護師課程 履修モデル

公 w 禁 车		20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2		5000	200 20
中	0	2 25 7 7	2 2	24	15 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76
<後期> 科目 H=0 区分	7) -				次差機能量
4年 (前 期)	D D		キリアスキルアップ 正 1 選		国際保護股票機関 1 0 以密電機関 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
(後期) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	D D		[[A\$		成人品護学業別 (集中) 3 必 成人品護学業別 (集中) 3 必 を住産機学業別 (集中) 2 必 を住産機学業別 (集中) 2 必 の (本) (本
3年生 <町 期> ※ 田 曲の 図注	71 #		19.7. I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		次人香罐学掘印刷 1 2 6 成人香 各年香蕉学掘印刷 2 6 6 年年 1 1 1 2 6 6 年年 1 1 1 2 6 6 年年 1 1 2 6 6 年年 1 1 2 6 6 年年 日本春蓮学掘印刷 2 6 月 10 日 日本春蓮学掘印刷 2 6 月 10 日 日本春蓮学掘印刷 2 6 日 10 日 東京 1 1 日 東京
(後期)料 目 (単位)	D D		‡+1J72\$B79.2	I (優勢) 2 必 II (優勢) 2 必	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
2年生期>	CG 71#		7. メント፲ 1 選		
\(\text{\tin}\text{\tett{\text{\tetx{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\}\tittt{\text{\text{\text{\texi}\text{\text{\texi}\text{\tex{\text{\texi}\text{\text{\text{\texi}\text{\text{\text{\text{\tetit}\tittt{\texi}\tilint{\text{\tiint{\text{\texi}\text{\ti		22 - 25 照	14/1/2 4/ 00/2 XXFII	1 必 免疫学 1 必 疾病治療論 [2 必 保健学 [公衆衛生 1 必 社会福祉学 1 必 医療福祉関係法規 (1 2 2 2 2 2 2 2 2 2
1年生 <後 期 < 後 期		2 遊 国際経済事情 2 必 国際経済事情 2 選 中)	20 T T T M M M M M M M M M M M M M M M M	1 珍 人体構造学工 1 珍 人体機能学工 1 珍 樂理学 1 珍 獨理学 1 珍 微生物学	 受 政治の 無限 大
	日 (製画	高 75547活動奈良学交化芸術交流論	情報機器の操作 キャリデザインエ キャリデザインエ	保護医療学服論 早期体験演習集中) 人体機能学! 人体機能学! 生化学 生化学	學 (A
	t 基礎教觀	共通教育科目教養 国際共生 素良・	教養 ア形成情報 キャリ	専門基礎科目健康の理解	専門科目 専門科目 禁 共 専 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対

看護学科2017以前

ひ 歌 幸		25 15章 古 15章 古 15章 古 15章 古 15章 古 15章 古 15章 1 15章 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	多21单位 21单位 34单位 34单位 034中 024中 以上		受修 第72章位 第72章位 第74章位 0.51 以上 以上	25 103章 103章 103章 10 10 103章 103 103 136 136 136 136 136
小	52	4 0	4 w	25	0	88 6 0	O Φ = 4 Θ Θ Θ Θ
1	K	шш				철 철 철	0 0 m m
(後期)						医療養護器 1 医療安全管理学 1)選年 1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
4年生						変している。	照照 0 0 1 =
<職 値>						国際保護医療機構 部合配置學家問權的 等合配置學家的權力 交響研究 1 安集研 交換研究 2 安集研 公際社工程序等 (東中 公際社工程序等 (東中 公際社工程序等 (東中	
775 VI 986 IV							0 0 0 0 81 81 82 85
年生 <後期>	ıı z				成人看護学樂習[集中] 申 - 華麗地區2017 (集中)	本化商学系的 [編中] 等年階級等於 [編中] 等在階級等於 [編中] 的 在	を を を を を を を を を を を を を を
33			+++++	2 2 2	지 (지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지 지	0 0 0 0 0 4 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 </td
< ☆ ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね	ш			保健協計 保健医療福祉行政論	成人響議学援助第 工業位置学援助第工	精中經濟學报助調 精中經濟學报助調 1.1.(四個報學报助調 母性希臘學报助調 在宅橋護學援助調 在宅橋護學援助調 在完卷廣學選問調	公聚衛生管護学方公聚衛生管護学方
1755	E X			2) 2)	· 그	2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 4 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
2年生 (後期)				疾病治療論工 2 条種学工(疫学) 2	成人看護学援助論]	の 中間 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	受傷
1 1 1			闕	2 2 2 2	\$ \$ \$ \$ \$ \$	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- D 1 L
< □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	III		\$\frac{1}{2} 4V \frac{1}{2} \frac{7}{2} \frac{1}{2} \f	疾病治療績 1 保健学 1 (公衆衛生) 1 社会福祉学 医療福祉関係法規 2	基礎機關技術演習工 2 基礎機關技術演習工 1 香養過程演習 1 小J/J/S/X/Y 互提供廣撲字業習工(集中) 2 反人看護学撰稿 2	公務府往希陽字顧諭 2	
700 140 980		図 2	阅	0	N	+++++++++	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
※ ※ ○ ○ ※	目)基礎 (実技)	共生と日本社会	ミュレーションの世界	人体構造学工 人体機能学工 人体機能学工 病理学 微生物学	基礎看護技術演習[看護理論 保健医療倫理学 基礎看護学業別[集中] 5-1医療論		必修 遊玩 遊歌 必修 遊歌 必修 遊歌 必修 遊歌 必修 遊歌 必修 遊歌 必修 遊歌 必修 遊歌 必修 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
144	지 것 잘 꽸 것	瀬 夕		ラックラックイ・イ 継 意 窓	沙 草 子	 	6 6 4 2
無 値>	正 正 理論 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4 755/0活動 2 条员学 2	情報機器の操作 2 キリアザ インエ 1 キリアザ インエ 1	保健医療学帳編 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	機関・機関・機関・機関・機関・機関・機関・機関・機関・機関・機関・機関・機関・機		及衛 7
	基礎教養	共生教養 奈良	情報教養 ギャコ	で 健康の理解	看護学の基本 そ	■護学の展開 統合と発 公衆生を選挙の	(計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計)
1/.	型 本	共通教师李			 	一个型型	新

を 72年 72年 44年 70計 76年 以上 以上 湖 茶 本 72 27 田田 24 10 15 38 θ 27 Ω Ø 9 国際保健医療機関 1 め 医療安全管理学 接合機等学記 (集中) 2 め 5-A医療液固 卒業研究 1 り 1 り 4 か 4 を兼研究 1 集中) 34年 必修 選択 ○ ○ 登修 18 22 **996** 18 4 4 22 4 4 8 4 4 4 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 2 必 成人看腦學播的第 2 必 成人看腦學播的第 2 必 特特爾學達的第 2 必 特特爾學達的第 2 必 机小使髓学增的第 2 必 仍在醫籍學獲的第 2 必 母性香醋學漢的第 \(\alpha\) 必修 の の 強択 の 履修モデル | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 20 • 助産師課程 **沙** 麗 |看護師 奈良学 文化芸4 国際宗良 数据需 專門基礎 基礎教養 健康の理解 香護学の基本 香腹学の展開 品種學 運 中門 和 李門科田 共通教育科目 零門基礎科目

72

リハビリテーション学科

理学療法学専攻 作業療法学専攻



₩ リハビリテーション学科

1.履修規程

(総 則)

第1条 本学学則第13条第3項の規定に基づき、保健医療学部リハビリテーション学科 (以下「本学科」) の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めると ころによる。

(卒業資格)

第2条 本学科を卒業するためには、4年以上在学し、126単位以上を修得しなければな らない。

(授業科目の区分)

- 第3条 授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。
 - 2 共通教育科目は、これを基礎教養科目群、共生教養科目群、奈良・国際科目群、 情報教養科目群、キャリア形成科目群及び、導入基礎科目群に区分する。
 - 3 専門基礎科目は、これを人体の構造と機能及び心身の発達科目群、疾病と障害 の成り立ち及び回復過程の促進科目群、保健医療福祉とリハビリテーション科目 群に区分する。
 - 4 専門科目は、これを以下のように区分する。

〈理学療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎理学療法学、理学療法評価学、理学療法 治療学、地域理学療法学、臨床実習

〈作業療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎作業療法学、作業療法評価学、作業療法 治療学、地域作業療法学、臨床実習

(授業科目の履修)

- 第4条 本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単 位を修得しなければならない。
 - (1) 共通教育科目 (選択科目16単位を含む) 31単位以上
 - (2)専門基礎科目 (選択科目2単位を含む) 31単位以上
 - (3)専門科目 (選択科目2単位を含む) 64単位以上

(単 位)

第5条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とする。

(配当年次)

第6条 各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降 において履修することができる。

(授業科目の履修制限)

第7条 授業科目については、原則として、年間48単位を超えて履修することができない。

(履修登録)

第8条 履修登録は、各学期初めに行わなければならない(年2回)。

(履修登録の制限)

- 第 9 条 授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。
 - 2 同時限に開講される授業科目は、1科目しか登録することができない。

(再登録)

- 第10条 単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。
 - 2 単位を修得することができなかった授業科目は、第7条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

(履修登録の変更)

- 第 11 条 履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
 - 2 学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

(授業科目の開講)

第12条 授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

(授業の組分け)

第 13 条 履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

(単位の認定)

- 第 14 条 担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等(以下「試験等」という)、または平素の履修状況(学習態度等)により学修の成果を評価して単位を与える。
 - 2 各授業への出席が授業時間の3分の2(実習においては5分の4)に満たない場合は再履修とする。

(単位認定を受ける資格)

- 第 15 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
 - (1) 授業料その他諸納入金が未納であるとき
 - (2) 履修登録をしていないとき

(試験等の成績評価)

- 第16条 試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
 - (1) 100 点から 90 点まで 秀
 - (2) 89 点から 80 点まで 優
 - (3) 79点から70点まで 良
 - (4) 69 点から 60 点まで 可
 - (5) 59点以下 不可(不合格)

(受験上の注意)

第 17 条 学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

(再試験等)

- 第 18 条 試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
 - 2 再試験等の実施については、別に定める。
 - 3 再試験等で合格した者の成績評価は、60点(可)とする。

(追試験等)

- 第19条 病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
 - 2 追試験等の実施については、別に定める。
 - 3 追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2.履修に関する 留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験もしくは実習のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の3分の2(臨床実習科目においては5分の4)に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30分未満の場合は3分の1回の欠席扱いとし、30分以上の場合は1回の欠席扱いとします。

3)履修指導の 体制 各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。学習、学生生活、課外活動、 進路等についても支援を行いますので適時相談に来てください。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目(原則的に選択科目は除く)によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります(ただし、成績の評価は60点を上限とし、受験回数は1回のみとします)この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、初回履修時の授業への出席が授業時間の3分の2以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)臨床実習科目 の履修に 関する留意点 臨床実習科目を履修するためには、次の表に示す実習ごとの先修条件を満たしておく必要があります。詳細は「臨床実習の手引き」に記載していますので熟読してください。



先修条件

○理学療法学専攻

臨床実習科目名	開講 年次	先修条件
早期体験実習	1 年次 前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1 年次前期に開 講された必修科目をすべて履修していること
地域理学療法実習	2 年次 後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期まで に開講された必修科目をすべて履修していること
理学療法評価実習	3年次 後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験(OSCE)に合格していること
総合臨床実習 総合臨床実習	4 年次 前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位を すべて修得していること

○作業療法学専攻

臨床実習科目名	開講	先修条件
	年次	九彦木口
早期体験実習	1 年次 前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1 年次前期に開 講された必修科目をすべて履修していること
地域作業療法実習	2 年次 後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期まで に開講された必修科目をすべて履修していること
検査・測定実習	3 年次 前期	専門基礎科目と専門科目のうち、3年次前期まで に開講された必修科目をすべて履修していること
作業療法評価実習	3年次 後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験(OSCE)に合格していること
総合臨床実習 総合臨床実習	4 年次 前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位を すべて修得していること

3.教育目標と 教育課程編成 の考え方

学生は以下に示す教育目標と教育課程編成の考え方を理解し、ディプロマポリシーを達成するとともに理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるよう努めてください。

1)教育目標

日々変化する医療・社会情勢を的確にとらえ、科学的根拠に基づいた知識と技術を修得するとともに、多様化する個人・家族・社会のニーズに柔軟に対応して、地域において問題解決能力と実践力を発揮できる人材の養成を目標とします。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるように理学療法士・作業療法士学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

<カリキュラムポリシー>

リハビリテーション学科では、時代が求める先端医療と地域包括ケアの一翼を担う人材を育成するために各科目をバランスよく配置し、段階的に必要とされる各能力を向上させ

ることができるようカリキュラムを設定する。教育目標を達成するための学科のカリキュ ラムポリシーは、以下のとおりとする。

- A. 豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身に付ける教育
- B. 自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身に付ける教育
- C. 主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身に 付ける教育
- D. リハビリテーション医療職に必要な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション 能力を身に付ける教育
- E.全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育
- F.リハビリテーション医療職として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、 他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身に付ける教育

各専攻のカリキュラムポリシーは以下のとおりとする。

<理学療法学専攻のカリキュラムポリシー>

- A.理学療法士にふさわしい豊かな人間性、対象者の障害像を理解するための論理的な思考力、効率的な治療計画を立案できる的確な判断能力を身に付ける教育
- B. 自然や文化を大切にし、医療者としての倫理性、多様化する社会の中で理学療法士としての役割を認識できる社会性と国際的感覚を身に付ける教育
- C. 主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、自らの主張や意見を的確に表現する能力を身に付ける教育
- D.対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させるために必要な理学療法の知識・技術と理学療法士に必要な情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育
- E.理学療法士として対象者の心と身体の痛みを全人的に理解することができるとともに、 科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる 能力を身に付ける教育
- F.理学療法士として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、対象者が地域で自立した日常生活へ復帰させるために必要な多職種間の連携によるチームへ主体的に活動できる汎用的能力を身に付ける教育

<作業療法学専攻のカリキュラムポリシー>

- A.対象者の心身機能の向上のみならず、生活の質を高めることも求められる作業療法士 に必要な豊かな人間性、論理的な思考力、的確な問題解決能力を身に付ける教育
- B.対象者の地域社会での生活支援も担う作業療法士として、自然・文化などの社会特性、 倫理性を理解できると共に、多様化する社会の中で対応し得る国際的な感覚を身につ ける教育
- C.主体的な体験や集団での討論を通して自己の意見を確立し、その意見を論理的にまとめた上で、的確に□頭や記述で表現する能力を身につける教育
- D.子供から成人、高齢者までの多種多様な疾患、高次脳機能障害を対象として作業を用いた支援・治療を実践する作業療法士に必要な知識および技術、情報機器や言語・非言語的方法を用いた人とのコミュニケーション能力を身に付ける教育
- E.作業療法士として、科学的、客観的な根拠に基づいた支援・治療および対象者の主観性や生活背景、障害受容過程を踏まえた精神的ケアが行える能力を身に付ける教育
- F.作業療法士として、急速な少子高齢化や障害の多様化による社会的ニーズの変化に対応し、チーム医療や地域包括ケアの中で他職種と連携して活動できる協働性を培い、 汎用的能力を身に付ける教育



4.ディプロマ ポリシーと 科目の関連性

次の表はディプロマポリシー (DP) と科目の関連性を示したものです。学生は、この関連性から修得すべき事項を理解して授業に臨んでください。また、選択科目の選択においては、この関連性を参考にしてください。

		理学療法学専 ディプロマオ ③…特に関連 ○…関連が張	ポリシーと科目の関連性 『が強い科目			備知に身作上にの間人 を職よ体能さつ痛愛的 で基準のでは があるとり機力を はないである。 に基プ	士き術者や改能心対づを と専の象基善力としい実備 と専の象基・を身てた機え での場の動向身体人全でて	対象者がで個別的療ニーズ投える情	士もなりを とつ保確で を を を を を を を を と の を を の を の を の を の る る る る る る る る る る	多職種する一括を対して、たりでは、対して、たりでは、対して、たりでは、対して、大のでは、対して、大のでは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	象者が自 常生活行 得できる かつ的確	の知識と会かれています。 の知識を表示である。 の対象を表示である。 の対象を表示である。 の対象を表示である。 の対象を表示である。 の対象を表示である。 の対象を表示できます。 のの、数のできます。 のの、数のできます。 ののできまする。 ののできまななななななななななななななななななななななななななななななななななな	士技の保柔と、ョで究と術変健軟すリンき心を化変をしまるへのるを はないで変ない。 は、ヨで究心を は、ヨで究心を は、ヨで究
年次	并 配分	科目群	科目名	開業期	必修	改善・向上 させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	間題解決能力	連携・協備する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と 研究心
			英語 I	前	必		0					0	
			英語Ⅱ	後	必		0					0	
			英会話 I	前	必		0					0	
			英会話Ⅱ	後	必		0					0	
			中国語基礎I	前	遵		0					0	
			中国語基礎Ⅱ	後	遵		0					0	
			中国語会話	前	遵		0					0	
			スペイン語基礎 I	前	選		0					0	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	遵		0					0	
			スペイン語会話	前	遵		0					0	
			文学	後	遵		0					0	
			哲学	前	遵		0			0			
			倫理学	前	遷		0			0			
		11 78 M. 36	心理学	前	必	0					0		
		基礎教養	行動の科学	後	遷	0					0		
			文化人類学	後	遷		0					0	
			音楽の世界	後	遵		0					0	
			社会学	後	遵		0					0	
1	共		日本国憲法	前	澧		0					0	
	通		歷史学	後	澧		0					0	
			地理学	後	遷		0					0	
1 1	教		数学の世界	前	遷				0				0
年 次	育		自然科学の基礎	後	遷				0				0
			環境化学の基礎	後	遷				0				0
	科		健康スポーツ(理論)	前	必	0	0						
	目		健康スポーツ(実技)	後	遷		0			0			
			スポーツ実技 I	前	遷		0			0			
			スポーツ実技Ⅱ	後	遷		0			0			
			共生と社会	後	選						0	0	
		共生教養	人権論	前	遷						0	0	
			ボランティア活動	前	必						0	0	
			生活と環境	前	選						0	0	
			奈良学	前	避		0					0	
		奈良·国際	異文化コミュニケーション	後			0					0	
	ļ		国際事情	後			0					0	
			情報機器の操作	前	-			0	0				
			情報倫理とセキュリティ	前	-			0	0				
		情報教養	データの世界	前				0	0				
			情報と分析	後	-			0	0				
	-		CGの基礎と演習	後				0	0				
		キャリア形成	キャリアデザインI	前			0					0	
	-		キャリアデザインⅡ	後	選		0					0	
		導入鹽礎	基礎ゼミI	前	必				0				0
			基礎ゼミⅡ	後	必				0				0

		理学療法学専 ディプロマポ ◎…特に関連 ○…関連が強	リシーと科目の関連性 が強い科目			につけ、 の痛みに 間愛に基	き術対や改能心対づを専の象基書力としい実門修者本・を身てた践的得の動向身体人全で	対象者が で個別的 療ニーズ 捉える情	士もなを報能いとつ保険にと身	地域包括体でした。	と <u>能力</u> を <u>能力</u> を 療い を を を を を を で で で が 活 活 に で の が 活 に で ら が 活 に る が 活 に る ら に る ら に る ら に る ら の も る る る る る る る る る る る る る	広しよう 欲をもち リテーシ	技の保柔と、ヨで完 を を を を を を を を を を を を を
年次	料目	科目群	科目名	開輸期	必修	改善・向上 させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集 能力	問題解決能力	連携・協備する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と 研究心
10.			人体構造学 I (総論・組織学)	前	ě.	0	0	BED 53	BESS	, 0 8623	may J		4170-0
			人体構造学Ⅱ (内臓・生殖器)	後	必	0	0						
				後	必	0	0						
		人体の構造と	人体機能学 I (植物性機能)	前	必	0	0						
	車	機能及び心身の 発達	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	0	0						
	門		人間発達学	前	必	0	0						
	基		運動学入門	前	必	0	0						
1	礎		運動学 I (総論)	後	必	0	0						
年次	科		精神医学	後	必	0						0	
	Ħ	疾病と障害の	リハビリテーション医学	前	必	0						0	
		成り立ち及び 回復過程の促進	痛み学概論	後	必	0						0	
			スポーツ医学	後	遵	0						0	
		保健医療福祉と	リハビリテーション概論	前	必					0	0		
		リハピリテーション	チーム医療論	後	必					0	0		
	専門	基礎理学療法学	理学療法概論	前	必	0						0	
	専門科目	臨床実習	早期体験実習(理学療法)	前	必	0						0	
	共通		キャリアディベロップメントI	前	遷		0					0	
	(通數育	キャリア形成	キャリアディベロップメントⅡ	後	遵		0					0	
			人体構造実習	前	必	0	0						
		人体の構造と	人体生理機能実習	前	必	0	0						
		機能及び心身の 発達	運動学Ⅱ(各論)	前	必	0	0						
	車		運動学演習	前	必	0			0				
	9 門		整形外科学 I (総論)	前	必	0	0						
	基基		整形外科学Ⅱ(各論)	後	Ľ	0	0						
	産産		内部障害学 I (総論)	前	Ľ	0	0						
		疾病と障害の	内部障害学Ⅱ(各論)	後	Ľ	0	0						
	科目	成り立ち及び 回復過程の促進	神経内科学	前	必	0	0						
	Ħ		心身医学概論	後	必	0	0						
			臨床心理	後	必	0					0		
2 年			薬理学概論	後	選	0	0						
次		保健医療福祉と リハピリテーション	国際リハビリテーション論	前	必		0					0	
		基礎理学療法学		後	必	0	0						
			理学療法評価学	前	必	0	0	0					
		理学療法評価学	運動器障害評価学	後	必	0	0	0					
		_ 1 W W H I IM T	神経障害評価学	前	必	0	0	0					
	_		内部障害評価学	後	必	0	0	0					
	申		基礎運動療法学	前	必	0	0						
	門。		義肢装具学 I (総論)	前	必		0				0		
	科	理学療法治療学	義肢装具学Ⅱ(各論)	後	必		0				0		
	Ħ		日常生活動作学	帕	必		0				0		
			日常生活動作学演習	後	必				0		0		
		地域理学療法学	地域理学療法学	前	必						0	0	
		心例在于原位于	地域理学療法学演習	後	必				0		0		
		臨床実習	地域理学療法実習	後	必						0	0	

	7 ©	里学療法学専ジ ディプロマポリ ①…特に関連な 〕…関連が強V	リシーと科目の関連性 ³ 強い科目			により、 身体能力せ 上で の 間大 に あまた と に の に を に に の に に の に に の に に の に に の に に の に に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	き術対 <u>や改能</u> 心対 専の象基善力とし 門修者本・を身て 的得の動向身体人	DP② 乗対 乗対 を は の を を の を を の を を の の を の の を の の を の の の の の の の の の の の の の	もつ多様 な保健医 を 報収集と 能力を身	え地体と立いた手に変対のでは、大大地のでは、たりでは、たりでは、たりのでは、たりのでは、ないのでは、たりのでは、ないのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	と <u>能力</u> 医アナオ条 常得を 変力を 変形を 変形にるが活きの でする が活き的 でする でする でする できる できる できる できる できる できる できる でき	PP型型のめません。 療験社者ズよも一貫とい を放り、 を放り、 を放り、 を放り、 を放り、 を放り、 を放り、 を放り、 を放り、 を放り、 をなり、 をなり、 をなり、 をなり、 をなり、 をなり、 をないる。	技の保柔と、ョで究 術変健軟すリンき心 を化度にるハのるを 高と療対意ビ発 標備
年次	料目 区分	科目群	科目名	開業期	必修	改善・向上 させる能力	全人的ケア の実践力	情報収集 能力	問題解決 能力	連携・協働 する能力	支援する 能力	ニーズ への対応力	探求心と 研究心
	基亨	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	遣	0	0						
			医療リスクマネジメント	後	必				0			0	
			疼痛リハビリテーション学	後	必		0					0	
		両専攻共通専門	リハピリテーション行動科学	後	必		0					0	
			ウイメンズヘルスケア	後	必		0					0	
			認知発達障害ケア	後	Ø		0					0	
		the wife one all the pin Ar. Als	理学療法研究法	前	必				0				0
		基礎理学療法学	客観的臨床能力演習(理学療法)	後	必		0		0			0	
		理学療法評価学	理学療法計画論	後	必		0	0					
			物理療法学 I (総論)	前	必	0	0						
			物理療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
3	車		筋骨格障害理学療法学I(総論)	前	必	0	0						
年次	門		筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
1	科		中枢神経障害理学療法学 I (総論)	前	必	0	0						
	B		中枢神経障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
	_	理学療法治療学	小児期障害理学療法学	前	必	0	0						
			スポーツ障害理学療法学	後	必	0	0						
			内部障害理学療法学 I (総論)	前	必	0	0						
			内部障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
			内部障害理学療法学演習	後	必	0	0						
			老年期障害理学療法学	前	必	0	0						
			神経筋障害理学療法学	後	必	0	0						
		地域理学療法学	福祉用具・生活環境論 I (総論)	前	必						0	0	
		和像性子亦伝子	福祉用具・生活環境論 II (各論)	後	必						0	0	
		臨床実習	理学療法評価実習	後	必	0	0	0					
	専門	保健医療福祉と	先端リハビリテーション論	後	必							0	0
	基礎	リハピリテーション	チーム医療論演習	後	必		0			0			
4		両専攻共通専門	職場管理論	後	必		0			0			
年次	専門	基礎理学療法学	理学療法卒業研究	後	必				0				0
1	科	理学療法治療学	理学療法技術特論	後	必	0							0
	Ħ	臨床実習	総合臨床実習 I (理学療法)	前	必	0	0	0	0				
L		唯 小天日	総合臨床実習Ⅱ(理学療法)	前	必	0	0	0	0				

	3	作業療法学専ディプロマホ ②…特に関連 ②…関連が前	『リシーと科目の関連性 『が強い科目			よび (大) は (大) は (大) は (大) を (なにえ難、が身實ので対対るとは実に足質されて技術、でけす高能なるとは実践に関する能なるとない。	象者の個別な保健医院 把握できる。 能力と保健 題に対して に向けた」	士列家音像では、 というで、一般での一般で、 大学を全体では、 大学を主義を 大学を 大学を 大学を 大学を 大学を 大学を 大学を 大学を 大学を 大学	おしよやで視う割しおしよやで視う割し	生を理解 重間での <u>連</u> ができる能	の変化に(ニーズの) し、さらい 貢献する) 業療法に	や 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
年次	料目 区分	科目群	科目名	開業期	必修	専門的 知識・技術	全人的ケア の実践力	情報収集 能力	間題解決 能力	連携・協備 する能力	支援する 能力	ニーズへの 対応力	探求心と 研究心
			英語 I	前	必		0					0	
			英語Ⅱ	後	Ø		0					0	
			英会話I	前	必		0					0	
			英会話Ⅱ	後	必		0					0	
			中国語基礎 I	前	遵		0					0	
			中国語基礎Ⅱ	後	遵		0					0	
			中国語会話	前	遵		0					0	
			スペイン語基礎Ⅰ	前	遵		0					0	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	選		0					0	
			スペイン語会話	前	遵		0					0	
			文学	後	遵		0					0	
			哲学	前	遵		0			0			
			倫理学	前	遵		0			0			
		***	心理学	前	必	0					0		
		基礎教養	行動の科学	後	選	0					0		
			文化人類学	後	遵		0					0	
			音楽の世界	後	選		0					0	
			社会学	後	澧		0					0	
	共		日本国憲法	前	澧		0					0	
	通		歴史学	後	澧		0					0	
			地理学	後	澧		0					0	
1	數		数学の世界	前	澧				0				0
年次	育		自然科学の基礎	後	選				0				0
	"		環境化学の基礎	後	選				0				0
	科		健康スポーツ(理論)	前	必	0	0						
	目		健康スポーツ(実技)	後	遷		0			0			
			スポーツ実技I	前	遷		0			0			
			スポーツ実技Ⅱ	後	遷		0			0			
			共生と社会	後	選						0	0	
		22, 22, 24, 24	人権論	前	選						0	0	
		共生教養	ボランティア活動	前	必						0	0	
			生活と環境	前	遭						0	0	
			奈良学	前	選		0					0	
		奈良·国際	異文化コミュニケーション	後	選		0					0	
			国際事情	後	必		0					0	
			情報機器の操作	前	必			0	0				
			情報倫理とセキュリティ	前	選			0	0				
		情報教養	データの世界	前	遭			0	0				
			情報と分析	後	遭			0	0				
			CGの基礎と演習	後	進			0	0				
		a	キャリアデザイン I	前	進		0					0	
		キャリア形成	キャリアデザインⅡ	後	遭		0					0	
			基礎ゼミI	前	必				0				0
		導入盛礎	基礎ゼミⅡ	後	必				0				0

		作業療法学専 ディプロマポ ⑤…特に関連 〇…関連が強	リシーと科目の関連性 が強い科目			よた門修人なすってを、人のでは、大きのでは、たらのではでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのではい	なにえ難。が身膚ので対対ると生を抜って技術、でけす高能をなるとなりまままで、なめ方を変を全さ、なめ方を変をなっています。	多様 よ を は を を を を を を を を を を を を を	士 個	おしよやで視う割し、	生を理解 重関での <u>連</u> ドできる能	成の変化スタールの変化スタールの変化スタールの変化スタールの変化スタールの変化の変化スタールの変化の変化を変化する変化を変化を変化する変化を変化する変化を変化する	やに <u>のさ</u> ままなた。 人伴変なるたけを はなるたと は なるたと が は た て い る る た と で る る た と で る る た と で る る た た て い る る た し る た て い る た て い る た て い る て い る て い る 、 の ら ろ 。 ろ の と の と の と の と の と の と の と の と の と の
年次	料目区分	科目群	科目名	開業期	必修進択	専門的 知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	間題解決能力	連携・協働する能力	支援する 能力	ニーズ への対応力	探求心と 研究心
			人体構造学 I (総論・組織学)	前	必	0	0						
				後	Ø	0	0						
			人体構造学皿(神経・運動器)	後	必	0	0						
		人体の構造と機能	人体機能学 I (植物性機能)	前	必	0	0						
	専	及び心身の発達	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	0	0						
	門		人間発達学	前	必	0	0						
	基		運動学入門	前	必	0	0						
1	礎		運動学 I (総論)	後	必	0	0						
年次	科		精神医学	後	必	0						0	
	目	疾病と障害の成り	リハビリテーション医学	前	必	0						0	
		立ち及び回復過程 の促進	痛み学概論	後	必	0						0	
			スポーツ医学	後	澧	0						0	
		保健医療福祉と	リハビリテーション概論	前	必					0	0		
		リハピリテーション	チーム医療論	後	必					0	0		
	専門	基礎作業療法学	作業療法概論	前	必	0						0	
	科目	臨床実習	早期体験実習(作業療法)	前	必	0						0	
	共通		キャリアディベロップメントI	前	澧		0					0	
	数育	キャリア形成	キャリアディベロップメントⅡ	後	澧		0					0	
	,,		人体構造実習	前	Æ.	0	0						
		人体の構造と機能	人体生理機能実習	前	必	0	0						
		及び心身の発達	運動学Ⅱ(各論)	前	必	0	0						
			運動学演習	前	必	0			0				
	専		整形外科学Ⅰ(総論)	前	Æ	0	0						
	門		整形外科学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
	基		内部障害学 I (総論)	前	赵	0	0						
	礎		内部障害学Ⅱ(各論)	後	赵	0	0						
	科	立ち及び回復過程 の促進	神経内科学	前	赵	0					0		
	目		心身医学概論	後	赵	0					0		
			臨床心理	後	必	0					0		
			薬理学概論	後	選	0							
2年		保健医療福祉と リハピリテーション	国際リハピリテーション論	前	必		0					0	
次			基礎作業学	前	赵	0	0						
		基礎作業療法学	作業技術学 I	後	必	0	0						
			作業技術学Ⅱ	後	赵	0	0						
			作業療法評価学 I (身体)	前	Æ	0	0	0					
		No. 1884 and 1844 from the Ale	作業療法評価学Ⅱ(精神)	前	Ł	0	0	0					
	専	作業療法評価学	作業療法評価学演習 I (身体)	後	Ł	0		0	0				
	, 門		作業療法評価学演習 II (精神)	後	æ	0		0	0				
	科		身体障害作業療法学 I (総論・脳神経系)	前	Ø	0	0						
	目	化学者计公司产	身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	前	Ø	0	0						
		作業療法治療学	身体障害作業療法学Ⅲ(応用)	後	Ø	0	0						
			発達障害作業療法学 I (総論)	後	Ø	0	0						
		1th hall families who let. MA	地域作業療法学 I (総論)	前	Ø	0		0		0	0		
		地域作業療法学	地域作業療法学Ⅱ(各論)	後	Ø		0			0		0	
		臨床実習	地域作業療法実習	後	必	0		0		0	0		

		作業療法学専 ディプロマポ ②…特に関連 ○…関連が強	リシーと科目の関連性 が強い科目			よた門修外のでは、大きのでは、までは、たいでは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、ま	なにえ難。が身情ので対対るとなるとなるとない。でけず高能がなが、でけず高能がるとなる。なめ、なが、なが、なが、なが、なが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、	象者の個別な保護では、 を保護では、 を発達では、 を表現では、 を表現では、 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表現できる。 を表している。 を表して。 を表して。 を表して。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	上 という	おいたう地、点作業別の表現では、	生を理解 重間での <u>連</u> ドできる能	の変化に作 ニーズの3 し、さられ 貢献するが 業療法に対	や半 <u>を化る対応</u> 中半 <u>を化る対応</u> をとなる対応 をなる対応 を は、 を は を は を は を は を は を と な を は を と な さ を は る を は る を し を は る を し を し を し を し を し を し を し を し を し を
年次	料目区分	科目群	科目名	開酵期	必修 選択	専門的 知識・技術	全人的ケア の実践力	情報収集 能力	問題解決 能力	連携・協備 する能力	支援する 能力	ニーズ への対応力	探求心と 研究心
	基専	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	遭	0	0						
			医療リスクマネジメント	後	Ø				0			0	
			疼痛リハビリテーション学	前	遵	0						0	
		両専攻共通専門	リハビリテーション行動科学	後	遵	0						0	
			ウイメンズヘルスケア	前	遵	0						0	
			認知発達障害ケア	後	必	0						0	
		基礎作業療法学	作業療法研究法	前	必			0	0				0
		金绳厂未承还于	客観的臨床能力演習	後	必	0		0					
		作業療法評価学	作業療法総合演習	後	必	0		0					
			精神障害作業療法学 I (総論)	前	必	0	0						
			精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
			発達障害作業療法学Ⅱ(各論)	前	必	0	0						
3	章		老年期障害作業療法学 I (総論)	前	必	0	0						
年次	門		老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
	科		高次脳機能障害作業療法学 I (総論)	前	必	0	0						
	目		高次脳機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
		作業療法治療学	日常生活支援学 I (総論)	前	必	0					0		
			日常生活支援学Ⅱ(各論)	後	赵	0					0		
			作業療法特論 I (身体障害)	前	赵	0	0						
			作業療法特論 II (精神障害)	後	赵	0	0						
			作業療法特論Ⅲ(発達障害)	前	必	0	0						
			作業療法特論IV(老年期障害)	後	赵	0	0						
			作業療法特論 V (高次脳機能障害)	後	必	0	0						
			義肢装具学	前	赵	0					0		
		地域作業療法学	生活環境整備論	後	赵	0					0		
		臨床実習	検査・測定実習	前	赵	0		0	0				
	<u> </u>		作業療法評価実習	後	赵	0		0	0				
	専門基	保健医療福祉と	先端リハピリテーション論	後	赵		0					0	
	基礎	リハピリテーション	チーム医療論演習	後	赵				0	0			
4 年	専	両専攻共通専門	職場管理論	後	必				0	0			
次	門	基礎作業療法学	作業療法卒業研究	後	赵			0	0				0
	科	臨床実習	総合臨床実習 I (作業療法)	前	赵	0	0	0	0				
	Ħ	MADIN 200 ES	総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	前	必	0	0	0	0				

授業科目表

科			畄/	立数					配当	年沙	7				
目	科目	授 業 科 目	牛1	<u> </u>	配当年次	1:	年	24	年	3:	年	44	年	時間	卒業に必要
区分	群		必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	数	な単位数
		英語 I	1		1前	•								30	
		英語 Ⅱ	1		1後		•							30	
		英会話 I	1		1前	•								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		•							30	
		中国語基礎I		1	1前	0		0		0		0		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1後		0		0		0		0	30	
		中国語会話		1	1前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎 I		1	1前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1後		0		0		0		0	30	
		スペイン語会話		1	1前	0		0		0		0		30	
		文学		2	1後		0		0		0		0	30	
		哲学		2	1前	0		\circ		0		\circ		30	
	#	倫理学		2	1前	0		0		0		0		30	
	基礎	心理学	2		1前	•								30	
	教養	行動の科学		2	1後		0		0		0		0	30	
	我	文化人類学		2	1後		0		0		0		0	30	
		音楽の世界		2	1後		0		0		0		0	30	
		社会学		2	1後		0		0		0		0	30	
共		日本国憲法		2	1前	0		\circ		0		\circ		30	
		歴史学		2	1後		0		0		0		0	30	
通		地理学		2	1後		0		0		0		0	30	
		数学の世界		2	1前	0		0		0		0		30	
教		自然科学の基礎		2	1後		0		0		0		0	30	必修15単位 選択16単位
		環境化学の基礎		2	1後		0		0		0		0	30	以上
育		健康スポーツ (理論)	1		1前	•								15	
		健康スポーツ (実技)		1	1後		0		0		0		0	30	
科		スポーツ実技 I		1	1前	0		0		0		0		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1後		0		0		0		0	30	
目	共	共生と社会		2	1後		0		0		0		0	30	
	生	人権論		2	1前	0		\circ		\circ		\circ		30	
	教養	ボランティア活動	2		1前	•								30	
	民	生活と環境		2	1前	0		\circ		0		\circ		30	
	-to-th	奈良学		2	1前	0		\circ		0		0		30	
	奈良 国際	異文化コミュニケーション		2	1後		0		0		\circ		0	30	
		国際事情	2		1後		•							30	
		情報機器の操作	2		1前	•								30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1前	0		\circ		\circ		\circ		30	
	報教	データの世界		2	1前	0		\circ		0		0		30	
	養	情報と分析		2	1後		0		0		0		0	30	
		CGの基礎と演習		2	1後		0		0		0		0	30	
	キャ	キャリアデザインI		1	1前	0		_						30	
	IJ	キャリアデザインⅡ		1	1後		0	_						30	
	ア形	キャリアディベロップメントI		1	2前			0						30	
	成	キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				0					30	
	導入	基礎ゼミI	1		1前	•								30	
	基礎	基礎ゼミⅡ	1	ļ	1後		•							30	
		小計 (46科目)	15	57	_										

日日日	4 3			224	LL- NG				i	配当	年次	ζ.				
世界	目		授 業 科 日	里1	立 数	配 当年次	1:	年	24	年	3	年	4	年		
人体構造学 (内臓・生麻器) 1 1後 0 30 30 4 4 4 4 4 4 4 4 4			D * 11	必修	選択	此当于以										な単位数
(本)			人体構造学 I (総論・組織学)	1		1前	•								30	
大体機能学工 (機能学工 (植物性機能) 1 1前			人体構造学Ⅱ (内臓・生殖器)	1		1後		•							30	
構造とした (植物性機能) 1 1前 ● 1 30 30 26 60 人体機能学 (植物性機能) 1 1前 ● 1 1前 ● 30 30 26 60 人体機能学 (植物性機能) 1 1 1前 ● 1 30 30 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20			人体構造学Ⅲ (神経・運動器)	1		1後		•							30	
上 人体機能学 I (他物性機能) 1 1 1歳		構	人体構造実習	2		2前			•						60	
能 人体生理機能表習 2 2前 660 人			人体機能学 I (植物性機能)	1		1前	•								30	
及び心理 (総論) 1 1前 ● 30 30 2 2前 9 2前 9 30 30 2 2前 9 2			人体機能学Ⅱ (動物性機能)	1		1後		•							30	沙族14畄位
大田外産学		及	人体生理機能実習	2		2前			•						60	北修14年位
### 1 1 1前 ● 30 30 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20			人間発達学	1		1前	•								30	
要から (A Sea)		身	運動学入門	1		1前	•								30	
専 門 表			運動学 I (総論)	1		1後		•							30	
専門型 基礎		達	運動学Ⅱ (各論)	1		2前			•						30	
円 大 下 下 下 下 下 下 下 下 下			運動学演習	1		2前			•						30	
門 基 で で で で で で で で で	専	咗	精神医学	1		1後		•							30	
基	門	病	リハビリテーション医学	1		1前	•								30	
整形外科学 I (総論)	韭		痛み学概論	1		1後		•							30	
整形外科学 II (各論)		害	整形外科学 I (総論)	1		2前			•						30	
内部障害字 (総論)	礎		整形外科学Ⅱ (各論)	1		2後				•					30	
Pan	科		内部障害学 I (総論)	1		2前			•						30	沙核10単位
中経内科学	目	ち	内部障害学Ⅱ (各論)	1		2後				•					30	選択2単位
回復 過程 日 日 日 日 日 日 日 日 日			神経内科学	1		2前			•						30	以上
温程 1 2後 0 30 30 2 2 2 2 30 30		旦	心身医学概論	1		2後				•					30	
の 促進 薬理学概論 1 2後 ○ 30 30 30 30 30 数命救急学概論 1 3後 ○ 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30			臨床心理	1		2後				•					30	
世			スポーツ医学		1	1後		0							30	
大連 大連 下 下 下 下 下 下 下 下 下		促	薬理学概論		1	2後				0					30	
専門科目 (両専門) 医療リスクマネジメント 1 4後 ● 30 基本 1 1 4後 ● 30 上 (大)		進	救命救急学概論		1	3後						0			30	
大端リハビリテーション論			リハビリテーション概論	1		1前	•								15	
サーム医療論 1 1後 ● 15 20 5単位 1 1 1 1 2		一医	先端リハビリテーション論	1		4後								•	30	
P		デ福祉	チーム医療論	1		1後		•							15	
本 国際リハビリテーション論 1 2前 ● 30 小計 (30科目) 29 3 - □ 専門科目 医療リスクマネジメント 1 3後 ● 15 職場管理論 1 4後 ● 15 疼痛リハビリテーション学 1 3前 ○ 30 選択2単位 以上 ウイメンズヘルスケア 1 3前 ○ 30		のリ	チーム医療論演習	1		4後								•	30	0715
専門科目 (両専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通・アンボス) (大元・アンデンで)		型ハカビ	国際リハビリテーション論	1		2前			•						30	
門科目 (両専門 攻) 「本通専門 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で			小計 (30科目)	29	3	_										
科 目 機場管理論 1 4後 ● 15			医療リスクマネジメント	1		3後						•			15	
目 (両専門) 水 事 (対) ハビリテーション学 1 3前 ○ 30 選択2単位 選択2単位 以上 ウイメンズヘルスケア 1 3前 ○ 30			職場管理論	1		4後								•	15	
専門 リハビリテーション行動科学 1 3後 ○ 30 ウイメンズへルスケア 1 3前 ○ 30			疼痛リハビリテーション学		1	3前					0				30	
専 ウイメンズヘルスケア 1 3前 〇 30	両		リハビリテーション行動科学		1	3後						0			30	
		L.3	ウイメンズヘルスケア		1	3前					0				30	
			認知発達障害ケア		1	3後						0			30	

リハビリテーション学科

科			出/	立数				i	配当	年沙	ζ.				
目	科目	授業科目	平1	<u> </u>	配当年次	1:	年	24	年	3:	年	4	年	時間	卒業に必要
分	群		必修	選択		前期	後期	前期		前期	後期	前期	後期	数	な単位数
	基	理学療法概論	1		1前	•								30	
	礎 理	臨床運動学	1		2後				•					30	
	学	理学療法研究法	1		3前					•				30	必修7単位
	療法	客観的臨床能力演習 (理学療法)	2		3後						•			30	
	学	理学療法卒業研究	2		4後								•	30	
	理	理学療法評価学	1		2前			•						30	
	学療	運動器障害評価学	1		2後				•					30	
	法	神経障害評価学	1		2前			•						30	必修6単位
	評価	内部障害評価学	1		2後				•					30	
	学	理学療法計画論	2		3後						•			30	
		基礎運動療法学	1		2前			•						15	
		義肢装具学 I (総論)	1		2前			•						30	
		義肢装具学Ⅱ (各論)	1		2後				•					30	
		物理療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
-		物理療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
専		筋骨格障害理学療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
門		筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	1		3後						•			30	
科	理	中枢神経障害理学療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
目	学療	中枢神経障害理学療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
_	法	小児期障害理学療法学	1		3前					•				30	必修20単位
理学	治療	スポーツ障害理学療法学	1		3後						•			30	
療法	学	内部障害理学療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
学専		内部障害理学療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
専 攻		内部障害理学療法学演習	1		3後						•			30	
٥		老年期障害理学療法学	1		3前					•				30	
		神経筋障害理学療法学	1		3後						•			30	
		日常生活動作学	1		2前			•						30	
		日常生活動作学演習	2		2後				•					30	
		理学療法技術特論	1		4後								•	30	
	地域	地域理学療法学	1		2前			•						30	
	_二 理	地域理学療法学演習	2		2後				•					30	必修5単位
	子学療	福祉用具・生活環境論 I (総論)	1		3前					•				30	北160年世
	法	福祉用具・生活環境論 II (各論)	1		3後						•			30	
		早期体験実習(理学療法)	1		1前	•								45	
	臨	地域理学療法実習	2		2後				•					90	
	床実	理学療法評価実習	3		3後						•			135	必修22単位
	習	総合臨床実習 I (理学療法)	8		4前							•		360	
		総合臨床実習Ⅱ (理学療法)	8		4前							•		360	
İ		小計 (44科目)	62	4	_										

科			拼 F	立数				i	配当	年次	ζ				
目	科目	授業科目	平1.	立 数	配当年次	1:	年	24	年	3:	年	4	年	時間	卒業に必要
区分	群		必修	選択	,,,,,	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		数	な単位数
		作業療法概論	1		1前	•								30	
		基礎作業学	1		2前			•						30	
	礎 作	作業技術学I	1		2後				•					30	
	業	作業技術学Ⅱ	1		2後				•					30	必修8単位
	療法	作業療法研究法	1		3前					•				30	
	学	作業療法卒業研究	2		4後								•	30	
		客観的臨床能力演習 (作業療法)	1		3後						•			30	
		作業療法評価学 I (身体)	1		2前			•						30	
	業療	作業療法評価学Ⅱ (精神)	1		2前			•						30	
	法	作業療法評価学演習 I (身体)	1		2後				•					30	必修5単位
	評価	作業療法評価学演習Ⅱ (精神)	1		2後				•					30	
	学	作業療法総合演習	1		3後								•	30	
		身体障害作業療法学 I (総論・脳神経系)	1		2前			•						30	
		身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	1		2前			•						30	
		身体障害作業療法学Ⅲ (応用)	1		2後				•					30	
		精神障害作業療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
専		精神障害作業療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
門		発達障害作業療法学 I (総論)	1		2後				•					30	
科		発達障害作業療法学Ⅱ (各論)	1		3前					•				30	
目	作	老年期障害作業療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
$\widehat{}$	業療	老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	1		3後						•			30	
作業	法	高次脳機能障害作業療法学 I (総論)	1		3前					•				30	必修20単位
療法	治療	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
学	学	日常生活支援学 I (総論)	1		3前					•				30	
専攻		日常生活支援学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
0		作業療法特論 I (身体障害)	1		3前					•				15	
		作業療法特論Ⅱ (精神障害)	1		3後						•			15	
		作業療法特論Ⅲ (発達障害)	1		3前					•				15	
		作業療法特論IV(老年期障害)	1		3後						•			15	
		作業療法特論 V (高次脳機能障害)	1		3後						•			15	
		義肢装具学	2		3前					•				30	
	療地	地域作業療法学 I (総論)	2		2前				•					30	
	療法学業	地域作業療法学Ⅱ(各論)	1		2後					•				30	必修4単位
	士業	生活環境整備論	1		3後						•			30	
		早期体験実習(作業療法)	1		1前	•								45	
	臨	地域作業療法実習	2		2後				•					90	
	床	検査・測定実習	1		3前					•				45	必修23単位
	実習	作業療法評価実習	3		3後						•			135	, 122
		総合臨床実習 I (作業療法)	8		4前							•		360	
		総合臨床実習Ⅱ (作業療法)	8		4前							•		360	
		小計 (46科目)	62	4	_										
		法学専攻 合計(120科目)126単位以上 法学専攻 合計(122科目)126単位以上	106	64	_										

選択科目履修モデル

選択科目の中から希望する就職先(病院・クリニック、訪問看護ステーション・老人保健施設、大学院進学)に合わせ、自らの志向により科目を選択履修してください。

履修モデル1 (病院・クリニック)

	1年次	2年次	:	3	年次
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報理論とキキュリティ	薬理学概論	疼痛リハビリテーション学	救命救急学概論
人権論	健康スポーツ(実技)				リハビリテーション行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
キャリアテ゛サ゛イン I	情報と分析				

履修モデル2 (訪問看護ステーション・老人保健施設)

	1年次	2年次	:	3	年次
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学		薬理学概論		救命救急学概論
日本国憲法	健康スポーツ(実技)				リハビリテーション行動科学
人権論	共生と社会				認知発達障害ケア
生活と環境					
奈良学					
キャリアテ゛サ゛イン I					

履修モデル3 (大学院進学)

	1年次	2年次	:	3	年次
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報倫理とセキュリティ	薬理学概論	疼痛リハビリテーション学	救命救急学概論
数学の世界	健康スポーツ(実技)				リハビリテーション行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
キャリアテ゛サ゛イン Ι	情報と分析				
	スポーツ医学				

	◎履修モデル1	(埋字療法字專攻)	死、クリロッ	(病院、クリニック就職希望者) ・ケル		o by th				of the sta				A President			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/		#			##-		\ 		#				₩ ∨		単位	掛:
10 10 10 10 10 10 10 10	64 B K 45				# # **	44.02 GK.93	=	6.9		652 (59	_	6 22 3		~	44.02 EC 59		敞
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7	_	1 必英語1	1													
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		英会話I	1 必英会話Ⅱ	1	溢												
	基礎教法	心理学	Ż.		類											14	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		健康スポーツ (理論)	1 必健康スポー		類												
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 半 押		瀸		類												
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	ボランティア活動															必修15単 分 3841.c
The control of the		人権論														4	位、建长16 単位以上
Particularies Particularie		禁	国際事情		727											2	
A CAME Add to the day	情報機器の操作	Ŋ,		綤											0		
Control Cont		データの世界														20	
	キャリア形																
Company 1 Comp	導入基礎		苡		첫											2	
	Y №	人体構造学1(総論・組織学)		 生殖器) 	凉	1											
Coloration Col	₩ 6 (54	人体機能学1(植物性機能)		学丑(動物性機能) 1	必運動学11(各論)	1 12%											
No. Control (1) (1)	人間発達学		1 (鑑製	必運動学演習	1 1/2										14	必修14单位	
	の数 ついま	運動学入門	1 124		人体構造実習												
					人体生理機能実習												
		リハピリテー	1 必精神医学	1	必 整形外科学1(総論)	芍	6外科学Ⅱ(各論)			教命書							
	(痛み学概能	1	必内部障害学1(総論)		下降害学Ⅱ(各輪)									31	24 After 0.36
	3 成 3				神経内科学		9 医学概論	1 24								12	位、選択2年
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	優頭					SW6	核心理	1 12/2									東以上
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	無					強	里学概論	要 1									
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ゲーン (77 業者:	*リヘアリテーション敷稿	苅		Ąį									先権リハビリケーション	1	ıc	27.4855 billion
1 日	30 6	××												チーム医療論演習	1 Ž	,	
	世 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田							疼痛リハビリ	7	测	リスクマネジメント 1	শ্ব		職場管理論	1 24	4	必修2単位、選
1 日 1	車及									JAR	-						火之単位と人工
1	小 本 語		1 Ž			JWE .	未運動学		坦	1 Žį	_					-	必修7单位
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	型 力				AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN COLUMN		And the state of t			容觀的	_			理学療法卒業研究			
1 日	· 李 ·				植子族饮料自小		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ž 2		推汗湖						9	必億6単位
1 日	佃券				神経障害評価学		部隊害評価学	Ż.									
## 1 日	一				基礎運動療法		改號 海 子 田 (小 圖)	: پ <u>ک</u>	(#SF)		1 20 10 10 10			相子療法技術符圖	1 Ž		
					数校谈中十二特副)		布生活動作子漢音	ý	(機能) (機能)		「 () 国外经额外期和量和	Ž 2				64	
Particular Pa					H M ECHWIP 4	á		十年を発生を	十四年十二四十二十四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		「	ğ 8			F	3.0	77.4859.0186.07
Part	1.4E					ŧ		The Table of the Carlot	# 1 (control	T Company	- (学) ロボナザロ金へ	ų >				2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	作簿							が日益限制制を	(1424) 「14218) (14218	1 次 内部語	+						
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											Ī						
Participa Par	地域理学報告	4			地域理学療法学		表理学療法学演習	凉	+	1 必 福祉用	3具·生活環境論Ⅱ(各論) 1	1 24				22	公修5単位
		_	1 18%				载理学療法実習	17.	+	理学集	+	Ķ				l	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		_										総合職品	ı			22	公(622)単位
第20 第2	4.温粉花		10		6		124	級	必修		必修		必修		必修	Z 15	
1	大型大品		t-		97	2	攋	松	嫌权		遊灯		機打		選択	91 樂	
	車門基礎		9		9		N.Zi	修 4 5	心像		必修		必修		2	29	7.481 os iii 47
	2012/02/02	遊找		遊択	(編)	并	蟵	校 1	職打		遊択 1	,	遊技			2 瀬	強大 20単位
第2	車		23	必修	12/4	9	127	修 10		8 6		3 17		16	必修 4	62	守計28単位 以上
	:	遊択	_	勝托		莊	搬	¥.	操社		選択 1		機投		-		
	į		18 26	11 # 11	81	17 19	2	14 15	- Total	6.		91	10 ME 16	16	9	106	
Φ≠4.3	t	医		養		大 2		1	张				以		\exists	70 W	
		62. 5 1.53		43	Ngi	#81 ###X3			AS-18-24	施 (73 4	수 # 2 7		£5₩22	製			

(防御電機ステーション、老人保険施設設職希望者) 2年生 1年生 <後 期> <前 期> ed too 科 目 ne co	< 前 期> 科 目 ^{htb}	2年生	4	<後期>科目科目		0.45°E	<後期> 科目	<前 期>	4年年 (後期) (後期)	W 20 50 W	本 本 要件
英語11 英会話11	1 1	-			=				-		
行動の科学 健康スポーツ(実材)	2 元		H							14	
, (NO.)	Q/		H								
			+			+					次修15年31 位 強担16
	₩		‡			+				00	世 世
共生と社会	2 際		\exists								_
国際事情	2 (2)									4	_ []
	\dashv		\Rightarrow			_				2	_
E	- 2		#			+				0	_
塩硫で > Ⅱ 人体権 治学 Ⅱ (内職・生殖服)	1 -	人 体 植 许 少 田 (抽 路 ・ 油 电 服	-			╞				7	\downarrow
人体機能学工(動物件機能)	1 1/2		1 -			╁				F	
運動学 I (総論)	1 ½	運動学質型	1			ŀ				14	必修14単位
	-	人体構造実習	2 3								
	┡	人体生理機能実習									
精神医学	Ķ	整形外科学 I (総論)	1 1	整形外科学Ⅱ(各論)	- T	教命	救命救急学艇論 1 選				- 3
痛み学帳論 1	Ķ	內部障害学 I (総論)	1 12/2	必 内部障害学丑(各論)	1 iz						31
		神経内科学	1 1/2	锦	1 18					12	位、選択2単
					1 ½.						7
			1	業理学概論	1 遼						
チーム医療論 1 必		国際リハビリテーション編	 2ğ						先権リくアリケーション編	-	必修5単位
	→		#						チーム医療論質習	٦ غ	
			\dagger						機場管理器	- A	必修2単位、3
			t			認知	害ケア 1			F	#K2#
				臨床運動学	1 必 理学療法研究法	1 25					
			\exists			客觀	客觀的臨床能力演習(理学療法) 2 必		理学療法卒業研究	2 25 7	必修7単位
			+			i					
		and 操放罪 自力 等效 服务 指 自 多	1 -	海豐縣兩地市自沙 安計開發開日亦	Žį 2	が開	祖子狹弦計画器 2 必			9	必修6単位
		小耳 t 加速 脚 计	 ğ Ş	7.500年中間子業移出2月(各額)	1 元 を無棒状約 1 (装物)	1.0.5.56villi.	次 整曲棒许沙工(条輪)		编编资料水等利用	2	
	_	# は () () () () () () () () () (は、日本は、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは		1 次 統章	· 1 (条論) 1		and all triangle and all the	į	64
	╀	日常生活動作学				1 必中枢	-				
	-				小児期障害理学療法学	1 赵 スポ	スポーツ障害理学療法学 1 必			20	必修20単位
					内部障害理学療法学1(総論)	1 必 内部	必 内部障害理学療法学Ⅱ(各論) 1 必				
					老年期除害理学療法学	1 必 内部	内部障害理学療法学演習 1 必				
	-		\exists				1				
		地城理学療法学	-1 24	地域理学療法学演習	2 必 福祉用具・生活環境論1(総論)	1 必 福祉	(路里(各路) 1			10	必修5単位
			+	地域理学療法実習	2 123	州	理学療法評価実習 3 必	必 総合臨床実習 1 (理学療法) (3 人称 中央 1 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	∞ 0	22	必修22単位
389.70	4		O ARC	387 XV	20,000	-	307.70	杉口酯床美官 II (班子煉法)	\(\frac{1}{2}\)	Ŧ	
	2 .Tu		がい	製売 対策	2016	<u> </u>	2000年	が は は は は は は は は は は は は は は は は は は は		が	16 31
必像	9		点が 公修 11	小學 小		ŧ				2 3	23 63
遊択			11 対策	源托	1 5 遊択	Ц	選択 1			2 票	31
小小	366 1	¥	9 身次		0:	∞	81 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81 81 8		16 16	4 3	62 合計126単位 64 以上
が表	=			湯次 水体 14		-	瀬状 2 文件 18		81	が存みを	
業	92 9		: : : :		1 16 業代	œ	Mari 2			3 1	126
											_

大田 20 20 20 20 20 20 20 2	C	単程 医分	本 本 本			(後 類) (数 類)	斯位 医分	<前 期> <前 期> 科 目 meg kxy	<後類>	東	各家業件
株 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	S 4 4 4 4 8	W. E. E. S.	ш	K9) #	E.99	₩ (S)		m	ш	63	ķ
	첫 첫 첫 첫 🤻										
	첫 첫 첫 🖁	1 5	-								
	설 설 #	1 20									
	¥ 8	2 遜								9	
		期 1								91	
		2 遊									
# 20 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	獭										公修15単
	Zi.									2	31 位、選択16 単位以上
本施施部の著作 中 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国際事情	2 ½								2	
1	必情報と分析	2 選 情報倫理と	情報倫理とセキュリティ	2 遊							
第7 基礎 施程という 第7 基礎 施程という (4) 大阪	類									∞	
珠 及びら身の発達 国復進路の促 (/2= 門) 歩 歩 歩 女人なの情報と縁能 成り立ち及び 詳細とす 再海等 学療法 法罪価額 大体の構造と線能 成り立ち及び 詳細と言 同事文 基礎理 理学成成	類									1	
及び心身の発達 回復活躍の 4 ~~ 2 門 歩 歩 大谷の神治と機能 成り立ち及び 4 ~ 2 門 乗 海 季 歩 数法 法評価 人体の構治と機能 成り立ち及び 高純ヒュ 用呼及 五龍理 難学様	必 基礎ゼミロ	1 32								2	
ないのかの発達 回復過度の母 (トンコ 門) 学 学校のかの発達 回復過度の母 (ハビリ 共通事 学療法 法評価 体の構造と機能 成外立ち及び (新生) 成事を (日本年) 日本本事 (日本年) 日本本事 (日本年) 日本年 (日本) 日本年 (日本) 日本年 (日本) 日本 (日本)	必 人体構造学11(内臓・生殖器)	1 🖄	人体構造学皿(神経・運動器)	1 18							
強の身の発達 回復過級の役 トーンコー 門 歩き 歩き 送売 の ない 立ち及び (とり 新生生 水 水 法 手 乗 半 乗 光 法 開 単 半 株 大 東 本 本 大 本 本 大 本 大 本 大 本 大 本 大 本 大 本 大	必 人体機能学工(動物性機能)	1 2/2	(開)	1 187							
海の発達 回復海径の パーンコ 門 一大海 大学 一大学 一大学 一大学 一大学 大学 大	必 運動学1 (総論)	1 必 運動学演習		77 T						14	必修14単位
強性 (金子) (金字) (金字) (金字) (金字) (金字) (金字) (金字) (金字	ঠ্য	人体構造実習		24							
強のなった。 キャンコー 美田 海銀銀 の キャンコース 大田 海線銀 法証明 大田		人体生理機能実習		2 12							
通過組の促 チーショ 共同等 学療法 法評価の スクランド 大海等 学療法 法評価の 立ちをび 活発とする 内球の 大海 東京	必 精神医学	1 必 整形外科学1(総論)	(編纂) I:	1 必 整形外科学Ⅱ(各論)	1 12	教命教急学概論	拠			31	
は 程の促 ケーショ ちをなび (シリン 共通事 学療法 法評価 解害の 医軸医療 同事攻 玉龍珊 理学療	痛み学概論	1 必 内部障害学1(総論)	(爆線) I	1 必 内部障害学Ⅱ(各論)	1 28					9	次修10年
県 トーン= 門 学 学 生産 (グリュ 大道等) 学療法 法評価 (グロ 神祖等) 学療法 法評価 理学療 (次 福祉と同 同事文 基礎理 理学療	スポーツ医学	1 選 神経内科学		1 必 心身医学概論	1 12					71	位以上位以上
テーショ 門 学 歩法 法評価 ヘビリ 共通期 学療法 法評価 開発と 西海女 基礎理 理学療				臨床心理	1 ½					ı	
ショ 門 学 歩 歩 歩 と と ま 通事 学 療法 法 詳価 理学 療法 法 詳細 理学 療 医療 関 瀬 田 野 東 東 東 田 東 東 田 東 東 田 東 東 田 東 東 田 東 東 田 東 東 田 田 東 田 田 東 田 田 東 田 田 東 田 田 東 田	必 チーム医療論	1 必 国際リハビ	国際リハビリテーション編	1 .8%				**	先編リハビリテーション編 1	ŽĮ.	Ar After 100 th
再 学 学 华								т.	チーム医療論演習 1	o Zj	White and W
学 学療法 法評価等权 基礎理 理学療					疼痛リハビリテーション学	1 選 医療リスクマネジメント	1 🖄	繼	職場管理論 1	- 12	必修2単位、選
学 学 学						リハビリテーション行動科学	: 1 漢			r	枳2単位以上
	海			臨床運動学	1 必 理学療法研究法	1 🕏				ŀ	7,487 16/0
						客觀的臨床能力演習(理学療法)	2 (2)	理	理学療法卒業研究 2	%	100
		理学療法評価学		1 必 運動器障害評価学	1 赵	理学療法計画論	2 18%			9	27.4656.18647
*		神経廃害評価学	相外	1 必 内部障害評価学	1 ½						
		基礎運動療法学	**************************************		Ą	 必 物理療法学II(各論) 	1	世	理学療法技術特論 1	শ্ব	
		義恢委共学1 (岩龍)	(羅羅) 1:	1 必 日常生活動作学演習	2 必 所有格牌書理学療法学 [総論)	1 必 筋骨格膜溶理学療法学口(各體)	1			19	
· ***		日常生活動作学	作学	1 12	中枢神経維害理学療法学1(総論)	1 必 中枢神経障害理学療法学11(各論)	1				
此怨					小児別雇事相子療防斗		- I ·			83	必備20単位
****					N:招班相扑教符片 1 (新羅)	1 2/ 內部兩番組子級衍子目(各麗)	-				
+					老年期障害理学療法学	1 必 内部爾布里华療法学演習	- 1 설				
							1 Žį				
T		地域理学療法学		1 必 地域理学療法学演習		1 必 福祉用具・生活環境論Ⅱ(各論)	1 Žį			ro.	必修5単位
BR床実習 事別体験美智(建字療法) 1	ঠ			地版理字旅宏英智	źį.	粗字聚法評恤关單	2 次 総 の 部 の 部 の 部	20		22	必修22単位
								総合臨床実習Ⅱ(理学療法) 8 必		II-	
共通教育 治療 10	17	次像 5 12 12	場 対象 対	2 施4	学 早期	参次 解		學公 早期	京会 瀬井	45 15 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31	
						H		海に		-	
専門基礎 高さ	9	必修 6 · 7		11	4	學學	-	京 本 本 本 は に の に に に に に に に に に に に に に	必修 2	-7	公修106単位
	服 :	選択 1					-1		海が	_	瀬状 20単位 今年188番存
李門	23	必像		9	10	6 8	17	2/4/5 16	必修 4	62	64 U.L.
14.		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 4				- 5	公司 第二章	公 当 当	7 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
26.46 18	88	11 19	17	61	11		16 18	16 16	9	126	50
中華			紫蘭	2 職			2	¥	¥	20 機	
£28	必修29 選択16 合計44		£6#831	必能 31 建铁之合 计 133	£4.	必备24 建灰3 合計27		必备22 最权0 合計22	合計22		

F	7. 公田							公修15年	31 年、確状16 単位以上								必修14単位			31		位、選択2	本位以上		必修5単位	27.68231670	選択2単位以 上	And Mile on his Anderson	光信8年1月	次修5単位			6.4		近4億20単位				必修4单位	次,662.3进位		31		33	64 合計126単	可以	126
L	単位	600		Π	14	I	I	,	4	2	œ	0	1	2			14			I	I	12			rs rs	ý 5	4	žį	ю	ю			T	T	20	Т	I	Ι	4	23	· -	次 第	ŭ Ą		3 12 62		5 45 106 126
	<後 類>																								先端リハビリテーション論 1	ナーム医療講演官 1 職場等理論 1	name a	作業療法卒業研究 2													11111	心衛	遊吹 必修 2		必修 3	源化	必修 5
4年牛	ŀ	6 XI 2																							光緒)	ナーナ 職権	no wat	作業組												菏	يزد		Ŧ		16		١
	<単	_																																						総合臨床実習1(作業療法)8	総合臨床実習Ⅱ(作業療法) 8	(A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	が条	選択	必修 16	嫌払	25年16
-		R R 9)																		捌						×	期		1 1/2	Š		<u>خ</u> ک	ý s	ı si	ž	žį	Ą		Š	苅	黎	<u></u>	ŧ		15		19
	_	単位																		1							1 李林	=	\vdash	-		4 編 7	(条件)	-	海 (年	原害) 1	日曜書) 1		1	3		小衛	が徐	選択 1	必修 14		次 第
3年4	<後 期	世楼																		救命救急学概論						原権ニスクレベジェント			客觀的臨床能力演習(作業療法)	作業療法総合演習		必 精神預測作業模法学目(各階) 以 共和国副本共和共教教学院工(各階)	の十分降車に下来がのナロ(中重) 所予監察部第第合権権が保証の (本語)	日常生活支援学Ⅱ	作業療法特論11(精神障害)		作業療法特論V(高次脂機能障害)		生活環境整備論	作業療法評価実習							
34		単位医分																								200		1 3					1 -	-	1	1	1 12	2 12		1 🖄	_	₩ P	大 後	联	修 11	- :	必修 11
	<羅 温>	世																								が 神 に ア ニ ル ー シ ョ ン 卵		必 作業療法研究法				· 公 雅書羅術在継続所作 (光温等由下来がGF-L(中国) 参缶益陽害在鉄着洋災 [後間]	高次品機能障害作業療法学1(総論)	日常生活支援学1	作業療法特論1(身体障害)	作業療法特論皿(発達障害)	義敗裝具学		検査・測定実習		が存					
		WE IX-9																		1	1 3/2	1	1 1/2/	测 1				1	1 2ğ	-1 2Ž	-		1						1 3	2 2/2	4	36A D	4		必修 9	- :	必修 13
2年生	< 後 基>	世楼									201				5	5	8	8	\$	公整形外科学Ⅱ(各論)		5 心身医学概論	臨床心理	薬理学概論	55			必 作業技術学工	作業技術学皿		6 作業療法評価学演習II(精神)	必要体育部合業療法学目(5円) 以及等限的合業療法等目(5円)	光速推出下来が広子 1 小多種						必 地域作業療法学Ⅱ(各論)	地域作業療法実習		必能					
2		単位 医分									2 際				Z 1 (5	1 16	1 34	2 12	2 12/2	1 10%	1 1/2	1 12%			1 24			1.		1 Š	-	7 -	1						2 %		1	必修 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2 11	11	必修 7	姚	20年18
	<羅 温>	華	žį.	ঠ্য	321	5821	類			77	選 情報倫理とセキュリティ			ŹĮ.	必 人体構造学皿(神経・運動器)	必 運動学 II (各論)	必 運動学演習	人体構造実習	人体生理機能実習	必 整形外科学 1(総論)	必 内部確害学 I (総論)	神経内科学			必 国際リヘアリテーション編			作業技術学 1		作業療法評価学 I (身体)	作業療法評価学11(精神)	身体溶液作業療法學1(認論・脳神経系)	54 Polite (2017) 98,0K (25-25-18 UBB9) 68 * 78;1						地域作業療法学1(総論)			12		- 9	겼		
		WR 1859	1 34	1 %	2 3	1	2			2 16	2 3			1 3	1	1 16	1 3			1 19	1 %				1 %							ŀ		F							-	が 2 2 2 2 2 2 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	9		必修	科	; ;;
クリニック取職 布望者) 1年4	<後 類>	世体	英語II	英会話Ⅱ	行動の科学	健康スポーツ(実技)	選 自然科学の基礎			国際事情	情報と分析			基礎ゼミⅡ	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	人体機能学 II (動物性機能)	運動学 I (総論)			精神医学	痛み学概論				チーム医療論																		지역	類	식	点	
(病院)、14		単位区分	1 Ž	1 1 1/2	2 ½	Ź	2 際	2 ½	2 (8)	Ц	2 12	2 選		1 Ž	Z 1 (Z	1 16	1 16	1 必		1 12/2					1 Ž	F	F	1.		1	1	f		Ē		Ē	Ē		П	1 🖄		\$ 10 17	- 9		\$ 2 2	瀬社	18
(作業療法学専攻)	< 羅 > >		英語1	英会話 1	心理学	健康スポーツ(理論)	倫理学	ボランティア活動	人権論		情報機器の操作	データの世界	キャリアデザインI	基礎ゼミI	人体構造学1 (総論・組織学)	人体機能学1(植物性機能)	人間発達学	運動学入門		リハビリテーション医学					リヘビリテーション敷稿			作業療法概論												早期体験実習(作業療法)		京会 開	場が	棚	必修	顤	154 154
履修モデル4		科目区分		197	基礎教養心	<u>, «</u>	. *	AL 41-80-30	_	奈良·国際	· ·		キャリア形成 キ	導入基礎	Ϋ́	(₽¢	華担	上り業	運	位4条件	の なな まかま	記さり回りませ	復過の成	程り	インパーン言葉がいた	1 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	門通專	-	十 孫 孫 先	· · · · · · · · · · · · · ·	佃泰		#	※ ※	出紀	泰华			电域作業級由学	四年半期	al contract	共通教育	1	中門基礎	車用		

●履修モデル 5	(作業療法学専攻)	(訪問看護ステーション、老人保健) 1年4-		施設就職希望者)	9年十			9年升			4年十	L		F
_	< 至 編>	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		< 至	★ 大十7 <後 類>		< 棄 / = >	○ 十十 <後 類>		< 至 祖 >	***HH	単位	(本) (本)	84.5
科目区分			を図 W#			MAY IK SI		EX.9	地位。		ECS)	CCS		+
		1 必英語1	1						L	1				
	英会話Ⅰ	1 必 英会話 1	1											
		2 必行動の科学	2 際						L					
基礎教養						L						14		
#	倫理学	2 適	L											
* 浬	日本国憲法	2 適											N Me 1 m 186	*
教作	ボランティア活動	27.											31 位、選択16	716
和 共生教業	女養 人権論	2 適										∞	単位以上	4
	生活と環境	2 選 共生と社会	2 際											
奈良·国	奈良·国際 奈良学	2 選 国際事情	2 Žį									4		
非被数	情報観義 情報機器の操作	মূ	L									2		
キャリア形成	形成キャリアデザイン1	1 選	F						L			-		
導入基礎	を確 基礎ゼミI	1 次 張篠大三日	1						F			2		
→ □	へ 人体構造学 I (総論・組織学)	1 必人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	1	人体構造学皿(神経・運動器)	1 ×									
文ひ. 体の		1 必 人体機能学工(動物性機能)	1	運動学工(各輪)	1 24				l					
· 華州			1		72				F			14	必修14単位	英位
6 数 1 3 1 4 1 7 1	///	\(\frac{1}{2}\)	F	Fill	24				L					
	_		F	米習					L					
本	疾 リハビリテーション医学	1 必 精神医学	1	整形外科学 1 (総論)	1 必整形外科学Ⅱ(各論)	73		救命救急学概論	1	1991				
	L	権分字数階	1			1 1			F				31	,
	接無		F	神経内科学	1 必 心ቃ医学概論	1 1			L			12	次像10年 位、選択2年	年 民2単
	in G f				臨床心理	73			F			L	位以上	
福職の	変		L		莱理学概論	- 1			L					
## < h-	当年 リンアリケーション整理	1 必 チーム医療器	1	国際リくアリケーション場	24				l		光橋リスピリテーション編 1	Ą		
ン ・ショ ハン キャン 高階製									F		チーム医療警覚型	岭	必修5単位	100
世								医療リスクマネジメント	1 25		職場管理論 1	Ą		
事 田								リヘビリテーション行動科学	型 1 抄	5821		4	必修2単位、選 お9単位以上	樹上に
北 周	2.00							認知発達障害ケア		201				
## \$	基 作業療法帳論	73r		作業技術学」	1 必 作業技術学Ⅱ	1 必 作業療	作業療法研究法	NA.			作業療法卒業研究 2	Ą	27 ME to 185 AV	105 ///-
**************************************	作				作業技術学皿	1 12%		客觀的臨床能力演習(作業療法)	E) 1 必	×2		0	stro siluzi	44177
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	作業			作業療法評価学1(身体)	1 必 作業療法評価学演習 1 (身体)	1 12%		作業療法総合漢習	1 12	×1		и	W. MER 198 AV	36.6%
事	茶茶			作業療法評価学Ⅱ(精神)	1 必 作業療法評価学演習 1(精神)	1 12						•	tho saling	1
掛				-	1 必 身体障害作業療法学皿(応用)		精神顕著作業療法学 I (総論) 1	Ą	1	Si Si				
E				身体障害作業療法学11(運動器・難将)	1 必 発達障害作業療法学 1 (総論)	歴 労 公 1	発遊障害作業療法学Ⅱ(各論) 1		-	83			64	
<u>t</u> ===						老年期	-	Ž.	-	83				
※ 超:			1			国の発展	の公司機器を指揮を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ý:	. i	51 2		20	必修20単位	連位
に兼			+			1 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			3 3				
計						TP WERK	「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2、作業飲放作圖IV(名中房库市)		31 3		1		
			t			11年来版区村 無比社 日学	11 米米米 (水)	ž ×	1	3		1		
2. 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	10.00		t	・ (条件) 「条件	2 次 香醇名雜棒沃纳田(外聯)	1 1/2			-	8		4	次修4進件	40
	豆 遺体聯出別(布強権状)	×2	t		2011年第一年11日間	2 2 2	田田仏典・神像	1128次年 1128次 1128年	4 60	次 黎今爾宋田別 (化维棒法) 8	**	1		1
臨床実施		1				į				総合臨床実習 日(作業療法)		23	必修23単位	単位
All All Miles	小小	10	ιΩ	小公僚	學公		必修	3	公僚	必像	必修	.Z. 15		
米田教司		11 21	2 P		嫌权		職技	775	選択	横执	遊打	91 類	31	
東門基礎		9	9 3		1 11	-6	必修	4	必修	必億	必億 2	29	31 (7:4/€106)	SHEAT
			~)	遊技			機対	76				四 :	湖状 20単位	の単位
車目	必備	次衛 2 2 液衛 選択	WA TO	必像	7 7 編枚	6	必修 11	11	必修 14 消板 2 1	16 海状 海状	16 海状	3 W FS	64 DX.E	T T
	***		11	**************************************		13	11 数据		1 1					
中	**	当 11 29 当 1	9 1 2 2 2			1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	(11) (11)		17 8 業		91	5 20 126	126	
	2 4 /27			JEMP31	必修31 建权1 合計32		#K#25	択3 合計28		£54621	■表 6 中計21			
			l											l

◎履修ホデル6	(作業療法学専攻)	小死猫小	(大学院進学希望者)		4 49			47 2276		ľ		477	F	-	
/	< □ ← □ ← □ ← □ ← □ ← □ ← □ ← □ ← □ ← □ ←	-	〈羅 參〉	< □ < □ < □ < □ < □ < □ < □ < □ < □ < □ <	〈羅 嘇〉	塩マ	^ \	+	〈舜 ※〉		〈聲 温〉	★ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	7.00	単位	茶 ***
科目区分		44.02 EX-9	m		FTTT	800 EX 9		44.0E DZ 59		※四 以東	304		W CE 1359		¥
	英語I	1 次 米													
	英会話I	1 必 英	英会話 1 必												
-11-78: 90-30:	心理学	2 必行	行動の科学 2 選	1534									91		
	* 健康スポーツ (理論)	1 必億	必 健康スポーツ(実技) 1 適	5304									QT		
- 半児		2 避 自	自然科学の基礎 2 選	500											
教	数学の世界	2 漢												2	必修15単 位 強担16
育 共生教養	ボランティア活動	2 ½											2	5	立以上
日 奈良·国際		×	国際事情 2 必	Y.									2		
445.633.885436	情報機器の操作	2 必情	情報と分析 2 選	情報倫理とセキュリティ	2 遊								٥		
114 FK 62.	データの世界	2 凝											0		
キャリア形成	減 キャリアデザイン 1	選 1											-		
導入基礎	b 基礎ゼミ I	1 必 基	基礎ゼミⅡ 1 必	8									2		
A A A	人体構造学1(総論・組織学)	1 必 人	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器) 1 必	必 人体構造学皿(神経・運動器)	1 12										
\$0 5	人体機能学1(植物性機能)	7 淳 1	人体機能学II(動物性機能) 1 2	必運動学 II (各論)	1 12										
うず	人間発谱学	1 公	② 1 (場場) 1 素値原	2. 運動学演習	1 82								14		必修14単位
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	運動学入門	1 23			\(\frac{1}{2}\)					F					
幾		Ė		人体生理機能実習	24										
超	英リハビリテーション医学	1 必	必 精神医学 1 必	必整形外科学 I (総論)	1 必整形外科学Ⅱ(各輪)	72		教命教徒	教命教急学概論	※				31	
復词	2000年	雑	指み学帳論 1 必	2.内部薩害学 1 (総論)	1 必内部障害学Ⅱ(各輪)	1 12				F			I		彦10単
進程	おいません	K	1	申 神经内科学	1 元 小學 医 小數 編	- L	l						12		位、選択2単 位以上
8号文グ	#a &	Ė				- A				F					
推(小-	来 リンアリケーション 敷物	1 次 千	チーム医療器	次 国際リベアリケーション智	\(\frac{1}{2}\)							北部リくアリルーツョン場	7		
- / - / - / - アン - 第四番					2					F		-			必修5単位
#1	w	Ė				疼痛リハビリテーション学		1 選 医様リフ	医療リスクマネジメント	1.		職場管理論 1	1 1/2		69 III (Cr. 386
事 事 を な な な な な		L							リハビリテーション行動科学	1			4		松準位以上
	作業療法概論	1 24		作業技術学1	1 必 作業技術学Ⅱ	1 必 作業療法研究法		1 1/2				作業療法卒業研究 2	23	_	Mro 146 Me
↑ 除稅 需先		E			作業技術学皿	1 2%		客觀的醫	客觀的臨床能力演習(作業療法)	1			•		White ordina
1 世界				作業療法評価学1(身体)	1 必 作業療法評価学演習 I (身体)	1 12		作業療診	作業療法総合演習	ا ئۆ					A Mem 166 Ale
年亩		E		作業療法評価学Ⅱ(精神)	1 必 作業療法評価学演習 1 (精神)	1 2							0		Also muz
		L		身体障害作業療法学1(総論・脳神経系)	1 必身体障害作業療法学皿(応用)) 1 必 精神魔害作業療法学 1 (総論)	-	1 必 精神廃棄	必 精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	- L					
一		Ė		身体障害作業療法学目(運動器・騰利)	1 必 発達障害作業療法学 I (総論)	1.	4学11(各論)	1 必 老年期間	必 老年期障害作業療法学11(各論)	-1 -2 -2					
11日本		Ė					+	1 必 高水脂機	必高次脂機能降害作業療法学Ⅱ(各輪)	- S			I	64	
		Ė				高次脳機能障害作業療法学 1 (総論)	+-	1 必 日常生涯	必 日常生活支援学工	1					
與無		Ė				日常生活支援学1		1 必 作業療法	作業療法特論 II (精神障害)	ارک ا			8		必修20単位
小		E				作業療法特論 I (身体障害)		1 必 作業療法	作業療法特論IV(老年期確害)	- T					
						作業療法特論田(発達障害)		1 必 作業療法	必 作業療法特論 V (高次脂機能障害)	1					
						義敗装具学		2 (2)							
地域的影響部	1/4			地域作業療法学1(総論)	2 必 地域作業療法学Ⅱ(各論)	1 22.		生活環境	生活環境整備論	1 1/2			4		必修4単位
张 春 中級	早期体験実習(作業療法)	1 1/2			地域作業療法実習	2 必 検査・測定実習		1 必 作業療过	作業療法評価実習	3 23	総合臨床実習 I (作業療法) 8	No.	93		or Afternous Mit After
# * *	7	E								386	総合臨床実習11(作業療法)8,	Zi.	3		118 42 44 12.
3年9年55年	水像 1	10	·公修 5	宏小	小小	30	小体		小公修		彩漆	必修	1 24	15	
大百枚田	選択	. T	選択 7	遊灯	2 2	¥	選択		選択		選択	選択	瀕	16 91	
#4. HH 14" 28	小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	9	9 \$11/2"	小位	111	修 4	小体		必修		必备	必修 2	2 22	23	
中口的版	職投		選択 1	機	MA	*	選択		遊択	-	選択	遊牧		2 2 2 通	第106単位 見 20単位
HHAM	小小小	2	小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	必修	3/37	6 剩	必修 1	11	必修	14	· 宏修 16	30/26	3 .	62	合計126単位 以上
E P	勝权	П	横	遊択			嫌权	1 2	選択	1	横	lo 選択	幾	Ţ,	1
	1 # 24	18	11	81 38 28		13	26年11	Ti.	#W	41	A 16	2 46		8	
4		22 4	19 × 24 × 19		2	22	¥	21 -	製作	91	-	91 91	19 19	126	
	1		VIEW	YANG A	2000	4	Value 1				,	2000		2	
	67. 4 7.7	MENT P	b ###	Walter.	北京		2.4.C	松 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4		Ware 1	anyo 甘町21			



平成31年度(2019)

履修の手引

奈良学園大学 NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部



はじめに

この「履修の手引」は、学生諸君が4年間にわたって本学で学修していくうえで必要な事項をまとめた手引きです。

奈良学園大学では、学修に必要な数多くの教育科目を開設しています。学生諸君は、自分の目標や興味・ 関心に基づき、本学の定める履修規程に従って、履修する授業科目を選択し、主体的に履修を完遂してくだ さい。自ら責任をもって計画を立て学修することは、大学教育の大きな柱の一つです。

学修においては一定の成果を修め、卒業に必要な単位を修得していかなければなりません。この「履修の 手引」を熟読し、効果的な履修計画を立て、有意義な学習ができるよう期待しています。

目 次

建学の精神	6
教育理念 ······	6
保健医療学部の教育目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
奈良学園大学 教育のポリシー	
1) アドミッションポリシー	
2) ディプロマポリシー	7
2019 年度 学年暦及び行事予定表	
1)看護学科	
2) リハビリテーション学科	12
I 履修要項(2学科共通)	
1	
1.教育課程 1)教育課程(カリキュラム)····································	1 ୮
1) 教育課性 (ガウキュラム) ····································	
2) 単位前 3) 単位の計算方法 ····································	
3)早位以可昇力法	15
2. 履修登録	
1)履修登録	
2) 履修制限	
3) 履修登録の変更・取消	···· 17
3. 授 業	
1) 授業時間	
2) 休講	
3) 臨時休講	
4) 補講	
5) 公欠・長期欠席等	
6) 学校で予防すべき感染症	···· 19
4. 試 験	
1) 定期試験	
2) 論文 (レポート) 試験・提出	
3) 追試験	
4) 再試験	
5) 試験受験の心得	
6) 不正行為 (カンニング)	22

		· 模· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	1)	成績評価	22
		成績発表	
		成績通知書と修得単位	
	ر د	以順起以首と修行主は	22
_		**************************************	
		業の要件	
		卒業の要件	
	2)	卒業に必要な単位数	23
7	G	PA制度	
		GPA制度導入の趣旨 ····································	22
		G P A の算出方法 ····································	
		G P A の算定基準 ······	
		G P Aの算出例 ······	
	5)	G P A値の確認方法 ····································	24
_			
8.	才	フィス・アワー	24
_			
I	看	護学科(2018 年度以降入学生)	
1.	履	修規程(2018 年度以降入学生)	27
_	履	修に関する留意点	
		授業の形態 ····································	29
	1)		
	1)	授業の形態 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	1) 2) 3)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制	29 29
	1) 2) 3) 4)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目	29 29 29
	1) 2) 3) 4) 5)	授業の形態	29 29 29 29
	1) 2) 3) 4) 5)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 電護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点	29 29 29 29 30
	1) 2) 3) 4) 5)	授業の形態	29 29 29 29 30
	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定	29 29 29 29 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 教)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 再受験科目 若護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方 教育目的	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 教)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 3) 4) 5) 7) 教) 1)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方 教育目的 教育課程編成の考え方	29 29 29 30 30
3.	1) 2) 4) 5) 7) 教 1) デ	授業の形態	29 29 29 30 30 30
3.	1) 2) 4) 5) 6) 7 教 1) デ 1)	授業の形態	29 29 29 30 30 30 31
3.	1) 2) 4) 5) 6) 7 教 1) デ 1)	授業の形態	29 29 29 30 30 30 31
3.	1)234567 12 デ1)	授業の形態 授業への出席 履修指導の体制 再受験科目	29 29 29 30 30 30 31
3.	 1) (1) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	授業への出席 履修指導の体制 再受験科目	29 29 29 30 30 30 31 31
3.	 1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	授業への出席 履修指導の体制 再受験科目 看護学実習科目の履修に関する留意点 課程選択に伴う履修上の留意点 課程選択の決定 育目的と教育課程編成の考え方 教育目的 教育課程編成の考え方 ***********************************	29 29 29 30 30 30 31 31 31
3.	 1) 2) 3 4 5 6 7 1) 3 4 5 6 7 1) 3 7 1) 8 1) 1 /ol>	授業への出席	29 29 29 30 30 30 31 31 39 39
3. 4.	1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1	授業の形態 授業への出席 優修指導の体制 一	29 29 29 30 30 30 31 31 39 40
3. 4.	 1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	授業への出席	29 29 29 30 30 30 31 31 31 39 40 40

6. 看護師・保健師課程選択者選考要領	41
7. 看護師・助産師課程選択者選考要領	43
授業科目表	45
課程選択別履修モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
Ⅲ 看護学科(2017年度以前入学生)	
1. 履修規程	51
2. 履修に関する留意点	
1) 授業の形態	53
2) 授業への出席	53
3) 履修指導の体制	53
4) 看護学実習科目の履修に関する留意点	
5) 再受験科目	
6) 課程選択に伴う履修上の留意点	53
7)課程選択の決定	
3. 教育目標と教育課程編成の考え方	
1) 教育目標	54
2) 教育課程編成の考え方	54
3) 教育課程全体の特色	55
4) 教育課程の概要	56
4. 看護学実習の概要	
1) 看護学実習の概要と開講時期	60
2) 看護学実習要綱	
3) 看護学実習の評価	61
4) 実習中の事故防止と対処	
5) 感染防止	
5. 看護師・保健師課程選択履修要領	62
6. 看護師·助産師課程選択履修要領······	64
授業科目表	66
課程選択別履修モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	69

Ⅳ リハビリテーション学科

1. 履修規程	75
2. 履修に関する留意点	
1)授業の形態 ····································	77
2) 授業への出席 ····································	
3) 履修指導の体制	
4) 再受験科目	
5) 臨床実習科目の履修に関する留意点	77
3. 教育目標と教育課程編成の考え方 1)教育目標 2)教育課程編成の考え方	
4. ディプロマポリシーと科目の関連性	
理学療法学専攻	80
作業療法学専攻	84
授業科目表 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	87
選択科日履修干デル······	91

建学の精神

高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する。

教 育 理 念

現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をつちかい、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成する。

保健医療学部の教育目的

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力をそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者を育成することを目的とする。

奈良学園大学 教育のポリシー

1. アドミッションポリシー(admission policy 入学者受入方針)

- ①大学教育を受けるに相応しい基礎能力や体験を備え、本学での教育を通じて社会人としての一層の成長が 期待できる学生を受け入れる。
- ②実践を重視した演習課題に、積極的にとりくむ意欲のある学生を受け入れる。
- ③地域社会との交流に関心を持ち、将来、社会全体の発達・発展に貢献する事に使命感を持つ学生を受け入れる。

2. ディプロマポリシー (diploma policy 卒業認定・学位授与に関する方針)

本学は、所定の単位を修得し、以下のような「実践力」を身につけた学生に対して、その卒業を認定する。

- ①高度な学識と実務能力に基く実践力
- ②時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をもつ実践力
- ③社会に貢献することのできる実践力

平成 31 年度(2019) 学年暦及び行事予定表 【看護学科】

1		月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1 年次生
		1	2	3	4	5	6	3日(水)入学式	3日 (水) 入学式
	7	8	9	10	11	12	13	4日 (木) ガイダンス・健康診断 4日 (木) ~7日 (日) 履修登録 5日 (金) ~6日 (土) 新入生学外 宿泊研修 (1泊2日) 5日 (金)・8日 (月) 教科書販売	4日(木) ガイダンス・健康診断
,	14	15	16	17	18	19	20		4日 (木) ~7日 (日) 履修登録 5日 (金) ~6日 (土) 新入生学外
4 月	21	22	23	24	25	26	27		宿泊研修 (1泊2日) 5日 (金) ·8日 (月) 教科書販売
	28	29	30	- 1	-5			8日(月)~14日(日)履修登録確認期間8日(月)前期授業開始	8日(月)~14日(日)履修登録確認期間 8日(月)前期授業開始
								20日 (土) 保護者懇談会 (3,4年次生) 20日 (土) 4月29日の授業日	00 (7) 削粉技未用炉
				1	2	3	4	2日 (木) ,3日 (金) ,4日 (土) ,6日 (月)	20(*) 20(*) 40(+) 60(0)
	5	6	7	8	9	10	11	全年次生授業実施日	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日
_	12	13	14	15	16	17	18	11日(土) 4月30日の授業日	
5 月	12	20	21	22	23	24	25	25日(土) 5月1日の授業日	
	26	27	28	29	30	31			
	-20	۷/	۷٥	29	٥٥	۱۱			
							1		
	2	3	4	5	6	7			
	2 9	_	11	12	6 13		8 15		
6月		10				14		22日 (十) /	22日 (十) /2洪芝和志/
'	16	17	18	19	20	21	22	22日(土) 保護者懇談会 (1,2年次生)	22日(土) 保護者懇談会
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	-1	_			_			
		1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13	15日 (目) 塔娄宇栋口	15日 (月) 授業実施日 20日 (土) 前期授業終了
7 月	14	15	16	17	18	19	20	15日(月) 授業実施日20日(土) 前期授業終了	
	21	22	23	24	25	26	27	25日(木)~31日(水) 前期定期試験	25日(木)~31日(水) 前期定期試験
	28	29	30	31					
					1	2	3	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業
	4	5	6	7	8	9	10	6日(火) 成績開示	6日(火) 成績開示
8	11	12	13	14	15	16	17	7日(水)~8日(木) 前期追・再試験手続き	7日(水)~8日(木)前期追・再試験手続き
月月		19	20					9日(金),12日(月),13日(火) 前期追再試験	9日(金),12日(月),13日(火) 前期追再試験
	25	26	27	28	29	30	31	23日(金) 成績開示	23日(金) 成績開示
	1	2	3	4	5	6	7	9日 (月) ~15日 (日) 居收登録	2日(月)~13日(金)
	8	9	10	11	12	13	14	履修登録 16日(月)~22日(日)	基礎看護学実習 [9日(月)~15日(日)
9	15	16	17	18	19	20	21	履修登録確認期間 16日(月) 授業実施日	履修登録 16日(月)~22日(日)
月月	22	23	24	25	26	27	28	後期授業開始	履修登録確認期間
	29	30						(1,2,4年次生) 23日(月) 授業実施日	16日(月) 授業実施日 後期授業開始
									23日(月) 授業実施日

看護学科

2 年 次 生	3 年次生	4 年次生
4日(木) ガイダンス・健康診断 4日(木) ~7日(日) 履修登録 5日(金)・8日(月) 教科書販売 8日(月) ~14日(日) 履修登録確認期間 8日(月) 前期授業開始	4日(木) ガイダンス・健康診断 4日(木)~7日(日)履修登録 5日(金)・8日(月)教科書販売 8日(月)~14日(日)履修登録確認期間 8日(月)前期授業開始 20日(土)保護者懇談会	4日(木) ガイダンス・健康診断 4日(木) ~7日(日) 履修登録 5日(金)・8日(月) 教科書販売 8日(月) ~14日(日) 履修登録確認期間 8日(月) 前期授業開始 20日(土) 保護者懇談会
2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 授業実施日 6日(月)~6月7日(金) 統合看護学実習
22日(土)保護者懇談会		
15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了 25日(木)~31日(水) 前期定期試験	15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了 25日(木)~31日(水) 前期定期試験	15日(月) 授業実施日 20日(土) 前期授業終了 25日(木)~31日(水) 前期定期試験
1日(木)~9月15日(日) 夏期休業 6日(火)成績開示 7日(水)~8日(木) 前期追・再試験手続き 9日(金),12日(月),13日(火) 前期追再試験 23日(金)成績開示	1日 (木) ~6日 (火) 実習オリエンテーション 7日 (水) ~9月15日 (日) 夏期休業 6日 (火) 成績開示 7日 (水) ~8日 (木) 前期追・再試験手続き 9日 (金),12日 (月),13日 (火) 前期追再試験 23日 (金) 追再試験成績開示 26日 (月) ~3月6日 (金) 各領域実習	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業 6日 (火) 成績開示 7日 (水) ~8日 (木) 前期追・再試験手続き 9日 (金),12日 (月),13日 (火) 前期追再試験 23日 (金) 成績開示
9日(月)~15日(日) 履修登録 16日(月)~22日(日) 履修登録確認期間 16日(月) 授業実施日 後期授業開始 23日(月) 授業実施日	9日 (月) ~15日 (日) 履修登録 16日 (月) ~22日 (日) 履修登録確認期間	9日(月)~15日(日) 履修登録 16日(月)~22日(日) 履修登録確認期間 16日(月) 授業実施日 後期授業開始 23日(月) 授業実施日

【看護学科】

【自碳	看護学科】								
		月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定	1 年 次 生
			1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12]] 13日 (日) 学園祭 (三室祭)	13日(日) 学園祭(三室祭)
10	13	14	15	16	17	18	19	14日(月) 授業実施日 22日(火) 授業実施日	14日(目) 授業宝施日
月月	20	21	22	23	24	25	26	27日 (人) 技术天旭日 27日 (日) 学園祭(登美ヶ丘祭)	22日 (火) 授業実施日 27日 (日) 学園祭(登美ヶ丘祭)
	27	28	29	30	31				
						1	2	1日(金) 創立記念日 授業実施日	1日(金) 創立記念日 授業実施日
	3	4	5	6	7	8	9	4日(月)授業実施日	4日(月)授業実施日
11	10	11	12	13	14	15	16		
月月	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
12	15	16	17	18	19	20	21	21日(土) 年内授業最終日	21日(土) 年内授業最終日
12 月	22	23	24	25	26	27	28	. 22日 (日) ~1月9日 (木) 冬期休業	
	29	30	31						
				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11	10日(金) 年明け授業開始	10日(金) 年明け授業開始
1	12	13	14	15	16	17	18	17日(金) 後期授業終了	17日(金) 後期授業終了
卢	19	20	21	22	23	24	25	. 21日 (火) ~27日 (月) 後期定期試験 (1,2年次生)	21日 (火) ~27日 (月) 後期定期試験
	26	27	28	29	30	31			
							1	7日(金) 成績開示	
	2	3	4	5	6	7	8	· 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き	7日(金) 成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火)
2	9	10	11	12	13	14	15	(1,2年次生)	後期追再試験手続き
2 月	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	1_	2	3	4	5	6	7	2日 (月) ,3日 (火)	2日 (月) ,3日 (火)
	8	9	10	11	12	13	14	後期追再試験	後期追再試験
	15	16	17	18	19	20	21	10日(火) 成績開示 15日(日) 卒業式・学位記授与式	10日(火)成績開示
3 月	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31	23	20		20		
	-23	50	51						

看護学科

2年次生	3年次生	4年次生
2 + 从 生	3 + 从 生	4 + 从 生
13日(日) 学園祭(三室祭) 14日(月) 授業実施日 22日(火) 授業実施日 27日(日) 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日 (日) 学園祭 (三室祭) 27日 (日) 学園祭(登美ヶ丘祭)	13日(日) 学園祭 (三室祭) 14日(月) 授業実施日 22日(火) 授業実施日 27日(日) 学園祭(登美ヶ丘祭)
1日(金) 創立記念日 授業実施日 4日(月) 授業実施日	1日(金) 創立記念日 授業実施日	1日(金) 創立記念日 授業実施日 4日(月) 授業実施日
21日(土) 年內授業最終日	21日(土) 年内授業最終日	7日(土) 年内授業最終日 9日(月)~14日(土) 後期試験 19日(木) 成績開示 19日(木),20日(金) 後期追再試験手続き日
10日(金) 年明け授業開始 17日(金) 後期授業終了 21日(火)~27日(月) 後期定期試験 31日(金) 基礎看護学実習II オリエンテーション	6日(月) 年明け各領域実習開始	10日(金)~11日(土) 後期追再試験
3日(月)~28日(金) 基礎看護学実習II 7日(金)成績開示 13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き		7日(金) 成績開示
2日(月),3日(火) 後期追再試験 10日(火)成績開示	10日(火)成績開示	15日(日) 卒業式・学位記授与式

【リハビリテーション学科】

1.77					 / ^	4				
	В	月	火	水	木	金	土	全年次生行事予定		
		1	2	3	4	5	6	3日(水) 入学式		
	7	8	9	10	11	12	13	4日(木) ガイダンス・健康診断 4日(木)~7日(日)履修登録		
4	14	15	16	17	18	19	20	5日(金)~6日(土)新入生学外宿泊研修(1泊2日)		
月	21	22	23	24	25	26	27	5日 (金)・ 8日 (月) 教科書販売 8日 (月) ~14日 (日) 履修登録確認期間		
	28	29	30					8日(月) 前期授業開始		
								20日(土) 4月29日の授業日		
				1	2	3	4	2日(木),3日(金),4日(土),6日(月) 全年次生授業実施日		
	5	6	7	8	9	10	11	11日 (土) 4月30日の授業日		
5	12	13	14	15	16	17	18			
月	19	20	21	22	23	24	25	 25日(土) 5月1日の授業日		
	26	27	28	29	30	31				
		-	-			- •				
							1			
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
6 月	16	17	18	19	20	21	22	22日(土) 保護者懇談会		
	23	24	25	26	27	28	29	220(工) 体或甘蕊饮本		
	30	۷4	23	20	/	20	23			
-	30	1	2	2	Δ.					
	7 -	1	2	3	4	5	6			
	7	8	9	10	11	12	13	15日(月) 授業実施日		
7 月	14	15	16	17	18	19	20	20日(土) 前期授業終了		
	21	22	23	24	25	26	27	25日(木)~31日(水) 前期定期試験		
	28	29	30	31				※7月中 早期体験実習オリエンテーション、事前学習セミナー		
					1	2	3	1日 (木) ~9月15日 (日) 夏期休業		
	4	5	6	7	8	9	10	1日 (木) 〜8日 (木) 早期体験実習 (うち3日間) 6日 (火) 成績開示		
8	11	12	13	14	15	16	17	7日(水)~8日(木) 前期追再試験手続き		
月	18	19	20	21	22	23	24	9日(金),12日(月),13日(火) 前期追再試験		
	25	26	27	28	29	30	31	10日(土) 早期体験実習終了後セミナー 23日(金) 成績開示		
	1	2	3	4	5	6	7	9日 (月) ~15日 (日) 履修登録		
	8	9	10	11	12	13	14	16日(月) 授業実施日 後期授業開始		
9	15	16	17	18	19	20	21	16日(月)~22日(日)履修登録確認期間 23日(月) 授業実施日		
月月	22	23	24	25	26	27	28	230 (/ 3)		
	29	30								
		-								

リハビリテーション学科

			\L	フレ	+	金	土	A 年 为 升 行 亩 圣 宁		
		月	<u>火</u> 1	2	3	4	<u> </u>	全年次生行事予定		
	6	7	8	9	10	11	12	13日 (日) 学園祭 (三室祭) 14日 (月) 授業実施日		
1.0	13	14	15	16	17	18	19	22日(火) 授業実施日		
10 月	20	21	22	23	24	25	26	27日(日) 学園祭(登美ヶ丘祭)		
	27	28	29	30	31					
				30	31					
						1	2			
	3	4	5	6	7	8	9	4日(月)授業実施日		
11	10	11	12	13	14	15	16			
月月	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
	1	2	3	4	5	6	7			
	8	9	10	11	12	13	14			
12 月	15	16	17	18	19	20	21	21日(土) 年内授業最終日		
月	22	23	24	25	26	27	28	22日 (日) ~1月9日 (木) 冬期休業		
	29	30	31					◇州外未		
				1	2	3	4	400 (A) (CODULTO WEBS)		
	5	6	7	8	9	10	11	10日(金) 年明け授業開始 17日(金) 後期授業終了		
1 月	12	13	14	15	16	17	18			
	19	20	21	22	23	24	25	21日 (火) ~27日 (月) 		
	26	27	28	29	30	31				
	2			_			1	 7日(金) 成績開示		
	2	3	4	5	6	7	8			
2 月	9	10	11	12	13 20	21	15 22	13日(木),14日(金),17日(月),18日(火) 後期追再試験手続き		
	23	24	25	26	27	28	22			
	23	24	25	20	27	20	29			
	1	2	3	4	5	6	7	2日 (月) ,3日 (火)		
	8	9	10	11	12	13	14	2日(月),3日(火) 後期追再試験		
	15	16	17	18	19	20	21	10日(火)成績開示		
3 月	22	23	24	25	26	27	28	15日(日) 卒業式·学位記授与式 		
	29	30	31							



Ⅰ 履修要項(2学科共通)

1. 教育課程

 1)教育課程 (カリキュラム) 大学において開設される授業科目は、学部・学科の専門に関する科目と、幅広く深い教養を培う科目に分類されます。これらの授業科目を必修科目・選択科目に分けたり、各年次に配当したり、一週間あたりの時間数を決めるなどして編成したものを教育課程(カリキュラム)といいます。

2)単位制

大学では、高等学校と違い「単位制」が大きな役割を持っています。

本学で開講している各授業科目には、それぞれに「単位数」が定められています。学生諸君は、単位数の定められた授業科目を履修し、その成績が合格点(60点以上)であれば、その所定単位は認定され、単位を修得したことになります。修得した単位数の履修区分ごとの合計が卒業に必要な単位数を満たし、かつ、在学期間が4年以上となった時点で卒業することができます。

3)単位の計算 方法 単位数については、文部科学省の定める大学設置基準によって、45時間の学修を必要とする内容を1単位とするとされています。ただし、ここで言う学修とは、授業時間に加えて、予習・復習及び研究等のための自学自習の時間を含みます。自学自習の時間を保証するために、大学では高等学校までと違って授業の入っていない時間帯があるのです。

以下、学修の典型的なパターンのいくつかを示します。なお、1回分の授業を1コマと数え、1コマ90分を2時間として計算します。

<1単位30時間の科目の場合>

●学修時間:45時間×1単位=45時間

授業時間: (前期15週×2時間)または(後期15週×2時間)= 半年間30時間

自学自習の時間: 半年間15時間

授業 30 時間

自学自習 15 時間

計 45 時間

- 1週間に1コマ2時間 (90分) を15週

<1単位15時間の科目の場合>

●学修時間:45時間×1単位=45時間

授業時間: (半期前半7.5週×2時間)または(半期後半7.5週×2時間) = 半年間15時間

自学自習の時間:半年間30時間

授業 15 時間

自学自習 30 時間

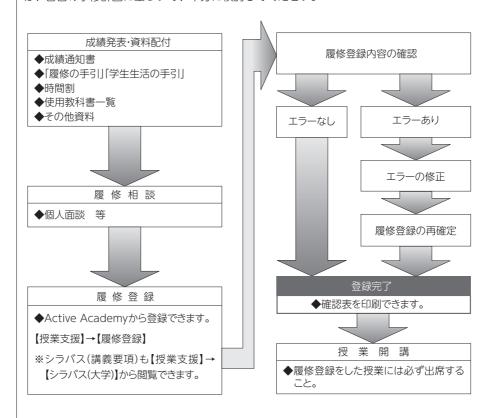
計 45 時間

1週間に1コマ2時間(90分)を7.5週

2. 履修登録

1)履修登録

大学では、授業を受講するにあたって、まず履修登録をしなければなりません。 履修登録をしていない科目を受講しても単位は認定されません。 履修登録にあたって は、各自の学修計画に基づいて、十分に検討してください。



履修計画の注意点

- 1. 「履修の手引」をよく読み、履修のルール(履修方法や履修規程)をよく知ること。
- 2. 「シラバス (講義概要)」をよく読み、授業の内容や概要をつかむこと。
- 3. 将来の目標に合わせて、必要とする授業科目を選択すること。
- 4. 担任との面談には必ず出席すること。
- 5. 各自の成績通知書を確認し、結果をふまえて履修計画を立てること。
- 6. 必修科目は必ず登録すること。 前年度の必修科目が修得できなかった場合は再履修すること。
- 7. 選択科目についてもそれぞれの履修区分や単位修得条件について注意してください。 必修科目ではないからといって履修放棄したり、単位を落としたりしてはいけません。
- 8. 卒業必要単位をギリギリ履修するのではなく余裕ある単位修得計画が必要です。

2)履修制限

履修できる授業科目数は、その授業科目の合計単位数で制限されており、学年ごとに履修登録可能な授業単位数の上限が決められています。この履修制限は、予習・復習等の自習時間を十分にとれるようにし、自ら学修を深めてもらうためのものです。

履修制限の単位数は次表のように定められており、この単位数を超えて履修することはできません。

履修登録の際には、卒業までの履修計画と合わせて履修制限内で登録の科目を考えてください。

■保健医療学部 看護学科 履修制限単位(2018年度以降入学生)

学 年	1 年次	21	年次	3年	次	4年次		
学 期	前期後	期前期	後期	前期	後期	前期	後期	
単位数	48		48		8	48		

■保健医療学部 看護学科 履修制限単位(2017年度以前入学生)

	学 年	1年次		2年次		3年	次	4年次		
	学期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
ſ	単位数	45		45		4	5	45		

■保健医療学部 リハビリテーション学科 履修制限単位

学 年	1年次		2年次		3年	次	4年次	
学 期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	48		48		4	8	48	

3)履修登録の 変更・取消

履修登録確定後に変更する場合は、「学年暦及び行事予定表」(pp8 ~ 13) に示された 「<u>履修登録確認期間</u>」内に大学事務室(教務課)に申し出てください。

ただし、次の科目は変更できません。

- ア. 必修科目
- イ. 履修制限科目(定員があり、それを充足した科目)

①変更したい場合

「履修登録確認期間」内に、各自で Active Academy にアクセスし、変更してください。期間を過ぎての変更はできません。

②取消したい場合

前期・後期とも、第6週目の授業終了までに、所定の用紙に理由等を記入し、大学事務室(教務課)で申請してください。ただし、理由によっては認められない場合もあります。

3. 授 業

1)授業時間

1回の授業時間は90分です。通常、月曜日 \sim 金曜日は1 \sim 5時限で、土曜日は1 \sim 2時限で行います。

ただし、集中講義や補講などでこれ以外の時間帯に授業を行う場合があります。掲示板や学年暦及び行事予定表(pp8~13)で確認してください。

校時表

時 限	時間						
1	9:00~10:30						
2	10:40~12:10						
	 昼 休 み						
3	13:00~14:30						
4	14:40~16:10						
5	16:20~17:50						
6	18:00~19:30						

2)休講

大学の事情(入学試験等)や担当教員のやむを得ない理由(病気、出張等)により、休講になることがあります。

休講通知は、原則として1週間前に掲示します。ただし、急な事情のときは、やむを得ず当日に掲示されることもありますので、登校時には必ず掲示板を確認するようにしてください。

また、休講の掲示もなく、授業開始時刻から30分過ぎても担当教員が来室しない場合は、大学事務室に連絡して指示を受けてください。

3) 臨時休講

下記のア及びイの場合は、臨時休講となります。学生は各自で情報を的確に収集し、それぞれの判断で以下の定めに従って行動してください。その際、大学への問い合わせはしないでください。

ア. 交通機関ストライキの場合

以下に示すいずれかの交通機関がストライキを行った場合、次の時限が休講となります。

- ①午前7時の時点で実施されている場合:午前の授業(1・2時限)を休講とする。
- ②午前10時の時点で実施されている場合:午後の授業(3・4・5・6時限)も休講とする。

鉄道会社	対象になる路線
近 鉄	全線

イ. 気象警報が発表された場合

対象となる地域	対象となる気象警報の種類		
奈良県北西部又は大阪府	特別警報・暴風警報		

上記警報が発令された場合、次の時限が休講となります。ただし<u>大雨洪水警報は対象</u>外です。

- ① 午前7時の時点で警報が発表されている場合:午前の授業(1・2時限)を休講とする。
- ② 午前10時の時点で警報が発表されている場合:午後の授業(3・4・5・6時限)も休講とする。

交通機関のストライキ及び特別警報・暴風警報発表に伴う授業の休講措置について

スト実施及び特別警報・暴風警報発表時刻	授業の措置
午前7時以前に解除	休講しない
午前 10 時までに解除	午後 (3・4・5・6 時限) から授業
午前 10 時を過ぎても解除されない	全日休講

※通学途中、通学が危険かつ困難となった場合は、各自の判断で危険等を回避したのち、大学事務室に届け出てください。

4)補講

休講等によって授業時間数が規定時間数に満たない場合は、補講を行います。補講の日程・教室・時間等は、掲示板で指示します。

5)公欠·長期 欠席等

授業は勿論のこと、大学行事への参加は学生の本分です。そのため、次のようなやむを 得ない理由で授業を欠席する場合は、大学事務室へ申し出て「公欠届」、「公欠願」及び 「欠席届」の手続きを行ってください。ただし、公欠願が認められるのは、1つの授業科 目につき、原則3回までです。

なお、公欠を許可された学生は、公欠届または公欠願を、登学次第、速やかに提出し、 許可を得、当該授業科目担当教員に提出してください。

欠席理由	届の種類	必要書類等	手続先
忌引 〔父母(養父母を含む)・祖父母・ 実兄弟または実姉妹〕	公欠届 (忌引)	公的証明書 (写し可) と印鑑 〔父母 (養父母を含む) 3 日以内・ 祖父母 1 日以内・実兄弟または実 姉妹 2 日以内〕	教務課
感染症 (学校保健安全法施行規則第 18 条に規定)	公欠届 (感染症)	学校感染症治癒証明書 [書式は本学ホームページからダウンロード]	学生支援 センター
交通機関の事故・ストライキ等	公欠届 (交通)	遅延証明書等と印鑑	教務課
災害等	公欠届 (災害等)	官公庁による被災証明書と印鑑	教務課
実習・実習に係る事前訪問	公欠届 (実習関係)	印鑑	教務課
単位互換協定大学等の試験	公欠届 (単位互換)	印鑑	教務課
国または都道府県を代表して、諸 行事に参加	公欠届 (特別)	印鑑	教務課
警報発表に基づく欠席	公欠届	通学証明書・遅延証明書等と印鑑	教務課
本学課外活動において学長が認めた 公式試合及び行事等に参加(注 1)	公欠願	事前に学生支援センターに届け出 ておくこと(同好会は対象外)	学生支援 センター
本学が認めるボランティア活動 に参加 (注 1)	公欠願	印鑑	学生支援 センター
就職試験等を受験	公欠願	企業が発行した就職試験の受験を 証明するもの	キャリア センター
病気・怪我等による 1 週間以上 の長期欠席	欠席届	医師の診断書と印鑑	教務課

(注1) 実習期間中の公欠願は認めません。

6)学校で予防 すべき感染症

学校において予防すべき感染症(第2種)の種類と出席停止期間の基準が決まっています。(学校保健安全法施行規則第18条・第19条)

これらの感染症にかかった場合は、以下の手続をしてください。

感染症名	出席停止期間の基準
インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌療法が終了するまで
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、 かつ、全身状態が良好になるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがないと認められるまで
	◎学校において予防すべき感染症第一種:治癒するまで
その他	◎学校において予防すべき感染症第三種:医師において感染の おそれがないと認められるまで

※出席停止の期間は、学校医、その他の医師において、感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

4. 試 験 1)定期試験

定期試験、論文(レポート)試験、実技試験、追試験及び再試験があります。なお、この他に担当者の判断で小テスト等の臨時試験を実施する場合もあります。

定期試験とは期間を定めて行う試験のことであり、試験期間は原則として以下の通りです。

- ア. 前期試験 7月下旬
- イ. 後期試験 1月下旬から(1・2年次)、12月中旬(4年次)

試験期間は毎年度、学年暦によって決定されます。

定期試験の時間割表は、試験の1週間前までに2号館1階、1号館1階掲示板に掲示します。

試験教室は通常授業の教室とは異なる場合があります。試験教室についても、試験の1週間前までに掲示板に掲示します。

2)論文(レポート) 試験・提出

授業科目によっては、論文(レポート)試験や実技試験等によって成績評価を行う場合があります。これらは定期試験の代わりとなるものですから、提出期限や条件等は厳格に守ってください。なお、論文(レポート)試験や実技試験は、担当教員が直接授業中に指示する場合と、掲示板を通して指示する場合があります。

また、試験とは別に、担当教員からレポート課題が課せられることがあります。この場合、担当教員が授業中に直接指示します。

18.1.4000	
提出期限	指定された提出期日・時刻は厳守することが必要です。
	締切後の提出は一切、受理できません。
提出先	指定された所へ提出してください。
	(指定された提出先以外では受理できません)
	①担当教員
	②授業時間中もしくは授業担当者の研究室
	③大学事務室窓□(レポート提出 BOX)
受付時間	◎平日 8:30~16:30
	◎土曜 8:30~13:00
	この時間内でも特に担当教員の締切時刻がある場合は、その締切時刻以降
	は一切、受理できません。

3)追試験

追試験とは、<u>やむを得ない正当な理由によって定期試験当日に受験できなかった学生又は論文(レポート)試験でレポートを提出することができなかった学生に対して</u>定期試験期間後に実施する試験のことをいいます。

追試験を希望する場合は、理由を証明する書類を添えて期間内に大学事務室教務課に申 し込んでください。

追試験の日程・試験教室については、2号館1階、1号館1階掲示板に掲示します。

欠席理由	証 明 書	備考
疾病等 (病気・怪我等)	医師の診断書	家族の病気の付き添い等は認めません。
忌引	公的証明書 (写し可) と 印鑑	父母(養父母を含む) 3 日以内・祖父母 1日以内・実兄弟姉妹2日以内。 法事による欠席は認めません。
就職試験等を受験	企業等が発行した就職試験 受験を証明するもの	会社訪問、セミナー、研修等は認めません。

交通障害	遅延証明書・事故証明書	20 分以内の遅延は認めません。 バイク、マイカー使用に起因する交通事故 及び交通渋滞による遅刻は認めません。
災害(地震·台風·火 災·水害等)	官公庁による被災証明書	本人又は家族の居住地が被災した場合に 限ります。
その他(本人の不注 意によらない理由で あること)	公的な証明書	事前に判明している場合は、大学事務室 に問い合わせてください。 資格試験等は認められません。

追試験を受験するためには、上表のように、<u>当該試験を受験できなかったことが公的な</u> 証明書により明確に証明されなければなりません。例えば、診断書に証明されている日時 が試験日時と一致しない場合は、受付できませんので注意してください。

公的な証明書が添付されていなければ、理由の如何を問わず、追試験を受験することはできません。例えば、風邪などにより、自宅で療養していた場合は、医師の診断書がないため受付できません。必ず医師の診断を受けておくことが必要です。

忌引、就職試験、災害などによる欠席において遠隔地にいた場合は、往復のための所要 日数も考慮しますので大学事務室に申し出てください。

4)再試験

再試験とは、試験等で不可となった学生に対して、次の実施要領に従って実施する試験 のことをいいます。

(1) 目的

再試験とは、履修登録を行った科目の単位を修得することができなかった学生を 対象とする試験である。

(2) 受験範囲

試験等の結果、前期・後期で「不可」となった科目について、各学期末に受験することができる。

- (3) 再試験を許可される科目 担当教員が受験を認めた科目。
- (4) 受験手続き
 - ① 受験希望者は期日内に「再試験願」を大学事務室に提出しなければならない。
 - ② 再試験料は1科目1,000円とする。
 - ③ 再試験時間割は掲示により発表される。

5)試験受験の 心得

受験に際しては、次の注意事項を厳守してください。

- (1) 学生証を机上に置き、公正な態度で受験する。
- (2) 学生証・筆記用具・時計等の許可された物品以外は、すべてかばんの中に入れる。
- (3) 携帯電話は電源を切り、かばんの中にいれる。
- (4) 試験開始後20分が経過した場合には入室することはできない。また、試験開始後、30分が経過するまでは退室することはできない。
- (5) 出席不良等で受験停止を命じられている者は、受験することができない。
- (6) 履修登録をしていない科目は、受験することができない。
- (7) 質問がある時は、手を挙げて試験監督者に知らせる。
- (8) 許可された物以外のものが机上または机の中にある時は、不正行為とみなす場合がある。また、物品の貸借は認めない。
- (9) 解答用紙を試験場外に持ち出した場合は、当該試験を無効とする。
- (10) 試験中に不正行為を行った者は、厳しい処分を科す。

試験当日、学生証を忘れた場合

大学事務室内の自動証明書発行機で『仮学生証』(100円)を購入し、試験科目名、 試験教室を記入して、机上に置くこと。

- ※『仮学生証』は発行当日のみ有効
- ※ 年間 10 枚のみ発行

6)不正行為

(カンニング)

試験中の次の行為は、不正行為とみなします。

- (1) カンニングペーパーまたはこれに類似するものを試験中に所持または使用すること。
- (2) 他人に受験させ、または他人の代わりに受験すること。
- (3) 他人の答案をのぞき見することまたは故意に見せること。
- (4) 答案用紙を交換すること。
- (5) 持込みを許可されていない物品を参照すること。
- (6) 他の受験者と私語をすること。
- (7) 物品の貸借をすること。
- (8) 試験監督者の指示に従わないこと。
- (9) その他不正行為を疑われるような行為をすること。

試験中に不正行為をした者については、当該学期に履修登録した**全授業科目の単位を無効**とします。ただし、演習科目・実技科目の単位についてはこの限りではありません。

5.成績 1)成績評価

成績は100点を満点とし、60点以上を合格とします。履修した科目の成績評価は筆記試験・論文・レポート・実技テストその他、授業担当者の定める評価基準により行われます。 成績通知は科目ごとに、次の評価によって発表します。

	点 数	評価	成績通知書	成績証明書	単 位
_	90点~100点	秀	秀	秀	
5	80点~ 89点	優	優	優	単位認定(修得)
段階	70点~ 79点	良	良	良	半世迹化 (1914)
評	60点~ 69点	可	可	可	
価	0点~ 59点	不可	不可	表示しない	出位不到中(土板组)
100	評価不能	不可	不可	表示しない	単位不認定(未修得)

2)成績発表

成績発表は、原則として、学期末(前期末又は後期末)に成績通知書を学生個人に配付することによって行います。成績発表の日程については、学年暦で確認してください。

また、**成績に関する問い合わせは、**<u>成績発表後2週間以内</u>に大学事務室に申し出て、「成績評価問い合わせ票」に必要事項を記入・捺印のうえ提出してください。電話での問い合わせは受け付けません。

3)成績通知書と 修得単位

学期末の成績通知書には、その学期に受講した科目の成績評価(秀・優・良・可・不可) と、入学年度からの単位修得(合格)した科目の成績評価を示しています。

また、成績通知書には、履修区分別の単位修得表も掲載されています。指定された科目群の中から一定の単位を修得する必要がありますので、各自の成績表と比較して、卒業に必要な科目が何かを知るうえでの参考にしてください。

5

※注 意

①前期の成績通知書

- ○前期開講科目…確定した成績評価
- ○集中開講科目…確定した成績評価(8月中に授業が終了した科目のみ)
- ②後期の成績通知書
 - ○前期開講科目…前期に確定した成績評価
 - ○通年科目……前期と後期の成績をもとに最終的に確定した成績評価
 - ○後期開講科目…確定した成績評価
 - ○集中開講科目…確定した成績評価
- ※ 成績評価は、秀・優・良・可・不可で示す。

6. 卒業の要件

1)卒業の要件

本学保健医療学部では、卒業するために次の条件を満たす必要があります。

- ア. 4年間以上の在学(休学期間を除く)
- イ. 本学保健医療学部が定める卒業に必要な科目、並びに卒業に必要な単位数以上の修 得

2)卒業に必要な単位数

看護学科 2018 年度以降入学生は 27 ページ、2017 年度以前入学生は 51 ページ、リハビリテーション学科学生は 75 ページの履修規程第 4 条を参照してください。

7. GPA制度

1)GPA制度導入 の趣旨 本学では成績評価に加えて、GPA(Grade Point Average)を導入しています。 GPA とは成績評価方法の1つで、履修科目の成績の平均を数値化したものです。また、 ただ単位を修得すればいいということではなく、その質(成績の評価)も重要となるため、

学生の皆さんが自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるよう制度を設けています。

2)GPAの算出 方法 履修登録科目のうち GPA 対象科目について、各科目の成績評価(秀・優・良・可・不可)に応じて5段階(4、3、2、1、0)に分けて数値化した評価点(Grade Point)に単位数を掛けたものを総合計し、履修登録科目の総単位数で割ることにより算出します。

 GPA =
 [(対象科目の単位数) × (その科目の評価点)] の合計

 履修登録科目の単位数の合計

※ 小数第3位を四捨五入

3)GPAの算定 基準

		評価	得点	評価点 (Grade Point)
		秀	100~90点	4
判定	合 格	優	89~80点	3
		良	79~70点	2
		可	69~60点	1
	不合格	不可	0~59点	0
無判定	その他	認定	他大学又は短期大学等で 修得し、本学部で認定さ れた単位	_

4)GPAの 算出例

授業科目名	単位数	成績	評価点 (GP)	単位数 × 評価点 (GP)
日本国憲法	2	秀	4	8
看護学概論	2	優	3	6
保健医療学概論	1	良	2	2
奈良学	2	不可	0	0
看護理論	1	優	3	3
免疫学	1	良	2	2
	9			2.1
≣†	[単位数 ×	評価点 (GF 2 1	r) の合計] ÷ [単f ÷	立数の合計] = GPA 9 = 2.33
			*	※ 小数第3位を四捨五入

5)GPA値の 確認方法

GPA 値は成績・履修状況一覧表で確認できます。GPA 値には、学期 GPA と累積 GPA があり、学期 GPA は当該学期の GPA 値を、累積 GPA は通算した GPA 値を示します。

8.オフィス・ アワー

オフィス・アワーとは、教員が指定した曜日・時間帯に学生が自由に研究室を訪れ、授業内容・学修上の問題等について質問や相談ができる制度です。

各教員が指定した曜日・時間帯は、新学期当初に掲示します。授業担当の教員を始め、 多くの教員に、授業や学生生活に関することなどを相談してください。

なお、相談に際してはマナーを心がけ、有効に活用してください。

看 護 学 科



Ⅲ 看護学科(2018年度以降入学生)

1. 履修規程

(総 則)

第1条 本学学則第13条第3項の規定に基づき、保健医療学部看護学科(以下「本学科」) の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

(卒業資格)

- 第2条 本学科を卒業するためには、4年以上在学し、132単位以上を修得しなければならない。
 - 2 看護師・保健師課程選択を選択した場合は、143単位以上を修得しなければならない。
 - 3 看護師・助産師課程選択を選択した場合は、155単位以上を修得しなければならない。

(授業科目の区分)

- 第3条 授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。
 - 2 共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養 科目、キャリア形成科目、及び導入基礎科目に区分する。
 - 3 専門基礎科目は、これを人間の理解、環境の理解、健康の理解に区分する。
 - 4 専門教育科目は、これを看護の考え方と方法、看護学の総合と発展、公衆衛生看護学、及び助産学に区分する。

(授業科目の履修)

第4条 本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(1)共通教育科目	25単位以上
(2) 専門基礎科目	30単位以上
(3)専門科目	73単位以上
(4)専門基礎科目および専門科目の選択科目	4単位以上

(単 位)

第5条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とする。

(配当年次)

第6条 各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

(授業科目の履修制限)

第7条 授業科目については、原則として、年間48単位を超えて履修することができない。

(履修登録)

第8条 履修登録は、各学期初めに年2回行わなければならない。

(履修登録の制限)

- 第9条 授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限 を設けることがある。
 - 2 同時限に開講される授業科目は、1科目しか登録することができない。

(再登録)

第10条 単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。

2 単位を修得することができなかった授業科目は、第7条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

(履修登録の変更)

- 第 11 条 履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
 - 2 学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

(授業科目の開講)

第12条 授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

(授業の組分け)

第13条 履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

(単位の認定)

- 第 14 条 担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等(以下「試験等」という)、または平素の履修状況(学習態度等)により学修の成果を評価して単位を与える。
 - 2 各授業への出席が授業時間の3分の2 (実習においては5分の4) に満たない場合は再履修とする。

(単位認定を受ける資格)

- 第 15 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
 - (1) 授業料その他諸納入金が未納であるとき
 - (2) 履修登録をしていないとき

(試験等の成績評価)

- 第16条 試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
 - (1) 100 点から 90 点まで 🦸
 - (2) 89点から80点まで 優
 - (3) 79点から70点まで 良
 - (4) 69点から60点まで 可
 - (5) 59点以下 不可(不合格)

(受験上の注意)

第 17条 学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

(再試験等)

- 第18条 試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
 - 2 再試験等の実施については、別に定める。
 - 3 再試験等で合格した者の成績評価は、60点(可)とする。

(追試験等)

- 第 19 条 病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
 - 2 追試験等の実施については、別に定める。
 - 3 追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附 則

この規定は、平成31年4月1日から施行する。

2. 履修に関する 留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の3分の2(実習科目においては5分の4)に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30分未満の場合は3分の1回の欠席扱いとし、30分以上の場合は1回の欠席扱いとします。

3)履修指導の 体制 各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、 課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共 有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学 生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、再履修しなければなりません。ただし、授業科目(原則的に選択科目は除く)によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります(ただし、成績の評価は60点を上限とし、受験回数は1回のみとします。)この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の3分の2以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)看護学実習 科目の履修に 関する留意点 看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

- ①基礎看護学実習Ⅱを履修するためには、次の科目の単位を修得していること。「看護学概論」「看護コミュニケーション論」「看護倫理学」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅰ」
- ②3年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、3年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- ③統合看護学実習を履修するためには、<u>3年次後期までのすべての領域別実習の単位を</u>修得していること。

6)課程選択に 伴う履修上の 留意点

|(1)看護師・保健師課程選択

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、「保健統計(2 単位)」と公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目(7科目、13単位)を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

「公衆衛生看護学実習 I (地域活動)」「公衆衛生看護学実習 II (学校保健)」「公衆衛生看護学実習 II (産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、3年次後期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得していること。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話 I (1単位)」「健康スポーツ(理論)(1単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作(2単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「健康スポーツ(実技)(1単位)」「日本国憲法(2単位)」の合計8単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師・助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目 14 科目 27 単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

「助産学実習 I \sim IV」を履修するためには、3年次後期までのすべての助産師課程の科目とすべての領域実習の単位を修得していること。

7)課程選択の 決定

3年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程(20 名以内)」、「看護師・助産師課程(女子のみ 10 名以内)」のいずれかを選択します。「看護師・保健師課程」選択者は保健師国家試験受験資格を、「看護師・助産師課程」選択者は助産師国家試験受験資格を看護師国家試験受験資格と同時に取得することが可能です。

「看護師・保健師課程」ならびに「看護師・助産師課程」の選択は、2年次の終わりに 希望調査を行い、3年次の始業までに希望者に対して筆記試験と面接を行い、それらの結 果と2年次までの成績を考慮して決定します。

教育目的と 教育課程編成 の考え方

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的としています。

1)教育目的
 2)教育課程編成の考え方

上記の教育目的とディプロマポリシーを実現するため、以下のようなカリキュラムポリシーに基づき、看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格(保健師、助産師は選択制)を取得できるよう保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を満たした教育課程を編成しています。

カリキュラムポリシー

- 1. 豊かな人間性や国際的感覚、汎用的能力を育むための科目を、1年次から4年次までを通して配する。
- 2. 看護専門職者として、対象となる個や集団を理解し、倫理的態度を基本に全人的看護ケアを実践する力を育むための科目を段階的に配する。
- 3. 専門性を発揮しながら、多職種と協働できる力を育むための科目を配する。
- 4. 看護専門職者として自己研鑽できる力を育むための科目を配する。

4. ディプロマ ポリシーと カリキュラム マップ

1)カリキュラム マップ

2)ディプロマポリシーを構成する要素

ディプロマポリシーと授業科目がどのように関係しているかを示したものをカリキュラムマップと言います。看護学科のカリキュラムマップを 37 ページから 38 ページに示します。カリキュラムマップでは、ディプロマポリシーを構成しているいくつかの要素に分けて示しています。それぞれの授業科目がどの要素を育成するかを◎または○で示しています。◎は特に重点的に育成することを、○は重点的に育成することを表しています。

看護学科ディプロマポリシー(DP)	構成要素
1. 国際的な視点をもち、幅広い教養と	1) 国際的な視点
豊かな人間性、変化に対応できる	2) 幅広い教養
汎用的能力など確かな学士力を有	3)豊かな人間性
することができる。	4)変化に対応できる汎用的能力
2. 看護職として個別的で多様な保健医	1) 看護者としての倫理的態度
療ニーズに倫理的配慮をもって応	2) 保健医療ニーズを捉える力
えることができる。	
3. 人間愛に基づき「人」を中心に据え	1) 個に対する看護を実践するための専
た専門的知識と高度な技術、創造	門的知識
力、実践力、協調性などを備え、	2) 個に対する看護を実践するための技
主体的に全人的ケアができる。	術
	3) 創造性と協調性をもって主体的に看
	護を実践する力
4. 学際性を培い、専門性を発揮しなが	1)他職種と協働するための調整力
ら他職種と連携・協働し、チーム	2) 他職種連携やチーム医療を推進する
医療を推進することにより社会に	基礎力
貢献できる。	

看護学科 カリキュラムマップ

		- 17 		単	位数		DI	⊃ 1		DI	P 2		DP3		DF	⊃4
科 区:	分分	授業科目の名称	部当年次	必修	選択	1)国際的 な視点	2)幅広い 教養	3)豊かな 人間性	4)汎用的 能力	1)倫理的 態度	2)保健医療ニーズ	1)専門的 知識	2)技術	3)創造性·協調性·主体的実践力	1)調整力	2)他職種 連携も推 進力
\Box		英語Ⅰ	1前	1		0			00							
		英会話 I	1前	1		0			00							
		英会話 I 中国語基礎 I	1後	1	1	0			00							
		中国語基礎Ⅱ	1:2:3:4機		1	0			ŏ							
		中国語会話	1.2.3.4節		1	0			O							
		スペイン語基礎 I スペイン語基礎 II	1-2-3-4前		1	0			0							
		スペイン語会話	1.2.3.400		1	Ö			ŏ							
		文学 哲学	1.2.3.4版		2		0									
	並	倫理学	1-2-3-4前		2			0	0	0						
	磁	心理学	1-2-3-4前		2		0	0								
	教養	行動の科学 文化人類学	1-2-3-4後		2	0	8	0								
		音楽の世界	1:2:3:4微		2	Ŭ	0									
		社会学 日本国憲法	1-2-3-4後		2		0									
		歴史学	1.2.3.48		2	0	0									
		地理学	1-2-3-4後		2	0	0									
共通		数学の世界 自然科学の基礎	1:2:3:4節		2		0		00							
教育		環境化学の基礎	1.2.3.4後		2		0									
料		健康スポーツ(理論)	1前	1	-		0									
Ħ		健康スポーツ(実技) スポーツ実技 I	1-2-3-4後		1		0	0								
		スポーツ実技Ⅱ	1:2:3:4微		1		0	0								
	共生	共生と社会 人権論	1-2-3-4億		2		8	0						-		
	教	ボランティア活動	1-2-3-4前		2			ő	0							
	養	生活と環境	1.2.3.40		2		0									
	8	奈良学 異文化コミュニケーション	1:2:3:4前		2	0	0								 	
	(B)	国際事情	1.2.3.4後		2	ő	0									
	情	情報機器の操作 情報倫理とセキュリティ	1前 1・2・3・4前	2	2	-	0	0	0	0	-			1	-	
	報教	データの世界	1.2.3.40		2		0		<u> </u>							
	難	CGの基礎と演習	1-2-3-4後		2		0									
ŀ	‡ *	情報と分析 キャリアデザイン I	1:2:3:4隆		1		0	0	0							
	ý	キャリアデザインⅡ	1後		1			ŏ	0							
	リ ア 形 成	キャリアディベロップメント I	2前		1			0	0							
ŀ		キャリアディベロブメント II 基礎演習 I (ラーニングスキルズ)	2後	1	-			- 0	0							
	導 人基礎	基礎演習Ⅱ(文章表現)	1後	1					0							
\dashv		小計(46科目) 人体構造機能学 I	1 前0	9	63							0				
		人体構造機能学Ⅱ	180	2								0				
	間	発達心理学	1 80	2								0				
	の 理	生化学 栄養学	1 mi	1								0				
	解	微生物学	1前	1								00				
		免疫学	1前 2後	1 2								0				
	理	疫学 公衆衛生学	1後	1								0				
	境の	社会福祉学	1 89	1								0				
専 PS	理解	医療福祉関係法規 保健医療福祉行政論	1前 2後	1								0				
基礎	84	保健統計	2後	_	2						0	0				
科		保健医療学概論 病理学	1前	1								0				
B		疾病治療論Ⅰ	1前	1								0				
	an.	疾病治療論Ⅱ	1後	1								0				
	健康	疾病治療論Ⅲ 疾病治療論Ⅳ	1後	1												
	の 理	疾病治療論V	2前	1								0				
	解	疾病治療論VI 小児疾病治療論	2前	1								0		1		
ļ		小児疾病治療論 栄養治療論	2前 2後	1	\vdash							0				
		樂理学	1後	2								0				
		リハビリテーション論 小計 (25科目)	2後	30								0	0			
\neg		看護学概論	1 前0	2						0	0	0				
		看護倫理学 看護コミュニケーション論	1前	1						0		0	0			
		看護コミュニケーション語 基礎看護技術演習 I	1前	1 2		 						0	0	0	 	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2前	2								0	0	ŏ		
		看護理論 看護過程演習	1後 2前	1	-	 	-				○	0		-	 	-
		ヘルスアセスメント	2前	1	t							00	0	0		
ļ		保健医療倫理学	1後	1						0		Ŏ				
		基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II	1前 2後	1 2	1					0	0		00	0		
ļ		成人看護学概論	1後	2						0	0	0				
201		成人看護学援助論	2通	2							0	0		0		
専門		成人看護援助論演習 老年看護学概論	3前 2前	1		 					8	0	0	<u> </u>	 	0
科目	福護	老年看護援助論	2後	1							ŏ	0	0			
	Ø	老年看護援助論演習 小児看護学概論	3前 2前	1		 	-	-		0	-	0	0	0	 	-
٦	-5	小児看護援助論	2後	1							0	0				
3	え		3前	1								0	0	0		
<u>ן</u>	方と	小児看護援助論演習	A44		1	1	1			0	0	0		1	ı	
3	方 と 方	母性看護学概論	2前 2後									(O)	0			
w	方と	母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護援助論演習	2後 3前	1								0	0	0		
<u></u>	方 と 方	母性看護学概論 母性看護提助論 母性看護援助論演器 精神看護学概論	2後 3前 2前	1 1						0	0	00	0	0		
L.	方 と 方	每性福港学概論 每性福港比別 每性福港比別清潔 對中國港港等概論 環种高級提別消 類种電級提別消	2後 3前	1						0		0		0		
L.,	方 と 方	母性福護学概論 母性福護报助論 母性福建取帥論 獨特極護学概論 獨特極護投助論 精神種護規助論 調神種護規助論 成本種襲學美麗 1 (硷性期: 周手術期)	2後 3前 2前 2後 3前 3後	1 1 1 1 3						0	0	000	0 0 0	0		
L.	方 と 方	母性福捷学販済 母性福捷提助清 母性福捷學販清 期待福捷學販清 期待福捷提加達 頭特福捷加達 頭於福捷提加達 玩人福度学業語 (倍性斯·何手邮期) 成人福度学業語 (倍性斯·何手邮期)	2後 3前 2前 2後 3前 3後 3後	1 1 1 1 3 3						0	0 0	000	0	0		
Lu	方 と 方	母性福護学概論 母性福護报助論 母性福建取帥論 獨特極護学概論 獨特極護投助論 精神種護規助論 調神種護規助論 成本種襲學美麗 1 (硷性期: 周手術期)	2後 3前 2前 2後 3前 3後	1 1 1 1 3						0	0	000	0 0 0	0		0

看護学科(2018年度以降入学生)

				単位	立数	単位数 DP1			DF	2	DP3			DP4		
料 区		授業科目の名称	当年次	必修	選択	1)国際的 な視点	2)幅広い 教養	3)豊かな 人間性	4)汎用的能力	1)倫理的 態度	2)保健医療ニーズ	1)専門的 知識	2)技術	3)創造 性・協調 性・主体 的実践力	1)調整力	2)他職種 連携も推 進力
		母性看護学実習	3後	2							0			0		0
		精神看護学実習	3後	2							0			0		0
		ターミナルケア論	4前		1					0		0				0
		感染看護	4前		1							0	0			
		家族看護学	4前		1						0	0				
1 1		ベインコントロール論	4前		1						0	0	0			
225		在宅看護学概論	2前	1								0			0	0
P9		在宅看護援助論	2後	2							0	0	0			
料		在宅看護援助論演習	3前	-1								0	0	0		
B		在宅看護学実習	3後	2									0	0	0	
		看護管理学	4前	2								0			0	0
1 1	看	チーム医療論	4前	1								0			0	0
1 1	部	チーム医療論演習	4後		1							0			0	0
1 1	が統	統合看護論	4後	2							0	0				0
	合	統合看護学実習	4前	2										0	0	0
	٤	国際看護論	4前	1		0					0	0				
	実	国際看護論演習	4後		1	0						0			0	
	践	地域包括ケア論	4後		1						0	0				0
		災害看護学	4後		1							0	0		0	
		看護教育学	4後		1							0				
		カウンセリング論	4後		1					0		0	0			
		卒業研究 I	4前	1								0				
		卒業研究Ⅱ	4前後	1					0	0						
		公衆衛生看護学概論	2前	2							0					0
1 1		公衆衛生看護学方法論I	3前		2						0	0				
	23	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	3前		2						0	0				
	衆	公衆衛生看護学 I (地域活動)	2後	2							0	0			0	
	衛生	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	3前		2						0	0			0	
	右	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	3前	2							0	0			0	
	896	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)	4通		з									0	0	0
	学	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	4通		1								0	0	0	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	4通		1							0	0	0	0	
		公衆衛生看護学診断演習	4前		2						0	0	0			
		助産学概論	3前		2					0		0				0
		ウィメンズヘルス学	3前		2						0	0	0			
		周産期医学	3iii		1							0				
		助産診断・技術学 I	3èú		2						0	0	0			
1 1		助産診断・技術学Ⅱ	3後	_	2					ļ	0	0	Q		L	
1 1	Eh	助産診断・技術学Ⅲ	3後	_	2					ļ	0	0	0		ļ	
1 1	産	助産診断・技術学演習Ⅰ	3後		1							0	0	Q		
1	学	助産診断・技術学演習Ⅱ	4前		1							0	0	Ō		
1 1		助産学実習Ⅰ	4通		2								Q	0	0	
1 1		助産学実習Ⅱ	4通	_	4					ļ			0	0	0	
1 1		助産学実習Ⅱ	4通	_	4					ļ			0	0	Q	
1 1		助産学実習Ⅳ	4通		1								0	0	0	
1 1		地域母子保健	4前		1						0	0				0
\sqcup		助産管理論	4 <u>8</u> 0		2							0			0	0
\Box		小計 (78科目)	-	73	50											
		合計		112	115											

(注) DP1 ~ DP4 は P31 を参照

保健医療学部看護学科カリキュラム

公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)* 公衆衛生看護学川(学校保健)* 公衆衛生看護学実習!!(学校保健)* 保健師課程 公衆衛生看護学方法論!!* 公衆衛生看護学実習 | (地域活動) * 公衆衛生看護学方法論 | * 公衆衛生看護学診断演習 * 助産診断・技術学 | * 周産期医学* 助産診断・技術学演習 | * 助産学実習!!* 地域母子保健* 助産師課程 助産診断・技術学!!!* ウィメンズヘルス学* 助産管理論* 助産学実習!!!* 助産学概論* 助産診断・技術学演習||* 助産学実習|V* 助産診断・技術学川* 卒業研究 | 看護の統合と実践 統合看護実習 統合看護論 国際看護論演習* 国際看護論 チーム医療論 チーム医療論演習* 看護管理学 災害看護学* カウンセリング論* 看護教育学* 在宅看護学概論 在宅看護援助論 在宅看護援助論瀋習 在宅看護学実習 地域包括ケア論* 看護学の 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学 | (地域活動) 公衆衛生看護学 || (産業保健) 看護の考え方と方法 _{家族看護学*} 拡がりと深まり 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護援助論演習 精神看護学実習 (発達段階・健康状態に 母性看護学概論 母性看護援助論演習 母性看護学実習 母性看護援助論 応じた看護) 小児看護学概論 小児看護援助論演習 感染看護* 老年看護学実習!! 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護援助論演習 老年看護学実習। 成人看護学実習 | (急性期·周手術期: 成人看護援助論। 成人看護援助論口 成人看護援助論演習 (急性期・周手術期) (慢性期・回復期・終末期) 成人看護学概論 成人看護学実習!! 基礎看護学実習 | 基礎看護技術演習! 看護の考え方と方法(看護の基礎) 基礎看護技術演習! 看護コミュニケーション論 ヘルスアセスメント 保健医療倫理学 基礎看護学実習II 看護倫理学 看護過程演習 看護学概論 健康の理解 疾病治療論IV (感覚器•運動器系) 疾病治療論!!! (免疫•神経系) 小児疾病治療論 リハビリテーション論 疾病治療論 II (消化器·内分泌·腎尿路系) 栄養治療論 疾病治療論 | (循環器・血液造血器・呼吸器系) 保健医療学概論 保健統計* 医療福祉関係法規 保健医療福祉行政論 環境の理解 公衆衛生学 社会福祉学 免疫学 微生物学 人間の理解 栄養学 生化学 発達心理学 人体構造機能学!! 人体構造機能学! * は選択科目

共通教育科目

1年次 2年次 3年次 4年次



5. 看護学実習の 概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の 概要と開講時 期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり1年次から4年次まで段階的に実習を開講します。

1年次:基礎看護学実習 I を履修し、臨床現場を経験することで、将来の自分の姿を想像し、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

2年次:基礎看護学実習Ⅱを履修し、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

3年次: 各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等、対象の特性に 応じた適切な看護を行う能力を養います。

4年次:統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。 保健師または助産師課程選択の学生(2年次終了後に選抜)は公衆衛生看護学実習または助産学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時間

必修/選択	実習科目	開講時期	単位
	基礎看護学実習I	1年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	2年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ		6
~! \rac{1}{2}	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
必修	小児看護学実習	2 左次然期	2
	母性看護学実習	3年次後期	2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	4年次前期	2
\22 +O	公衆衛生看護学実習Ⅰ~Ⅲ	4/5/5	5
選択	助産学実習Ⅰ~Ⅳ	4年次	11

2)看護学実習 要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、1年次から継続して実習教育を行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オリエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習 | の評価

看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の 担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに 関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、<u>秀、優、良</u>、 可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

※ 出席が 4/5 に満たない場合は再履修となります。

4)実習中の事 故防止と対 処

- ①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。
- ②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。
 - ※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険(総合補償保険 will 保険) に加入します。

5)感染防止

- ①自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。
- ②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。
- ③定期健康診断時(4月)に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。3年生は麻疹・風疹の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。
- i 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の 学生は母子健康手帳などの予防接種歴(ワクチン接種歴)を確認し、下記の対応をし てください。
- ・ワクチンを2回接種している→2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを1回接種している→ワクチン接種を1回受けて、2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→1ヵ月以上の間隔をあけて、2回予防接種を受ける。接種後、2回分の接種証明書を提出。

提出先:学生支援センター

提出書類:接種証明書(医療明細書または母子健康手帳の写し)

提出期限:基礎看護実習 I が始まる1ヵ月前

なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センター に申し出てください。

ii 結核感染の有無について (T-スポット)

検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。

iii HBs 抗体(B型肝炎)について

HBs 抗体陰性(-)の学生はワクチン接種を受けてください。

- ※HBs 抗体のワクチンは、3回の接種が必要で、終了までに約7か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。
- iv インフルエンザについて

感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

6. 看護師・保健 師課程選択者 選考要領

(趣旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部看護学科 履修規定第2条第2項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目(以 下「保健師課程選択科目」という)を選択できる学生の選考方法について、必要な 事項を定めるものとする。

(保健師課程選択科目の定義)

第2条 保健師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(履修定員)

第3条 保健師課程の履修定員は、原則20名までとする。

(履修者の決定及び選考)

- 第4条 前条の保健師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会(以下、「学部企画委員会」という)において行う。
 - 2 履修者の選択は、3年次前期開講までに行う。
 - 3 別表2に定める科目の筆記試験、面接、及び2年次までの成績によって選考する。
 - 4 選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会(以下、「選考委員会」という)が行う。志願者が第3条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

(履修志願手続き)

- 第5条 保健師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で、2年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。
 - 3 申請に必要な書類は、所定の志願書及び「保健師課程選択志願理由書」とする。

(選考結果の通知)

第6条 保健医療学部長は、第4条による結果を、志願者に対して通知する。

(雑 則)

第7条 この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

(改 廃)

第8条 この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

- この要領は、平成27年9月2日から施行する。
- この要領は、平成30年7月4日から施行する。

別表 1 保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
	公衆衛生看護学方法論I	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	2	30
専門科目	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合 計		15	405

別表2 筆記試験科目

「保健医療学概論」、「公衆衛生学」、「公衆衛生看護学概論」、「社会福祉学」上記科 目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識

7. 看護師·助産 師課程選択者 選考要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部看護学科 履修規定第2条第3項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目(以 下「助産師課程選択科目」という。)を選択できる学生の選考方法について、必要 な事項を定めるものとする。

(助産師課程選択科目の定義)

第2条 助産師国家試験受験資格取得のために履修しなければならない科目をいい、科目名、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(助産師課程選択科目の授業時間)

第3条 助産師課程選択科目の授業は、履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

(履修定員)

第4条 助産師課程選択の履修定員は、女子に限り、原則10名までとする。

(履修者の決定及び選考)

- 第5条 前条の助産師課程選択科目履修者の決定は、保健医療学部企画委員会(以下、「学 部企画委員会」という)において行う。
 - 2 履修者の選考は、3年次前期開講までに行う。
 - 3 別表2に定める科目の筆記試験、面接、及び2年次までの成績によって選考する。
 - 4 選考は学部企画委員会において選出された委員で構成する委員会(以下、「選考委員会」という)が、学部企画委員会で決定された選考要領に基づいて行う。志願者が第4条の定員以下の場合であっても選考を行うこととする。

(履修志願手続き)

- 第6条 助産師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で、2年次後期までに開講された専門基礎科目及び専門科目の必修科目を全て修得している者とする。
 - 3 申請に必要な書類は、所定の志願書及び「助産師課程選択志願理由書」とする。

(選考結果の通知)

第7条 保健医療学部長は、第5条による結果を、志願者に対して通知する。

(雑 則)

第8条 この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、学部企画委員会において別に定める。

(改 廃)

第9条 この要領の改廃は学部企画委員会において、これを行う。

附則

- この要領は平成27年9月2日から施行する。
- この要領は平成30年7月4日から施行する。

別表 1 助産師課程選択科目

科目名	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウィメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学I	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習Ⅰ	1	30
助産診断・技術学演習Ⅱ	1	30
助産学実習 I	2	90
助産学実習Ⅱ	4	180
助産学実習Ⅲ	4	180
助産学実習IV	1	45
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
습 計	27	765

別表2 筆記試験科目

1. 専門基礎科目試験

人体構造機能学Ⅰ、人体構造機能学Ⅱ、疾病治療論Ⅰ(循環器・血液造血器・呼吸器系)、疾病治療論Ⅱ(消化器・内分泌・腎尿路系)、疾病治療論Ⅲ(免疫・神経系)、疾病治療論Ⅳ(感覚器・運動器系)、小児疾病治療論、の範囲から出題する。

2. 専門科目試験

母性看護学概論、母性看護援助論、の範囲から出題する。

授業科目表

_		T			1								-		●…必修 ○…選択
科				立数											
	科目					1	1年		年	3年		4年		時	
目区分		授業科目の名称	ūλ	遅	配当年次		_	_		_				間	卒業に必要な 単位数
分	群		修	护		前	後	前	後	前	後	前	後	数	1 12200
						期	期	期	期	期	期	期	期		
		英語 I	1		1前	•								30	
		英語Ⅱ	1		1後		•							30	
		英会話 [1		1前	•								30	
		英会話 🛚	1		1後		•							30	
		中国語基礎 I		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		中国語会話		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎 Ⅱ		1	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		スペイン語会話		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		文学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		哲学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	基	倫理学		2	1・2・3・4前	0		0		0		0		30	
	礎	心理学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	教養	行動の科学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
	IR.	文化人類学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		音楽の世界		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		社会学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		日本国憲法		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		歴史学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		地理学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
共		数学の世界		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	25単位以上 (必修9単位を含む)
通		自然科学の基礎		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
教育		環境化学の基礎		2	1.2.3.4後	_	0		0		0		0	30	
科目		健康スポーツ(理論)	1	.	1前	•			_		_		_	15	
		健康スポーツ(実技)		1	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1・2・3・4後		0		0		0		0	30	
	共	共生と社会	-	2			0		0		0		0	30	
	生教	人権論	-	2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	養	ボランティア活動 生活と環境	-	2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	奈	奈良学	-	2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	良	異文化コミュニケーション		2	1.2.3.4削	0	0	0	0	-	0	0	0	30	
	国際	国際事情		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
	NZ.	情報機器の操作	2		1前	•	$\overline{}$	-	_			-		30	
	情	情報倫理とセキュリティ		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	報	データの世界		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
	教養	CGの基礎と演習	1	2	1.2.3.4後	Ť	0	Ŭ	0	Ť	0	Ŭ	0	30	
		情報と分析	t	2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
	+	キャリアデザイン I	t	1	1前	0	Ť	l	Ť		Ť	l	É	30	
	ャリ	キャリアデザインⅡ	t	1	1後	Ť	0	<u> </u>				<u> </u>		30	
	ア形	キャリアディベロップメント I	t	1	2前		Ť	0						30	
	成	キャリアディベロップメントⅡ		1	2後			Ē	0					30	
	導	基礎演習 I (ラーニングスキルズ)	1	Ė	1前	•			Ė					30	
	導入基礎	基礎演習Ⅱ(文章表現)	1		1後	Ė	•							30	
	-AC	小計 (46科目)	9	 	_	_	<u> </u>	 	_	-	-	_	-	_	

^{※「}中国語基礎Ⅱ」を履修するためには「中国語基礎Ⅰ」を修得していることが、「スペイン語基礎Ⅱ」を履修するためには「スペイン語基礎Ⅰ」を修得していることが必要です。

1	Ι	I	205.4			1			포그사	なか										
			単1	立数					BC=	配当年次										
科日	科					1年		2年		3年		4年		時	太業に 必亜か					
目区	目群	授業科目の名称	必	選	配当年次									間数	卒業に必要な 単位数					
分			修	択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
						297	240	240	203	247	247	247	240							
		人体構造機能学 I	2		1前	•								30						
		人体構造機能学Ⅱ	2		1前	•								30						
	間の	発達心理学	2		1前 1前	•						-		30						
	理	生化学 栄養学	1		1前	•	-							15 15						
	解	微生物学	1		1前	•								15						
		免疫学	1		1前	•								15						
		疫学	2		2後				•					30						
	環	公衆衛生学	1		1後		•							15						
	境の	社会福祉学	1		1前	•								15						
	理	医療福祉関係法規	1		1前	•								15	107単位以上					
専	解	保健医療福祉行政論	2		2後				•					30	専門基礎科目必修30単位					
門基礎		保健統計		2	2後				0					30	+ 専門科目必修73単位					
礎科		保健医療学概論	1	-	1前	•								15	選択科目4単位以上					
ë		病理学 疾病治療論 I (呼吸器・循環器・血液造血器系)	1		1前	•	•					-		15	ANG 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10					
		疾病治療論 I (背化器·内分泌·腎尿路系)	1		1後		•							30 30						
	D-	疾病治療論 II (免疫・神経系)	1		1後		•							30						
	健康	疾病治療論IV(感覚器・運動器系)	1		1後		•							30						
	の理	疾病治療論V (生殖器系・精神疾患)	1		2前		Ť	•						30						
	解	疾病治療論 VI (老年医学)	1	t	2前			•						30						
		小児疾病治療論	1		2前			•						30						
		栄養治療論	1		2後				•					15						
		薬理学	2		1後		•							30						
		リハビリテーション論	1		2後				•					30						
		小計 (25科目)	30	2	-															
		看護学概論	2		1前	•								30						
		看護倫理学	1		1前	•								15						
		看護コミュニケーション論	1		1前	•								30						
		基礎看護技術演習I	2		1前	•								60						
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		1後		•							60						
		看護理論	1		1後		•							15						
		看護過程演習	1		2前		_	•						30						
		ヘルスアセスメント	1	-	2前			•						30						
		保健医療倫理学 基礎看護学実習 I	1		1後 1前	•	•							15						
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後	-			•					45 90						
		成人看護学概論	2		1後		•		_					30						
		成人看護援助論 I (急性期·周手術期)	1		2前		<u> </u>	•						30						
		成人看護援助論 I (慢性期·回復期·終末期)	1		2後				•					30						
専		成人看護援助論演習	2	İ	3前					•				60						
門		老年看護学概論	1		2前			•						15						
科	看護	老年看護援助論	1		2後				•					30						
	の	老年看護援助論演習	1		3前					•				30	107単位以上					
B	考え	小児看護学概論	2		2前			•						30	専門基礎科目必修30単位 +					
	方と	小児看護援助論	1		2後				•	_				30	専門科目必修73単位 +					
	方	小児看護援助論演習	1	-	3前			_		•				30	選択科目4単位以上					
	法	母性看護学概論	2	-	2前			•						30						
		母性看護援助論 母性看護援助論演習	1	<u> </u>	2後 3前			<u> </u>	•	•				30 30						
		特神看護学概論	1		2前			•		-				15						
		精神看護援助論	1		2後			-	•					30						
		精神看護援助論演習	1	t	3前				Ť	•				30						
		成人看護学実習 I (急性期·周手術期)	3		3後						•			135						
		成人看護学実習 Ⅱ (慢性期・回復期・終末期)	3		3後						•			135						
		老年看護学実習Ⅰ	1		3後						•			45						
		老年看護学実習Ⅱ	3		3後						•			135						
		小児看護学実習	2		3後						•			90						
					266	1				ı -	•		1	90						
		母性看護学実習	2		3後															
		母性看護学実習 精神看護学実習	2		3後						•			90						
		母性看護学実習 精神看護学実習 ターミナルケア論	_	1	3後 4前							0		90 15						
		母性看護学実習 精神看護学実習	_	1 1 1	3後							0 0		90						

看護学科(2018年度以降入学生)

				立数					配当	年次					
科日	科	哲学科ロの夕社			TOWARA	1	年	2	年	3年		4年		時間	卒業に必要な
科目区分	科目群	授業科目の名称	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	数	単位数
		在宅看護学概論	1		2前			•						15	
専門		在宅看護援助論	2		2後				•					60	
門科		在宅看護援助論演習	1		3前					•				30	
B		在宅看護学実習	2		3後						•			90	
		看護管理学	2		4前							•		30	
	看	チーム医療論	1		4前							•		15	
	護	チーム医療論演習		1	4後								0	30	
	学の	統合看護論	2		4後								•	30	
	統	統合看護実習	2		4前							•		90	
	統合と発	国際看護論	1		4前							•		15	
	発展	国際看護論演習		1	4後								0	30	
	茂	地域包括ケア論		1	4後								0	15	
		災害看護学		1	4後								0	15	
		看護教育学		1	4後								0	15	
		カウンセリング論		1	4後								0	15	
		卒業研究 I	1		4前							•		30	
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							•	•	30	
		公衆衛生看護学概論	2		2前			•						30	
		公衆衛生看護学方法論I		2	3前					0				30	107単位以上
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					0				30	
	公衆	公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後				•					30	専門基礎科目必修30単位 +
	衛	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					0				30	専門科目必修73単位 +
	生看	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					•				30	選択科目4単位以上
	一看護学	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)		3	4前後							0	0	135	
	7	公衆衛生看護学実習 Ⅱ (学校保健)		1	4前後							0	0	45	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前後							0	0	45	
		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							0		60	
		助産学概論		2	3前					0				30	
		ウィメンズヘルス学		2	3前					0				30	
		周産期医学		1	3前					0				15	
		助産診断·技術学 I		2	3前					0				30	
		助産診断·技術学Ⅱ		2	3後						0			30	
		助産診断·技術学Ⅲ		2	3後						0			30	
	助	助産診断·技術学演習I		1	3後						0			30	
	産学	助産診断·技術学演習 II		1	4前							0		30	
		助産学実習I		2	4前後							0	0	90	
		助産学実習Ⅱ		4	4前後							0	0	180	
		助産学実習Ⅲ		4	4前後							0	0	180	
		助産学実習Ⅳ		1	4前後	l						0	0	45	
		地域母子保健		1	4前	t						0		15	
		助産管理論		2	4前							0		30	
		小計 (79科目)	73	50	_	1									
	l	合計 (150科目) 132単位以上	112	115				l		·必修 ·選択		I			

■看護師課程 履修モデル

松 縣 羊		25 25単位3と 25単位以上		等円量機等日 砂修30単位	毎門 対 回 B を 6 7 3 年 1 7 7 7 7 7 7 7 4 7 4 日 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	第 16 25 共通数階等目
中	12	0 0 4	٥ و	r £		対策 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
<後期> 国 ^{単位} 区分					01 7 7	※
4年生 8分 科						
(開期)					ターミナルケア議 等級信職学 等級信職学 存業研究 1	● C. 参 C. 参 C. 参
46/ 本位 区分					夕	※ 2 を 2 を 3 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4
∓生 <後期					の 内 人	0 SH27
3年 (前期) (以) (以) (以)						
<後期> 科目 単位 区分		2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		及学 保護医療協能行政論 2 必 保護医療協能行政論 1 必 リハビリテーション論 1 砂	(中央機関短距離 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	股際 4 4 4 4 4 4 4 6 6 6 6 6 6 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
期> 2年生期	2 選 側面法	7 7 7	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 	의 공 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의	公子(4) 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
	超 空 題	生活と環境情報をセキュリ	が キャリファ ペ ロタノ X 必	応 (本) (**) ((2) 使不便關係學數 (2) 使人便關係的第三 (3) 使用的 (3) δ Γ Θ 60	
(後期)	鍛	l l l l l l l l	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##		の経過機及が減減11 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	議会議会議会議会議会 (基本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本)
(前期) (本四区分) (本四区分) (本四区分)	1 必 1 必	京本 2 0 0 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	(5-2)ガ) 1 数 (5-2)ガ) 1 数 (8世) 1 2 数 (8学) 1 2 数 (8学) 1 2 数 (8学) 1 2 数	() () () () () () () () () ()	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1
以 本 本 四 数 の 数 の 数 数 の 数 の 数 数 の 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	基 英語 1 英会話 1 教 健康	共生 奈良・情報 エ	ア形成 人間の理解キャリ 美徳(鬼)人(人)生意	職職の登録を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	雪箋のきえつどった 看護学の 公衆衛	基份 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中

看護学科2
0
8
以降

	操禁		25 25単位3位 25単位以上		専り職職が自 の係って単立	32 「保護機計」		# 1	43
	掛	2 2	2 4	ω	0	o	60	88 シップション の ロップ ファップ	33 10年112
	生 (後期)							1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	4年							□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	原 7 15 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18
	<前 期>							(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
	単位 区分							O O D O O O O O O O O O O O O O O O O	¥ 0 18
	生 (後期)							1	
	3年								7 6 15 827 38
	<前期>							在中國 國 班别的游游 在中國 國 班别的游游 在中國 國 班别的游游 不中國 國 班別的游游 不中國 國 伊斯 即 第 2	
	単位 区分	20回	2 2			0 0 0 2 2 3 8	 	01 0 0 0400100 999 9999 9 9 9 9 4 0 1 8	8 6 23
	年生 <後期> 科 日 科 日 科 日 日 日 日 日	行動の科	異文化コミュニケーション			投学 保健医療福祉行政編 保健維料		各年 香飯 提切所 文人 整體 提切所 五人 整體 提加所 五人 整體 提加所 日本 整體 超加所 日本 整體 超加所 日本 表面 200 年 日本 200	11
ے	23	照 関	2	—————————————————————————————————————			 	1	聚7~
修モデル	< 前 期 <	心理学本ラテク活動	OGの基礎と演習	\$\$UPF' 44' 097" XYK I			疾病治療論 V 小児疾病治療論 疾病治療論 VI	帝年書籍学報 所人書籍短的論 整體金技術部 4人7からなり 4人7からなり 4人7からは 4月の書籍学報論 群件書籍学報論 群件書籍学報論 群件書籍学報論 在で書籍学報論	
区	単位 区分			 觀		± ₫	충 충 충 충 충	[화화화화화	18 2 18
而課程	生 <後期> 科目	英語工 英会話工 健康スボーツ(実技)		キャリアデザインI 基礎演習II(文章)		公衆衛生学	疾病治療論] 疾病治療論 I 疾病治療論 I 疾病治療論 IV 率理学	を できない ない はん はん はん はん はん はん はん はん はん はん はん はん はん	SB148
健島	1年		\(\alpha\)		0 0 0 \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	 8 8 8	 \$\frac{2}{2}	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	選択 3 30 必修43 選択5
看護師。保健師課程	く部 猫>	英語 1 英会話 1 健康	情報機器の操作	やJアゲザ イン I 基礎演習 I (5-こ)ゲ)	発達心理学 微生物学 免疫学 人体構造機能学 I 人体構造機能学 I	宋貴字 社会福祉学 医療福祉関係法規	保健医療学戲稿 物理学	・ 一	
	英田群	基礎教養 救養 共生	国際 数据条员·情報	445	人間の理解	理解原境の	健康の理解		看
	公区	1	共通教育	•	101	の問題	•	数型	

専門基礎科目お よび専門科目の 選択科目4単位以 茶件 25 30 8 φ N ß _ | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date | Date 2 8 在宅香機援助崩溃四 20 数学 保護医療福祉行政論 2 必 2 必 公東衛生電腦学 1 (地域) 応報 (1994年 | 1995年 | マ 年の**の機能**類の意 履修モデル • 助産師課程 |看護師 华 生糧 公衆衛 黎馥 国際 奈良· 数額能数 統合と発展香護学の 專門基礎 健康の理解 岳崖拳 人間の理解 基礎教養 看護の考え方と方法 并通 中日 智 共通教育 専門基礎 中日日

Ⅲ 看護学科(2017年度以前入学生)

1. 履修規程

(総 則)

第1条 本学学則第13条第3項の規定に基づき、保健医療学部看護学科(以下「本学科」) の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

(卒業資格)

- 第2条 本学科を卒業するためには、4年以上在学し、125単位以上を修得しなければならない。
 - 2 看護師・保健師課程選択を選択した場合は、135単位以上を修得しなければならない。
 - 3 看護師・助産師課程選択を選択した場合は、148単位以上を修得しなければならない。

(授業科目の区分)

- 第3条 授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。
 - 2 共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養 科目及び、キャリア形成科目に区分する。
 - 3 専門基礎科目は、これを健康の理解と区分する。
 - 4 専門教育科目は、これを看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆 衛生看護学及び助産学に区分する。

(授業科目の履修)

第4条 本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(1)共通教育科目	25単位以上
(2) 専門基礎科目	2 4 単位以上
(3) 専門科目	76単位以上

(単 位)

第5条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とする。

(配当年次)

第6条 各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

(授業科目の履修制限)

第7条 授業科目については、原則として、年間45単位を超えて履修することができない。

(履修登録)

第8条 履修登録は、各学期初めに年2回行わなければならない。

(履修登録の制限)

- 第9条 授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限 を設けることがある。
 - 2 同時限に開講される授業科目は、1科目しか登録することができない。

(再登録)

- 第10条 単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。
 - 2 単位を修得することができなかった授業科目は、第7条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

(履修登録の変更)

- 第 11 条 履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
 - 2 学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

(授業科目の開講)

第12条 授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

(授業の組分け)

第13条 履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

(単位の認定)

- 第 14 条 担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等(以下「試験等」という)、または平素の履修状況(学習態度等)により学修の成果を評価して単位を与える。
 - 2 各授業への出席が授業時間の3分の2 (実習においては5分の4) に満たない場合は再履修とする。

(単位認定を受ける資格)

- 第 15 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
 - (1) 授業料その他諸納入金が未納であるとき
 - (2) 履修登録をしていないとき

(試験等の成績評価)

- 第16条 試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
 - (1) 100 点から 90 点まで 秀
 - (2) 89 点から 80 点まで 優
 - (3) 79点から70点まで 良
 - (4) 69点から60点まで 可
 - (5) 59点以下 不可(不合格)

(受験上の注意)

第 17 条 学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

(再試験等)

- 第18条 試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
 - 2 再試験等の実施については、別に定める。
 - 3 再試験等で合格した者の成績評価は、60点(可)とする。

(追試験等)

- 第19条 病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試 験等を受けることができる。
 - 2 追試験等の実施については、別に定める。
 - 3 追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2.履修に関する 留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の3分の2(実習科目においては5分の4)に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30分未満の場合は3分の1回の欠席扱いとし、30分以上の場合は1回の欠席扱いとします。

3)履修指導の 体制 各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、 課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共 有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学 生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

4)看護学実習 科目の履修に 関する留意点 看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

- ①基礎看護学実習 II を履修するためには、次の科目の単位を修得していること。 「看護学概論」「基礎看護技術演習 II」「看護理論」「早期体験演習」「基礎看護学実習 I」「看 護過程演習」「基礎看護技術演習 II」「基礎看護技術演習 III」「へルスアセスメント」
- ②3年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、3年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。
- ③統合看護学実習を履修するためには、<u>3年次後期までのすべての領域別実習の単位を修得していること。</u>

5)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目(原則的に選択科目は除く)によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります(ただし、成績の評価は60点を上限とし、受験回数は1回のみとします。)この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の3分の2以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

6)課程選択に 伴う履修上の 留意点

(1) 看護師・保健師課程

看護師・保健師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の選択科目のうち<u>「保健統計(2単位)」及び「保健医療福祉行政論(2単位)」を修得し</u>、公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目 7科目 13 単位を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

ただし、「公衆衛生看護学実習 I (地域活動)」「公衆衛生看護学実習 II (学校保健)」「公 衆衛生看護学実習 II (産業保健)」及び「公衆衛生看護学診断演習」を履修するためには、 3年次後期までのすべての公衆衛生看護学の科目とすべての領域実習の単位を修得して いることが必要です。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話 I (1単位)」「英会話 I (1単位)」「健康スポーツ (実技) (1単位)」、情報教養科目群の「情報機器の操作 (2単位)」、選択科目のうち基礎教養科目群の「日

本国憲法(2単位)」の合計8単位を修得しておく必要があります。

(2) 看護師·助産師課程選択

看護師・助産師課程を選択する学生は、看護師課程の卒業要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目 13 科目 27 単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

「助産診断・技行学実習 $I \sim \mathbb{N}$ 」を履修するためには、3年次後期までのすべての助産師課程の科目とすべての領域実習の単位を修得しておく必要があります。

7)課程選択の 決定

看護学科の学生は、入学者全員が看護学を学び、看護師国家試験受験資格を取得することができます。また、3年次より課程選択制を導入することにより、「看護師課程」、「看護師・保健師課程(20名以内)」、「看護師・助産師課程(女子のみ 10名以内)」のいずれかを選択します。「看護師・保健師課程」は保健師国家試験受験資格を、「看護師・助産師課程」は助産師国家試験受験資格を同時に取得することが可能です。

課程選択の決定は、2年次の終わりに希望調査を行い、3年次の始業までに希望者に対して試験、面接を行い、それらの結果と2年次までの成績を考慮して判定します。

3.教育目標と 教育課程編成 の考え方

以下の内容をよく読んで、明確な目標をもって履修する授業科目を考え、履修登録を行い授業に臨んでください。

1)教育目標

保健医療学部看護学科では、知識や技術の修得のみならず、看護のフィロソフィーの獲得を目指し、看護の役割の拡大や質の変化に対応でき、チーム医療の一員として他職種と協働して全人的ケアの提供ができる質の高い看護職者(看護師、保健師、助産師)を育成することを目標としています。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、看護師、及び希望者には保健師または助産師の国家試験受験資格が取得できるように保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

<カリキュラムポリシーとそれに相応する教育課程>

①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養科目群の語学、人文科学、社会科学、自然科学、 健康スポーツに関連する豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講 することにより身につける。

②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養、共生教養及び奈良・国際の各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。特に、国際的な視点や国際感覚を身につけた人材を養成するために、共通教育科目の必修科目として「英語 I 」「英会話 I 」「英会話 I 」「英会話 I 」を通して国際的なコミュニケーション能力を身につけ、「奈良学」を通して自国の文化を理解するとともに奈良の国際色豊かな文化・芸術、仏教文化などを学ぶ。さらに専門基礎科目の必修科目として「保健医療学概論」を通して全人的ケアに主眼をおいた保健医療学について諸外国の現状と実践例を学び、専門科目の必修科目として「国際保健医療看護論」を通して保健・医療・看護について国際社会の動向を知り、看護職者としてグローバルな視点で保健医療活動ができる基礎的能力を身につける。また、学生が自らの興味・関心によって主体的に国際

的な視点や国際感覚を身につけるための選択科目も豊富に配置している。共通教育科目では、奈良・国際科目群の「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」をはじめ、基礎教養科目群の「文化人類学」「外国史」、共生教養科目群の「生活と環境」、専門科目では「国際保健医療看護演習」をはじめ「保健医療英語 I」「保健医療英語 II(文献購読)」を配置している。

③主体的な体験や討論を通して<u>自己の考えを確立</u>し、それを<u>豊かに表現する能力</u>を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養及びキャリアの各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

また、専門科目のグループワーク、臨地実習、卒業研究などを通して培う。

④看護職に必要な<u>高度な知識・技術</u>、<u>情報活用能力</u>、<u>コミュニケーション能力</u>を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群、専門科目の看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に関する各科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。特に情報活用能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目の情報教養科目群の科目を主体的に受講することにより培い、応用的能力は専門科目の演習科目などにおいて必要に応じて多様なメディアを高度に利用することにより培う。また、コミュニケーション能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目のコミュニケーション関連科目を主体的に受講することにより身につけ、実践的応用的能力は専門基礎科目の「早期体験演習」及び専門科目の臨地実習などを通して身につける。

⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠(エビデンス)と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、探求心と想像力をもって、<u>創造的な全人</u>的ケアの実践ができる能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群及び専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。

特に、本学部が目指す全人的ケアの実践ができる能力について、まず、1年次必修科目の「保健医療学概論(専門基礎科目)」及び「チーム医療論」において、看護学、医学、健康諸科学の専任教員及び当該分野の専門家がオムニバス形式で担当することにより、その基本的な考え方と枠組について学ぶ。その後、全人的ケアを実践するための応用的能力について、主として、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の「ヘルスプロモーション論」「心身医療論」、「カウンセリング論」、専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の「行動変容アプローチ」「チーム医療演習」「ターミナルケア論」「統合看護学実習」「卒業研究 II」「卒業研究 II」などを主体的に受講することにより培う。

⑥看護職として<u>学際性</u>を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、<u>他職種と連携してチームで活動</u>できる<u>汎用的能力</u>を身につける教育

主として、学際性は共通教育科目の基礎教養科目群及び専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の科目、社会のニーズや多様な変化に対応する能力は共通教育科目の共生教養、国際教養、情報教養、キャリア形成の各科目群の科目を主体的に受講することにより身につける。他職種と連携してチームで活動できる基礎的な能力や資質は、専門科目の看護学の基本に関する科目群の1年次後期必修科目の「チーム医療論」で学ぶ。また、チームで活動するための実践力や汎用的能力は、看護学の統合と発展に関する科目群の4年次後期必修科目の「チーム医療演習」で身につける。

3)教育課程全体 の特色 教育課程編成の考え方をふまえ、全学(すべての学部)に共通する「共通教育科目」と、 看護学科独自の「専門基礎科目」及び「専門科目」を設け、上述の教育目標が達成できる ようなカリキュラムを構築し、学生一人ひとりの自主性と自立を支援するための充実した 教育プログラムを展開しています。

「共通教育科目」は、語学、人文科学、社会科学、自然科学、スポーツに関連する科目を幅広く配置した基礎教養科目群、本学の教育・研究の特色(キーワード)である「共生」「国際」「情報」「奈良文化」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群、さらに社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むためのキャリア形成科目群の5つの科目群で構成し、専門性にとらわれない幅広い教養と豊かな人間性、社会のニーズや多様な変化に対応するための汎用的能力を培います。

「専門基礎科目」は保健医療専門職として必要な健康の理解に関する科目群、専門科目は、看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展に関する3つの科目群で構成し、人間を全人的に理解し高い専門性と創造力、倫理的配慮を備え、他職種と連携して全人的ケアができる看護職者の育成をめざしています。また、専門科目には、保健師養成のための公衆衛生看護学、助産師養成のための助産学に関する各科目群を配置しています。

4)教育課程 の概要

- (1) 共通教育科目 (52 科目 82 単位、うち必修は 8 科目 10 単位、選択は 44 科目 72 単位)
- ○共通教育科目の履修要件(卒業要件): 25 単位以上(必修 10 単位、選択 15 単位以上)
- ①基礎教養科目群(32科目49単位、うち必修は6科目6単位、選択は26科目43単位) 語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する32科目(49単位) を配置しています。これらの幅広い科目の中から選択受講することにより、論理的・科学的な思考力、的確な判断能力、倫理性、社会性、豊かな表現力、コミュニケーション能力、自然や文化を大切にする心など、幅広い教養と豊かな人間性を主体的な学びにより培います。なお、国際的な視点で学び、世界各地の人々とコミュニケーションをとり活動する上で不可欠な「英語IJ「英語II」「英会話IJ」及び保健医療職者として自らが健康的で活動的なライフスタイルを形成するための基礎となる「健康スポーツ(理論)」「健康スポーツ(実技)」の6科目6単位は必修科目としています。

<基礎教養科目群>

【必修科目】

「英語 I 」「英語 II 」「英会話 I 」「英会話 II 」「健康スポーツ(理論)」「健康スポーツ(実技)」

【選択科目】

「中国語基礎 I 」「中国語基礎 II 」「中国語会話」「文学」「哲学」「倫理学」「心理学」「行動科学の基礎」「文化人類学」「感性・イメージ表現」「音楽の世界」「社会学」「社会科学の基礎」「日本国憲法」「外国史」「地理学」「数学の世界」「物理と地学の基礎」「環境化学の基礎」「実験と科学」「スポーツ実技 I 」「スポーツ実技 I 」

- ※ 以下は留学生のための日本語科目(4科目4単位)を開講する。 「日本語 I 」「日本語 II 」「日本語表現 I 」「日本語表現 II 」
- ②「共生」「奈良・国際」「情報」に呼応する科目群

以下に示す本学の教育・研究の特色(キーワード)である「共生」「奈良・国際」「情報」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群から、主体的に選択受講することにより、社会のニーズや多様な変化に対応し、人類・社会に貢献するための汎用的能力を培います。

i) 共生教養科目群(4科目8単位、すべて選択)

様々な事象が絡み合った複雑な現代社会の現状を理解した上で、人や集団、自然との 共生を実現させる方法及びその問題点について学ぶ科目を配置しています。人と人との 共生を学ぶ科目「人権論」、共生を実現するための社会の仕組みについて学ぶ科目「共 生と日本社会」、人と自然との共生を学ぶ科目「生活と環境」があるほか、科目「ボランティア活動」を通して共生の実践を学び、他者を支援しながら、幸せを共有できる姿勢を養います。

<共生教養科目群>

【選択科目】

「共生と日本社会」「人権論」「ボランティア活動」「生活と環境」

ii)奈良・国際科目群(5科目9単位、うち必修は1科目2単位、選択は4科目7単位) 国際化した現代社会では、様々な社会生活の場面で異文化との交流が必然的に発生します。その交流を積極的に進めるためには、海外及び自国の諸事情を把握し、互いの差異を理解することが必要となります。国際交流を進めていくために必要な準備及び国際交流の実践方法について学びます。特に国際交流の前提として、自らを深く理解するために本学が所在する奈良を重視し、日本人の特質や日本文化の土台を形成した奈良文化について学ぶ「奈良学」は必要不可欠な教養と考え、必修科目として配置しています。その上で自国文化を海外の人々に伝える方法や国際交流を実践する能力を身につけます。また、教科外活動として短期研修プログラム、文化交流、短期留学など、海外に出かけ、国際社会及び異文化を実体験できる機会を設けます。これらの自主的活動についても、活動内容に対応する科目として単位認定を行う場合があります。

<奈良・国際科目群>

【必修科目】

「奈良学」

【選択科目】

「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」

iii) 情報教養科目群(5科目 10 単位、うち必修は1科目2単位、選択は4科目8単位) 高度情報化社会といわれる現代において、安全に、適切に、効率よく、倫理的に正し い方法で、あふれる情報の中から必要な情報を収集し、また自らも情報を処理し、発信 していくための基礎的・実践的な情報・コミュニケーション能力を培うための科目を配 置しています。特に情報機器の活用能力を身につける「情報機器の操作」を必修科目と して配置しています。

<情報教養科目群>

【必修科目】

「情報機器の操作」

【選択科目】

「情報倫理とセキュリティ」「シミュレーションの世界」「データの世界」 「CG の基礎と演習」

③キャリア形成科目群(6科目6単位、すべて選択)

社会的・職業的自立に必要な能力や態度である人間力、社会人基礎力を育み、学生が主体的に課題を発見し、これを解決する能力を培うための科目を配置しています。

特に、本学部が想定している進路の特徴を加味した独自の教育プログラムを提供するために、複数の専任教員が主として担当する「キャリアデザインII (1年次)」「キャリアディベロップメントII (2年次)」「キャリアスキルアップII (3年次)」「キャリアスキルアップII (4年次)」を順次履修することを強く奨励します。具体的には、自分の将来のキャリアプランに関連し、専門教育課程では直接学ぶことができない、実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを主体的に実行することにより、

汎用的能力を培うとともに、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力を段階的に確立できるようにしています。

<キャリア形成科目群>

【選択科目】

「キャリアデザイン I 」「キャリアデザイン II 」 「キャリアディベロップメント I 」「キャリアディベロップメント II 」 「キャリアスキルアップ I 」「キャリアスキルアップ II 」

- (2) 専門基礎科目 (24 科目 31 単位、うち必修は 17 科目 21 単位、選択は 7 科目 10 単位)○専門基礎科目の履修要件(卒業要件): 24 単位以上(必修 21 単位、選択 3 単位以上)
- ①健康の理解に関する科目群

保健医療専門職として必要な健康、医療、福祉に関する理解を深めるための科目を主として1~2年次に配置しています。特に「保健医療学概論」は入学して間もない1年次前期に配置し、看護学、医学、健康科学の専任教員がオムニバス形式で担当することにより、本学部がめざす全人的ケアをふまえた保健医療学の概要について概説します。また、全人的ケアに関連する科目として「心身医療論」「カウンセリング論」「ヘルスプロモーション論」を配置し、主として専任教員が担当します。さらに、保健医療や看護への動機付け及び臨地での基礎看護学実習Iへの導入として、早期に臨床現場を体験する「早期体験演習」を1年前期に配置しています。

<健康の理解に関する科目群>

【必修科目】

「保健医療学概論」「早期体験演習」「人体構造学 I 」「人体構造学 I 」「人体機能学 I 」「人体機能学 I 」「人体機能学 I 」「生化学」「薬理学」「病理学」「微生物学」「栄養と食生活」「疾病治療論 I 」「疾病治療論 I 」「保健学 I (公衆衛生)」「保健学 I (疫学)」「社会福祉学」「医療福祉関係法規」 【選択科目】

「免疫学」「遺伝学」「保健統計」「心身医療論」「カウンセリング論」 「ヘルスプロモーション論」「保健医療福祉行政論」

- (3) 専門科目 (70 科目 121 単位、うち必修は 41 科目 72 単位、選択は 29 科目 49 単位)
- ○専門科目の履修要件(卒業要件):76 単位以上(必修 72 単位、選択 4 単位以上)
- ※選択科目について、基本的に、「看護師課程選択」では、看護学の統合と発展の選択科目9科目9単位のうちから4単位以上を履修します。
- ①看護学の基本に関する科目群(11科目15単位、すべて必修)

看護の実践能力、自己の啓発能力、人間を尊重し、人間関係を形成しながら健康問題を解決するための能力といった、看護職者として基盤となる能力を学ぶための科目を主として1~2年次に配置しています。また、特に本学部の特色として掲げている全人的ケアに関連する基礎的科目として「チーム医療論」を配置しています。

<看護学の基本に関する科目群>

【必修科目】

「看護学概論」「基礎看護技術演習 I 」「基礎看護技術演習 II 」「基礎看護技術演習 II 」「基礎看護技術演習 II 」「看護理論」「看護過程演習」「ヘルスアセスメント」「チーム医療論」「保健医療倫理学」「基礎看護学実習 I 」「基礎看護学実習 I 」

②看護学の展開に関する科目群(18科目38単位、すべて必修)

看護学の基本で学んだ内容をふまえ、科学的根拠に基づく高度な知識・技術を培い、状況に応じた高度な看護実践を展開することができるようになるための科目を、臨地実

習と連動し、主に2~3年次に配置しています。

<看護学の展開に関する科目群>

【必修科目】

「成人看護学概論」「成人看護学援助論 I (急性期·周手術期)」「成人看護学援助論 I (慢性期·回復期·終末期)」「老年看護学概論」「老年看護学援助論」「精神看護学援助論」「小児看護学概論」「小児看護学援助論」「母性看護学概論」「母性看護学援助論」「成人看護学実習 I (急性期·周手術期)」「成人看護学実習 I (慢性期·回復期·終末期)」「老年看護学実習 I 」「老年看護学実習 I 」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」

③看護学の統合と発展に関する科目群 (18 科目 22 単位、うち必修は 9 科目 13 単位、選択は 9 科目 9 単位)

看護学の基本及び看護学の展開に関する各科目群で学んだことを統合し、さらにそれらのことを発展させ、全人的な健康観に立ち、科学的・客観的な根拠と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、高い専門性と倫理的配慮、豊かな想像力と国際的な視点を備え、他職種と連携して創造的な全人的ケアの実践ができるようになるための科目を2~4年次に配置しています。特にその特徴的科目として「チーム医療演習」「行動変容アプローチ」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「国際保健医療看護論」「国際保健医療看護演習」などを設定しています。また、「統合看護学実習」では、これまでの学修及び看護学の実践の中で見出した自身の課題に基づき、主体的、自律的に実習計画を立て、それを実行する能力を培います。

<看護学の統合と発展に関する科目群>

【必修科目】

「在宅看護学概論」「在宅看護学援助論」「在宅看護学実習」「チーム医療演習」「医療安全管理学」「国際保健医療看護論」「統合看護学実習」「卒業研究 I 」「卒業研究 I 」

「家族援助論」「行動変容アプローチ」「感染症看護論」「災害看護論」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「保健医療英語 I 」「保健医療英語 I (文献講読)」「国際保健医療看護演習」

④公衆衛生看護学に関する科目群 (10 科目 19 単位、うち必修は3 科目6 単位、選択は7 科目 13 単位)

「看護師・保健師課程選択」(20名)では、保健師国家試験受験資格を取得するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、地域活動、学校保健、産業保健など、公衆衛生看護に関する講義、演習、実習などの科目を主に3~4年次に配置しています。

<公衆衛生看護学に関する科目群>

【必修科目】

「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護学 I (地域活動)」「公衆衛生看護学 II (産業保健)」 【選択科目】

「公衆衛生看護学方法論 I 」「公衆衛生看護学方法論 II 」「公衆衛生看護学 II (学校保健)」「公衆衛生看護学実習 II (地域活動)」「公衆衛生看護学実習 II (学校保健)」「公衆衛生看護学実習 II (産業保健)」「公衆衛生看護学診断演習」

⑤助産学に関する科目群(13科目27単位、すべて選択)

「看護師・助産師課程選択」(女性のみ 10 名) では、助産師国家試験受験資格を取得

するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、助産診断・技術に関する講義、演習、実習を中核とし、ウイメンズへルスや地域母子保健に関する科目を主に3~4年次に配置しています。

<助産学に関する科目群>

【選択科目】

「助産学概論」「ウイメンズへルス学」「周産期医学」「助産診断・技術学 I 」「助産診断・技術学 I 」「助産診断・技術学 I 」「助産診断・技術学演習」「助産診断・技術学実習 I 」「助産診断・技術学実習 I 」「助産診断・技術学実習 II」「助産診断・技術学実習 II」「助産診断・技術学実習 II」「助産診断・技術学実習 II」「助産管理論」

4.看護学実習の 概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていきます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

1)看護学実習の 概要と開講 時期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり1年次から4年次まで段階的に実習を開講します。

1年次:前期の早期体験演習と後期の基礎看護学実習 I をリンクさせて、早期に臨床現場を経験し、将来の自分の姿を想像することで、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

2年次:基礎看護学実習 I として、臨地で対象者を受け持ち、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

3年次: 各看護学領域の実習を履修し、健康レベル、ライフステージ等対象の特性に応じた適切な看護を行う能力を養います。

4年次:統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践する看護基礎学習を集大成します。 保健師または助産師課程選択の学生(3年次に選抜)は公衆衛生看護学実習また は助産診断・技術学実習も選択します。

看護学実習科目と開講時期

必修/選択	実習科目	開講時期	単位
	早期体験演習	1年次前期	1
	基礎看護学実習Ⅰ	1年次後期	1
	基礎看護学実習Ⅱ	2年次後期	2
	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ		6
) 必修	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ		4
火 形	小児看護学実習	3年次後期	2
	母性看護学実習	3 十人技規	2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	4年次前期	2
選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ~Ⅲ	4年次	5
丛 扒	助産診断・技術学実習Ⅰ~Ⅳ		11

2)看護学実習 要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、1年次から継続して実習教育を 行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オ リエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

3)看護学実習 の評価

看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の 担当教員が責任をもって行います。評価は、各科目の実習目標の到達度、実習態度などに 関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、<u>秀、優、良</u>、 可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

※ 出席が4/5に満たない場合は再履修となります。

4)実習中の事故 防止と対処

- ①専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。
- ②保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。
 - ※ 入学時には、事故発生時の補償のために、学生全員が保険(総合補償制度 will 保険) に加入します。

5)感染防止

- (1)自己の体調に留意し、健康の自己管理を行います。
- ②専門基礎科目、専門科目で標準予防策に関する知識と技術を習得します。
- ③定期健康診断時(4月)に胸部エックス線の検査を行います。1年生は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。3年生は麻疹・風疹の抗体価、HBs 抗体(B型肝炎)、結核感染の有無(T-スポット)を調べます。
- i 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価が医療従事者に必要となる基準値以下の 学生は母子健康手帳などの予防接種歴(ワクチン接種歴)を確認し、下記の対応をし てください。
- ・ワクチンを2回接種している→2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを1回接種している→ワクチン接種を1回受けて、2回分の接種証明書を提出。
- ・ワクチンを受けていない及び接種記録がない→1ヵ月以上の間隔をあけて、2回予防接種を受ける。接種後、2回分の接種証明書を提出。

提出先:学生支援センター

提出書類:接種証明書(医療明細書または母子健康手帳の写し)

提出期限:基礎看護実習 I が始まる1ヵ月前

なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センター に申し出てください。

ii 結核感染の有無について(T-スポット)

検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生で学校から指示のあった学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。

iii HBs 抗体 (B型肝炎) について

HBs 抗体陰性(-)の学生はワクチン接種を受けてください。

- ※HBs 抗体のワクチンは、3回の接種が必要で、終了までに約7か月要します。このため計画的にワクチンを接種してください。
- iv インフルエンザについて

感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

5.看護師·保健師 課程選択履修 要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部 看護学科 履修規定第2条第2項に基づき、保健師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち公衆衛生看護学に係る選択科目(以下「保健師課程選択科目」という)の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

(保健師課程選択科目の定義)

第2条 保健師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(履修許可人数)

第3条 保健師課程選択に伴う科目の履修定員は、20名とする。筆記試験、面接及び2 年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

(選考の時期等)

第4条 前条の保健師課程選択科目履修者の選択は、3年次始期から前期履修登録までに 行うものとする。

(履修志願手続き)

- 第5条 保健師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の 期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来保健師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な 専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。
 - 3 申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に保健師として働く意欲を記した「保 健師課程選択志願理由書」とする。

(課程選択履修者の選考・決定)

- 第6条 保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員(以下「選考委員」という。)若干名を選考するものとする。
 - 2 選考委員は別表2の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修候補者の選考を行う。

ただし、志願者が第3条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行うこととする。

3 課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

(選考結果の通知)

第7条 保健医療学部長は、前条第3項による選考結果を、志願者に対して通知する。

(委 任)

第8条 この要領に定めるもののほか、保健師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、 保健医療学部企画委員会において別に定める。

附 則

この要領は、平成27年9月2日から施行する。

別表 1 保健師課程選択科目

科目区分	履修科目	単位数	時間数
専門基礎科目	保健統計	2	30
守门垒旋科日	保健医療福祉行政論	2	30
	公衆衛生看護学方法論I	2	30
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	30
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	2	30
専門科目	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)	3	135
	公衆衛生看護学実習Ⅱ (学校保健)	1	45
	公衆衛生看護学実習Ⅲ (産業保健)	1	45
	公衆衛生看護学診断演習	2	60
合 計		17	435

別表 2 選考方法

- ① $1 \cdot 2$ 年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
- ②筆記試験

出題科目

「保健医療学概論」「保健学 I (公衆衛生)」

「公衆衛生看護学概論」「社会福祉学」

上記科目より、公衆衛生看護学を学ぶために必要な基礎知識

③ [面接]

6.看護師·助産師 課程選択履修 要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、奈良学園大学学則13条第3項の規定及び保健医療学部 看護学科 履修規定第2条第3項に基づき、助産師国家試験受験資格の取得に必要な科目のうち 助産学に係る選択科目(以下「助産師課程選択科目」という。)の履修方法及び選択できる学生の選考方法について、必要な事項を定めるものとする。

(助産師課程選択科目の定義)

第2条 助産師課程選択科目の名称、単位数及び時間数は、別表1のとおりとする。

(助産師課程選択科目の授業時間)

第3条 助産師課程選択科目の授業時間(主として助産診断・技術学実習)については、 履修の手引きに示した「校時表」以外の時間に行う場合がある。

(履修許可人数)

第4条 助産師課程選択の履修定員は、女子10名とする。筆記試験、面接及び2年次までの成績により、保健医療学部企画委員会が履修者を決定する。

(選考の時期等)

第5条 前条の助産師課程選択科目履修者の選考は、3年次前期履修登録までに行うものとする。

(履修志願手続き)

- 第6条 助産師課程選択科目を履修しようとする者(以下「志願者」という。)は、所定の 期日までに保健医療学部長に申請するものとする。
 - 2 申請できる者は、将来助産師として働く意欲のある者で申請時までに履修可能な 専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目を全て修得していることとする。
 - 3 申請に必要な書類は、「成績表」及び卒業後に助産師として働く意欲を記した「助産師課程選択志願理由書」とする。

(課程選択履修者の選考・決定)

- 第7条 保健医療学部企画委員会は、あらかじめ志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う委員(以下「選考委員」という。)若干名を選考するものとする。
 - 2 選考委員は別表2の選考方法に基づき志願者の審査及び課程選択履修者の選考を行う。

ただし、志願者が第4条に定める定員以下の場合であっても志願者の審査及び課 程選択履修者の選考を行うこととする。

3 課程選択履修者の選考結果は、保健医療学部企画委員会で審議し決定するものとする。

(選考結果の通知)

第8条 保健医療学部長は、前条第3項による選考結果を、志願者に対して通知する。

(委 仟)

第9条 この要領に定めるもののほか、助産師課程選択科目の履修にあたって必要な事項は、 保健医療学部企画委員会において別に定める。

附則

この要領は平成27年9月2日から施行する。

別表 1 助産師課程選択科目

授業科目	単位数	時間数
助産学概論	2	30
ウイメンズヘルス学	2	30
周産期医学	1	15
助産診断・技術学Ⅰ	2	30
助産診断・技術学Ⅱ	2	30
助産診断・技術学Ⅲ	2	30
助産診断・技術学演習	2	60
助産診断・技術学実習 I	3	135
助産診断·技術学実習Ⅱ	2	90
助産診断・技術学実習Ⅲ	3	135
助産診断・技術学実習IV	3	135
地域母子保健	1	15
助産管理論	2	30
승 計	27	765

別表2 選考方法

- ①1・2年次までに配当された専門基礎科目及び専門科目区分の必修科目の GPA
- ②筆記試験

出題科目

「人体構造学Ⅰ・Ⅱ」「人体機能学Ⅰ・Ⅱ」

「疾病治療論Ⅰ・Ⅱ」「母性看護学概論」

上記科目より、助産学を学ぶために必要な基礎知識。

③「面接」



授業科目表

AB B B B B B B B B B				単位	位数				配当年次		●…必修		_			卒業に
株理 1	科目[区分	授業科目の名称		230	配当年次								時間数		
開放性 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				_	選択			後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
				_			•								_	l
			-	_				•								
### PATE			-	_	<u> </u>		•								_	l
中の			英会話Ⅱ	1				•							_	Į.
中国的会話 日本初日 日 日 日 日 日 日			中国語基礎Ⅰ		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
日本部日					1	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
변화되는 변화되는 변화되는 변화되는 변화되는 변화되는 변화되는 변화되는			中国語会話		1	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	ļ
日本語版則 1 1 2前			日本語 [1	1前	0								30	ļ
本語			日本語Ⅱ		1	1後		0							30	
大			日本語表現I		1	2前			0						30	
변경 변경 2 1-23-4배 이 이 이 이 이 이 30 30 30 25			日本語表現Ⅱ		1	2後				0					30	
변경 변경			文学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
변 변 전략			哲学		2	1・2・3・4前	0		0		0		0		30	
변 情熱性の無理 2 1-2-3-4度 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			倫理学		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	
### 전記		基	心理学		2	1・2・3・4前	0		0		0		0		30	
변호 전 가 지 구 가 고 환경 변경 기 대 기 대 기 대 기 대 기 대 기 대 기 대 기 대 기 대 기		礎	行動科学の基礎		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
大き		教	文化人類学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	
共通報告報告		養	感性・イメージ表現		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	1
担合科学の基礎			音楽の世界		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	1
共通 日本国際法 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30			社会学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	1
大 地理学			社会科学の基礎		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	1
共 過度学 2 1・2・3・4億 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 30 25			日本国憲法		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	1
			外国史		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	1
数	共		地理学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	1
数	油		数学の世界		2	1.2.3.4前	0		0		0		0		30	25単位
理解化学の基礎 2 1-2-3-4後 ○ ○ ○ ○ 30 10 e e e e e e e e e e e e e e e e e e			物理と地学の基礎		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	以上
万 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			環境化学の基礎		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	必修10単位
世級スポーツ (安価)	育		実験と科学		2	1.2.3.4後		0		0		0		0	30	を含む)
Axin	科		健康スポーツ (理論)	1		1.2.3.4前	•		•		•		•		15	1
スポーツ実技 I 1 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 スポーツ実技 I 1 1:2:3:4歳 ○ ○ ○ 30 大大 大生と日本社会 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 大大 佐館 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 水ランティア活動 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 安良学 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 文化芸術交流線 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 文化芸術交流線 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 文化芸術交流線 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 など芸術交流線 1 1:2:3:4歳 ○ ○ ○ 30 複像 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 複像 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 変力 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ 30 での世界 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○ ○ 30 変力 2 1:2:3:4前 ○ ○ ○	B		健康スポーツ (実技)	1		1.2.3.4後		•		•		•		•	30	1
スポーツ実技					1		0		0		0		0		30	1
共生と日本社会 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 人権論 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 ボランティア活動 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 森民学 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 文化コミュニケーション 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 文化芸術交流論 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 文化芸術交流論 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 電機経済事情 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 情報機器の操作 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 資報 シミュレーションの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 本サリアデザイン目 1 1 1 1 1 30 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> </td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>_</td> <td>1</td>					 			0		0		0		0	_	1
大 養生 教	t				2			0		_		0		_	30	1
## 数		共			-		0	_	0	_	0		0		_	1
数 生活と環境 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 30 会験学 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 30 会験学 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ 30 30 会核 を表すの 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ 30 30 会核 を表する 30 会核 を表する 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・2・3・4検 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 30 30 会核 2 1・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3		養生			-		_		_		-				_	1
奈良学 2 1・2・3・4前 ● ● ● ● 30 文化三ミュニケーション 2 1・2・3・4後 ○ ○ 30 文化芸術交流論 2 1・2・3・4後 ○ ○ 30 互際経済事情 2 1・2・3・4後 ○ ○ 30 情報機器の操作 2 1・2・3・4後 ○ ○ 30 情報倫理とセキュリティ 2 1・2・3・4節 ○ ○ 30 シミュレーションの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ 30 変 アータの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ 30 変 CGの基礎と演習 2 1・2・3・4後 ○ ○ 30 キャリアデザインI 1 1 1 30 1 1 30 1 1 30 1 1 30 1 1 30 1 30 1 1 30 1 2 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30		教			 				_		_		_			ł
文化コミュニケーション 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 文化芸術交流論 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 文化芸術交流満習 1 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 国際経済事情 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 情報機器の操作 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 情報機器の操作 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 シミュレーションの世界 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 データの世界 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 養 CGの基礎と演習 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30 キャリアデザインI 1 1 1 30 1 1 1 30 1 2 1・2・3・4巻 ○ ○ 30	-			2	_		_		_							ł
文化芸術交流論 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30					2		Ť	0	Ť	0	Ť	0	Ť	0		ł
R					-		0		0		0		0		_	ł
国際経済事情 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 情報機器の操作 2 1・2・3・4前 ● ● ● 30 情報機器の操作 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 情報機理とセキュリティ 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 ジミュレーションの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 ジミュレーションの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 ジェルーションの世界 2 1・2・3・4版 ○ ○ ○ 30 ジェルーションの世界 2 1・2・3・4版 ○ ○ ○ 30 ジェルーションの世界 2 1・2・3・4版 ○ ○ ○ 30 ジェルーションの世界 2 1・2・3・4版 ○ ○ ○ 30 ジェルーションの世界 2 1・2・3・4版 ○ ○ ○ 30 ジェルーションの世界 3 30 ジェルーションのサービー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		良			_									0	_	1
情報機器の操作 2 1・2・3・4前 ● ● 30 情報機器の操作 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 対象 シミュレーションの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 が データの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 が データの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 が データの世界 2 1・2・3・4節 ○ ○ ○ 30 が キャリアデザイン I 1 前 ○ ○ ○ 30 が キャリアデザイン I 1 1後 ○ ○ ○ 30 が キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 が キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 が キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 が キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 が キャリアディベロップメント I 1 3前 ○ ○ 30 が チャリアディベロップメント I 1 3前 ○ ○ 30 が チャリアティベロップメント I 1 3前 ○ ○ 30 が チャリアティベロップメント I 1 3前 ○ ○ 30 が 30 が 30 が 30 が 30 が 30 が 30 が		PST.						_						_		ł
情報倫理とセキュリティ 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 シミュレーションの世界 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 30 データの世界 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 30 ぞータの世界 2 1・2・3・4前 ○ ○ ○ 30 30 4 キャリアデザイン I 1 1前 ○ ○ ○ 30 キャリアデザイン I 1 1前 ○ ○ ○ 30 4 キャリアデザイン I 1 1後 ○ ○ ○ 30 4 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 4 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 30 4 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 30 4 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 30 4 キャリアディベロップメント I 1 3前 ○ ○ 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	-			2										0	_	ł
数 シミュレーションの世界 2 1・2・3・4後 ○ ○ ○ 30 子/タの世界 2 1・2・3・4節 ○ ○ ○ 30 子/タの世界 2 1・2・3・4節 ○ ○ ○ 30 子/ヤリフデザイン I 1 前 ○ ○ ○ 30 キャリアデザイン I 1 前 ○ ○ ○ 30 キャリアデザイン I 1 1 後 ○ ○ ○ 30 キャリアデザイン I 1 2前 ○ ○ 30 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 チャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 ろの キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ ○ 30 ろの チャリアディベロップメント I 1 3前 ○ ○ 30 ろの ろの ○ 30		情			2		_	-	_	-	_	-	_			ł
数 データの世界 CGの基礎と演習 キャリアデザイン I 1 1前 ○ 30 キャリアデザイン I 1 1後 ○ 30 キャリアデザイン I 1 2前 ○ 30 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ 30 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ 30 キャリアディベロップメント I 1 3前 ○ 30		報		\vdash	-			0		0		0		0		ł
## CGの基礎と演習 2 1·2·3·4後 ○ ○ ○ 30 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		教		\vdash	-		0				0		0		_	ł
キャリアデザイン I 1 1前 ○ 30 キャリアデザイン II 1 1後 ○ 30 キャリアディペロップメント I 1 2前 ○ 30 キャリアディペロップメント II 1 2前 ○ 30 キャリアディペロップメント II 1 3前 ○ 30 キャリアスキルアップ I 1 3前 ○ 30		養		\vdash	-		0	0	0	0		0		0		ł
キャリアデザインII 1 1後 30 キャリアディベロップメント I 1 2前 30 キャリアディベロップメント II 1 2前 30 キャリアスキルアップ I 1 3前 30	⊢			 	 			J	-	0	-	0	\vdash		_	ł
サリアディベロップメント I 1 2前 ○ 30 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ 30 キャリアディベロップメント I 1 2前 ○ 30 キャリアスキルアップ I 1 3前 ○ 30				-	_			\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash		_	ł
リアル キャリアディペロップメント I 1 2前 ○ 30 キャリアスキルアップ I 1 3前 ○ 30		キャ	-	├	 		U	\vdash	_	\vdash	<u> </u>	\vdash	\vdash	-	_	ł
ル キャリアスキルアップ 1 3前 0 30		リア		-	 		-	\vdash	_	\vdash	<u> </u>	\vdash	\vdash	-	_	ł
キャリアスキルアップ 1 3削 〇 30		形成		-	_			<u> </u>	0	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>			1
キャリアスキルアップ፤ 1 4前 ○ 30			-	-	_			_		_	0	_			_	1
小計 (52科目) 25単位以上 10 72 -	L				-								0		30	

[「]中国語基礎 II」は「中国語基礎 II」を修得した者のみが履修できる。
※「文化芸術交流演習」は「文化芸術交流論」を修得した者のみが履修できる。
※「キャリアディベロップメント II」は「キャリアデザイン II」を、「キャリアスキルアップ II」は「キャリアディベロップメント II」を、「キャリアスキルアップ II」は「キャリアスキルアップ II」は「キャリアスキルアップ II」は「キャリアスキルアップ II」を取得した者のみが履修できる。

看護学科(2017年度以前入学生)

			出	立数				配当年次		●…必修	○…選拍	R			卒業(
科E	区分	授業科目の名称	_		配当年次	1	年	2	年	3	年	4	年	時間数	必要が単位数
			必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		-123
		保健医療学概論	1		1前	•								15	1
		早期体験演習	1		1前	•								30	1
		人体構造学 I	1		1前	•								30	1
		人体構造学Ⅱ	1		1後	-	•							30	1
		人体機能学I	1		1前	•								30	ĺ
		人体機能学Ⅱ	1		1後	-	•		-					30	ł
		生化学	1		1前	•	_							15	1
		薬理学	2	1	1後	+	•							30	1
_		免疫学 病理学	1	1	2前	+	•	0		-	-	-	-	15 15	ł
専	健					+	•	-		-	-	-	-	30	2 4 23
P9	康	微生物学	1	1	1後	+	•	0		-	-	-	-	15	24单
基	の	遺伝学	1	1	2前	•	-	0		-	-	-	-	30	(必 21算
礎	理	栄養と食生活	1		2前	•	-	•		-	-	-	-	30	を む)
科	解	疾病治療論 [2			+		•							, J
B		疾病治療論 I			2後	+			•					60	ł
		保健学 I (公衆衛生)	1		2前	+		•						15	ł
		保健学Ⅱ (疫学)	2	2	2後	+			•	_				30	ł
		保健統計		2	3前	+			_	0				30	ł
		心身医療論		1	2後	+			0					15	ł
		カウンセリング論	+	1	2後	-		_	0					15	ł
		ヘルスプロモーション論	-	2	2前	+		0						30	ł
		社会福祉学	1		2前	-		•	-					15	ł
		医療福祉関係法規	2		2前	+		•		-				30	ł
		保健医療福祉行政論		2	3前	-				0				30	<u> </u>
		小計(24科目) 24単位以上	21	10	-										<u> </u>
		看護学概論	2		1前	•								30	1
		基礎看護技術演習 I	2		1後	-	•							60	1
	看	基礎看護技術演習Ⅱ	2		2前	-		•						60	1
	護	基礎看護技術演習Ⅲ	1		2前	-		•						30	1
	学	看護理論	1		1後	-	•							15	1
	の	看護過程演習	1		2前	-		•						30	1
	基	ヘルスアセスメント	1		2前	-		•						15	1
	本	チーム医療論	1		1後	-	•							15	1
	4	保健医療倫理学	1		1後	-	•							15	1
		基礎看護学実習 I	1		1後	-	•							45	1
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後	-			•					90	1
		成人看護学概論	2		2前	-		•						30	1
専		成人看護学援助論 I (急性期・周手術期)	2		2後	-			•					30	1
99		成人看護学援助論 II (慢性期·回復期·終末期)	2		3前	-				•				30	1
科		老年看護学概論	2		2後	-			•					30	l
B		老年看護学援助論	2		3前	-				•				30	l
	看	小児看護学概論	2		2後				•					30	1
	護	小児看護学援助論	2		3前					•				30	1
		母性看護学概論	2		2後				•					30	1
	学	母性看護学援助論	2		3前					•				30	ı
	の	精神看護学概論	2		2後				•					30	ı
	展	精神看護学援助論	2		3前	₩	<u> </u>	<u> </u>		•	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	30	1
	開	成人看護学実習 I (急性期·周手術期)	3		3後						•			135	1
		成人看護学実習 I (慢性期·回復期·終末期)	3		3後	1	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	•	<u> </u>	<u> </u>	135	
		老年看護学実習Ⅰ	2		3後	1	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	•	<u> </u>	<u> </u>	90	1
		老年看護学実習Ⅱ	2		3後						•			90	1
		小児看護学実習	2		3後						•			90	1
		母性看護学実習	2		3後						•			90	1
	ı	精神看護学実習	2		3後						•			90	1

科目 区分				立数		配当年次 ●…必修 〇…選択									卒業(
科目	区分	授業科目の名称	里1	<u>1</u> ± χ	配当年次	1年 2年 3年 4年						年	時間数		
			必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		甲亚安
		在宅看護学概論	2		2後				•					30	
		在宅看護学援助論	2		3前					•				30	
		在宅看護学実習	2		3後						•			90	
		家族援助論		1	2前			0						15	
	看	行動変容アプローチ		1	3前					0				30	76単
	護	チーム医療演習	1		4後								•	30	以上
	学	感染症看護論		1	4前							0		15	72単 をき
	の	災害看護論		1	4後								0	15	む)
	統	ターミナルケア論		1	4後								0	15	
		医療安全管理学	1		4後								•	15	
	合	看護キャリア開発論		1	4後								0	15	
	٢	保健医療英語 I		1	2後				0					30	
	発	保健医療英語 II (文献講読)		1	4前							0		30	
	展	国際保健医療看護論	1		4前							•		15	
		国際保健医療看護演習		1	4前							0		30	
١		統合看護学実習	2		4前							•		90	
		卒業研究 I	1		4前							•		15	
١		卒業研究Ⅱ	1		4前後							•	•	30	
ı		公衆衛生看護学概論	2		2前			•						30	1
7	公	公衆衛生看護学方法論 I		2	3前					0				30	1
9	衆	公衆衛生看護学方法論 Ⅱ		2	3前					0				30	1
4	衛	公衆衛生看護学 I (地域活動)	2		2後				•					30	1
₃		公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					0				30	1
	生	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					•				30	1
	看	公衆衛生看護学実習 I (地域活動)		3	4通							0	0	135	1
	護	公衆衛生看護学実習 Ⅱ (学校保健)		1	4前							0		45	1
١	学	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前							0		45	1
١		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							0		60	1
- 1		助産学概論		2	3前					0				30	1
		ウイメンズヘルス学		2	3前					0				30	1
- 1		周産期医学		1	3前					0				15	1
		助産診断・技術学Ⅰ		2	3前					0				30	1
		助産診断・技術学Ⅱ		2	3後						0			30	1
١	助	助産診断・技術学Ⅲ		2	3後						0			30	1
	産	助産診断・技術学演習		2	4前							0		60	1
	学	助産診断・技術学実習 I		3	4通							0	0	135	1
		助産診断・技術学実習 II	1	2	4通	i –					i i	0	0	90	1
		助産診断・技術学実習Ⅲ		3	4通							0	0	135	1
		助産診断・技術学実習Ⅳ	1	3	4通	i –					i –	0	0	135	1
		地域母子保健	1	1	4前							0		15	1
		助産管理論	1	2	4前	†				\vdash	<u> </u>	0		30	1
ŀ		小計(70科目) 76単位以上	72	49	-	†				\vdash	<u> </u>			<u> </u>	
_															
		合計(146科目) 125単位以上	103	131	_	I		•	●…必修	○…選折	τ.			1	l

課程選択別履修モデル

課程選択別の3つの履修モデルを別表に示しましたので参考にしてください。

履修モデル1は「看護師課程選択」のモデルで、国際理解に関する科目を多く履修し、 国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師をめざします。また、キャリア形成科目を多く履修し、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力をそなえた汎用 的能力の高い看護師をめざします。

履修モデル2は「看護師・保健師課程選択」のモデルで、看護師に加えて保健師をめざ します。さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっています。

履修モデル3は「看護師・助産師課程選択」のモデルで、看護師に加えて助産師をめざします。

履修モデル2及び履修モデル3では、3年次以降は履修すべき科目が多いですが、1~2年次は、「看護師課程選択」と同様に、多彩な共通教育科目の中から自らの志向により科目を選択履修でき、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を養うことが可能となっています。

■看護師課程 履修モデル

公 w 禁 车		25年 25年 25年 25年 27年 25年 254		500 21年 21年 23年 24年 24年 27上	750 100 100 100 100 100 100 100 1
中	0	2 25	0 0	24	15 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76 76
(後期)	74 D				Xi Xi Xi Xi Xi Xi Xi Xi
4年生 (問 期)	771 de		T		# 1 0 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	rg .		キャリアスキルアップ		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
3年生 <後	th Coa		製		10 10 10 10 10 10 10 10
			ትየ <i>ህን</i> ኢት <i>ዜዮ</i> 97° I		次人香騰等等援助論 T 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
<後 期> 私 目 曲の 図分				疾病治療施工 2 必 保健学工(疫学) 2 必	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
2年生 <前期> 科目 1400区分	D		キリアディバ ロップ メント II 1 3選	学売売売 1 題 治療施工 1 必 学工(公衆衛生) 1 必 福祉財務法規 2 必 日・ラッチ 2 必 日・ラッチ 2 必	
\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		27 -	14	2 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	O
1年生 <後期) ※対 和 目	大語エ 英会話エ 行動科学の3 健康スス゚ーツ(集	及 国際総済事権 文化芸術交流演習(集 中)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	必 人体構造学工 必 人体機能学工 必 薬理学 必 病理学 必 肉生物学	 受 政治の 無限 大学 (
○第 但> <	調響	f 7万/7活動 2 奈良学 2 文化芸術交流論 2	青報機器の操作 2 reリアザインエ 1	保護医療学職論 1 年期体験演選 集中) 1 人体構造学 [1 人体機能学 [1] 1 人体機能学 [1] 1 代徵代表 [1] 1] 1] 1] 1] 1] 1] 1] 1] 1	1
	基礎教養	共通教育科目教養 国際共生 奈良、	教養 ア形成情報 キャリ		等門外白 発展学の基本 毎世代科目 一番 大 田 東 大 田 東 大 田 東 大 田 東 大 田 東 東 田 東 東 田 東 東 田 東 田

看護学科2017以前

沿 w 禁 车		25 10 10 10 10 10 10 10 1	1 1 1 1	多 214単位 214単位 33章位 2014 2014 214年位		珍德 72章位 72章位 路沢 4年位 76章 以上 以上	25
掛	57	4 0	4 w	52	5	88 6	(1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
	K X					2 2 2	0 0 m m
(後期)						- 1.0医療演習 1 - 1.0E機算器 1 - 1.0B機分全管理学 1	1
4年生						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	湖湖湖 〇 〇 二 二
< ☆ ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ← ←						問題 保健医療	A Section 1
723		++++++			+++++	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
年 〈後期〉	III					成人香菔学验因:條印 成人香菔学验因:條印 於石香菔学验因:條印 各年曆曆等於因:條印 切仍而隨学表因 條中 切代而隨学表因 條中 在它而隨学表別 條中	學名 學公 學 公 學 公 學 的 例 例 例 例 例 例 例 例 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的
33				2 2	+++++		0 0 </td
				保健医療福祉行政論		成人者護学援助論工 卷件者護学援助論 所名籍等等援助論 切別者護学援助論 母性者護学援助論 母性者護学援助論	公衆衛生香護学 公衆衛生養護学 公衆衛生養護学方 公衆商生養護学方
1755	E X			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		<u> </u>	2 0 0 4 4 7 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8 6 8
2年生 (後期)				疾病治療器工 保健学工(疫学)		成人會體學概論 卷在都體學概論 有一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	後生看護學 [
1 1 1			関	N	조 조 조 조 조	<u> </u>	4 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
< □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			\$\frac{1}{4}\frac{1}{4	疾病治療施1 保健学1 (公衆衛生) 社会福祉学 医療福祉関係法規	基礎看護技術演習工 2 基礎看護技術演習工 1 看護過程演習 1 MA7P&XX/F 基礎看護学業習工(集中) 2	 	
723		図 2	図 0	O	2 2 2 2 2	╫╫╫╫╫╫	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
※ ※ ○ ※	目)基礎 (実技)	共生と日本社会	バコレーションの世界	人体構造学工 人体機能学工 成果理学 病理学	基礎看護技術演習[看護理論 保健医療倫理学 基礎看護学実習[集中 子人医療論		受
144		湖	受 関 関		少型 看 存 型 个	 	6 0 0 2
<職 偏>	田 (理論) (理論)	4.75/7活動 2 条長学 2	情報機器の操作 2 キリアザインエ 1 キリアデザインエ 1	保護医療学振術 1 与即体表演習(集中) 1 人体福祉学 1 人体概能学 1 1 生化等 1 生化素素 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	看護学概論 2.2		を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	基礎教養	共生教養 奈良	に 情報数額 おままれる ままり ままり ままり ままり しゅうしゅう	びア 健康の理解	香護学の基本	看護学の展開 統合と発 看護学の	を を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の
1/.	III	共通教師萃		李門基礎科目	+		世 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

遊(表) (2 10 25 06年103 08年103 08年1103 08年104 08年10 を 72年 72年 44年 70計 76年 以上 以上 湖 茶 本 72 27 田田 24 10 15 38 9 27 Ω Ø 9 国際保健医療機関 1 め 医療安全管理学 指合権維学製団 集中 2 め F-A医療議団 卒業研究 1 り 1 か 本業研究 1 集中)当年 必修 選択 ○ ○ 登修 18 22 **996** 18 4 4 22 4 4 8 4 4 4 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 4 4 8 2 必 成人看腦學播的第 2 必 成人看腦學播的第 2 必 特特爾學達的第 2 必 特特爾學達的第 2 必 机小使髓学增的第 2 必 仍在醫籍學獲的第 2 必 母性香醋學漢的第 \(\alpha\) 必修 0 0 選択 0 履修モデル | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 20 • 助産師課程 **沙** 麗 |看護師 奈良学 文化芸4 国際宗良 数据需 專門基礎 基礎教養 健康の理解 香護学の基本 香腹学の展開 品種學 運 中田 和 李門科田 共通教育科目 零門基礎科目

72

リハビリテーション学科

理学療法学専攻 作業療法学専攻



₩ リハビリテーション学科

1.履修規程

(総 則)

第1条 本学学則第13条第3項の規定に基づき、保健医療学部リハビリテーション学科 (以下「本学科」) の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めると ころによる。

(卒業資格)

第2条 本学科を卒業するためには、4年以上在学し、126単位以上を修得しなければな らない。

(授業科目の区分)

- 第3条 授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。
 - 2 共通教育科目は、これを基礎教養科目群、共生教養科目群、奈良・国際科目群、 情報教養科目群、キャリア形成科目群及び、導入基礎科目群に区分する。
 - 3 専門基礎科目は、これを人体の構造と機能及び心身の発達科目群、疾病と障害 の成り立ち及び回復過程の促進科目群、保健医療福祉とリハビリテーション科目 群に区分する。
 - 4 専門科目は、これを以下のように区分する。

〈理学療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎理学療法学、理学療法評価学、理学療法 治療学、地域理学療法学、臨床実習

〈作業療法学専攻〉両専攻共通専門、基礎作業療法学、作業療法評価学、作業療法 治療学、地域作業療法学、臨床実習

(授業科目の履修)

- 第4条 本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単 位を修得しなければならない。
 - (1) 共通教育科目 (選択科目16単位を含む) 31単位以上
 - (2)専門基礎科目 (選択科目2単位を含む) 31単位以上
 - (3)専門科目 (選択科目2単位を含む) 64単位以上

(単 位)

第5条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とする。

(配当年次)

第6条 各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降 において履修することができる。

(授業科目の履修制限)

第7条 授業科目については、原則として、年間48単位を超えて履修することができない。

(履修登録)

第8条 履修登録は、各学期初めに行わなければならない(年2回)。

(履修登録の制限)

- 第 9 条 授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。
 - 2 同時限に開講される授業科目は、1科目しか登録することができない。

(再登録)

- 第10条 単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。
 - 2 単位を修得することができなかった授業科目は、第7条に定める履修制限内において再登録をすることができる。

(履修登録の変更)

- 第 11 条 履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
 - 2 学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。

(授業科目の開講)

第12条 授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。

(授業の組分け)

第 13 条 履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。

(単位の認定)

- 第 14 条 担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等(以下「試験等」という)、または平素の履修状況(学習態度等)により学修の成果を評価して単位を与える。
 - 2 各授業への出席が授業時間の3分の2(実習においては5分の4)に満たない場合は再履修とする。

(単位認定を受ける資格)

- 第 15 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
 - (1) 授業料その他諸納入金が未納であるとき
 - (2) 履修登録をしていないとき

(試験等の成績評価)

- 第16条 試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
 - (1) 100点から90点まで 秀
 - (2) 89 点から 80 点まで 優
 - (3) 79点から70点まで 良
 - (4) 69 点から 60 点まで 可
 - (5) 59 点以下 不可 (不合格)

(受験上の注意)

第 17 条 学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

(再試験等)

- 第 18 条 試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
 - 2 再試験等の実施については、別に定める。
 - 3 再試験等で合格した者の成績評価は、60点(可)とする。

(追試験等)

- 第19条 病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
 - 2 追試験等の実施については、別に定める。
 - 3 追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2.履修に関する 留意点

1)授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験もしくは実習のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

2)授業への出席

各授業への出席が授業時間の3分の2(臨床実習科目においては5分の4)に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30分未満の場合は3分の1回の欠席扱いとし、30分以上の場合は1回の欠席扱いとします。

3)履修指導の 体制 各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。学習、学生生活、課外活動、 進路等についても支援を行いますので適時相談に来てください。

4)再受験科目

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目(原則的に選択科目は除く)によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります(ただし、成績の評価は60点を上限とし、受験回数は1回のみとします)この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする授業科目は、次年度の初めに示します。ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、初回履修時の授業への出席が授業時間の3分の2以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

5)臨床実習科目 の履修に 関する留意点 臨床実習科目を履修するためには、次の表に示す実習ごとの先修条件を満たしておく必要があります。詳細は「臨床実習の手引き」に記載していますので熟読してください。



先修条件

○理学療法学専攻

臨床実習科目名	開講 年次	先修条件
早期体験実習	1 年次 前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1 年次前期に開 講された必修科目をすべて履修していること
地域理学療法実習	2 年次 後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期まで に開講された必修科目をすべて履修していること
理学療法評価実習	3年次 後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験(OSCE)に合格していること
総合臨床実習 総合臨床実習	4 年次 前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位を すべて修得していること

○作業療法学専攻

臨床実習科目名	開講							
	年次	九岁未什						
早期体験実習	1 年次 前期	専門基礎科目と専門科目のうち、1 年次前期に開 講された必修科目をすべて履修していること						
地域作業療法実習	2 年次 後期	専門基礎科目と専門科目のうち、2年次前期まで に開講された必修科目をすべて履修していること						
検査・測定実習	3 年次 前期	専門基礎科目と専門科目のうち、3年次前期まで に開講された必修科目をすべて履修していること						
作業療法評価実習	3年次 後期	専門科目のうち3年次前期までに開講された必修科目の単位をすべて修得していること。また、3年次後期に開講された必修科目をすべて履修し、客観的臨床能力試験(OSCE)に合格していること						
総合臨床実習 総合臨床実習	4 年次 前期	専門科目のうち、4年次までの必修科目の単位を すべて修得していること						

3.教育目標と 教育課程編成 の考え方

学生は以下に示す教育目標と教育課程編成の考え方を理解し、ディプロマポリシーを達成するとともに理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるよう努めてください。

1)教育目標

日々変化する医療・社会情勢を的確にとらえ、科学的根拠に基づいた知識と技術を修得するとともに、多様化する個人・家族・社会のニーズに柔軟に対応して、地域において問題解決能力と実践力を発揮できる人材の養成を目標とします。

2)教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、理学療法士あるいは作業療法士の国家試験受験資格が取得できるように理学療法士・作業療法士学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

<カリキュラムポリシー>

リハビリテーション学科では、時代が求める先端医療と地域包括ケアの一翼を担う人材を育成するために各科目をバランスよく配置し、段階的に必要とされる各能力を向上させ

ることができるようカリキュラムを設定する。教育目標を達成するための学科のカリキュ ラムポリシーは、以下のとおりとする。

- A. 豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身に付ける教育
- B. 自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身に付ける教育
- C. 主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身に 付ける教育
- D.リハビリテーション医療職に必要な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション 能力を身に付ける教育
- E.全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育
- F.リハビリテーション医療職として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、 他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身に付ける教育

各専攻のカリキュラムポリシーは以下のとおりとする。

<理学療法学専攻のカリキュラムポリシー>

- A.理学療法士にふさわしい豊かな人間性、対象者の障害像を理解するための論理的な思考力、効率的な治療計画を立案できる的確な判断能力を身に付ける教育
- B. 自然や文化を大切にし、医療者としての倫理性、多様化する社会の中で理学療法士としての役割を認識できる社会性と国際的感覚を身に付ける教育
- C. 主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、自らの主張や意見を的確に表現する能力を身に付ける教育
- D.対象者の身体機能や基本動作能力を改善・向上させるために必要な理学療法の知識・技術と理学療法士に必要な情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育
- E.理学療法士として対象者の心と身体の痛みを全人的に理解することができるとともに、 科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる 能力を身に付ける教育
- F.理学療法士として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、対象者が地域で自立した日常生活へ復帰させるために必要な多職種間の連携によるチームへ主体的に活動できる汎用的能力を身に付ける教育

<作業療法学専攻のカリキュラムポリシー>

- A.対象者の心身機能の向上のみならず、生活の質を高めることも求められる作業療法士 に必要な豊かな人間性、論理的な思考力、的確な問題解決能力を身に付ける教育
- B.対象者の地域社会での生活支援も担う作業療法士として、自然・文化などの社会特性、 倫理性を理解できると共に、多様化する社会の中で対応し得る国際的な感覚を身につ ける教育
- C.主体的な体験や集団での討論を通して自己の意見を確立し、その意見を論理的にまとめた上で、的確に□頭や記述で表現する能力を身につける教育
- D.子供から成人、高齢者までの多種多様な疾患、高次脳機能障害を対象として作業を用いた支援・治療を実践する作業療法士に必要な知識および技術、情報機器や言語・非言語的方法を用いた人とのコミュニケーション能力を身に付ける教育
- E.作業療法士として、科学的、客観的な根拠に基づいた支援・治療および対象者の主観性や生活背景、障害受容過程を踏まえた精神的ケアが行える能力を身に付ける教育
- F.作業療法士として、急速な少子高齢化や障害の多様化による社会的ニーズの変化に対応し、チーム医療や地域包括ケアの中で他職種と連携して活動できる協働性を培い、 汎用的能力を身に付ける教育



4.ディプロマ ポリシーと 科目の関連性

次の表はディプロマポリシー (DP) と科目の関連性を示したものです。学生は、この関連性から修得すべき事項を理解して授業に臨んでください。また、選択科目の選択においては、この関連性を参考にしてください。

	理学療法学専攻 ディプロマポリシーと科目の関連性 ②…特に関連が強い科目 〇…関連が強い科目				PP・ 理学を表生を専作を表生を専作を表生を専作を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を		PP② 理学療法士として 対象部の保健に 第二二、首発能力を 提起が 開題が がでいる でいる でいる でいる では でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる		PP学職者とは、 を表した。 で、・ で、・ で、・ で、・ で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、		PP② 理学学院とは、		
年次	并 配分	科目群	科目名	開業期	必修	改善・向上 させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	間題解決能力	連携・協備する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と 研究心
			英語 I	前	必		0					0	
			英語Ⅱ	後	必		0					0	
			英会話 I	前	必		0					0	
			英会話Ⅱ	後	必		0					0	
			中国語基礎I	前	遵		0					0	
			中国語基礎Ⅱ	後	遵		0					0	
			中国語会話	前	遵		0					0	
			スペイン語基礎 I	前	選		0					0	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	遵		0					0	
			スペイン語会話	前	遵		0					0	
			文学	後	遵		0					0	
			哲学	前	遵		0			0			
			倫理学	前	遷		0			0			
		基礎教養	心理学	前	必	0					0		
			行動の科学	後	遷	0					0		
			文化人類学	後	遷		0					0	
			音楽の世界	後	遵		0					0	
			社会学	後	遵		0					0	
1	共		日本国憲法	前	澧		0					0	
	通		歷史学	後	澧		0					0	
			地理学	後	遷		0					0	
1 1	教		数学の世界	前	遷				0				0
年 次	育		自然科学の基礎	後	遷				0				0
			環境化学の基礎	後	遷				0				0
	科		健康スポーツ(理論)	前	必	0	0						
	目		健康スポーツ(実技)	後	遷		0			0			
			スポーツ実技 I	前	遷		0			0			
			スポーツ実技Ⅱ	後	遷		0			0			
			共生と社会	後	選						0	0	
		共生教養	人権論	前	遷						0	0	
			ボランティア活動	前	必						0	0	
			生活と環境	前	選						0	0	
			奈良学	前	避		0					0	
		奈良·国際	異文化コミュニケーション	後			0					0	
	ļ		国際事情	後			0					0	
			情報機器の操作	前	-			0	0				
		情報教養	情報倫理とセキュリティ	前	-			0	0				
			データの世界	前				0	0				
			情報と分析	後	-			0	0				
	-		CGの基礎と演習	後				0	0				
		キャリア形成	キャリアデザインI	前			0					0	
	-		キャリアデザインⅡ	後	選		0					0	
		導入鹽礎	基礎ゼミI	前	必				0				0
			基礎ゼミⅡ	後	必				0				0

		理学療法学専 ディプロマポ ◎…特に関連 ○…関連が強	リシーと科目の関連性 が強い科目			につけ、 の痛みに 間愛に基	き術対や改能心対づを専の象基書力としい実門修者本・を身てた践的得の動向身体人全で	DP学家教育の企業を受けた。 またい はいい はい もつ多様 な保健医 を 報収集と 能力を身	地域包括体でした。	と <u>能力</u> を <u>能力</u> を 療い を を を を を を で で で が 活 活 に で の が 活 に で ら が 活 に る が 活 に る ら に る ら に る ら に る ら の も る る る る る る る る る る る る る	広しよう 欲をもち リテーシ	技の保柔と、ヨで完 を を を を を を を を を を を を を	
年次	料目	科目群	科目名	開業期	必修選択	改善・向上 させる能力	全人的ケアの実践力	情報収集能力	間題解決能力	連携・協備する能力	支援する能力	ニーズへの対応力	探求心と 研究心
10.			人体構造学 I (総論・組織学)	前	必必	0	0	8223	HE) J	, 0 8623	may J		4170-0
			人体構造学Ⅱ (内臓・生殖器)	後	必	0	0						
				後	必	0	0						
		人体の構造と	人体機能学 I (植物性機能)	前	必	0	0						
	車	機能及び心身の 発達	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	0	0						
	門		人間発達学	前	必	0	0						
	基		運動学入門	前	必	0	0						
1	礎		運動学 I (総論)	後	必	0	0						
年次	科		精神医学	後	必	0						0	
	Ħ	疾病と障害の	リハビリテーション医学	前	必	0						0	
		成り立ち及び 回復過程の促進	痛み学概論	後	必	0						0	
			スポーツ医学	後	遵	0						0	
		保健医療福祉と	リハビリテーション概論	前	必					0	0		
		リハビリテーション	チーム医療論	後	必					0	0		
	専門	基礎理学療法学	理学療法概論	前	必	0						0	
	専門科目	臨床実習	早期体験実習(理学療法)	前	必	0						0	
	共通教育	キャリア形成	キャリアディベロップメントI	前	遵		0					0	
			キャリアディベロップメントⅡ	後	遷		0					0	
		人体の構造と 機能及び心身の 発達	人体構造実習	前	必	0	0						
			人体生理機能実習	前	必	0	0						
			運動学Ⅱ(各論)	前	必	0	0						
	車		運動学演習	前	必	0			0				
	9 門	疾病と障害の	整形外科学 I (総論)	前	必	0	0						
	基基		整形外科学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
	産産		内部障害学 I (総論)	前	必	0	0						
			内部障害学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
	科目	成り立ち及び 回復過程の促進	神経内科学	前	必	0	0						
	Ħ		心身医学概論	後	必	0	0						
			臨床心理	後	必	0					0		
2 年			薬理学概論	後	遷	0	0						
次		保健医療福祉と リハピリテーション	国際リハビリテーション論	前	必		0					0	
		基礎理学療法学	臨床運動学	後	必	0	0						
			理学療法評価学	前	必	0	0	0					
		理学療法評価学	運動器障害評価学	後	必	0	0	0					
			神経障害評価学	前	必	0	0	0					
	_		内部障害評価学	後	必	0	0	0					
	車		基礎運動療法学	前	必	0	0						
	門存		義肢装具学 I (総論)	前	必		0				0		
	科口	理学療法治療学	義肢装具学Ⅱ(各論)	後	必		0				0		
	Ħ		日常生活動作学	前	必		0				0		
			日常生活動作学演習	後	必				0		0		
		地域理学療法学	地域理学療法学	前	必						0	0	
			地域理学療法学演習	後	必				0		0		
		臨床実習	地域理学療法実習	後	必						0	0	

	理学療法学専攻 ディプロマポリシーと科目の関連性 ②…特に関連が強い科目 〇…関連が強い科目					PO学会を特別を表示して、 の学名とり機力を出する。 大学名とり機力をは、 大学名とり機力をして、 大学名とり機力をして、 大学名とり機力として、 大学など、他方として、 大学など、他方として、 大学など、 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な 大学な		DP② 理学療法士として 対象領別を保健に がもない保健に 療にこのでである。 原理のでは、 原理のでは、 原理のでは、 原理のでは、 原理のでは、 原理のでは、 原理のでは、 原理のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、		で、「一般では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この		PP等知社会の表示を を で変して の対象者で、 を で変して を でを を でを	
年次	料目 区分	科目群	科目名	開業期	必修	改善・向上 させる能力	全人的ケア の実践力	情報収集 能力	問題解決 能力	連携・協働 する能力	支援する 能力	ニーズ への対応力	探求心と 研究心
	基亨	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	遣	0	0						
			医療リスクマネジメント	後	必				0			0	
			疼痛リハビリテーション学	後	必		0					0	
		両専攻共通専門	リハピリテーション行動科学	後	必		0					0	
			ウイメンズヘルスケア	後	必		0					0	
			認知発達障害ケア	後	Ø		0					0	
		the wife one all the pin Ar. Als	理学療法研究法	前	必				0				0
		基礎理学療法学	客観的臨床能力演習(理学療法)	後	必		0		0			0	
		理学療法評価学	理学療法計画論	後	必		0	0					
	専	时 时 目	物理療法学 I (総論)	前	必	0	0						
			物理療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
3			筋骨格障害理学療法学I(総論)	前	必	0	0						
年次	門		筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
1	科目		中枢神経障害理学療法学 I (総論)	前	必	0	0						
			中枢神経障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
			小児期障害理学療法学	前	必	0	0						
			スポーツ障害理学療法学	後	必	0	0						
			内部障害理学療法学 I (総論)	前	必	0	0						
			内部障害理学療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
			内部障害理学療法学演習	後	必	0	0						
			老年期障害理学療法学	前	必	0	0						
			神経筋障害理学療法学	後	必	0	0						
		地域理学療法学	福祉用具・生活環境論 I (総論)	前	必						0	0	
		和像性子亦伝子	福祉用具・生活環境論 II (各論)	後	必						0	0	
		臨床実習	理学療法評価実習	後	必	0	0	0					
	専門	保健医療福祉と	先端リハビリテーション論	後	必							0	0
	基礎	リハピリテーション	チーム医療論演習	後	必		0			0			
4		両専攻共通専門	職場管理論	後	必		0			0			
年次	専門	基礎理学療法学	理学療法卒業研究	後	必				0				0
1	科	理学療法治療学	理学療法技術特論	後	必	0							0
	Ħ	臨床実習	総合臨床実習 I (理学療法)	前	必	0	0	0	0				
		陽水美智	総合臨床実習Ⅱ(理学療法)	前	必	0	0	0	0				

	3	作業療法学専ディプロマホ ②…特に関連 ②…関連が前	『リシーと科目の関連性 『が強い科目			よび (大) は (大) は (大) は (大) は (大) を (なにえ難、が身實ので対対るとは実に足質されて技術、でけす高能なるとは実践に関する能なる。	象者の個別な保健医療 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	士列家音像では、 というで、一般での一般で、 大学を全体では、 大学を生まれる。 大学を生まななななななな。 大学を生まなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	おしよやで視う割しおしよやで視う割し	生を理解 重間での <u>連</u> ができる能	の変化に(ニーズの) し、さらい 貢献する) 業療法に	や 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
年次	料目 区分	科目群	科目名	開業期	必修	専門的 知識・技術	全人的ケア の実践力	情報収集 能力	間題解決 能力	連携・協備 する能力	支援する 能力	ニーズへの 対応力	探求心と 研究心
			英語 I	前	必		0					0	
			英語Ⅱ	後	Ø		0					0	
			英会話I	前	必		0					0	
			英会話Ⅱ	後	必		0					0	
			中国語基礎 I	前	遵		0					0	
			中国語基礎Ⅱ	後	遵		0					0	
			中国語会話	前	遵		0					0	
			スペイン語基礎Ⅰ	前	遵		0					0	
			スペイン語基礎Ⅱ	後	選		0					0	
			スペイン語会話	前	遵		0					0	
			文学	後	遵		0					0	
			哲学	前	遵		0			0			
			倫理学	前	遵		0			0			
		***	心理学	前	必	0					0		
		基礎教養	行動の科学	後	選	0					0		
			文化人類学	後	遵		0					0	
			音楽の世界	後	選		0					0	
			社会学	後	澧		0					0	
	共		日本国憲法	前	澧		0					0	
	通		歴史学	後	澧		0					0	
			地理学	後	澧		0					0	
1	數		数学の世界	前	澧				0				0
年次	育		自然科学の基礎	後	選				0				0
	"		環境化学の基礎	後	澧				0				0
	科		健康スポーツ(理論)	前	必	0	0						
	目		健康スポーツ(実技)	後	遷		0			0			
			スポーツ実技I	前	遷		0			0			
			スポーツ実技Ⅱ	後	遷		0			0			
			共生と社会	後	選						0	0	
		22, 22, 24, 24	人権論	前	選						0	0	
		共生教養	ボランティア活動	前	必						0	0	
			生活と環境	前	遭						0	0	
			奈良学	前	選		0					0	
		奈良·国際	異文化コミュニケーション	後	選		0					0	
			国際事情	後	必		0					0	
			情報機器の操作	前	必			0	0				
			情報倫理とセキュリティ	前	選			0	0				
		情報教養	データの世界	前	遭			0	0				
			情報と分析	後	遭			0	0				
			CGの基礎と演習	後	選			0	0				
		a	キャリアデザイン I	前	進		0					0	
		キャリア形成	キャリアデザインⅡ	後	遭		0					0	
			基礎ゼミI	前	必				0				0
		導入盛礎	基礎ゼミⅡ	後	必				0				0

		作業療法学専 ディプロマポ ⑤…特に関連 〇…関連が強	リシーと科目の関連性 が強い科目			よた門修人なすってを、人のでは、大きのでは、たらのでは、たらのでは、まないいでは、まないではいでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないで	なにえ難。が身膚ので対対ると生を抜って技術、でけす高能をなった。ないするとなるとないではないではなる。ないないないではないではないないが、ないないないないないないないないないないないないないないないないない	多様 よ を は を を を を を を を を を を を を を	士 個	おしよやで視う割し、	生を理解 重関での <u>連</u> ドできる能	成の変化スタールの変化スタールの変化スタールの変化スタールの変化スタールの変化の変化スタールの変化の変化を変化する変化を変化を変化する変化を変化する変化を変化する	やに <u>のさ</u> ままなた。 人伴変なるたけを はなるたと は なるたと が は た て い る る た と で る る た と で る る た と で る る た た て い る る た し る た て い る る た る た て い る て い る た る て い る 、 の る ろ る ろ 。 ろ の 。 ろ 。 ろ の と の 。 ろ と ろ と の と の と ろ と の と の と の と の と の と
年次	料目区分	科目群	科目名	開業期	必修進択	専門的 知識・技術	全人的ケアの実践力	情報収集能力	間題解決能力	連携・協働する能力	支援する能力	ニーズ への対応力	探求心と 研究心
			人体構造学 I (総論・組織学)	前	必	0	0						
				後	Ø	0	0						
			人体構造学皿(神経・運動器)	後	必	0	0						
		人体の構造と機能	人体機能学 I (植物性機能)	前	必	0	0						
	専	及び心身の発達	人体機能学Ⅱ(動物性機能)	後	必	0	0						
	門		人間発達学	前	必	0	0						
	基		運動学入門	前	必	0	0						
1	礎		運動学 I (総論)	後	必	0	0						
年次	科		精神医学	後	必	0						0	
	目	疾病と障害の成り	リハビリテーション医学	前	必	0						0	
		立ち及び回復過程 の促進	痛み学概論	後	必	0						0	
			スポーツ医学	後	澧	0						0	
		保健医療福祉と	リハビリテーション概論	前	必					0	0		
		リハピリテーション	チーム医療論	後	必					0	0		
	専門	基礎作業療法学	作業療法概論	前	必	0						0	
	科目	臨床実習	早期体験実習(作業療法)	前	必	0						0	
	共通		キャリアディベロップメントI	前	澧		0					0	
	数育	キャリア形成	キャリアディベロップメントⅡ	後	澧		0					0	
	,,		人体構造実習	前	Æ.	0	0						
		人体の構造と機能	人体生理機能実習	前	必	0	0						
		及び心身の発達	運動学Ⅱ(各論)	前	必	0	0						
			運動学演習	前	必	0			0				
	専		整形外科学Ⅰ(総論)	前	Æ	0	0						
	門		整形外科学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
	基		内部障害学 I (総論)	前	赵	0	0						
	礎		内部障害学Ⅱ(各論)	後	赵	0	0						
	科	立ち及び回復過程 の促進	神経内科学	前	赵	0					0		
	目		心身医学概論	後	赵	0					0		
			臨床心理	後	赵	0					0		
			薬理学概論	後	選	0							
2年		保健医療福祉と リハピリテーション	国際リハピリテーション論	前	必		0					0	
次			基礎作業学	前	赵	0	0						
		基礎作業療法学	作業技術学 I	後	必	0	0						
			作業技術学Ⅱ	後	赵	0	0						
			作業療法評価学 I (身体)	前	Æ	0	0	0					
		No. 1884 and 1844 from the Ale	作業療法評価学Ⅱ(精神)	前	æ	0	0	0					
	専	作業療法評価学	作業療法評価学演習 I (身体)	後	Ł	0		0	0				
	, 門		作業療法評価学演習 II (精神)	後	æ	0		0	0				
	科		身体障害作業療法学 I (総論・脳神経系)	前	Ø	0	0						
	目	化学者计公司产	身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	前	Ø	0	0						
		作業療法治療学	身体障害作業療法学Ⅲ(応用)	後	Ø	0	0						
			発達障害作業療法学 I (総論)	後	Ø	0	0						
		1th hall families who let. MA	地域作業療法学 I (総論)	前	Ø	0		0		0	0		
		地域作業療法学	地域作業療法学Ⅱ(各論)	後	Ø		0			0		0	
		臨床実習	地域作業療法実習	後	必	0		0		0	0		

		作業療法学専 ディプロマポ ②…特に関連 ○…関連が強	リシーと科目の関連性が強い科目			よた門修外のでは、大きのでは、まない	なにえ難。が身情ので対対るとなるとなるとない。でけず高能がなが、でけず高能がるとなる。なめ、なが、なが、なが、なが、なが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、	象者の個別な保護では、 を保護では、 のでは、 を表現では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	上 という という という という という という という という という という	おいたう地、点作業別の表現では、	生を理解 重関での <u>連</u> ドできる能	の変化に作 ニーズの3 し、さられ 貢献するが 業療法に対	や 本
年次	料目区分	科目群	科目名	開酵期	必修 選択	専門的 知識・技術	全人的ケア の実践力	情報収集 能力	問題解決 能力	連携・協備 する能力	支援する 能力	ニーズ への対応力	探求心と 研究心
	基字	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	救命救急学概論	後	遭	0	0						
			医療リスクマネジメント	後	Ø				0			0	
			疼痛リハビリテーション学	前	遵	0						0	
		両専攻共通専門	リハビリテーション行動科学	後	遵	0						0	
			ウイメンズヘルスケア	前	遵	0						0	
			認知発達障害ケア	後	必	0						0	
		基礎作業療法学	作業療法研究法	前	必			0	0				0
		金绳厂未承还于	客観的臨床能力演習	後	必	0		0					
		作業療法評価学	作業療法総合演習	後	必	0		0					
			精神障害作業療法学 I (総論)	前	必	0	0						
			精神障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
			発達障害作業療法学Ⅱ(各論)	前	必	0	0						
3	章		老年期障害作業療法学 I (総論)	前	必	0	0						
年次	門		老年期障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
	科		高次脳機能障害作業療法学 I (総論)	前	必	0	0						
	目		高次脳機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	後	必	0	0						
		作業療法治療学	日常生活支援学 I (総論)	前	必	0					0		
			日常生活支援学Ⅱ(各論)	後	赵	0					0		
			作業療法特論 I (身体障害)	前	赵	0	0						
			作業療法特論 II (精神障害)	後	赵	0	0						
			作業療法特論Ⅲ(発達障害)	前	必	0	0						
			作業療法特論IV(老年期障害)	後	赵	0	0						
			作業療法特論 V (高次脳機能障害)	後	必	0	0						
			義肢装具学	前	赵	0					0		
		地域作業療法学	生活環境整備論	後	赵	0					0		
		臨床実習	検査・測定実習	前	赵	0		0	0				
	<u> </u>		作業療法評価実習	後	赵	0		0	0				
	専門基	保健医療福祉と	先端リハピリテーション論	後	必		0					0	
	基礎	リハピリテーション	チーム医療論演習	後	赵				0	0			
4 年	専	両専攻共通専門	職場管理論	後	必				0	0			
次	門	基礎作業療法学	作業療法卒業研究	後	必			0	0				0
	科	臨床実習	総合臨床実習 I (作業療法)	前	赵	0	0	0	0				
	Ħ	MADIN 200 ES	総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	前	必	0	0	0	0				

授業科目表

科			畄/	立数					配当	年沙	7				
目	科目	授 業 科 目	牛1	<u> </u>	配当年次	1:	年	24	年	3:	年	44	年	時間	卒業に必要
区分	群		必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	数	な単位数
		英語 I	1		1前	•								30	
		英語 Ⅱ	1		1後		•							30	
		英会話 I	1		1前	•								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		•							30	
		中国語基礎I		1	1前	0		0		0		0		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1後		0		0		0		0	30	
		中国語会話		1	1前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎 I		1	1前	0		0		0		0		30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1後		0		0		0		0	30	
		スペイン語会話		1	1前	0		0		0		0		30	
		文学		2	1後		0		0		0		0	30	
		哲学		2	1前	0		\circ		0		\circ		30	
	#	倫理学		2	1前	0		0		0		\circ		30	
	基礎	心理学	2		1前	•								30	
	教養	行動の科学		2	1後		0		0		0		0	30	
	我	文化人類学		2	1後		0		0		0		0	30	
		音楽の世界		2	1後		0		0		0		0	30	
		社会学		2	1後		0		0		0		0	30	
共		日本国憲法		2	1前	0		\circ		0		\circ		30	
		歴史学		2	1後		0		0		0		0	30	
通		地理学		2	1後		0		0		0		0	30	
		数学の世界		2	1前	0		0		0		0		30	
教		自然科学の基礎		2	1後		0		0		0		0	30	必修15単位 選択16単位
		環境化学の基礎		2	1後		0		0		0		0	30	以上
育		健康スポーツ (理論)	1		1前	•								15	
		健康スポーツ (実技)		1	1後		0		0		0		0	30	
科		スポーツ実技 I		1	1前	0		0		0		0		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1後		0		0		0		0	30	
目	共	共生と社会		2	1後		0		0		0		0	30	
	生	人権論		2	1前	0		\circ		\circ		\circ		30	
	教養	ボランティア活動	2		1前	•								30	
	民	生活と環境		2	1前	0		\circ		0		\circ		30	
	-to-th	奈良学		2	1前	0		\circ		0		0		30	
	奈良 国際	異文化コミュニケーション		2	1後		0		0		\circ		0	30	
		国際事情	2		1後		•							30	
		情報機器の操作	2		1前	•								30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1前	0		\circ		\circ		\circ		30	
	報教	データの世界		2	1前	0		\circ		0		0		30	
	養	情報と分析		2	1後		0		0		0		0	30	
		CGの基礎と演習		2	1後		0		0		0		0	30	
	キャ	キャリアデザインI		1	1前	0		_						30	
	IJ	キャリアデザインⅡ		1	1後		0	_						30	
	ア形	キャリアディベロップメントI		1	2前			0						30	
	成	キャリアディベロップメントⅡ		1	2後			_	0					30	
	導入	基礎ゼミI	1		1前	•								30	
	基礎	基礎ゼミⅡ	1	ļ	1後		•							30	
		小計 (46科目)	15	57	_										

日日日	4 3			224	LL- NG				i	配当	年次	ζ.				
世界	目		授 業 科 日	里1	立 数	配 当年次	1:	年	24	年	3	年	4	年		
人体構造学 (内臓・生麻器) 1 1後 0 30 30 4 4 4 4 4 4 4 4 4			D * 11	必修	選択	此当于以										な単位数
(本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)			人体構造学 I (総論・組織学)	1		1前	•								30	
大体機能学工 (機能学工 (植物性機能) 1 1前			人体構造学Ⅱ (内臓・生殖器)	1		1後		•							30	
構造とした (植物性機能) 1 1前 ● 1 30 30 26 60 人体機能学 (植物性機能) 1 1前 ● 1 1前 ● 30 30 26 60 人体機能学 (植物性機能) 1 1 1前 ● 1 30 30 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20			人体構造学Ⅲ (神経・運動器)	1		1後		•							30	
上 人体機能学 I (他物性機能) 1 1 1歳		構	人体構造実習	2		2前			•						60	
能 人体生理機能表習 2 2前 660 人			人体機能学 I (植物性機能)	1		1前	•								30	
及び心理 (総論) 1 1前 ● 30 30 2 2前 9 2前 9 30 30 2 2前 9 2前 9 2前 9 2前 9 2前 9 2前 9 2前 9 2			人体機能学Ⅱ (動物性機能)	1		1後		•							30	沙族14畄位
大田外産学		及	人体生理機能実習	2		2前			•						60	北修14年位
### 1 1 1前 ● 30 30 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20			人間発達学	1		1前	•								30	
要から (A Sea)		身	運動学入門	1		1前	•								30	
専 門 表			運動学 I (総論)	1		1後		•							30	
専門型 基礎		達	運動学Ⅱ (各論)	1		2前			•						30	
円 大 下 下 下 下 下 下 下 下 下			運動学演習	1		2前			•						30	
門 基 で で で で で で で で で	専	咗	精神医学	1		1後		•							30	
基	門	病	リハビリテーション医学	1		1前	•								30	
整形外科学 I (総論)	韭		痛み学概論	1		1後		•							30	
整形外科学 II (各論)		害	整形外科学 I (総論)	1		2前			•						30	
内部障害字 (総論)	礎		整形外科学Ⅱ (各論)	1		2後				•					30	
Pane	科		内部障害学 I (総論)	1		2前			•						30	沙核10単位
中経内科学	目	ち	内部障害学Ⅱ (各論)	1		2後				•					30	選択2単位
回復 過程 日 日 日 日 日 日 日 日 日			神経内科学	1		2前			•						30	以上
温程 1 2後 0 30 30 2 2 2 2 30 30		旦	心身医学概論	1		2後				•					30	
の 促進 薬理学概論 1 2後 ○ 30 30 30 30 30 数命救急学概論 1 3後 ○ 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30			臨床心理	1		2後				•					30	
世			スポーツ医学		1	1後		0							30	
大連 大連 下 下 下 下 下 下 下 下 下		促	薬理学概論		1	2後				0					30	
専門科目 (両専門) 医療リスクマネジメント 1 4後 ● 30 基本 1 1 4後 ● 30 上 (大海里) 1 1 4後 ● 30 本 (大海里) 1 2前 ● 30 本 (大海里) 1 2前 ● 30 本 (大海里) 1 2前 ● 30 本 (大海里) 1 3後 ● 15 本 (大海里) 1 36 ● 15 本 (大海里) 1 36 ● 30 本 (大海里) 1 36 ● 15 本 (大海里) 1 36 ● 30 本 (大海里) 1 36 ● 15 本 (大海里) 1 36 ● 30 本 (大海里) 1 36 ● 30 本 (大海里) 1 36 ● 15 本 (大海里) 1 36 ● 30 本 (大海里) 1 36 ● 15 本 (大海里) 1 36 ● 30 本 (大海里) 1 36 ● 15 本 (大海里) 1 36 ● 30 本 (大海里) <t< td=""><td></td><td>進</td><td>救命救急学概論</td><td></td><td>1</td><td>3後</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>30</td><td></td></t<>		進	救命救急学概論		1	3後						0			30	
大端リハビリテーション論			リハビリテーション概論	1		1前	•								15	
サーム医療論 1 1後 ● 15 20 5単位 1 1 1 1 2		一医	先端リハビリテーション論	1		4後								•	30	
P		デ福祉	チーム医療論	1		1後		•							15	
本 国際リハビリテーション論 1 2前 ● 30 小計 (30科目) 29 3 — □ 専門科目 医療リスクマネジメント 1 3後 ● 15 職場管理論 1 4後 ● 15 疼痛リハビリテーション学 1 3前 ○ 30 選択2単位 以上 ウイメンズヘルスケア 1 3前 ○ 30		のリ	チーム医療論演習	1		4後								•	30	0715
専門科目 (両専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通専門 サンボス) (大通・アンボス) (大元・アンデンで)		型ハカビ	国際リハビリテーション論	1		2前			•						30	
門科目 (両専門 攻) 「本通専門 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で			小計 (30科目)	29	3	_										
科 目 機場管理論 1 4後 ● 15			医療リスクマネジメント	1		3後						•			15	
目 (両専門) 水 事 (対) ハビリテーション学 1 3前 ○ 30 選択2単位 選択2単位 以上 ウイメンズヘルスケア 1 3前 ○ 30			職場管理論	1		4後								•	15	
専門 リハビリテーション行動科学 1 3後 ○ 30 ウイメンズへルスケア 1 3前 ○ 30			疼痛リハビリテーション学		1	3前					0				30	
専 攻 ウイメンズヘルスケア 1 3前 〇 30	両		リハビリテーション行動科学		1	3後						0			30	
		L.3	ウイメンズヘルスケア		1	3前					0				30	
			認知発達障害ケア		1	3後						0			30	

リハビリテーション学科

科			出/	立数				i	配当	年沙	ζ.				
目	科目	授業科目	平1	<u> </u>	配当年次	1:	年	24	年	3:	年	4	年	時間	卒業に必要
分	群		必修	選択		前期	後期	前期		前期	後期	前期	後期	数	な単位数
	基	理学療法概論	1		1前	•								30	
	礎 理	臨床運動学	1		2後				•					30	
	学	理学療法研究法	1		3前					•				30	必修7単位
	療法	客観的臨床能力演習 (理学療法)	2		3後						•			30	
	学	理学療法卒業研究	2		4後								•	30	
	理	理学療法評価学	1		2前			•						30	
	学療	運動器障害評価学	1		2後				•					30	
	法	神経障害評価学	1		2前			•						30	必修6単位
	評価	内部障害評価学	1		2後				•					30	
	学	理学療法計画論	2		3後						•			30	
		基礎運動療法学	1		2前			•						15	
		義肢装具学 I (総論)	1		2前			•						30	
		義肢装具学Ⅱ (各論)	1		2後				•					30	
		物理療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
-		物理療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
専		筋骨格障害理学療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
門		筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	1		3後						•			30	
科	理	中枢神経障害理学療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
目	学療	中枢神経障害理学療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
_	法	小児期障害理学療法学	1		3前					•				30	必修20単位
理学	治療	スポーツ障害理学療法学	1		3後						•			30	
療法	学	内部障害理学療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
学専		内部障害理学療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
専 攻		内部障害理学療法学演習	1		3後						•			30	
٥		老年期障害理学療法学	1		3前					•				30	
		神経筋障害理学療法学	1		3後						•			30	
		日常生活動作学	1		2前			•						30	
		日常生活動作学演習	2		2後				•					30	
		理学療法技術特論	1		4後								•	30	
	地域	地域理学療法学	1		2前			•						30	
	_二 理	地域理学療法学演習	2		2後				•					30	必修5単位
	子学療	福祉用具・生活環境論 I (総論)	1		3前					•				30	北160年世
	法	福祉用具・生活環境論 II (各論)	1		3後						•			30	
		早期体験実習(理学療法)	1		1前	•								45	
	臨	地域理学療法実習	2		2後				•					90	
	床実	理学療法評価実習	3		3後						•			135	必修22単位
	習	総合臨床実習 I (理学療法)	8		4前							•		360	
		総合臨床実習Ⅱ (理学療法)	8		4前							•		360	
İ		小計 (44科目)	62	4	_										

科			拼 F	立数				i	配当	年次	ζ				
目	科目	授業科目	平1.	立	配当年次	1:	年	24	年	3:	年	4	年	時間	卒業に必要
区分	群		必修	選択	,,,,,	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		数	な単位数
		作業療法概論	1		1前	•								30	
		基礎作業学	1		2前			•						30	
	礎 作	作業技術学I	1		2後				•					30	
	業	作業技術学Ⅱ	1		2後				•					30	必修8単位
	療法	作業療法研究法	1		3前					•				30	
	学	作業療法卒業研究	2		4後								•	30	
		客観的臨床能力演習 (作業療法)	1		3後						•			30	
		作業療法評価学 I (身体)	1		2前			•						30	
	業療	作業療法評価学Ⅱ (精神)	1		2前			•						30	
	法	作業療法評価学演習 I (身体)	1		2後				•					30	必修5単位
	評価	作業療法評価学演習Ⅱ (精神)	1		2後				•					30	
	学	作業療法総合演習	1		3後								•	30	
		身体障害作業療法学 I (総論・脳神経系)	1		2前			•						30	
		身体障害作業療法学Ⅱ(運動器・難病)	1		2前			•						30	
		身体障害作業療法学Ⅲ (応用)	1		2後				•					30	
		精神障害作業療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
専		精神障害作業療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
門		発達障害作業療法学 I (総論)	1		2後				•					30	
科		発達障害作業療法学Ⅱ (各論)	1		3前					•				30	
目	作	老年期障害作業療法学 I (総論)	1		3前					•				30	
$\widehat{}$	業療	老年期障害作業療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
作業	法	高次脳機能障害作業療法学 I (総論)	1		3前					•				30	必修20単位
療法	治療	高次脳機能障害作業療法学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
学	学	日常生活支援学 I (総論)	1		3前					•				30	
専攻		日常生活支援学Ⅱ (各論)	1		3後						•			30	
0		作業療法特論 I (身体障害)	1		3前					•				15	
		作業療法特論Ⅱ (精神障害)	1		3後						•			15	
		作業療法特論Ⅲ (発達障害)	1		3前					•				15	
		作業療法特論IV(老年期障害)	1		3後						•			15	
		作業療法特論 V (高次脳機能障害)	1		3後						•			15	
		義肢装具学	2		3前					•				30	
	療地	地域作業療法学 I (総論)	2		2前				•					30	
	療法学業	地域作業療法学Ⅱ(各論)	1		2後					•				30	必修4単位
	士業	生活環境整備論	1		3後						•			30	
		早期体験実習(作業療法)	1		1前	•								45	
	臨	地域作業療法実習	2		2後				•					90	
	床	検査・測定実習	1		3前					•				45	必修23単位
	実習	作業療法評価実習	3		3後						•			135	, 122
		総合臨床実習 I (作業療法)	8		4前							•		360	
		総合臨床実習Ⅱ (作業療法)	8		4前							•		360	
		小計 (46科目)	62	4	_										
		法学専攻 合計(120科目)126単位以上 法学専攻 合計(122科目)126単位以上	106	64	_										

選択科目履修モデル

選択科目の中から希望する就職先(病院・クリニック、訪問看護ステーション・老人保健施設、大学院進学)に合わせ、自らの志向により科目を選択履修してください。

履修モデル1 (病院・クリニック)

	1年次	2年次	:	3	年次
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報理論とキキュリティ	薬理学概論	疼痛リハビリテーション学	救命救急学概論
人権論	健康スポーツ(実技)				リハビリテーション行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
キャリアテ゛サ゛イン I	情報と分析				

履修モデル2 (訪問看護ステーション・老人保健施設)

	1年次	2年次	:	3	年次
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学		薬理学概論		救命救急学概論
日本国憲法	健康スポーツ(実技)				リハビリテーション行動科学
人権論	共生と社会				認知発達障害ケア
生活と環境					
奈良学					
キャリアテ゛サ゛イン I					

履修モデル3 (大学院進学)

	1年次	2年次	:	3	年次
前期	後期	前期	後期	前期	後期
倫理学	行動の科学	情報倫理とセキュリティ	薬理学概論	疼痛リハビリテーション学	救命救急学概論
数学の世界	健康スポーツ(実技)				リハビリテーション行動科学
データの世界	自然科学の基礎				
キャリアテ゛サ゛イン Ι	情報と分析				
	スポーツ医学				

	◎履修モデル1	(埋字療法字專攻)	死、クリロッ	(病院、クリニック就職希望者) ・ケル		o by th				of the sta				A President			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/		#			##-		\ 		#				₩ ∨		単位	掛:
10 10 10 10 10 10 10 10	64 B K 45				# # **	44.02 GK.93	=	6.9		652 (59	_	6 K 9		~	44.02 EC 59		敞
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7	_	1 必英語1	1													
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		英会話I	1 必英会話Ⅱ	1	溢												
	基礎教法	心理学	Ż.		類											14	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		健康スポーツ (理論)	1 必健康スポー		類												
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 半 押		瀸		類												
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	ボランティア活動															必修15単 分 3841.c
The control of the		人権論														4	位、建长10 単位以上
Particularies Particularie		辨	国際事情		727											2	
A CAME CAME	Add to the day	情報機器の操作	Ŋ,		綤											0	
Control Cont		データの世界														20	
	キャリア形																
Company 1 Comp	導入基礎		苡		첫											2	
	Y №	人体構造学1(総論・組織学)		 生殖器) 	凉	1											
Coloration Col	₩ 6 (54	人体機能学1(植物性機能)		学丑(動物性機能) 1	必運動学11(各論)	1 12%											
No. Control (1) (1)	人間発達学		1 (鑑製	必運動学演習	1 1/2										14	必修14単位	
	の数 ついま	運動学入門	1 124		人体構造実習												
					人体生理機能実習												
		リハピリテー	1 必精神医学	1	必 整形外科学1(総論)	芍	6外科学Ⅱ(各論)			教命書							
	(痛み学概能	1	必内部障害学1(総論)		下降害学Ⅱ(各輪)									31	24 After 0.36
	3 成 3				神経内科学		9 医学概論	1 24								12	位、選択2年
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	優頭					SW6	核心理	1 12/2									東以上
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	無					強	里学概論	要 1									
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ゲーン (77 業者:	*リヘアリテーション敷稿	苅		Ąį									先権リハビリケーション	1	ıc	27.4855 billion
1 日	30 6	××												チーム医療論演習	1 Ž	,	
	世 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田							疼痛リハビリ	7	测	リスクマネジメント 1	শ্ব		職場管理論	1 24	4	必修2単位、選
1 日 1	車及									JAR	-						火之単位と人工
1	小茶碗		1 Ž			JWE .	未運動学		坦	1 Žį	_					-	必修7单位
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	型 力				AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN COLUMN		And the state of t			容觀的	_			理学療法卒業研究			
1 日	· 李 ·				植子族饮料自小		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ž 2		推汗湖						9	必億6単位
	価券				神経障害評価学		部隊害評価学	Ż.									
## 1 日	一				基礎運動療法		改號 海 子 田 (小 圖)	: پ <u>ک</u>	(#SF)		1 20 10 10 10			相子療法技術符圖	1 Ž		
					数校谈中十二特副)		布生活動作子漢音	ý	(機能) (特別)		「 () 国外经涨外期和量和	Ž 2				64	
Particular Pa					H M ECHWIP 4	á		十年を発生を	十四年十二四十二十四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		「	ğ 8			F	3.0	77.4859.0186.07
Part Part	1.4E					ŧ		The Table of the Carlot	# 1 (consts)	T Company	- (学) ロボナザロサイ	ų >				2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	作簿							が日益限制制を	(1421) 1 (1421)	1 次 内部語	+						
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											Ī						
Participa Par	地域理学報告	4			地域理学療法学		表理学療法学演習	凉	+	1 必 福祉用	3具·生活環境論Ⅱ(各論) 1	1 24				22	公修5単位
		_	1 18%				载理学療法実習	於	+	理学集	+	Ķ				l	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		_										総合職品	ı			22	公(622)単位
第20 第2	22 報 里 +		10		6		124	級	必修		必修		必修		必修	Z 15	
1	大型大品		t-		97	2	攋	松	嫌权		遊灯		機打		選択	91 樂	
	車門基礎		9		9		N.Zi	修 4 5	心像		必修		必修		2	29	7.481 os iii 47
	2012/02/02	遊択		遊択	(編)	発	蟵	校 1	職打		遊択 1	,	遊技			2 瀬	強大 20単位
第2	車		23	必修	12/4	9	127	修 10		8 6		3 17		16	必修 4	62	守計28単位 以上
	:	遊択	_	勝托		莊	搬	¥.	操社		選択 1		機投		-		
	į		18 26	11 # 11	81	17 19	2	14 15	- Total	6.		91	10 ME 16	16	9	106	
Φ≠4.3	中	医		養		大 2		1	张				以		\exists	70 W	
		62. 5 1.53		43	Ngi	#81 ###X3			AS-18-24	施 (43 4	수 #1 27		£5₩22	製			

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	◎履修モデ/	履修モデル2 (理学療法学専攻) (訪問	問看護	(訪問看護ステーション、老人保健施設	老人保健施設就職希望者)						Ī			F	-	
10 10 10 10 10 10 10 10		/		1年		į	100			761	#H			#	; T		44
Column C		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- AR - II	単位 医分		K9	Ē	88		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	単位 医分	- Mr - AM	本 田 村	8		#
	Note 1 1 1 1 1 1 1 1 1	MH MM		Ą		- A									L		
Column C	Column C		英会話 1	芍													
	March Marc	11.78.00.00	心理学	凉		類									:		
The color Color	No. Column Colu	格模数3		潋	健康スポーツ(実技)	頻									14		
	Control Cont	#															
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		囲業														公修15月	当
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ボランティア活動													31 位、選4 単位以	班16
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	人權職	拠											∞		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			生活と環境	剎	464	搬						1				_	
Control Cont	Note 1 1 1 1 1 1 1 1 1	※ 原 可	茶良学	剎		24									4	_	
		情報數差	情報機器の操作												2		
		キャリア形													1		
		導入基金			正確せミⅡ										2		
Column C		及人名	人体構造学 I (総論・組織学)	Ą	人体構造学 11(内臓・生殖器) 1		運動器)	沒							_		
		101 54	人体機能学1(植物性機能)		_	苅		, j									
		本 (人間発達学	苅		Ą		ঠ্য							14	必修143	年
		3 年	運動学入門	1 ½		人体構造実習	,										
		戀		Ħ		人体生理機能実習	,,	26.42									
Column C			リハビリテ		精神医学 1	必整形外科学1(総論)			1 4	y	教命教急学概論	遡 1				10	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		6		,6		Ŧ		· 必 內部障害学Ⅱ(各論)		8							#
1 日		命		H		神経内科学		. 必 心身医学機論							12	位:	祝2単
1	1	受頭						臨床心理		8						年以上	
	Control Cont	報り						東理学概論	1 %	591							
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ターン (ファ		芍		ķ									Ą	27.4%53H	ii(c)
1		30.5	or Skr											チーム医療論漢習	, Šį	1	-100
		個国		1							医療リスクマネジメント	-		職場管理論	ž	or afternish to	3
1	1	4門		-							リハビリテーション行動科学	1			4	祝る単位の	1000年
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2		ノ州									認知発達障害ケア	测					
1	1	出機	理学療法概論	ا گِر				臨床運動学	1.16			-			=		
		開 抄		1							客欄的臨床能力演習 (理学療法)	2			Ą	必修7単	#(Cr
	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	任		ł		2011年 10 17 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		N Year Sill, may rate classics for NA			Appendix to the state of the					1	
	1	*		ŀ		祖子派の中国子		2. 対象的等加計画と 文 女独議神跡産外			进于%公司 馬爾				9	心修6単	MC.
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	## 1 日			F		基礎運動療法学			1 1		必 物理療法学Ⅱ(各論)						
## 1 日	## 1			H		義眩裝具学 I (総論)		必日常生活動作学演習		5. 筋骨格障害理学療法学1(総論) 1	必 筋骨格障害理学療法学Ⅱ(各論)	-			F	64	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Physical Park of the Control of t			H		日常生活動作学		24		中枢神経障害理学療法学1(総論) 1	必 中枢神経障害理学療法学Ⅱ(各論)	-			F		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	*地 :								小児期障害理学療法学 1	必スポーツ障害理学療法学	1			20	心(修20)	过来
Particle Particle	Particular Pa	記樂								内部障害理学療法学I(総論) 1	必 内部障害理学療法学II(各論)	1					
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		84								老年期降害理学療法学 1		1 Žį			=		
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										神経筋障害理学療法学	-					
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	地域理学療徒	*	\exists		地城理学療法学		凉	2 4	福祉用具・生活環境論 I (総論)	必,福祉用具,生活環境論且(各論)	1 گِر			2	必修5単	低
19 19 19 19 19 19 19 19	19 19 19 19 19 19 19 19	臨床幸品	_					地城理学療法実習		8	理学療法評価実習	Ą	œ	Zi.	55	JX.48E223	(A)
19 19 19 19 19 19 19 19	19 19 19 19 19 19 19 19			7	—⊪							4	8				
1	1	共通教育	_		_		が存む		1000年	場が 東	1574	360 0	20 東	高 古	_	_	
	1		_	9	_		が修り		4			t	公路	2			
1	2.65 2 2.55 2 2.55 3 3 3 3 3 3 3 3 3	専門基礎					機	111	-			-	開発	開	2 票 2	31	会様な
編文		車			必修		必修(10	郭凉	00	£ 16	16			19	8単位
			以 東 東	9	が		原 注		大			2 3		遊牧	※ 本		
	必要	4		8 =	2000年	16	1	17	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			9 6		が開	ص م	126	
	TOTAL TANKS THE		1 X 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	4	16 48445		74 MEST	動物1 今年 82	1		R3 44127	,		20 48#22	ğ V		

の履修モ	夢履修モデル3 (理学療法学専攻) (大学院進学希望者)	大学院進学希望者)											-		
/	△舞 塩 ▽	1年年 < ※ 基 >		〈異 塩〉	7#元	〈異 %〉	/ 異 塩 /		3年任 < ※ 超 >		〈舞 温〉	4年年 / 2		出	**
i i	4	1_	MASS STAN	H 13	MAP N7.45	- FI III	H 14	21 409		II.O		H 18	8145 12.45	!	本
科目区分		100 A	CAS 25th	+		п	F-74		Ξ.	18.07	п	EN A	400 000	F	
	英語1	1 必 英語 I	- Ž												
	英会話』	1 必 英会話Ⅱ	1 Ž												
11.286.9	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	2 必 行動の科学	2											91	
200 H	収表 健康スポーツ(理論)	1 必 健康スポーツ(実技)	拠											9	
##	倫理学	2 選 自然科学の基礎	2 (%)												
围藜	数学の世界	2 瀬												-	
_	共生教養 ボランティア活動	海口	L					F						2 31	位、建状16 単位以上
本 田 奈良・	条良·国際	2000年4年	2 3/2											2	
_	情報機器の操作	2 必 情報と分析	2 瀬	情報倫理とセキュリティ	2 機										
11.00	信機配施データの世界	2 選	F											00	
キャリン	キャリア形成キャリアデザインI													1	
□	導入基礎 基礎ゼミ1	1 必 基礎ゼミⅡ	1											2	
F	人 人体権法学 1 (総論・組織学)	1	-	. 人体構造学用(神経・運動器)	1 2										
					-								F		
Q	_			明規が温用さ	į 2			F					l	14	Z.48:1.436.47
_	` '		4	1年株体中田										:	
	機関子人間	ý -	#	人体構造美質				+					Ŧ		
			#		24					4				1	
	成疾 リハビリテーション医学	1 必 精神医学	- -		1 必 整形外	必 整形外科学目(各論) 1	沒		枚命枚億学概論 1	拠				31	
東京	議談の対	痛み学概論	- -	内部兩海学1(総論)	1 必 内部職	必 内部障害学Ⅱ(各論) 1	菏							6	次像10単行 油井5油
	破りを	スポーツ医学	型 1	選 神経内科学	1 必 心身医学概論	华概論 1	必								位以上
低。	65				臨床心理	温 1	菏								
₩-	、 施保 リンアリアーション 敷霜	1 必 チーム医療論	1.	必 国際リヘビリテーション論	1 18							先編リヘビリテーション編	1 12/2		
/ // = // =	ツェンス ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・											チーム医療論演習	-	ın.	必修5 単位
#!	世上						疼痛リヘビリテーション学	1	選 医療リスクマネジメント 1	ž		職場管理論	1 2/2		2/修2単位、電
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							H	リヘビリテーション行動幹学 1	樂				4	2 WELL L
掛	产基 理学療法帳論	1 24	Ė		臨床運動学	動学 1	必 理学療法研究法	1 10	83						
小			L						客觀的臨床能力演習(理学療法) 2	λý		理学療法卒業研究	23	t	必修7 単位
型	配外		L	理学療法評価学	1 次 運動器	運動器廠害降価学 1	交	H	-	2					
小 排 計 計	小蜂:			神経腫瘍神田外	1 次 内铝磷	内部薩岸評価学 1	益							9	必億6単位
_			F	基礎運動療法学	- 三 線路線	次 維胺物具学Ⅱ(条輪)	(-	次 物用療法学用(各輪)	3		無外様がお後非常	7		
中国			F	義敗装具学1(総論)	1 必 日常生	日常生活動作学演習 2	ķ	-	必 筋骨格障害理学療法学工(各論) 1	Ą					
				日常生活動作学	Ŋ.			-	次 中枢神経維害理学療法学Ⅱ(各論) 1	¥				64	
皿	86.31		L				小児期障害理学療法学	1	必 スポーツ障害理学療法学 1	ž			F	20	必修20単位
松 費	do **		L				(報酬) 【 标准 基本 图 (報票)	-	以内部廣客理学療法学II(各論)	λý					
常	. 44		L				老年期障害理学療法学	-	必 内部障害理学療法学演習	AŽ					
			F						神経筋障害理学療法学 1	×ý.					
PEANE PRINCE	美田泰			地域理学療法学	1 必 地城理	地域理学療法学演習 2	必 福祉用具·生活環境論 I (総論)	1	必 福祉用具・生活環境論11(各論) 1	菏				ro.	必修5単位
Bar sales sales also	早期体験実習(理学療法)	1 12			地城理	地域理学療法実習 2	Zi.		理学療法評価実習 3	必 総合臨床	総合臨床実習1(理学療法)8	শ্ব		00	AV NECO CASE VI
Many	HK.									総合臨床	総合臨床実習Ⅱ(理学療法) 8	必		77	C. (Secon) C.
井田参古	必修	多 10 多	2 2		必修	必修	1	必修	沙尔		小公修	學/7	23	15	
×200×1	選択	7	t-		選択 2	強打		選択	遊択		遊択	選択	拠	91	
東甲基為		9	9		必修 11	必修 4	4	必修	必修	_	必修	必修	2 2 2	29	oz Albert chet bis Arte
2						遊牧		遊扒	端択 1		選択	遊択		2	単行 20単位
III AFE	- 学校	多 2 。	360	70"	9 剩次	必修 10	9	心修 8	91 剥凉		必修 16	剥凉	4 &	62	合計126単位 以 F
		7	B/	豪	選択 。	選択	TO.	選択 1	選択 1	1.1	遊択	10 選択	()	2	
	#W	必修 18 55 必修	必修 11		必修 17	必修 14		必修 8	86年16		必修 16	12	必能 6 必	106	
# 4			स ८ 🗀					単択 1	農 校 2		職技	機構		20	
	## W	必修29 建权16 合計44		199	必修31 建枳2 合計38	133		X4624 3	必修24 建択3 合計27		£5.48522	必修22 建択0 合計22			
			l					l					l		

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の履修モラ	履修モデル4(作業療法学専攻)(病	(病院、クリニック就職希望者)	望者)				-		1		}		1	ŀ		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/		% >	三		2,2	%>	+	<韓 温>			+	〈聲 温〉	% >	Ī	単位	松
The continue of the continue	科目区分	Ш	R59		華	単位 医分			ш	E.99		単位 医分	ш	E.9 科 目	462 509		W ‡
Marie Mari		英語I	1 必 英語Ⅱ	1	ZŽ.												
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		英会話 1	1 必 英会話Ⅱ	1	78												
March Marc	基礎	い理学	Ź	2	類											14	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		健康スポーツ(理論)		1	類												
	半浬		舆		類	1											
		ボランティア活動				1											心修15単 位、選択16
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	人権論	樂			Ī											単位以上
Control Cont					沒	1										2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中部	情報機器の操作	Ą		遷 情報倫理とセキュリティ											œ	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	E E	データの世界														,	
Authority 10 Auth	キャリフ															1	
Control Cont	導入非				77											2	
Column C	, X			1		1											
Column C	54			1		1											
	, apr (1 必 運動学 I (総論)		必 運動学演習											14	必修14単位
	S W		1 24		人体構造実習							E			E		
	剎	N aa			人体生理機能実習	2 %						E					
	_	=	1 必 精神医学	1		1 2	整形外科学 II (各論)	73/		救命救急学概論		遡 1					
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		2000年		-		1 1/2	内部障害学Ⅱ(各論)	24				Ė				31	200
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		遊後						ار الا				Ė			F	12	必修10年 位、選択2
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		100						1 1/2				Ė					単位以上
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	資本	9					莱理学概論	劉 1				Ė					
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	K-	リハビリテーショ	#	1	国際リハビリテ	1 2/2						F		1	1		24 560 m 335 440
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/ γ= η=	と数										E		チーム医療論演習	1 %	o	公司等の無位
Registration Regi	# 1	框框						客籍)	ヘビリテーション学		ジメント	ا ا		職場管理論	1 2j		必修2単位、
The contribution 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2	権員	* 格								リハビリテーシュ	ョン行動科学					+	選択2件化以 上
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 18%		作業技術学1			1 必 作業場	東法研究法 1	菏				作業療法卒業研究			of Mr. or Market
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	* 担	作					作業技術学皿	1 12%		客觀的臨床能力後	(智(作業療法)					0	White outside
	批單	作			作業療法評価学 I (身体)	1 12	作業療法評価学演習1(身体)	1 10%		作業療法総合漢:	THE STATE OF THE S	1 12%				L	-02.08 E 386.70.
Particular P	· 申	族			作業療法評価学11(精神)		作業療法評価学演習11(精神)	1 12								,	30 the order 120
1					安排經歷·報源) I 次深海波出是波钟布	1	身体障害作業療法学皿(応用)	1 必 精神區	資害作業療法学1(総論) 1	必 精神障害作業族;	法学11(各論)						
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					身体確害作業療法学11(運動器・騰病	1	発達障害作業療法学1(総論)	1 必 発達属	董書作業療法学II(各論) 1	必 老年期障害作業券	(法学工(各論)						
						1		老年期	財産害作業療法学I(総論) 1	必 高次個機能降客作為	資療法学Ⅱ(各論)	ا چ				9	
						1		遊光框	機能障害作業療法学1(総論) 1	必 日常生活支援学	п	1 Žį				20	公修20単位
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	犯獎					1		田総社	E括支援学 I 1	必 作業療法特論工	(精神療法)				7		
Proprieta Pro	計					Ī		作業先	T	必 作業療法特體IV	(名牛別所制)						
1						Ŧ		作業者	Ť	必 作業療法特職V(A	5次脂機能解毒)						
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2										Ý					1		
Parking Karaga 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1	18.1811.W.	64			地域作業療法学 I (総論)		地域作業療法学Ⅱ(各論)	ΣÚ				Š	-			4	必修4単位
1	開		7살			Ţ		Ą		žį	B11	Σį	-			23	Z: (修2.3)单位
19 19 19 19 19 19 19 19		!				1		\downarrow				総2	_				
19 19 19 19 19 19 19 19	共通教育	必免		r0 1-		c	部分	<u> </u>	会を発		必能		予算を		İ	15	
第一		原文	_	- 4		7 =		_	ALTERY AND A STATE OF THE STATE	 	7247.	+	State Co.		6	2 8	公修106時
2.65 2 2 2.65 3 3 3 3 3 3 3 3 3	専門基項	200		0		=		_	(単数)		2 強	_ 	が設定		2	2	位 選択 20単
	100	学	2	心像	1/2/	t		_	必修 11			1.4			3	62	位 今計126道
込を13 込を13 込を13 このを13 このを13 このを13 このを13 このを13 このを13 10 日本 日本 <td>E P</td> <td>選択</td> <td></td> <td>選択</td> <td>極</td> <td> D/</td> <td></td> <td>6</td> <td>選択 1</td> <td>12</td> <td>遊択</td> <td>1 15</td> <td>選択</td> <td>91</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td>	E P	選択		選択	極	 D/		6	選択 1	12	遊択	1 15	選択	91	3	2	
編集 1 編集 1 編集 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 39 0	18 sr	必律 11		18		4	11 参佐	12	必体	14	20 4 16	9	9	2 106	۲ ۲
必修31 雑状3 台軒34	中	M	7 20	が 4		2					聚業	2	新			8	
		10.00 E	9 選択14 合計43		2	第 31 第	代3 合計34		16.18.26	選択3 合計28			Ø#21	遊状0 合計 21			

●履修モデル 5	(作業療法学専攻)	(訪問看護ステーション、老人保健) 1年4-		施設就職希望者)	9年十			9年升			4年十	-		F
_	< 至 編>	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		< 至	★ 大十7 <後 類>		< 至 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	- 十十 - 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		< 蚕 温>	***HH	単位	(本) (本)	84.5
科目区分			を図 W#			MAY IK SI		EX.9	東位		ECS)	CCS		+
	英語I	1 必 英語Ⅱ	1											
	英会話Ⅰ	1 必 英会話 1	1											
		2 必行動の科学	2 際											
基礎教養						L						14		
#	倫理学	2 適	L									L		
*浬	日本国憲法	2 遊										L	N Me 1 m 186	*
教作	ボランティア活動	27.											31 位、選択16	716
和 共生教業	女養 人権論	2 適										∞	単位以上	4
ш	生活と環境	2 選 共生と社会	2 際									L		
奈良·臣	奈良·国際 奈良学	2 選 国際事情	2 Žį									4		
指数数	情報観義 情報機器の操作	মূ	L									2		
キャリア形成	形成キャリアデザイン1	1 選	F									-		
導入基礎	を確 基礎ゼミI	1 次 張篠大三日	1									2		
Υ"	、 人体構造学 1 (総論・組織学)	1 必 人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器)	1 🖄	人体構造学皿(神経・運動器)	1 %									
文 び 体 の		1 必 人体機能学工(動物性機能)	1	運動学工(各輪)	1 24							I		
· 東北			1		72							14	必修14単位	英位
4 O B	///	\(\frac{1}{2}\)	F	Fill	24									
	_			実習										
三	疾 リハビリテーション医学	1 必 精神医学	1	整形外科学 1 (総論)	1 必整形外科学Ⅱ(各論)	73		教命教急学概論	1	1921				
	L	権分字数額	1			1 1			L				31	,
	接無		F	神経内科学	1 必 心ቃ医学概論	1 1						12	次像10年 位、選択2年	年 円 3 車
	in G f				臨床心理	73						I	位以上	
福職の	変		L		莱理学概論	- 2						I		
k-	当年 リンアリケーション整理	1 必 チーム医療器	1	国際リくアリケーション場	24						先権リヘアリテーション舗 1	Š		
ン ・ショ ハン キャン 高階製											チーム医療輸送型	ın Vij	必修5単位	100
但相								医療リスクマネジメント	1 20		職場管理論 1	凉		
事.国								リヘビリテーション行動科学	期 1 法	1991		4	公修2単位、選択9単位に下	樹上に
北 周	2.00							認知発達障害ケア		94				
## \$	基 作業療法帳論	73r		作業技術学」	1 必 作業技術学Ⅱ	1 必 作業療	作業療法研究法	ZŽ.			作業療法卒業研究 2	٠ کي	27 ME to 185 AV	105 ///-
*地	作				作業技術学皿	1 12%		客觀的臨床能力演習(作業療法)	37 1 (2)	7		0	strossiu7s	44177
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	作業			作業療法評価学1(身体)	1 必 作業療法評価学演習 1 (身体)	1 12%		作業療法総合演習	1 🖄	7		L	VAREE 185 AV	36.6%
iű.	茶茶			作業療法評価学Ⅱ(精神)	1 必 作業療法評価学演習 1(精神)	1 12						,	tho saling	1
掛				-	1 必 身体障害作業療法学皿(応用)		精神障害作業療法学 I (総論) 1		1	~				
E				身体障害作業療法学11(運動器・難将)	1 必 発達障害作業療法学 1 (総論)	歴 労 公 1	発達障害作業療法学Ⅱ(各論) 1		-			1	64	
<u>t</u> ===						老年期	-	Ž.	-	8				
於 抵;			1			国の機能	の公司機関を指令を受ける。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	ý:	1 .			20	必修20単位	連位
旧教			+			1 9 1	日本社団大協士!							
計						TP WERK	工業機械時期 (地域性) T 国际线域特别	心作業族饮料圖IV(老牛奶麻香)		4		1		
			t			11年表版公社	17. 米殊広が開出(光速保告) 1. 地比北日学 0	17. Park (18. Park 18. V (19.) Park (18.) Pa	1			1		
2. 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	10.00		t	2 (条件) (条件) (条件)	2 次 香醇名雜棒沃纳田(外聯)	1 1/2		かが最初を確認	-			4	次修4進件	40
O Mr. II NACOTA	田 遺体聯出別(布維権状)	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	t	Ī	20 10% T-米%於十里(中國) 古縣名絲棒涂併園	2 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	照用心原・特徴	H 日 美 生 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	- w	· 《 學 会 图 床 生 型 1 (化 發 棒 洪) 8	×.	٢	11412	1
臨床実施		1				į				総合臨床実習 日(作業療法)		23	必修23単位	単位
All All Miles	小小	10	ιΩ	小公僚	學公		必修	78	公僚	必像	必修	.Z. 15		
光型教育		11 21	2 P	遊技	遊扒		選択	型	遊択	選択	選択	與 16	31	
東阿其路		9	9 3		1 1 2 次修	4	必修	₹*	必修	必修	必修 2	, 42, 29	31 (2,48:106)	SHEAT
B		,	n .	開社	:	,	選打	型	1 公前			四 2	機大 20単 50単 60単 60単 60単 60単 60単 60単 60単 60単 60単 6	() () () () () () () () () ()
車	次像	次条 2 次条 次条 上 2 上 2 上 2 上 2 上 2 上 2 上 2 上 2 上 3 上 3	WA ITS	が	7 7 编	6	心像 11	111	必修 14 16 WH 16	8. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	16 湯切	3 62	64 U.E.	E T
	A A			ALEX.		10	/#±1/		4 2				1	
中		 	9 2			<u> </u>	11		11 8 美	A	91	20 120	126	
				J. 100 MES	必修31 選択1 合計32		£2.₩2.55	択3 合計28		654621	副			
			l											l

## (表 用)	◎ 履修モデル6	(作業療法学専攻)	小那	(大学院進学希望者)		4 270			4 277				在井	F		
Column C	/		-	※>		₩ ∨			+			个	※	T	単位	茶 ***
	科目区分	ш	40.00 EX.9		▥	E		田女	823	ш	ex 以東	300	皿 ぐ	EK.9		ķ
The continue of the continue	Î	英語 1		英語11 1	23						Ē					
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		英会話1	1 Ž	英会話Ⅱ 1	**				L		Ē					
Marie Mari	1F.78e 56-30.		Ż,	行動の科学	例									F		
March 1 Marc			1 ½	1	級									PT	_	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		倫理学	嶽	自然科学の基礎 2	級											
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	黎	数学の世界													2	必修15単 位 強担16
														2	5	作以上
				2	Na.									2		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Alterna menale	情報機器の操作	Ą	情報と分析 2	* 情報倫理とセキュリティ									0		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	THE PROCEEDING	11	2 38													
The control case and	キャリア形体		遡 1						L		Ē				<u> </u>	
Control Cont	導入基礎		1 Ž	基礎ゼミⅡ 1 4	à									2		
Companies Comp	Y: 8	人体構造学1(総論・組織学)	1 12%	人体構造学Ⅱ(内臓・生殖器) 1	○ 人体構造学皿(神経・運動器)	1 28					E					
Company Comp	(₽,	人体機能学1(植物性機能)	1 1/2	人体機能学II(動物性機能) 1	公運動学 II (各論)	1 2			L		Ē					
	うゆ	人国祭詩学	-	1 (※) 1 (※) 1 (※) 1	阳规 計	2			L		E			14		次修14単位
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	: G #	演動学入門	, -	Canada - Contant			ŀ		ļ		f			Ŧ		
	R#I		E		人体生理機能定翌						E			I		
	E		5	-	スモー 引きを E スコース 要 表 女 本 多 1 (後 条) .	1 次數形外統等目(久輪)	100		de che d	彩色小聲 器	50			ŧ	2	
Column C	1後		i i	1 -	2、世がからは、(金銭)	1 2 地方的特殊的工作的	1 -		2×41	2X-12x-17-19X-188	1			Ŧ		7.45 LO BE
	連盟		Į	1	で、お野田・一、「お踊」	1 対 が 1 対 1 対 1 対 1 対 1 対 1 対 1 対 1 対 1			-		1			12		位、遊択2単
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10日	l bio	Ţ	1	一年を記録する		 		\downarrow		$\frac{1}{2}$			Ŧ	Ç-	ZXE
1 日本	4 Mag		1				1 2		1		\int		_			
1	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	$\overline{}$	- Žį	チーム医療器	2回際リ くドリテーション編	1 1/2					1		温			公修5単位
1	a y C a	11.200	Ⅎ				\dagger						チーム医療論演習			
## 2	三		1					T	漫	リスクマネジメント	- -		職場管理論	رة مرة		2/修2単位、選
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	車及]							ビリテーション行動科学				Т		G#TERAL
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· 李 秦 秦		1 Žį		作業技術学 I	1 必 作業技術学Ⅱ		5 作業療法研究法 1	শ্ব		1			2 ŽŽ		2.468 16/0
1	张					作業技術学皿	1 187		客觀時	的臨床能力演習(作業療法)						
	※ 保証				作業療法評価学1(身体)		1		作業》	療法総合演習	1			- 1		.07.48sts 116.47r
Particle Particle	串				作業療法評価学11(精神)		-							-		S (See 4-18)
Participa Pa					(並翌4個・幣等) 1 赤沢海並小是意的な		1	精神障害作業療法学 I (総論)		障害作業療法学Ⅱ(各論)	1 1/2					
					身体線書作業療法学用(運動器・騰州)	1 必 発達障害作業療法学 I ()	1	(発達障害作業療法学II(各論) 1	必老年	関障害作業療法学Ⅱ(各論)	1 12%					
								-		3機能障害作業療法学Ⅱ(各論)	-				29	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			E					+		生活支援学Ⅱ	1					
Principal Pri	5 49		E					日常生活支援学 1 1		療法特論 II (精神障害)	1 2j			8		公(1)520単位
1	张 孙								凉	療法特論IV(老年期障害)						
Authority Aut										Y法特論 V (高次服機能障害)	1					
1 1 1 1 2 2 2 2 2 2																
Particle Particle	JEANTH WINGS	**			地域作業療法学1(総論)	Ą	-		生活	環境整備論				4		必修4単位
1	ETP-refer orbitality		1			地域作業療法実習		検査・測定実習	Ķ	療法評価実習		総合臨床実習 I (作業療法) 8	Ź	-		or Alexander
1	加 米米加											œ	次	67		211523#12
	11. von deli-ales	小体	10	rC.			必修	必修		必像		彩凉	心像	苅	15	
2.6½ 2 2.6½ 2 2.6½ 3 3 3 3 3 3 3 3 3	大田牧田	強的		5		2	機	機打		操		機	横	拠	31	
1	100.000		9	9 學2		11	必修 4	必像	L	必像	Ē	必修		ΣÚ	63	
1	中口格園	強执		通択 1			単大 単	選択	L	機技	-	強力	遊択	製 7	2 22	必修106単位 議权 20単位
	DE SAN		2		心修	t-	6	多次	1	必像				ঠ্	62	5計126単位 17 ト
公庫15 公庫15 公庫15 公庫13 公庫13 公庫13 公庫14 公庫14 公庫16 公庫16 公庫16 公庫17 公庫16 公庫16 公庫16 公庫16 公庫16 公庫16 公庫17 公庫16 公庫16 公庫16 公庫16 公庫17 公庫16 公庫16 公庫16 公庫17 公庫17 公庫17 公庫16 公庫17 公庫17 公庫17 公庫17 公庫16 公庫17 公庫17 <t< td=""><th></th><td>异辨</td><td>Г</td><td></td><td>14.00</td><td>Г</td><td>Г</td><td>操</td><td>27</td><td>が無</td><td>-</td><td></td><td>16</td><td>## **</td><td>64</td><td>4</td></t<>		异 辨	Г		14.00	Г	Г	操	27	が無	-		16	## **	64	4
12 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15		# 12	91	1 444	***	Q.	27.48E 19	1.00		#2		W.#5.10	414			
	700					88	13		122		91		91		92 178	
選択16 合計44		N I		M.		7	M K					X N			3	
		KAN129	80000000000000000000000000000000000000	K16 合計44	SEP SE	31 選択2 合計38		10.45.21		合計 28		ASPEZI >	建 状0 合計21			

